SHARP®

AQUOS

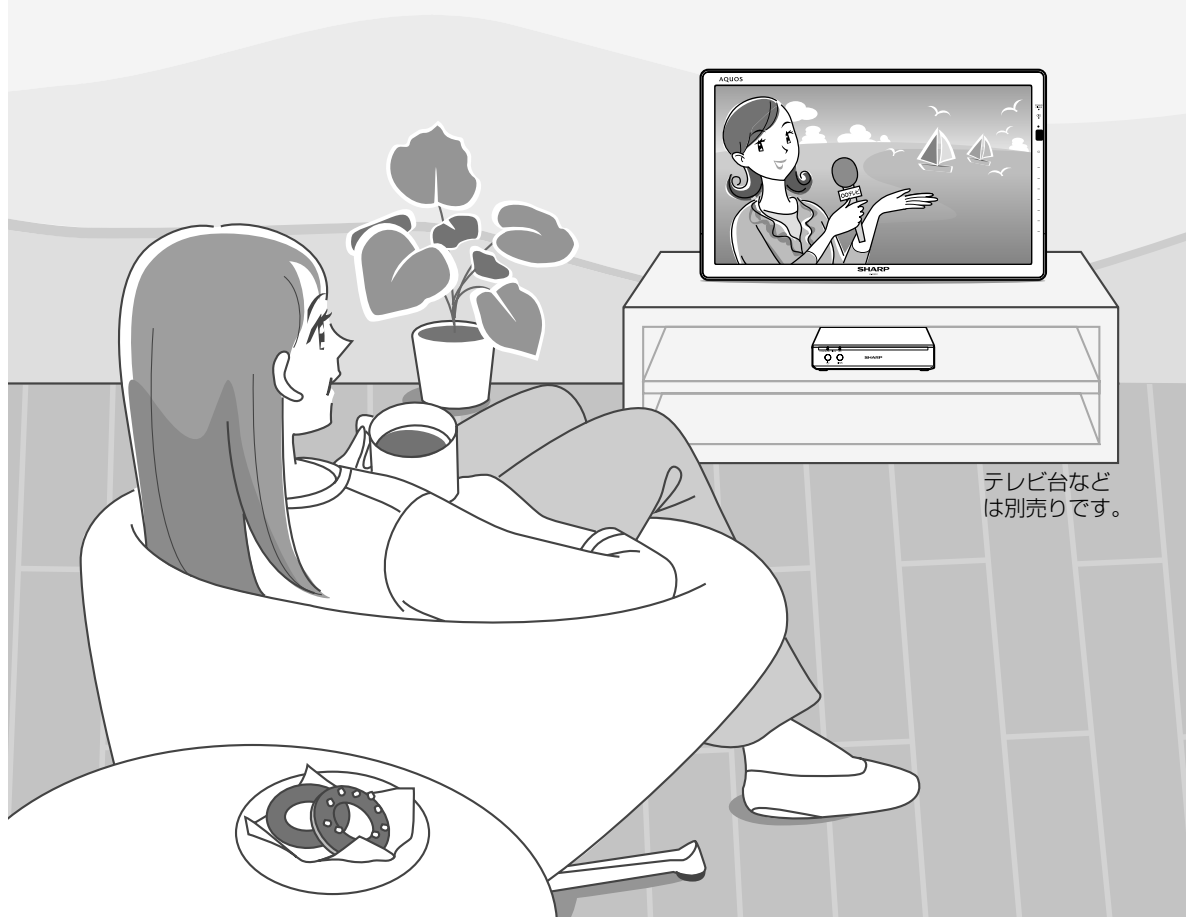
取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル シー　エフ イー
LC-20FE1

地上 DIGITAL　BS DIGITAL　110° CS DIGITAL

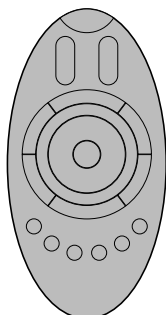
HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

テレビ台などは別売りです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（**12**ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

付属品
（別売品については⇒ 220 ページ）

• 安全と性能維持のため、同梱の電源コードと AC アダプターを必ずご使用ください。

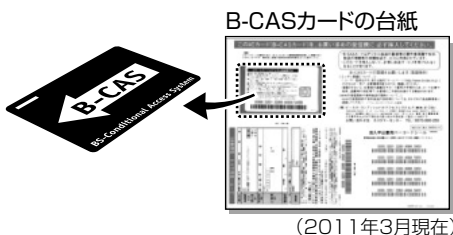
リモコン ×1

リモコン用乾電池※
（単４形乾電池）×2

※ アルカリ乾電池を
ご使用ください。

乾電池を入れて
使います。
⇒**29** ページ

B-CAS カード ×1

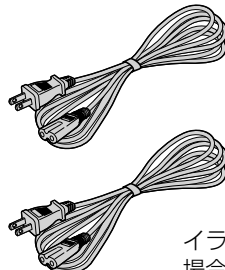
B-CASカードの台紙

（2011年3月現在）

• B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている **B-CAS パンフレットの袋の中の台紙**についています。
• 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

デジタル放送を見るときに
使います。⇒**224**ページ

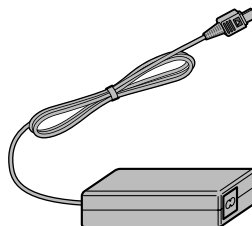
取扱説明書※（本書）×1
かんたん !! ガイド※ ×1
保証書 ×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

電源コード（2m）×2

イラストと異なる
場合がありますが、
支障ありません。

チューナー部とディスプレイ部に
電源を供給します。⇒**233**ページ

• 付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

ディスプレイ部用 AC アダプター ×1

ディスプレイ部に電源を供給します。
⇒**233**ページ

• 付属の AC アダプターは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

もくじ

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（⇒ **284** ページ）

設置
別売品
デジタル放送
B-CASカード
アンテナ接続
初期設定
アンテナ設定
受信設定

テレビを見るための準備をする（テレビの設置・接続・受信設定）⇒ 218 ページ

はじめに／電源を入れる

次のページに続く

テレビを見る

次のページに続く

USBハードディスクを つないで録る・見る

USBハードディスク

予約確認

ファミリンク機能を使って録画・再生する／HDMI機器をつなぐ

次のページに続く

インターネットで楽しむ

次のページに続く

仕様・用語・索引

仕様
保証
寸法図
特許

English Guide

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

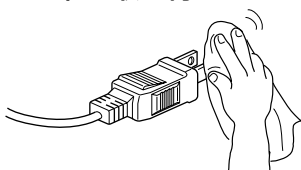
- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

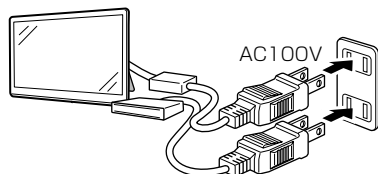
	警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

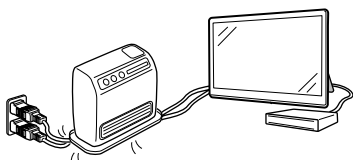
図記号の意味

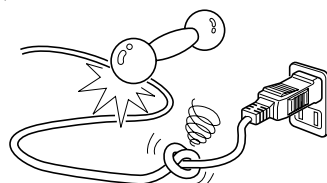
	気をつける必要があることを表しています。
	してはいけないことを表しています。
	しなければならないことを表しています。

⚠警告

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

- 火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

- 火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

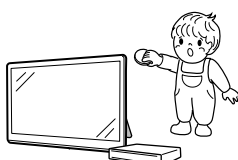
本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

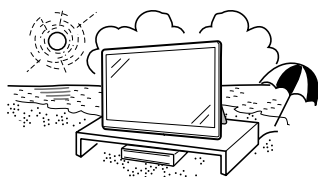
不安定な場所に置かない

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

異物を入れない

- 通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性･導電性のものを含む）を入れると､火災･感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

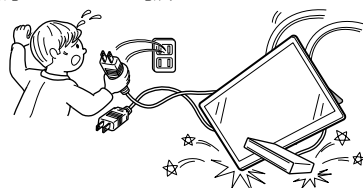
本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

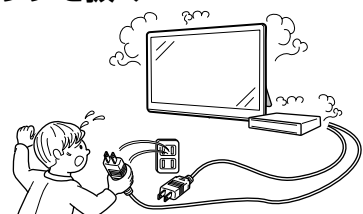
- 水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

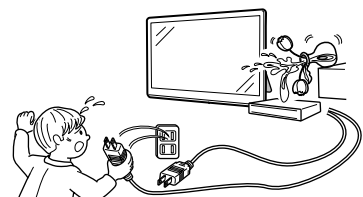
台所や屋外など、テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

- 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂やシャワー室では使用しない

- 火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物が入ったときは、電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

- 感電の原因となります。

次のページに続く

⚠警告

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

- 感電の原因となります。

異常に温度が高くなるところには置かない

禁止

- 特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

使用中や充電中に布や布団などで覆ったり包んだりしない

禁止

- 熱がこもって、火災の原因になります。

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する

指示

- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる

指示

- バッテリーに異常が発生している場合があります。火災の原因となりますのでご使用をおやめください。

本機に強い衝撃を与えたり投げつけたりしない

禁止

- バッテリーに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電される場合があり、火災の原因になります。

⚠警告

ACアダプターを安全にお使いいただくために

- ディスプレイ部では、ACアダプターを使用しています。
  ACアダプターを安全にお使いいただくために、ACアダプターのコードの使用も含めて、下記の記載事項をお守りください。

ACアダプターのコードが傷んだら使用しない

禁止

- 感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプターは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しない

禁止

- 感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプターに触れない

禁止

- 落雷、感電の原因となります。

ACアダプターを布や布団でおおったり、包んだりしない

禁止

- 熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプターのコードの上に重いものをのせたりしない

禁止

- 感電、火災の原因となります。

ぬれた手でACアダプターのコード、コンセントに触れない

ぬれ手禁止

- 感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用する

指示

- 誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
  電源電圧：AC100V

電源プラグに付いたほこりは、拭き取る

指示

- 火災の原因となります。

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込む

指示

- 感電、ショート、火災の原因となります。

ACアダプターをコンセントから抜く場合は、ACアダプターのコードを引っ張らない

指示

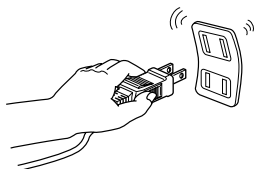
- コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

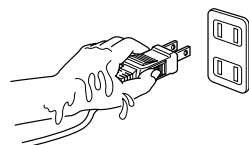
長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く

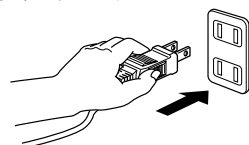
電源プラグを抜く

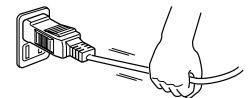
- 感電、火災、故障の原因となります。

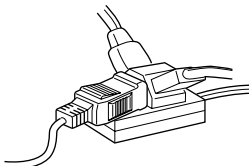
⚠注意

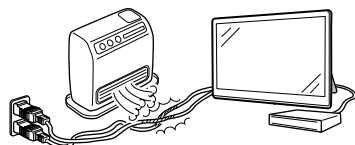
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

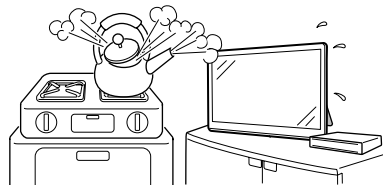
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

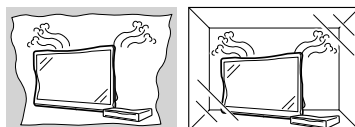
電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

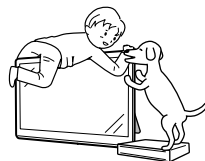
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

- 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

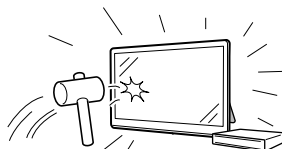
タコ足配線をしない

- 火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

- 電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

- 調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

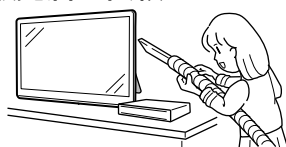
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

- 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

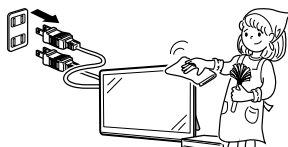
液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

- 液晶画面のパネルが割れることがあります。

⚠注意

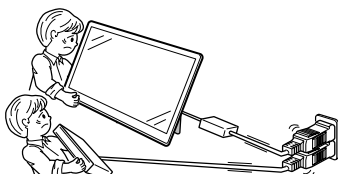
通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

- 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

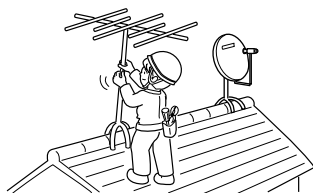
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 感電や火災の原因となることがあります。

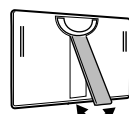
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

- 接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

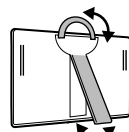
スタンドの角度を調整するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

- 手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

ディスプレイ部を設置または移動するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

- キャリングハンドルや自立スタンドの可動部に手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

免責事項　**お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**

次のページに続く

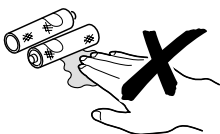
⚠注意

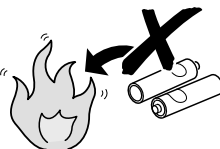
アルカリ電池についての安全上のご注意

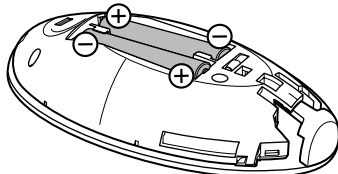
- 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

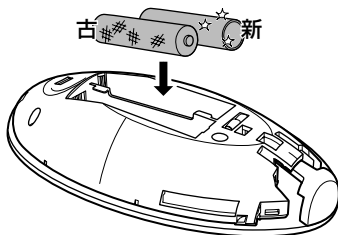
電池は幼児の手の届く所に置かない

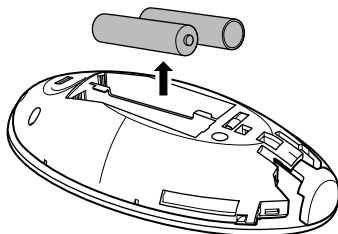
- 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

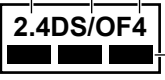
廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

⚠注意

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は、日本国内のみ使用できます。

次の場所では、本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送信／受信ができなくなる場合があります

- 本機と同じ周波数帯（2.4GHz ／ 5GHz）を利用する無線通信機器である Bluetooth、無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオからはなしてお使いください。（ノイズが乗る場合があります。）
- テレビ、VTR、BS チューナー、CS チューナーなどアンテナ入力端子をもつ AV 機器のお近くでチューナー部をご使用の場合に、「ディスプレイ部で受信した映像に横縞のノイズが乗ること」「チューナー部の近くのテレビにノイズがのること」がありますので、チューナー部をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

本機の使用周波数帯域では、本機と同じ周波数帯（2.4GHz ／ 5GHz）を利用する無線通信機器である Bluetooth、無線 LAN、また電子レンジなどの機器のほか、工場、製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する）および特定小電力無線局が運用されています

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波障害の事例が発生した場合、すみやかにその場での本機の使用を中断してください。

本機は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります

- 本機は 2.4GHz の電波を使用しています。本機が使用する IEEE802.11b と IEEE802.11g と IEEE802.11n のチャンネルは、1 ～ 13ch です。
  - 分解／改造すること。
  - 本機に貼ってある認証ラベルをはがすこと。
  - 無線 LAN 機能が使用する周波数帯は、本製品に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①「2.4」：使用する周波数帯を表します。（2.4GHz 帯）
②「DS/OF」：変調方式を表します。（DS-SS 方式 /OFDM 方式）
③「4」：想定される与干渉距離を表します。（約 40m）
④「■■■」：2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能である事を表します。

- 本機は、5GHz 帯の電波を使用しています。5.2GHz、5.3GHz 帯の電波を屋外で使用することは電波法により禁止されています。
  本製品は、チューナー部とディスプレイ部の通信では自動でチャンネルを選択するため、屋外使用が許可されている 5.6GHz 帯に固定できません。屋内での使用に限定してください。ディスプレイ部で市販のアクセスポイントに接続する場合は、アクセスポイントのチャンネル設定を確認して、屋外で使用できるか確認してください。
  本機が使用する IEEE802.11a と IEEE802.11n のチャンネルは 36、40、44、48ch（W52）と 52、56、60、64ch（W53）と 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch（W56）です。34、38、42、46ch（J52）を使用する無線機器（アクセスポイントやクライアント）とは通信できません。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n			
J52（取消線）	W52	W53	W56

W52（5.2GHz帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
W53（5.3GHz帯　52、56、60、64ch）が利用できます。
W56（5.6GHz帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

W53、W56 を使用する場合は、法令により次のような制限があります。

- 各チャンネルの通信開始前に、1 分間レーダー波を検出します。その間は通信できません。動作中にレーダー波を検出した場合、10 秒以内にチャンネルを変えます。チャンネルを変えるために通信が途切れます。

⚠注意

使用範囲について

ご家庭内でのご使用に限ります

- 通信の環境により伝送距離が短くなることがあります。

次のような場合は、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなることで映像・音声が途切れたり（映像・音声が停止する）、ブロック状のノイズが出ます

- マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅など。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物、障害物の近くなど。
- 本機と同じ周波数帯（2.4GHz ／ 5GHz）を利用する無線通信機器である Bluetooth、無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。

電波の反射について

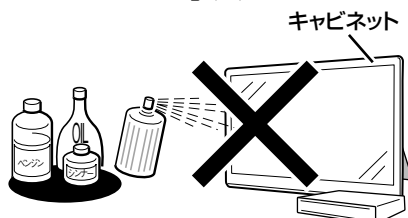
- ディスプレイ部に届く電波には、チューナー部から直接届く電波（直接波）と、壁や家具、建物などに反射してさまざまな方向から届く電波（反射波）があります。この反射波の影響で電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、映像がうまく受信できなくなることがあります。このようなときは、チューナー部とディスプレイ部の場所を少し動かしてみてください。チューナー部とディスプレイ部の間を人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で映像・音声が乱れたり、途切れたりすることがあります。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お客様相談センター（⇒ **290** ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（⇒ **290** ページ）へお問い合わせください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿､ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質したり、塗料がはげることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ディスプレイ部のお手入れのしかた

AQUOSクリーニングクロス

推奨品
24×24cm：CA300WH1※
40×30cm：CA300WH2※

※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア（ネット販売）でお求めください。

- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。（⇒ **283** ページ）
- ディスプレイ部の表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。ディスプレイ部の保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）などを使わないでください。ディスプレイ部の表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は､柔らかい布（綿､ネル等）を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイ部の表面に傷が付きます。）
- ディスプレイ部の表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

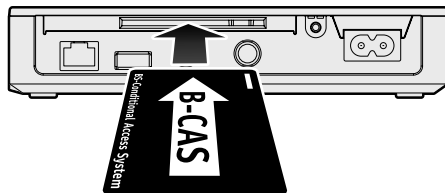
守っていただきたいこと

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。
- 本機チューナー部背面に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。
- B-CAS カードは奥まで差し込んでください。（奥まで差し込んだ状態で、本機から約 7 ～ 8mm とび出します。）

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

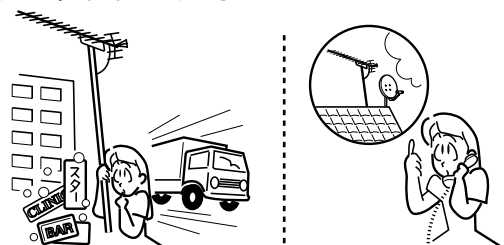
- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。（This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）

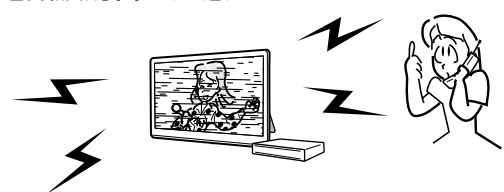
長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電源プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110 度 CS デジタル放送用のアンテナ線には、必ず BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブル（市販品）を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

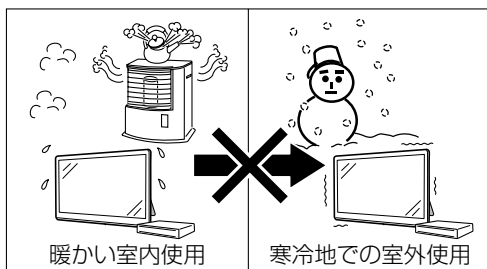
使用温度について

- 周囲温度は 0℃～ 35℃の範囲内でご使用ください。ただし、バッテリーの充電は 5℃～ 35℃の範囲内で行ってください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

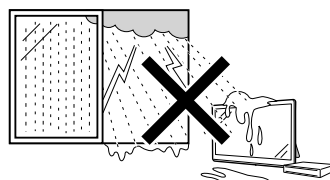
- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

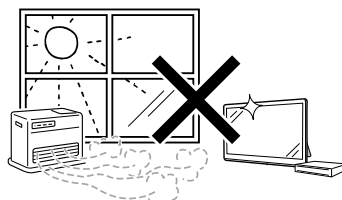
- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

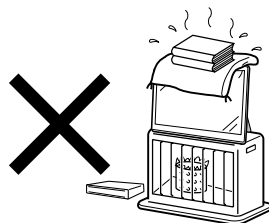
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。（使用温度：0℃～ 35℃）

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

次のページに続く

守っていただきたいこと

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない

- 電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。

  ご注意いただきたい電子機器の例

  補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など

航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しない

- 電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。
  医療機関の指示にしたがってください。

本機は、盗聴防止暗号化機能を搭載していますが、傍受にご注意ください

- 本機は電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
  機密を有する重要な通信や、人命に関わる通信には使用しないでください。
  ※ 傍受（ぼうじゅ）とは、無線通信の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に使用することです。
- 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。

損害について

- お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

AC アダプター本体を熱器具に近づけないでください

- AC アダプター本体が発熱し、故障の原因となります。

AC アダプター本体に強い衝撃を与えないでください。また、コネクターを変形させないでください

- 故障の原因となります。

コネクターがうまく差し込めないときは、コネクターの向きを確認してから差し込んでください

- 無理に差し込むと、故障・破損の原因となります。

守っていただきたいこと

内蔵バッテリーの上手な使いかた

バッテリーを充電するときは

- 充電するときは 5℃〜 35℃の範囲で行ってください。この温度範囲以外では充分な充電ができません。

バッテリーを使用するときは

- 正常に充電しても、周囲温度が低いと使用時間が短くなります。暖かい部屋で使用してください。

充電したのにバッテリーの使用時間が短いときは

- バッテリーには寿命があります。正常に充電したバッテリーで使用時間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命がきています。
- 未使用で 1 年程度経過したバッテリーは保存状態（環境温度など）により、使用時間が短くなります。

本機の置き場所

- ストーブの近く、エアコンの風が直接当たるところ、直射日光の当たるところ、車の中に放置するなどは電池の寿命を短くする恐れがありますのでこのような場所は避けてください。

正しく充電されないときは

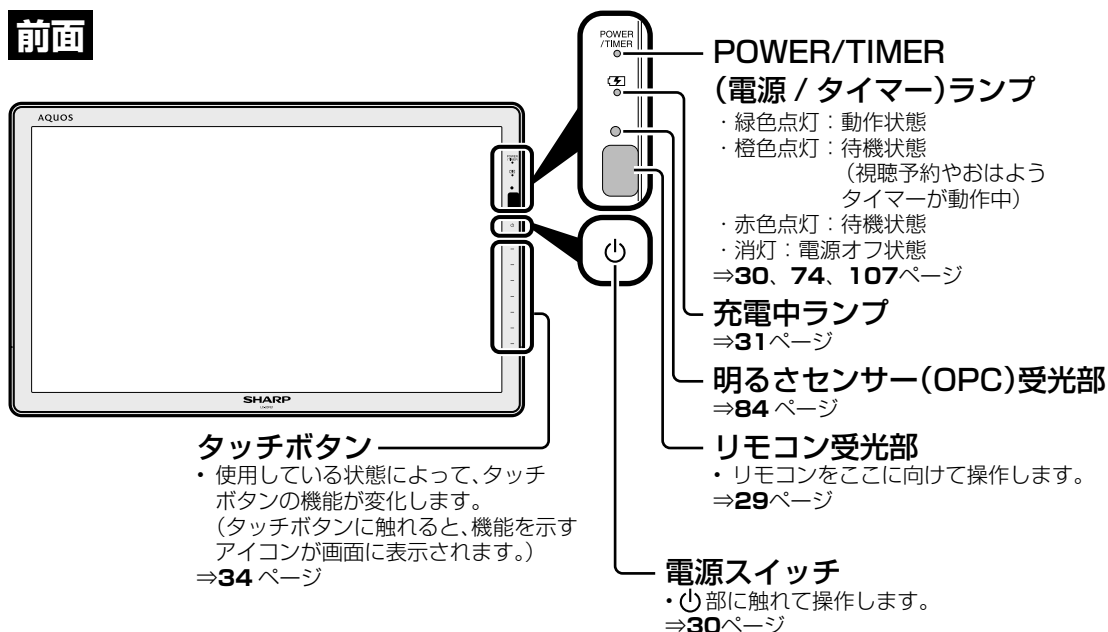
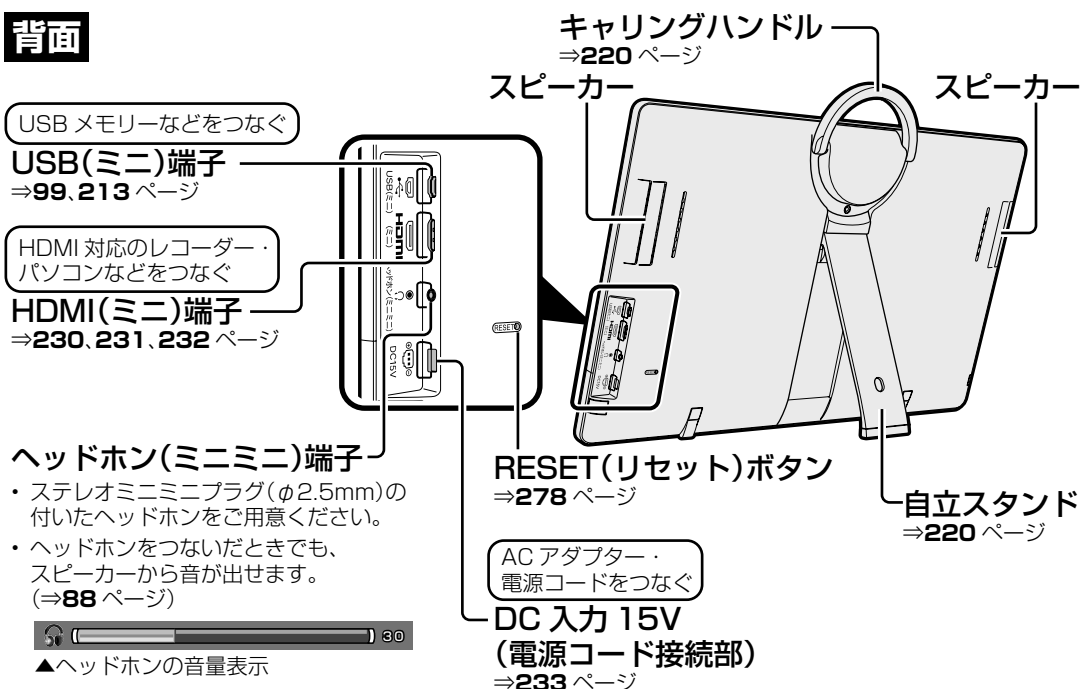
- 充電中にディスプレイ部の充電ランプが 1 秒おきに点滅している場合は、周囲温度が充電できる温度ではありません。暑いときは風通しのよい涼しい場所に置いてください。寒いときは暖かい部屋に置いてください。充電ランプが点滅から点灯に変われば正しく充電されます。
- 充電中にディスプレイ部の充電ランプが異常に早く点滅(約 1 秒間に 3 回)する場合はバッテリーに異常が発生しています。本機の電源を切り、販売店やお客様相談センターにお問合せください。

バッテリーをあまり使わないときは

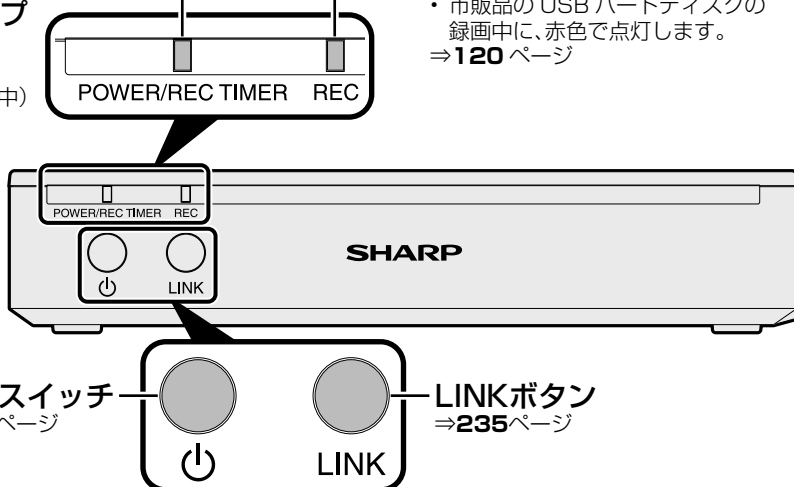
- 常時バッテリーに充電されている状態はバッテリーの劣化を促すため、バッテリーを長期間お使いにならないときは、なるべく「バッテリー充電設定」を「しない」に設定してください。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

ディスプレイ部

▲ヘッドホンの音量表示

チューナー部

前面

POWER/REC TIMER
（電源 / 録画予約）ランプ
・緑色点灯：動作状態
・橙色点灯：待機状態
（録画予約の動作中）
・赤色点灯：待機状態
・消灯：電源オフ状態
⇒30、123ページ
REC（録画）ランプ
• 市販品の USB ハードディスクの録画中に、赤色で点灯します。
⇒120 ページ
POWER/REC TIMER
REC
SHARP
LINK
電源スイッチ
⇒30ページ
LINKボタン
⇒235ページ
LINK

背面

電源コードをつなぐ
AC 入力 100V
（電源コード接続部）
⇒233 ページ
B-CAS カード挿入口
⇒224 ページ
LAN(10/100)
USB
B-CAS
BS・110度CS
アンテナ入力
地上デジタル
電源重畳
DC15V 最大4W
DC11V 最大3W
BS・110度CS アンテナ電源の入/切は、「ホーム」内の「アンテナ設定」で行ってください。
AC 入力 100V
LAN 端子
（10BASE-T ／ 100BASE-TX）
• インターネットやアクトビラ、IPTV、デジタル放送の双方向通信、DLNA で使用します。（LAN：ローカルエリアネットワークの略称）
⇒161、183 ページ
アンテナ入力
BS・110 度 CS
⇒226 ～ 229 ページ
アンテナ入力
地上デジタル
⇒226 ～ 229 ページ
外付けハードディスクなどをつなぐ
USB 端子
⇒111、282 ページ

リモコンのボタン

音量(＋／－)ボタン
- 音量を調整します。
 (⇒**48**、**188** ページ)

マイサークルボタン
- マイサークルを表示します。
 (⇒**38** ～ **41** ページ)

ツールボタン
- ツールメニューを表示します。
 (⇒**42**、**47** ページ)

カーソルボタン／回転部
- 下記をご覧ください。

終了ボタン
- 各メニュー、文字入力、インターネットなどの操作に使います。

数字キーボタン
- 数字の入力が必要な場合に使う、数字キーパネルを表示します。
 (⇒**101** ページ)

カラー(青／赤／緑／黄)ボタン
- 各メニュー、文字入力、インターネット、連動データ放送などの操作に使います。

電源ボタン
- 本機ディスプレイ部の電源を入／切します。
 (⇒**30**、**234** ページ)

選局(順／逆)ボタン
- チャンネルを選局します。
 (⇒**48**、**188** ページ)

決定ボタン
- 各メニュー、文字入力、インターネット、連動データ放送などの操作に使います。

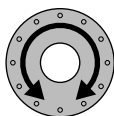
ホームボタン
- ホームメニューを表示します。
 (⇒**42** ～ **43** ページ)

戻るボタン
- 各メニュー、文字入力、インターネットなどの操作に使います。

データ(放送)ボタン
- 連動データ放送の画面を表示します。
 (⇒**52**、**189** ページ)

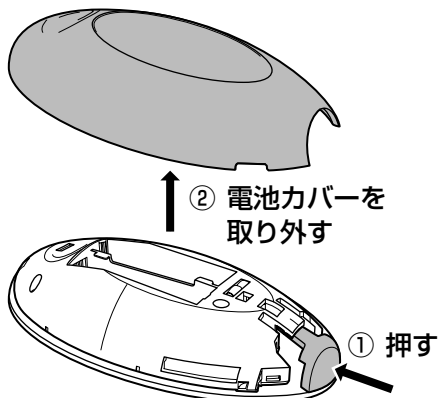
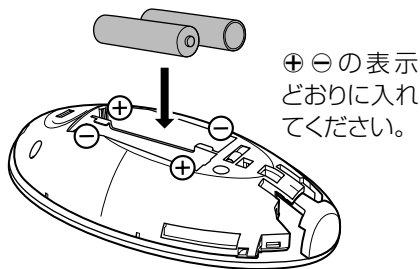
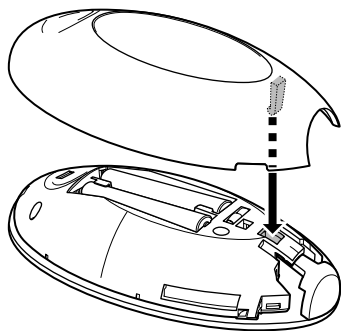
番組表ボタン
- 番組表を表示します。
 (⇒**59**、**60** ページ)

カーソルボタンと回転部について

カーソル(上／下／左／右)ボタン
- 各メニュー、文字入力、インターネット、連動データ放送などの操作に使います。

回転部
- 回して使います。
- マイサークル、番組選局などの操作で使います。(⇒**38**、**49** ページ)
- カーソルボタンの代わりに使える場合があります。

◇**おしらせ**◇
- リモコンを使うと他の機器が動作してしまうとき⇒ **286** ページ

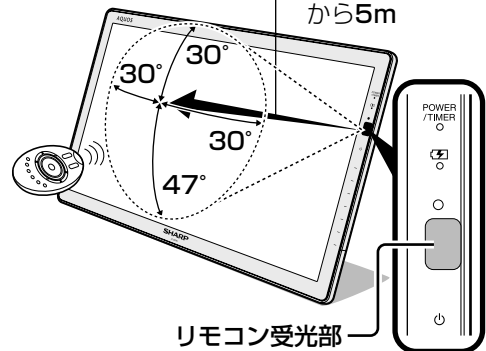
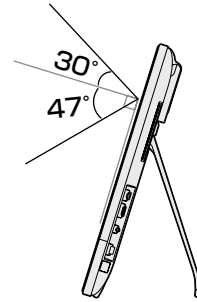
リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを取り外す

2 付属の単4形乾電池（アルカリ）を入れる

3 電池カバーを元どおりに取り付ける

◇おしらせ◇

乾電池を交換するときは

- 乾電池は単 4 形のアルカリ乾電池をご使用ください。

リモコンで操作できる範囲

- リモコン送信の範囲と距離、ディスプレイ部のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に 1 個のリモコンボタンを押してください。

◇おしらせ◇

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号（⇒ **286** ページ）を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

電源の入れかたと充電のしかたについて／バッテリー残量と無線受信強度について

電源を入れる

- すべての接続を終えてから、電源を入れてください。

接続などの基本的な準備の流れについて

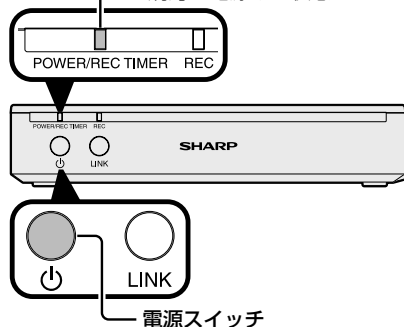
- ⇒ **218** ページをご覧ください。
- 初めて本機の電源を入れるときは、かんたん初期設定をします。（⇒ **234** ページ）

消費電力について

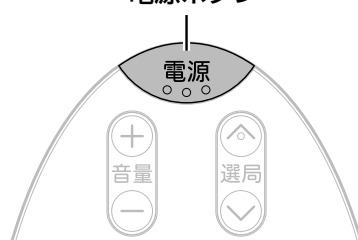
- 本体の電源スイッチで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。（急速充電時除く）

1 ディスプレイ部の電源スイッチを押し、電源を入れる

- POWER/TIMER（電源 / タイマー）ランプが緑色に点灯します。

2 チューナー部の電源スイッチを押し、電源を入れる

3 リモコンの電源ボタンで電源を入／切する

電源 を押す

- ディスプレイ部のリモコン受光部（⇒ **29** ページ）に向けて、リモコンの電源ボタンを押します。

◆ 重　要 ◆

- 電源プラグを抜くときは、⇒ **283** ページの手順に従ってください。

◇おしらせ◇

- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）
- ディスプレイ部の電源を入れ、ディスプレイ部とチューナー部が無線接続されると、チューナー部が待機状態から動作状態（POWER/REC TIMER（電源 / 録画予約）ランプが緑色点灯）になります。
- チューナー部が電源オフ状態（POWER/REC TIMER（電源 / 録画予約）ランプが消灯）の場合は、ディスプレイ部との無線接続ができません。この場合は、チューナー部の電源スイッチを押し、電源を入れてください。

録画予約設定時や録画中はチューナー部の電源スイッチで電源オフにしないでください

- 録画予約の待機中や録画実行中にチューナー部の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。

  チューナー部の電源をオフにすると…
  - 録画予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

ディスプレイ部を充電する

- 本機のディスプレイ部は、AC アダプターと電源コードを接続して、内蔵のバッテリーに充電できます。
- ディスプレイ部を充電しておくと、ディスプレイ部に電源コードを接続しなくても視聴を楽しめます。
- ディスプレイ部の充電状態は、充電中ランプとバッテリー残量表示（⇒ **32** ページ）確認できます。

- お買い上げ後に初めて本機をお使いになるときは、ディスプレイ部を充電してください。

充電時間と使用時間について

- ディスプレイ部のバッテリーを満充電すると、約 2 時間程度の視聴ができます。

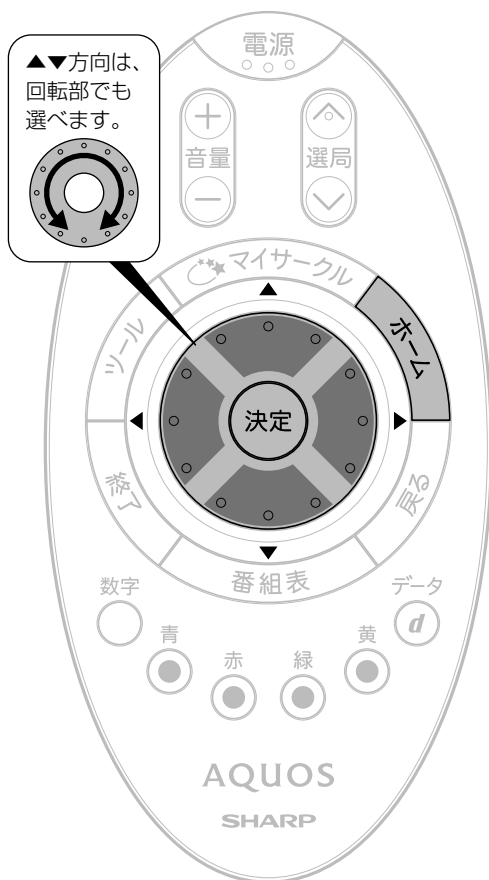
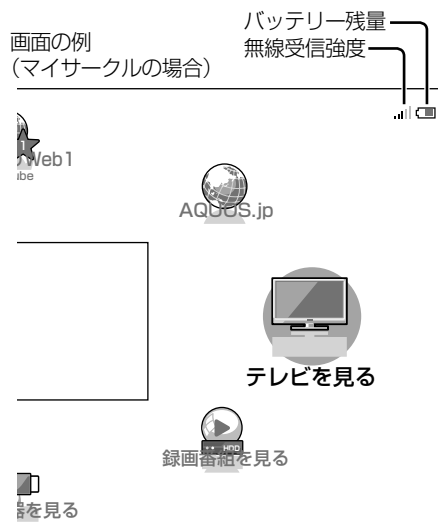
充電時間		
	ディスプレイ部の電源をオフにしている場合	約 5 時間
	テレビをご覧になりながら充電する場合	約 12 時間
視聴時間		
バッテリー動作時設定	モード 1	約 2 時間
	モード 2	約 2 時間 45 分
	モード 3	約 1 時間 30 分

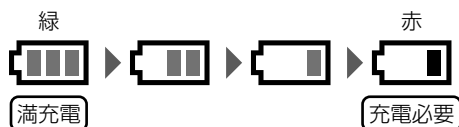
- 上記の時間は、バッテリーの状態、周囲の温度、使用条件によって変わります。

◇おしらせ◇

- バッテリーの状態や周囲の温度や使用条件により、本機の充電時間と使用時間は変わります。
- バッテリー動作時は、電源コードをつないでいるときよりも、画面が少し暗くなります。これは、バッテリーの電力消費を抑えるためです。「バッテリー動作時設定」（⇒ **95** ページ）を「モード 3」に設定すると、バッテリーの電力消費が多くなりますが、映像が明るいまま視聴できるようになります。
- バッテリーには寿命があります。寿命により、正常に充電したバッテリーでも使用時間が短くなります。「内蔵バッテリーの上手な使いかた」（⇒ **25** ページ）、「ディスプレイ部のバッテリーを長くお使いいただくには」（⇒ **95** ページ）をご覧になりお使いください。

バッテリー残量と無線受信強度について

- バッテリー残量と無線受信強度は、マイサークル（⇒ **36** ページ）やホームメニュー（⇒ **42** ページ）を表示して、画面右上のアイコンで確認できます。

バッテリー残量について

- バッテリー残量は、４段階で表示されます。

バッテリー残量表示が赤になったら、バッテリーの残量がわずかです。視聴を続ける場合は、ディスプレイ部に電源コードを接続してください。

◇おしらせ◇

- ディスプレイ部のバッテリー残量がほぼ空になると、自動で電源がオフになります。この状態では、リモコンの電源ボタンやディスプレイ部の電源スイッチでは電源が入りません。また、おはようタイマーや視聴予約が動作しません。再び電源を入れる場合は、電源コードを接続し、しばらく（30 秒程度）待ってから電源を入れてください。
- ディスプレイ部に電源コードを接続している状態で「バッテリー充電設定」（⇒ **95** ページ）が「しない」になっているときや、バッテリーが満充電のときは、バッテリー残量が画面に表示されません。

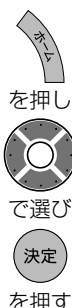
バッテリーの電力消費を抑えたい場合は

- 「バッテリー動作時設定」（⇒ **95** ページ）を「モード２」に設定すると、バッテリー動作時の映像が少し暗くなりますが、バッテリーの電力消費をさらに抑えられます。

画面にバッテリー残量のアイコンを表示する／表示しない

- 画面右上に、ディスプレイ部のバッテリー残量をアイコンで表示できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ

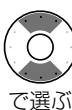
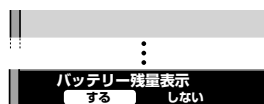
を押し
で選び
を押す

選びかたは、42 ～ 47 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「バッテリー残量表示」を選ぶ

で選ぶ

3 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

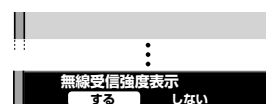
無線受信強度について

- 無線受信強度は、５段階で表示されます。

画面に無線受信強度表示のアイコンを表示する／表示しない

- 画面右上に、無線受信強度をアイコンで表示できます。

1 左記の手順１を行う

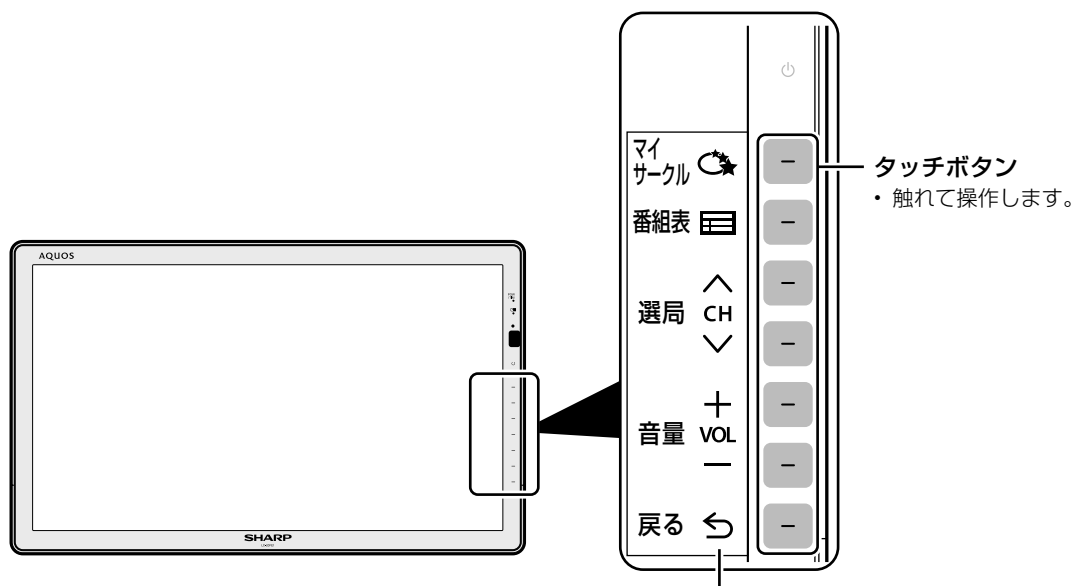
2 「無線受信強度表示」を選ぶ

で選ぶ

3 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

ディスプレイ部のタッチボタンの使いかた

・リモコンを使った操作のように、ディスプレイ部のタッチボタンを使って、本機を操作できます。

タッチボタンの基本的な操作のしかた

1 本機の使用中に、ディスプレイ部のタッチボタンのいずれかを押す

・タッチボタンの左側にガイド表示が出ます。
・ガイド表示は、本機の状態により異なります。
・ガイド表示を消したいときは「戻る ⮌」のタッチボタンを約3秒以上長押しします。

2 操作したい機能に対応したタッチボタンを押す

◇おしらせ◇
・ガイド表示は、表示後タッチボタンを押さずに約60秒経過すると消えます。

ガイド表示の文字表示／非表示を選ぶときは

・ホームメニューを表示して、「設定」－「機能切換」－「画面表示設定」－「タッチボタンガイド表示」で「する」または「しない」を選びます。

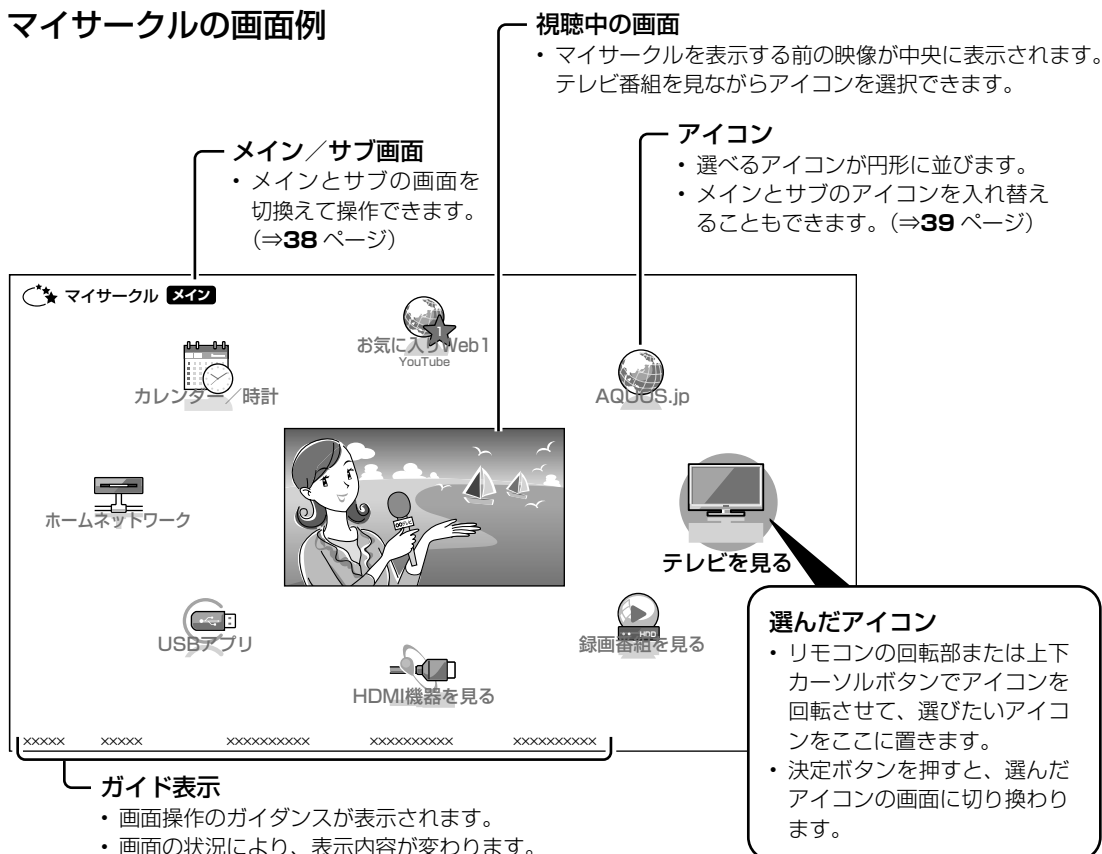
ガイド表示のアイコン一覧

ガイド表示	内容
マイサークル	• マイサークルを表示／消去します。
番組表	• 番組表を表示します。
選局 CH	• 番組を選局（順／逆）します。
音量 VOL + −	• 音量（＋／−）を変えます。
戻る	• 前の画面に戻ります。 • リモコンの戻るボタンと同じ動作です。 • 約３秒以上長押しで、ガイド表示が消えます。
選択 △▽◁▷	• 上下左右に選択します。 • リモコンのカーソルボタン（上／下／左／右）と同じ動作です。
選択 △▽	• 上下に選択します。 • リモコンのカーソルボタン（上／下）と同じ動作です。 • 音楽ファイルを選択（前／次）します。
選択 ◁▷	• 左右に選択します。 • リモコンのカーソルボタン（左／右）と同じ動作です。USB アプリやホームネットワークで表示する写真を、選択（戻し／送り）します。

ガイド表示	内容
決定 ○	• 決定します。 • リモコンの決定ボタンと同じ動作です。
放送切換	• 地上デジタル／ BS デジタル／ CS デジタル放送に切り換えます。
再生 ▶	• 動画や音楽を再生します。
一時停止	• 再生を一時停止します。
停止 ■	• 再生を停止します。
頭出し	• 動画の頭出しをします。
メイン	• マイサークルのメイン画面を表示します。
サブ	• マイサークルのサブ画面を表示します。
アイコン入替	• マイサークルのアイコンを入れ替えます。
選択	• マイサークルでアイコンを選択（反時計回り／時計回り）します。
ガイド表示	• カレンダー／時計のガイド（操作のしかた）を表示します。
ガイドなし	• カレンダー／時計のガイドを消去します。
レイアウト	• カレンダー／時計のレイアウトを変更する画面を表示します。

マイサークルの使いかた

- マイサークルは、テレビ番組だけではなく、USB ハードディスクに録画している番組やインターネットなど、見たいと思った映像を「楽しく」選べるメニュー画面です。
- マイサークルに、よく見るインターネットのページを登録することもできます。

マイサークルの画面例

マイサークルのメイン画面で選べるアイコン（工場出荷時）

アイコン	説明
テレビを見る	テレビ番組を見るときに選びます。 ⇒ **48** ページ
録画番組を見る	USB ハードディスクに録画した番組を再生するときに選びます。 ⇒ **131** ページ
HDMI機器を見る	レコーダーやパソコンなど、ディスプレイ部の HDMI 入力端子につないだ機器の映像を見るときに選びます。⇒ **152** ページ
USBアプリ	USB メモリーの写真を見る／音楽を聴くときに選びます。 ⇒ **213** ページ

アイコン	説明
ホームネットワーク	ホームネットワークの映像・写真を見る／音楽を聴くときに選びます。 ⇒ **200**、**207**、**210** ページ
カレンダー／時計	カレンダー・時計を表示するときに選びます。 ⇒ **97** ページ
お気に入りWeb 1 YouTube	インターネットのお気に入りページを登録できます。工場出荷時は、「YouTube」が登録されています。 ⇒ **181** ページ
AQUOS.jp	インターネットのページ「AQUOS.jp」を表示するときに選びます。 ⇒ **173** ページ

サブ画面で選べるアイコンについて

- メイン画面を表示して、リモコンの緑ボタンを押すと、サブ画面が表示されます。
- 工場出荷時は、インターネットのお気に入り（登録済）のサービスが表示されます。

お気に入りWeb2
Yahoo! JAPAN

お気に入りWeb3
アクトビラ

お気に入りWeb4
T's TV レンタルビデオ

お気に入りWeb5
ひかりTV（体験）

お気に入りWeb6
TSUTAYA TV

お気に入りWeb7
カタログ パラリー

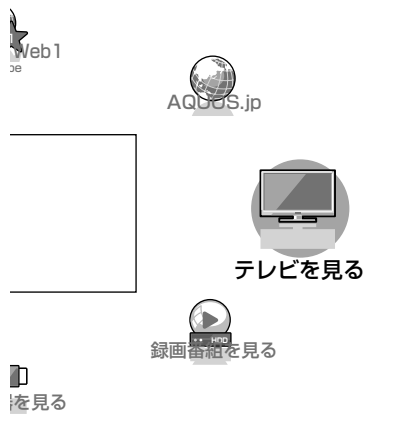
お気に入りWeb8
Shufoo!（しゅふー）

お気に入りWeb9
my Picturetown on TV

マイサークルの基本的な操作のしかた

アイコンを選ぶ

1 マイサークルを表示する

を押す

- メイン画面が表示されます。

- サブ画面を表示したいときは、を押します、

2 見たいアイコンを選ぶ

- 回転部を回すと、回した方向にアイコンが回ります。

- 上下カーソルボタンでもアイコンを選べます。

または
で選ぶ

3 決定する

- 選んだアイコンの画面が表示されます。

を押す

メイン画面とサブ画面のアイコンを入れ替える

1 マイサークルのサブ画面を表示する

を押し 緑 を押す

2 メイン画面に入れ替えたいアイコンを選ぶ

または
で選ぶ

3 黄ボタンを押す

黄 を押す

- 手順 **2** で選んだアイコンが画面中央に移動します。
- メイン画面が表示されます。

4 サブ画面に入れ替えたいアイコンを選ぶ

または
で選び
を押す

- アイコンが入れ替わります。

アイコンの配置を工場出荷時の状態に戻したいときは

- マイサークルを表示させて赤ボタンを押します。
- マイサークルメニューから「アイコン配置初期化」を選び、決定ボタンを押します。

マイサークルの背景色を変える

1 マイサークルを表示する

を押す

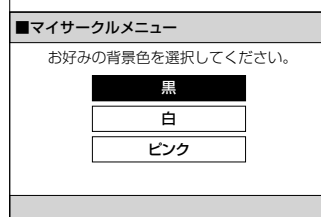
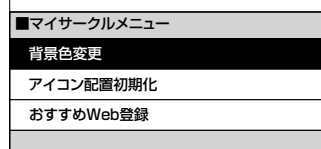
2 マイサークルメニューを表示して、「背景色変更」を選ぶ

赤 を押し で選び 決定 を押す

■マイサークルメニュー
背景色変更
アイコン配置初期化
おすすめWeb登録

3 「黒」「白」「ピンク」のいずれかを選ぶ

で選ぶ

■マイサークルメニュー
お好みの背景色を選択してください。
黒
白
ピンク

- マイサークルの背景色が、選んだ色に変わります。

4 決定する

を押す

- 操作を終了する場合は、赤ボタンを押します。

はじめにお読みください
電源を入れる／基本の使いかた
テレビを見る／便利な使いかた
USBハードディスクをつないで録る・見る
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

お気に入り Web1 ～ 9 の リンク先を変える

- マイサークルの「お気に入り Web」アイコンは、ホームページのリンク先を変更できます。
- お好みのホームページや、AQUOS おすすめのホームページを「お気に入り Web」アイコンに登録できます。

◇**おしらせ**◇

- ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されないことや、お気に入り Web に登録できないことがあります。

お好みのホームページに変える

- 「お気に入り Web」アイコンのホームページのリンク先を、お好みのリンク先に変更できます。

1 **インターネットの画面を表示して、お好みのホームページを表示する**

- 詳しくは⇒ **172** ～ **176** ページをご覧ください。

2 **登録したいホームページを表示したまま、マイサークルを表示する**

マイサークル を押す

3 **青ボタンを押す**

青

を押す

4 **リンク先を変更したいアイコンを選ぶ**

で選び

を押す

5 **タイトル名を確認する**

タイトル名を変えない場合

- ⇒手順 **8** へ進みます。

タイトル名を変える場合

- ⇒手順 **6** へ進みます。

6 **「タイトル変更」を選ぶ**

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

で選び

を押す

7 **ソフトウェアキーボードでタイトル名を入力する**

- ソフトウェアキーボードについては⇒ **102** ページをご覧ください。
- タイトルの文字数は、全角 10 文字（英数字で 20 文字）まで入力できます。
- タイトル名の入力が完了したら、手順 **8** へ進みます

8 **「そのまま登録」を選ぶ**

- 「お気に入り Web」アイコンのリンク先が変わります。

で選び

を押す

AQUOS おすすめのホームページに変える

- 本機がおすすめする、楽しく役立つホームページの中から選んで、リンク先を変更できます。

1 マイサークルを表示する

マイサークル を押す

2 マイサークルメニューを表示して、「おすすめWeb登録」を選ぶ

赤

を押し

で選び

決定 を押す

■マイサークルメニュー
背景色変更
アイコン配置初期化
おすすめWeb登録

3 リンク先を変更したい「お気に入りWeb」アイコンの名前を選ぶ

で選び

を押す

4 おすすめWebリストから登録したいリンク先を選ぶ

で選び

を押す

5 タイトル名を確認する

タイトル名を変えない場合

- ⇒手順 **8** へ進みます。

タイトル名を変える場合

- ⇒手順 **6** へ進みます。

6 「タイトル変更」を選ぶ

で選び

を押す

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

7 ソフトウェアキーボードでタイトル名を入力する

- ソフトウェアキーボードについては⇒ **102** ページをご覧ください。
- タイトルの文字数は、全角 10 文字（英数字で 20 文字）まで入力できます。
- タイトル名の入力が完了したら、手順 **8** へ進みます

8 「そのまま登録」を選ぶ

で選び

を押す

- 「お気に入り Web」アイコンのリンク先が変わります。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例

ホームメニュー項目

ガイド表示
- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

機能選択メニュー項目
（ホームメニュー項目により、表示されない場合もあります。）
- アイコンを選びます。
- 選んだ機能選択メニュー名が表示されます。

テレビ　ツール　リンク操作　リンク予約　番組表予約　チャンネル　設定　ホーム

項目選択 決定 実行 戻る 前画面

視聴準備

かんたん初期設定
テレビ放送設定
通信(インターネット)設定
USB-HDD設定
起動設定 [通常]
各種設定
Language(言語) [日本語]
個人情報初期化

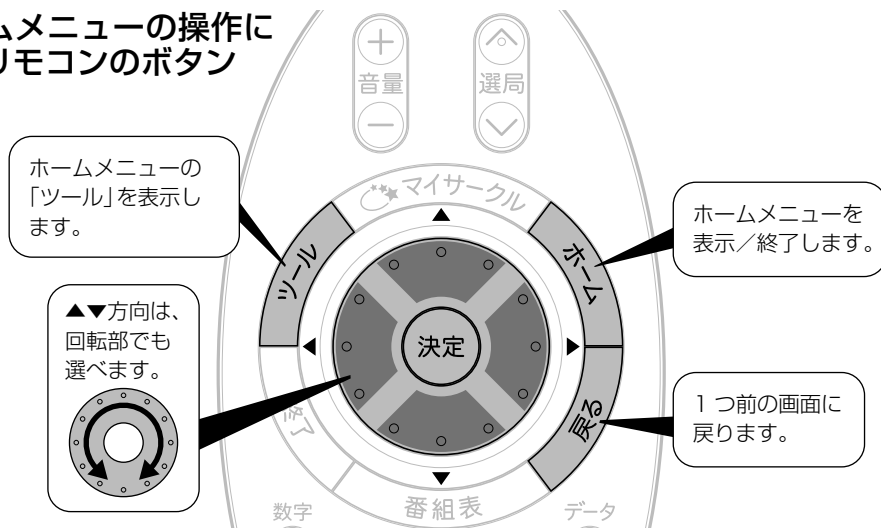
ジャーナルニュース
視聴者が選ぶ「日本のリゾート　ベスト 10」の見どころを徹底紹介！

5/10 [火] 午前 11:00

番組タイトルと番組情報
- 視聴中の番組タイトルが表示されます。
- 視聴中の番組情報が、テロップとして流れます。

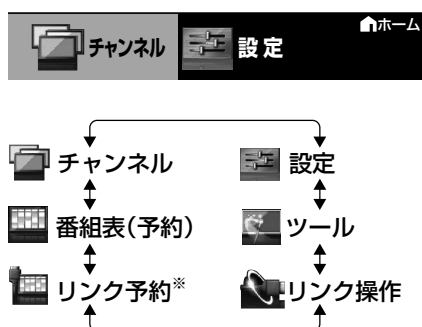
視聴中の画面
- ホームメニューを呼び出すと、視聴中の画面は縮小表示されます。

機能別選択・設定項目
- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

ホームメニューの操作に使うリモコンのボタン

ホームメニューの基本的な操作のしかた

1 ホームメニューを表示する

を押す

2 ホームメニュー項目を選ぶ

で選び　を押す

※ レコーダーがファミリンク接続されていないときは表示されません。

- ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。
- リモコンのツールボタンを押して、直接「ツール」を表示することもできます。

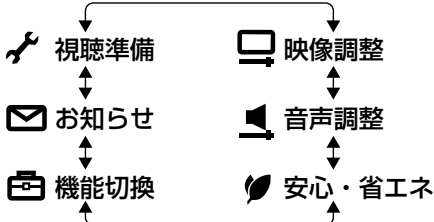
3 機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ

で選ぶ

例：「設定」の場合

4 機能別選択・設定項目を選ぶ

で選び

を押す

- 表示される項目は、状況によって異なります。
- 各項目については、**44 ～ 47** ページをご覧ください。

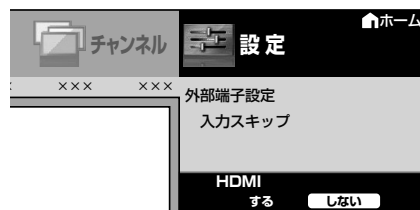
▼「視聴準備」の機能別項目例

5 ガイド表示に従って、操作を進める

で選び

を押す

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

項目選択　決定 実行　戻る 前画面　メニュー 終

▼設定画面の例

ホームメニューの項目一覧
⇒ **44 ～ 47** ページ

ホームメニューの項目一覧

表示内容は、入力や設定の条件によって異なる場合があります。

設定

視聴準備

視聴準備（つづき）

映像調整（⇒ 84 〜 85 ページ）

音声調整（⇒ 86 〜 87 ページ）

オートボリューム	強、中、弱、切
高音	-15 〜 0 〜 +15
低音	-15 〜 0 〜 +15
バランス	左〜中央〜右
サラウンド	自動、入、切
リセット	する、しない

安心・省エネ

照明オフ連動（⇒94 ページ）	照明オフ連動	解除、設定
	電源切（待機状態）移行時間	0 分、15 分、30 分、60 分
	表示設定	アイコン＋文字、文字のみ

バッテリー動作時設定	モード 1、モード 2、モード 3（⇒95 ページ）
バッテリー充電設定	する、しない（⇒95 ページ）
映像オフ	する、しない（⇒53 ページ）
無信号オフ	する、しない（⇒93 ページ）
無操作オフ	30 分、3 時間、しない（⇒93 ページ）

次のページに続く

機能切換

お知らせ

受信機レポート	(⇒**285** ページ)
放送局メッセージ	(⇒**281**、**285** ページ)
ボード(CS デジタル)	CS1、CS2(⇒**285** ページ)
B-CAS カード	実行(⇒**285** ページ)
システム動作テスト	テスト実行(⇒**279** ページ)
ソフトウェアの更新	(⇒**282** ページ)

ツール

ファミリンクパネル	(⇒**117**、**120**、**121**、**132** ～ **135**、**146**、**151** ページ)
ファミリンク操作	(⇒**144**、**149** ページ)
タイマー機能	→ お知らせタイマー：00 分 01 秒～ 99 分 59 秒(⇒**77** ページ) おはようタイマー：⇒**46** ページの一覧 おやすみタイマー：⇒**46** ページの一覧 オフタイマー：⇒**46** ページの一覧
AV ポジション(画質切換)	⇒**45** ページの一覧
消音	(⇒**48**、**188** ページ)
番組情報	(⇒**53** ページ)
VOD 操作	(⇒**193**、**197** ページ)
USB-HDD 設定	⇒**45** ページの一覧
3 桁入力	(⇒**50** ページ)
映像切換	(⇒**70** ページ)
字幕操作	(⇒**70** ページ)
音声切換	(⇒**70** ページ)
画面表示	モード 1(チャンネルサインと時計／アイコンの双方を表示)、モード 2(時計／アイコンのみ表示)、モード 3(表示しない)(⇒**54** ページ)
常連番組	(⇒**69** ページ)
画面サイズ	(⇒**79**、**155** ページ)
AQUOS インフォメーション	(⇒**51** ページ)
お知らせ(受信機レポート)	(⇒**285** ページ)
バッテリー充電設定	(⇒**95** ページ)
チューナー無線接続設定	⇒**45** ページの一覧

リンク操作

レコーダー電源入／切	(⇒**145** ページ)
ファミリンクパネル	(⇒**117**、**120**、**121**、**132** ～ **135**、**146**、**151** ページ)
録画リストから再生	(⇒**151** ページ)
スタートメニュー表示	(⇒**147** ページ)
機器のメディア切換	(⇒**148** ページ)
リンク予約(録画予約)	(⇒**149** ページ)
ファミリンク機器リスト	(⇒**150** ページ)
ファミリンク設定	→ ファミリンク制御(連動)：する、しない(⇒**145** ページ) 連動起動設定：する、しない(⇒**143** ページ) 録画機器選択：USB-HDD、HDMI(⇒**144** ページ) 選局キー：自動、する、しない(⇒**144** ページ)

リンク予約

レコーダーの番組表を表示	(⇒**149** ページ)

番組表（予約）

チャンネル（⇒ 50 ページ）

工場出荷時のデジタルチャンネル一覧（2011 年 3 月現在）

	地上デジタル放送		BS デジタル放送				110 度 CS デジタル放送
	テレビ チャンネル名	3 桁の チャンネル 番号	テレビ チャンネル名	3 桁の チャンネル 番号	データ チャンネル名	3 桁の チャンネル 番号	テレビ 3 桁のチャンネル番号
1	NHK 総合・東京	011	NHK BS1	101	―	―	100
2	NHK 教育・東京	021			ウェザーニュース	910	001 ※
3	―	―	NHK BS プレミアム	103	―	―	―
4	日本テレビ	041	BS 日テレ	141	―	―	―
5	テレビ朝日	051	BS 朝日 1	151	―	―	―
6	TBS	061	BS-TBS	161	―	―	―
7	テレビ東京	071	BS ジャパン	171	―	―	―
8	フジテレビジョン	081	BS フジ・181	181	―	―	―
9	東京 MX テレビ	091	WOWOW	191	―	―	―
10	―	―	スターチャンネル	200	―	―	―
11	―	―	BS 11	211	―	―	―
12	放送大学	121	TwellV	222	―	―	―

※ 2011 年 3 月現在は、放送されていません。

◇**おしらせ**◇

• チャンネル一覧は変更されることがあります。

番組を選ぶ（基本的な選びかた）

テレビの画面を表示する

1

を押す

本機の電源を入れる

- 電源の入れかたについては
  ⇒ **30** ページをご覧ください。

2

を押し

または

で選び

を押す

テレビの画面が表示されない場合は、マイサークルを表示して、「テレビを見る」を選ぶ

- マイサークルの使いかたについては⇒ **36** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴できません。

ビーキャス
B-CASカード
⇒**224**ページ

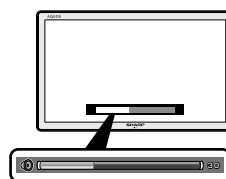
チャンネルの選局と音量の調整について

チャンネルの選局について

を押す

チャンネルを選局する

- チャンネルを順／逆に切り換えます。

- 地上デジタル放送は、選局順が設定できます。（⇒ **56** ページ）
- チャンネルの切り換え時に動きの効果をつけることができます。（⇒ **56** ページ）

音量の調整について

を押す

音量を調整する

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

音を消したいときは

- ツールメニューから「消音」を選ぶと、一時的に音を消せます。（⇒ **47** ページ）

◇**おしらせ**◇

- テレビ画面や HDMI 入力など、入力ごとに別々の音量に設定できます。

番組選局画面を使って選局する

• リモコンの回転部の操作で心地よく選局できます。

番組選局の画面例

チャンネル
• 選べるチャンネルが並びます。

選んだ放送の種類
• リモコンの左右カーソルボタンで放送の種類を選びます。

番組選局

CS ◂ 地上D ▸ BS

NHK総合・東京

7	071	テレビ東京 Newsランチタイム…
9	091	TOKYO MX TOKYO見どころガ…
12	121	放送大学 液晶テレビのしくみ（…
1	011	NHK総合・東京 くらしの知恵袋
2	021	NHK教育・東京 お昼の料理 台所でこ…
4	041	日本テレビ おもいっきり BAN…
6	061	TBS 美しき毎日

×××××× ×××××××××× ××××

選んだチャンネル
• リモコンの回転部または上下カーソルボタンでチャンネルを回転させて、選びたいチャンネルをここに置きます。
• 決定ボタンを押すと、選んだチャンネルの画面に切り換わります。

視聴中の画面
• 番組選局画面を表示する前の映像が表示されます。テレビ番組を見ながら選局できます。

ガイド表示
• 画面操作のガイダンスが表示されます。
• 画面の状況により、表示内容が変わります。

1 テレビの画面の表示中に回転部を回して、番組選局画面を表示する

を回す

2 見たい放送の種類を選ぶ

で選ぶ

• テレビ放送を見るときは、「地上D（地上デジタル）」「BS」「CS」のいずれかを選びます。
• インターネットのIPTV（ひかりTV）のテレビサービスを見るときは、「IPTV（テレビ）」を選びます。
• IPTVを見るには、IPTV事業者との契約が必要です。

3 チャンネルを選ぶ

または

で選び

を押す

CS ◂ 地上D ▸ BS

7	071	テレビ東京 Newsランチタイム…
9	091	TOKYO MX TOKYO見どころガ…
12	121	放送大学 液晶テレビのしくみ（…
1	011	NHK総合・東京 くらしの知恵袋
2	021	NHK教育・東京 お昼の料理 台所でこ…
4	041	日本テレビ おもいっきり BAN…
6	061	TBS 美しき毎日

◇**おしらせ**◇

番組選局画面の色を変えるには
• 番組選局画面の表示中に赤ボタンを押すごとに、黒系→白系→ピンク系に画面の色が変えられます。

ホームメニューから番組を選ぶ

• ホームメニューの番組一覧を表示して、番組名を確認しながら選局できます。

1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

ホームを押し
で選び
決定を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 見たい放送の種類を選ぶ

で選ぶ

地上D　BS　CS

地上デジタル放送
BS デジタル放送
110 度 CS デジタル放送

3 見たい番組を選ぶ

で選び
決定を押す

• 選んだ番組に切り換わります。

• 手順 **3** で決定せずに（青）を押すと、番組情報が表示されます。

3 桁入力で選ぶ

• 3 桁のチャンネル番号（⇒ **47** ページ）を入力しても選局できます。

1 デジタル放送の種類を選ぶ

• 地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送のいずれかを選びます。

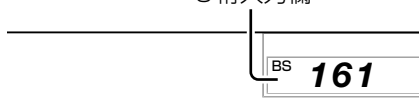
2 ツールメニューを表示して、「3桁入力」を選ぶ

ツールを押し
で選び
決定を押す

3 数字入力パネルで入力する

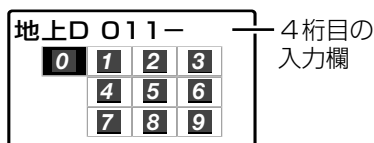
(例)BS デジタル放送の 161 チャンネル(BS-TBS)を入力する

で入力し
決定を押す

3桁入力欄

• 間違った番号を入力した場合は、もう一度手順 **2** から操作します。

◇**おしらせ**◇

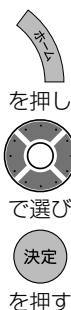
地上デジタル放送の場合は

• 地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4 桁目（枝番）の選択画面が表示されます。回転部またはカーソルボタンで選び、決定ボタンを押して枝番を入力します。

AQUOS インフォメーションを使う

• AQUOS インフォメーションとは、インターネット経由で情報を受信したり、おすすめの番組があるときに番組タイトルの一覧を表示させたりすることのできる機能です。

AQUOS インフォメーションのカテゴリー

項目	内容
インターネット情報	• インターネット経由でいろいろな情報を受信できます。(インターネット⇒ **156** ページ)
おすすめ番組	•「見つかる検索」で検索された、今日または明日放送される番組が表示されます。(見つかる検索⇒ **62** ページ)
常連番組	• 現在放送中の常連番組が表示されます。(常連番組⇒ **68** ページ)
未視聴録画番組	• USB ハードディスクをつないでいるとき、まだ見ていない録画番組があるとお知らせ表示が出ます。(USB ハードディスクへの録画⇒ **108**・**120** ページ)

AQUOS インフォメーションを表示するための設定を行う

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「AQUOSインフォメーション設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 表示させたいカテゴリーを選ぶ

で選び

決定 を押す

インターネット情報
おすすめ番組
常連番組
未視聴録画番組

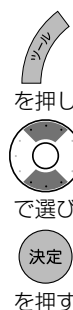
する　しない

3「する」を選ぶ

で選び

を押す

•「インターネット情報」は、「する」を選んだあと、「AQUOS.jp へ」を選び、画面に従って設定してください。
•「おすすめ番組」は、「する」を選んだあと「見つかる検索へ」を選び、画面に従って設定してください。(見つかる検索⇒ **62** ページ)
•「常連番組」「未視聴録画番組」を選んだときは、「する」を選んだあと「戻る」で決定します。
(常連番組⇒ **68** ページ)
(USB ハードディスクへの録画⇒ **108**・**120** ページ)

AQUOS インフォメーションを表示する

1 ツールメニューを表示して、「AQUOSインフォメーション」を選ぶ

を押し

で選び

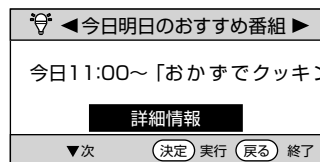
を押す

• AQUOS からのお知らせが表示されます。

(画面例)

2 情報または番組を選ぶ

で選び

を押す

• を押すと、カテゴリーの切り換えができます。(カテゴリーを 1 つしか設定していない場合は切り換わりません。)
• を押すと、情報や番組のタイトルが切り換わります。
• 決定 を押すと情報や番組(または番組情報)が表示されます。

◇**おしらせ**◇

• お知らせの内容によっては、この操作を行わなくても自動的に表示されることがあります。
• 情報が取得できていない場合は、決定ボタンを押しても無効となる場合があります。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。

データ放送画面の基本操作

- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。
- 例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

データ d を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- BS ラジオ放送も、**右記**「独立データ放送の番組から選ぶ」の手順で切り換えられます。2011 年 10 月より BS ラジオ放送が再開される予定です。（2011 年 3 月現在）

独立データ放送の番組から選ぶ

1 BSデジタル放送を選ぶ

- BS デジタル放送の選びかたについては⇒ **49**、**50** ページをご覧ください。

2 ホームメニューを表示して、「設定」−「（機能切換）」−「視聴操作」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「テレビ／データ／ポータル」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- 放送の種類をデータ放送に切り換えます。

テレビ／データ／ポータル

4 天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

を押す

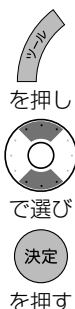
番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

1 ツールメニューを表示して、「番組情報」を選ぶ

ツール を押し

で選び

決定 を押す

番組情報の画面例

■番組内容
大好評の「知りたい!あなたの一曲」。今回はなんと3時間の拡大版でお送りします。全国の視聴者による電話リクエストで1位から20位に輝いた名曲の数々を、歌手の皆さんが曲にちなんだ各地の名所にお邪魔して歌ってしまおうという、ゴージャスにしてユニークな企画です。あの歌を歌うのは誰?あ

北は阿寒湖、南は石垣島まで。歌手の皆さんが歌の心を求めて旅します。素晴らしい景色と温かな人情でいっぱいの「名曲リクエスト20」をどうぞお楽しみに!

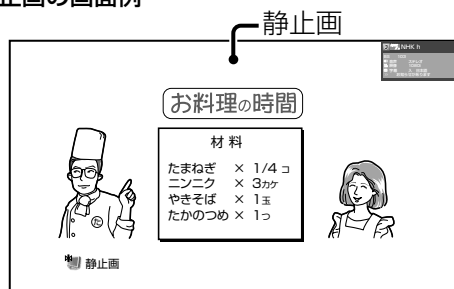
他にも情報がある場合に表示されます。

- 番組情報の右側に◀▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。
- 「ツール」を選ぶか、または終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

画面を静止させる

- いま見ている放送や映像を静止できます。料理番組のメモをとるなどに便利です。

静止画の画面例

静止画

- 視聴中にホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「静止」を選んで、映像を静止させます。

次の場合は、静止画が解除されます。

- 録画予約が実行されたとき
- 選局や入力切換の操作をしたとき
- ホーム（メニュー）／ツール／マイサークルボタンを押したとき
- 映像を静止してから 30 分経過したとき
- 番組選局画面を表示したとき

静止画表示中は、次のことができません。

- AV ポジションの切り換え
- 番組表、番組情報の表示

映像を消して音声だけを聞く（映像オフ）

- ホームメニューから「設定」－「(安心·省エネ)」－「映像オフ」で設定します。

項目	内容
する	• 映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	• 映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

◇**おしらせ**◇

- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

- 選局ボタンを押すなど、「音量調整」以外の操作をしてください。

災害発生時に文字情報を表示する

- デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
- ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「文字スーパー表示」で設定します。

項目	内容
する	• デジタル放送で送られてくる文字スーパーを表示します。
しない	• 文字スーパーを表示しません。

※「しない」に設定しても、放送局が強制的に表示する文字スーパーがあります。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

番組名を表示する

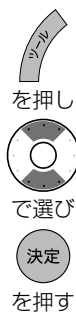
- 選局したときに、番組名を表示するように設定することができます。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「番組名表示」で設定します。

項目	内容
する	• 選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。選局したチャンネルで次の番組が2分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
しない	• 何も表示しません。

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

- 放送の種類やチャンネルはテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 ツールメニューを表示して、「画面表示」を選ぶ

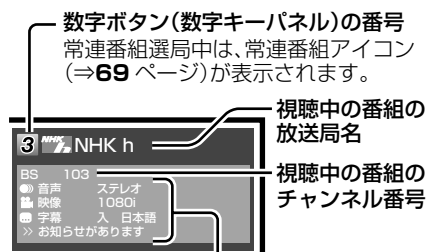
を押す

2 「モード1」を選ぶ

- チャンネルサインが表示されます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

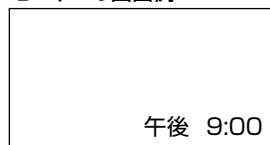
数字ボタン(数字キーパネル)の番号
常連番組選局中は､常連番組アイコン(⇒**69** ページ)が表示されます。

視聴中の番組の放送局名

視聴中の番組のチャンネル番号

その他の情報
他にも情報がある場合に表示されます。
映像の種類と画質について(⇒**296** ページ)

- AQUOS インフォメーション設定を「する」に設定している場合は、同時に画面右下に AQUOS インフォメーションが表示されます。(⇒ **51** ページ)

- 「画面表示」で選んだモードにより、以下のように表示が変わります。

モード1の画面例

モード2の画面例

モード3の画面例

- 上記は、「時刻表示」(⇒**次**ページ)を「する」にしている場合です。

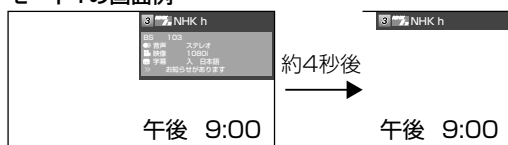
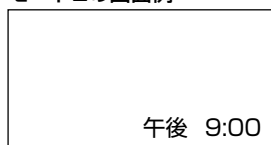
時刻を表示する／時刻表示のタイプを変える

時刻表示のしかたを選ぶ

- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	• 「画面表示」（⇒**前**ページ）の設定が「モード１」、「モード２」のときに、現在時刻を表示します。
する（30分ごと）	• 毎時00分と30分に現在時刻を表示します。
しない	• 表示しません。

- 「する」に設定したときは、ツールメニューの「画面表示」で選んだモードにより表示が変わります。

モード1の画面例

モード2の画面例

モード3の画面例

◇**おしらせ**◇

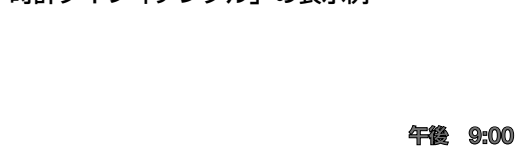
- デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、「時刻設定」を行ってください。（⇒ **72** ページ）

時刻表示のタイプを変える（時計タイプ）

- 時刻表示するときの、時計のタイプを変えられます。
- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時計タイプ」で設定します。

項目	内容
デジタル	• 画面にデジタルタイプの時計が表示されます。
アナログ	• 画面にアナログタイプの時計が表示されます。

時計タイプ「デジタル」の表示例

午後　9:00

時計タイプ「アナログ」の表示例

◇**おしらせ**◇

- 「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、ホームネットワークまたはUSBで視聴しているときは、「デジタル」の時計が表示されます。
- ホームネットワークまたはUSBで視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。

選局ボタンの選局順を変更する（地上デジタル放送のみ）

- 工場出荷時は、3 桁のチャンネル番号順に選局されます。この順番を番組表（⇒ **58** ページ）に表示されている順番に変更することもできます。

1 地上デジタル放送を選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び
を押す

チャンネル設定

4 「地上デジタル」を選ぶ

で選び
決定
を押す

5 「地上デジタルー選局順」を選ぶ

で選び
を押す

6 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び
決定
を押す

設定値	内容
モード 1	• 放送局推奨の番組表並び順で選局できます。
モード 2	• チャンネル番号（3 桁）の順番で選局できます

- 操作を終了する場合はホームボタンを押します。

チャンネルの切り換え時に動きの効果をつける

- チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくよう設定できます。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「選局効果」で設定します。

項目	内容
する	• 選局効果を設定します。
しない	• 選局効果を設定しません。

「する」に設定したときの画面の切り換わりかた

- 選局ボタンで選局したときは、画面の上または下から次のチャンネルに変わります。
- 3桁入力（⇒ **50** ページ）などその他の手順で選局したときは、画面の外周または中央から次のチャンネルに切り換わります。

ディスプレイ部の電源スイッチ設定をする

- ディスプレイ部の電源スイッチを切ったとき、電源オフになるか待機状態になるかの設定ができます。
- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「電源スイッチ設定」で設定します。

項目	内容
モード 1	• ディスプレイ部の電源スイッチを切っても、視聴予約やおはようタイマーは動作します。 • リモコンの電源ボタンで電源を切った場合も同様です。
モード 2	• ディスプレイ部の電源スイッチを切ると、電源がオフになり、視聴予約やおはようタイマーが中止されます。

- お買い上げ時は、「モード 1」に設定されています。
- チューナー部の電源スイッチを切ったときは、電源スイッチ設定に関らず、チューナー部の電源が切れます。
- チューナー部が電源オフになると、録画予約や実行中の録画が中止されます。待機状態では、録画予約や実行中の録画は実行されます。

◆ 重 要 ◆

- 録画予約の待機中や録画実行中に、チューナー部の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。

  チューナー部の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

◇おしらせ◇

- リモコンの電源ボタンで電源を切ったときは、電源スイッチ設定に関わらず待機状態になり、視聴予約やおはようタイマーは継続されます。
- 電源オフや待機状態などを確認したい場合、POWER/TIMER（電源 / タイマー）ランプ（⇒ **30** ページ）をご覧ください。

番組表の使いかた

IPTV の番組表について
- ⇒ **191** ページをご覧ください。

- テレビ画面にデジタル放送の番組表を表示して、その中から番組を選べます。

番組表の画面例

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル
	おすすめ
	スポーツ
	ドラマ
	バラエティ
	アニメ／特撮
	劇場／公演
	福祉
	ニュース／報道
	情報／ワイドショー
	音楽
	映画
	ドキュメンタリー／教養
	趣味／教育

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	USB-HDD録画予約している番組
	有料放送
	デジタルコピーが禁止されている番組
	デジタルコピーが制限されている番組

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………3 時間または 6 時間（文字サイズの設定によって変わります。⇒ **89** ページ）

◇**おしらせ**◇

本書に記載の番組表の画面例について
- 本書では、おもに地上デジタル放送の番組表の画面例で記載しています。
- 本書に記載の番組表は、画面に情報を多く表示できるように設定したものを例にしています。「文字サイズ設定」（⇒ **89** ページ）を「標準」に、「サブチャンネル設定」（⇒ **67** ページ）を「しない」に設定すると、画面に情報を多く表示できるようになります。

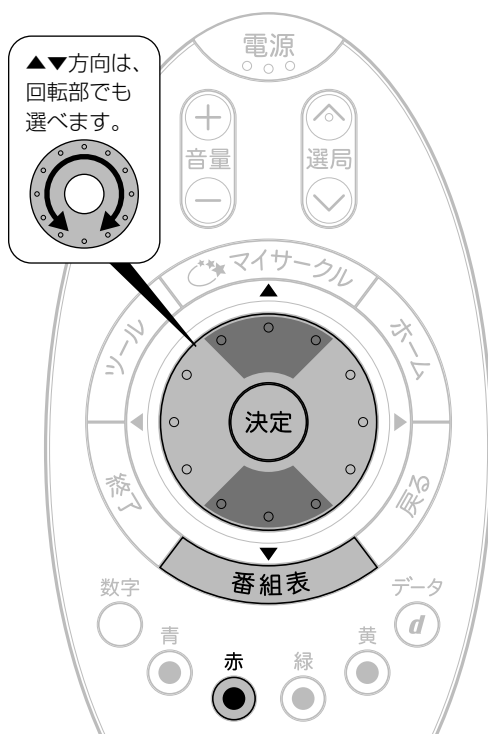
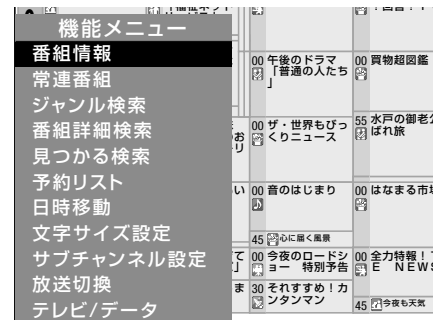
デジタル放送の番組表の更新について
- 番組表は、チャンネルを選んだ状態で青ボタンを押すと更新できます。ただし、地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルを個別に更新する必要があります。
- 番組表を更新しているときは、一時的に音声が停止します。
- 検索画面を表示したり、番組表の表示を終了したときは、番組表の更新は停止します。
- 地上デジタル放送の番組表は、「番組表取得」の設定で、電源待機中に自動で取得することもできます。（⇒ **66** ページ）

番組表の機能メニューについて

- 番組表の文字を大きくしたり、見たい番組の検索、放送の切り換えなどが、番組表の「機能メニュー」で行えます。
- 各機能の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

番組表の機能メニューからできること

機能	説明
番組情報	• 番組内容の紹介を番組表に表示できます。 ⇒ **61** ページ
常連番組	• 番組表に、いつも見ている番組を１つのチャンネルのように表示して選局できます。 ⇒ **68** ページ
ジャンル検索	• ジャンルで番組を検索できます。 ⇒ **63** ページ
番組詳細検索	• 特徴やキーワードで番組を検索できます。 ⇒ **64**・**65** ページ
見つかる検索	• 特徴・ジャンル・キーワードを組み合わせた詳しい条件で、番組を検索できます。 ⇒ **62** ～ **63** ページ
予約リスト	• 録画予約や視聴予約の予約リスト（予約の一覧）を表示できます。 ⇒ **126** ページ
日時移動	• 番組表で表示する日時を素早く選べます。 ⇒ **61** ページ
文字サイズ設定	• 番組表の文字の大きさを変えられます。 ⇒ **89** ページ
サブチャンネル設定	• 番組表にサブチャンネルを表示する／表示しないの設定ができます。 ⇒ **67** ページ
放送切換	• 番組表の、地上デジタル放送／BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送を切り換えます。
テレビ / データ	• 番組表の、テレビ放送／データ放送を切り換えます。

機能メニューの使いかた

1 番組表を表示する

番組表 を押す

2 赤ボタン（機能メニュー）を押す

赤 を押す

3 使いたい機能を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 画面に従って操作する

番組表で番組を選ぶ

• 番組表を表示して、選局してみましょう。

◇ **おしらせ** ◇

回転部を速く回すと時間帯をとばして選ぶことができます。(タイムスキップ機能)

• 回転部を回す速さに応じて、番組表の縦方向 (時間軸) のスクロールが速くなります。

タイムスキップ中の画面例

放送中の他の番組（裏番組）を調べることができます。

• 操作のしかたは、「ホームメニューから番組を選ぶ」(⇒ **50** ページ）をご覧ください。

1 番組表を表示する

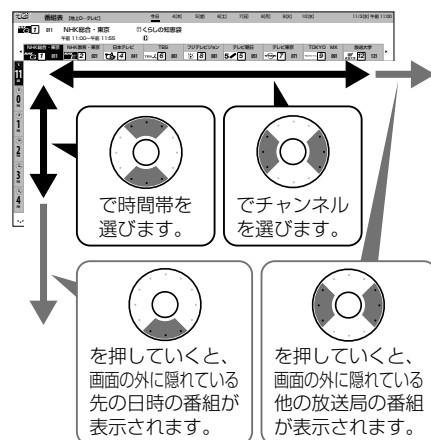
番組表 を押す

• 機能メニュー（⇒ **59** ページ）の「放送切換」や「テレビ／データ」で、放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。

番組表の画面例
（放送局名の表示は変更になることがあります。）

番組表にサブチャンネルを表示させることができます。（⇒ **67** ページ）

2 見たい番組を選ぶ

で選ぶ

• 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

番組内容が表示されていないチャンネルがあるときは

• 左右カーソルボタンで番組内容が表示されていないチャンネルを選び、青ボタンを押してください。音声が一時的に停止し、番組表が更新されます。

3 決定する

決定 を押す

• 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
• 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、USB ハードディスクへの録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。（予約については⇒ **122** ページをご覧ください。）

• 番組表を閉じるときは、 を押して閉じます。

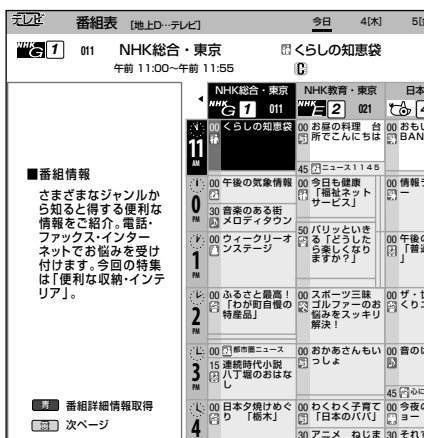
番組内容の紹介（番組情報）を見る

1 番組表で内容を確認したい番組を選び、機能メニューを表示する

番組表を押し で選び 赤 を押す

2 「番組情報」を選ぶ

で選び

決定を押す

3 番組情報を見る

- 番組情報案内に従って、カラーボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

- ホームボタンを押してホームメニューを表示させると、画面下部に視聴中の番組情報が表示されます。

番組情報を更新するときは

- 左右カーソルボタンでチャンネルを選び、青ボタンを押します。音声が一時的に停止し、番組情報が更新されます。（番組情報が取得できないときは「番組詳細情報取得中」がしばらく表示されます。）

日時で番組を探す

1 番組表を表示して、機能メニューを表示する

番組表を押し 赤 を押す

2 「日時移動」を選ぶ

で選び

決定を押す

3 時間帯を選ぶ

で選び 決定を押す

- 緑ボタンを押すと、翌週の番組表に切り換えられます。
- 黄ボタンを押すと、翌日の番組表に切り換えられます。

4 見たい番組を選ぶ

で選び

決定を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、USB ハードディスクへの録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。（予約については⇒ **122** ページをご覧ください。）

ジャンルとキーワードを組み合わせて番組を探す（見つかる検索）

- 番組の特徴・ジャンル・キーワードを組み合わせて、より詳細な条件に当てはまる番組を検索できます。
- 見つかる検索を初めてお使いになるときは、まず検索条件設定をする必要があります。検索条件は、変更できます。

検索条件を設定する

1 番組表を表示して、機能メニューを表示する

番組表 を押し 赤

を押す

2 「見つかる検索」を選ぶ

で選び

を押す

3 「（未設定）」を選ぶ

◀ 今日 ▶

（未設定）
（未設定）
（未設定）
すべての条件

で選び 赤

を押す

4 検索条件を設定する

- 「特徴検索」または「組み合わせ」を選び、検索条件を設定します。
- 「特徴検索」を選んだときは、あらかじめ用意された特徴の中から検索条件を選び、設定します。（設定後、手順 **6** へ進む）
- 「組み合わせ」を選んだときは、ジャンル、キーワード（文字入力 ⇒ **102** ページ）、番組記号を組み合わせて、検索条件を設定します。（設定後、手順 **5** へ進む）

で選び 決定 を押す

5 「次へ」を選ぶ

で選び

を押す

検索条件を選んで変更するときは

- 手順 **3** の画面で変更したい検索条件を選び、赤ボタンを押します。次に、「変更する」を選んで決定します。

検索条件を選んで消去するときは

- 手順 **3** の画面で消去したい検索条件を選び、赤ボタンを押します。次に、「消去する」を選んで決定します。

6 手順4で設定した検索条件により見つかった番組を、番組表の中で強調したり、自動通知したりするかを設定する

- 通知対象と曜日とチャンネルを指定して、設定します。

で選び

を押す

7 「設定終了」を選ぶ

で選び

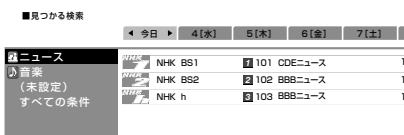
を押す

◇**おしらせ**◇

- 番組開始前や本機の電源を入れたときに、視聴している画面内にAQUOSからのお知らせとして表示されます。（自動通知）
- 「起動設定」（⇒ **69** ページ）を「常連番組」に設定して本機の電源を入れたときや、録画中のときは、自動通知が表示されない場合があります。

検索条件を指定して検索する

1 前ページの手順1〜手順2を行う

2 検索条件を選ぶ

（で選ぶ）

- 上下カーソルボタンで検索条件を、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。

■見つかる検索
◀ 今日 ▶ 4[水] 5[木] 6[金] 7[土]
ニュース / 音楽 / （未設定） / すべての条件
NHK BS1 1 101 CDEニュース
NHK BS2 2 102 BBBニュース
NHK h 3 103 BBBニュース

3 決定する

（を押す）

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

4 番組を選ぶ

（で選び 決定 を押す）

■見つかる検索
◀ 今日 ▶ 4[水] 5[木] 6[金] 7[土]
ニュース / 音楽 / （未設定） / すべての条件
NHK BS1 1 101 CDEニュース
NHK BS2 2 102 BBBニュース
NHK h 3 103 BBBニュース

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、USB ハードディスクへの録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。
- 番組表 で検索を終了します。

ジャンルから番組を探す

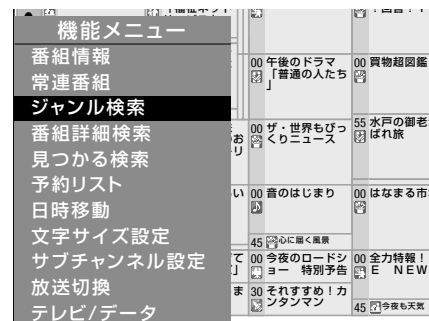
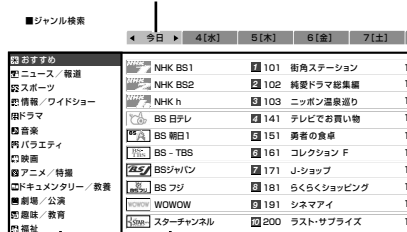
1 番組表を表示して、機能メニューを表示する

（番組表 を押し 赤 を押す）

2 「ジャンル検索」を選ぶ

（で選び 決定 を押す）

3 見たいジャンルと日にちを選ぶ

（で選ぶ）

ジャンル検索の画面例

- 上下カーソルボタンでジャンルを、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。
- 「おすすめ」を選ぶと、過去の視聴履歴をもとにあなたへのおすすめ番組を検索します。

4 決定する

（を押す）

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

5 番組を選ぶ

（で選び 決定 を押す）

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、USB ハードディスクへの録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。
- 番組表 で検索を終了します。

検索条件を指定して番組を探す（特徴検索）

- 検索条件を選択し、その条件に当てはまる番組を検索できます。
- 特徴検索を初めてお使いになるときは、まず検索条件設定をする必要があります。
- 検索条件設定で検索条件を変えられます。

検索条件を設定する

1 番組表を表示して、機能メニューを表示する

を押し 赤 を押す

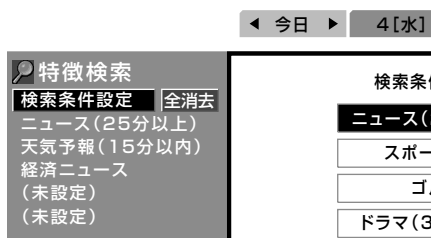
2 「番組詳細検索」を選ぶ

で選び

を押す

3 「検索条件設定」を選ぶ

で選び

を押す

4 検索条件を選ぶ

- 5 つまで選べます。5 つを超えた場合、古いものから削除されます。

で選び 決定 を押す

検索条件を選んで変更するときは

- 手順 **3** の画面で変更したい検索条件を選び、赤ボタンを押します。次に、「変更する」を選んで決定します。

検索条件を選んで消去するときは

- 手順 **3** の画面で消去したい検索条件を選び、赤ボタンを押します。次に、「消去する」を選んで決定します。

検索条件をすべて消去するときは

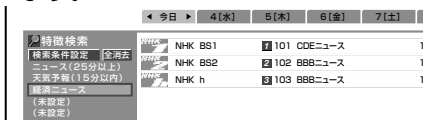
- 手順 **3** の画面で「全消去」を選び、決定します。次に、「する」を選んで決定します。

検索条件を指定して検索する

1 左記の手順**1**～手順**2**を行う

2 検索条件と日にちを選ぶ

- 上下カーソルボタンで検索条件を、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。

で選ぶ

3 決定する

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

を押す

4 番組を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、USB ハードディスクへの録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。
- 番組表 で検索を終了します。

キーワードで番組を探す（キーワード検索）

- キーワードを入力し、キーワードを含む番組を検索できます。
- キーワード検索を初めてお使いになるときは、まずキーワード設定をする必要があります。
- キーワード設定でキーワードを変えられます。

キーワードを設定する

1 番組表を表示して、機能メニューを表示する

番組表 を押し 赤

を押す

2 「番組詳細検索」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 「キーワード設定」を選ぶ

キーワード検索
キーワード設定 全消去
車
落語
クイズ
犬
海

で選び 決定 を押す

4 キーワードを入力する

- ソフトウェアキーボード（⇒ **102** ページ）を使って、キーワードを入力します。入力が終わったら黄ボタンを押します。
- 全角 20 文字まで入力できます。（半角文字は入力できません。）
- 5 つまで追加できます。5つを超えた場合、古いものから削除されます。

キーワードを選んで変更するときは

- 手順 **3** の画面で変更したいキーワードを選び、赤ボタンを押します。次に、「変更する」を選んで決定します。

キーワードを選んで消去するときは

- 手順 **3** の画面で消去したいキーワードを選び、赤ボタンを押します。次に、「消去する」を選んで決定します。

キーワードをすべて消去するときは

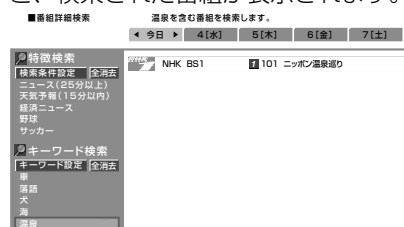
- 手順 **3** の画面で「全消去」を選び、決定します。次に、「する」を選んで決定します。

キーワードを指定して検索する

1 左記の手順1～手順2を行う

2 キーワードと日にちを選ぶ

で選ぶ

- 上下カーソルボタンでキーワードを、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。

3 決定する

決定 を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

4 番組を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、USB ハードディスクへの録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。
- 番組表 で検索を終了します。

キーワード検索で、ひらがなとカタカナの区別をしたくないときは

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「検索設定」－「しない」を選びます。

地上デジタル放送の番組表をスムーズに表示させる

- 地上デジタル放送の番組表を、電源待機中に自動取得できます。自動取得しておくと、番組表の表示がスムーズになります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「番組表取得」を選ぶ

で選び

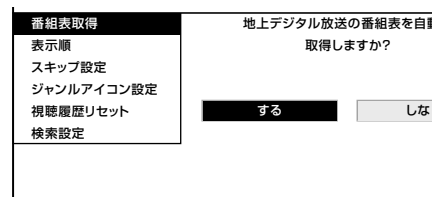
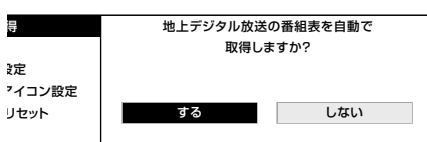
を押す

番組表取得
表示順
スキップ設定
ジャンルアイコン設定
視聴履歴リセット
検索設定
地上デジタル放送の番組表を自動
取得しますか?
する
しな

3 「する」を選ぶ

で選び

決定

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

番組表取得を「する」に設定した場合は
- チューナー部の電源スイッチで電源を切ったときは、自動取得できません。

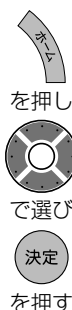
番組表のジャンルアイコンの色を変える

- 番組表のジャンルを示すアイコン（⇒ **58** ページ）の色をお好みにより選択できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

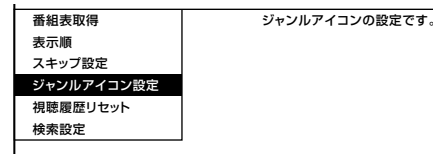
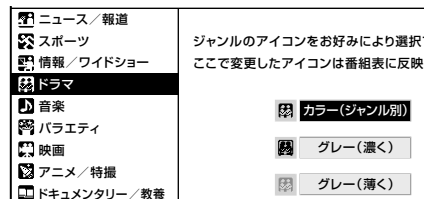
2 「ジャンルアイコン設定」を選ぶ

で選び

を押す

3 ジャンル名を選ぶ

で選び

を押す

4 「カラー(ジャンル別)」「グレー(濃く)」「グレー(薄く)」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

サブチャンネルを表示させる／サブチャンネルを表示させない

- 1 つのチャンネルで 2 ～ 3 番組が同時に放送される場合、番組表にサブチャンネルを表示させることができます。

1 番組表 を押し 赤 を押す

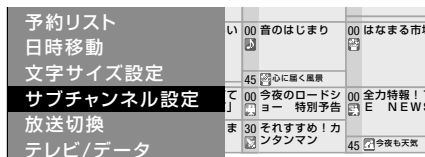
番組表を表示して、機能メニューを表示する

2

で選び

決定 を押す

①「サブチャンネル設定」を選ぶ

予約リスト
日時移動
文字サイズ設定
サブチャンネル設定
放送切換
テレビ/データ

②「する」を選ぶ

- サブチャンネルを表示させたくない場合は、「しない」を選びます。

◇おしらせ◇

- 番組表の「文字サイズ設定」(⇒ **89** ページ) を「大きな文字」にしている場合は設定できません。

番組表のチャンネルの並び順を変える

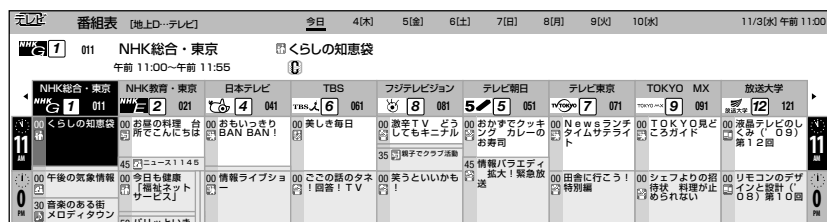
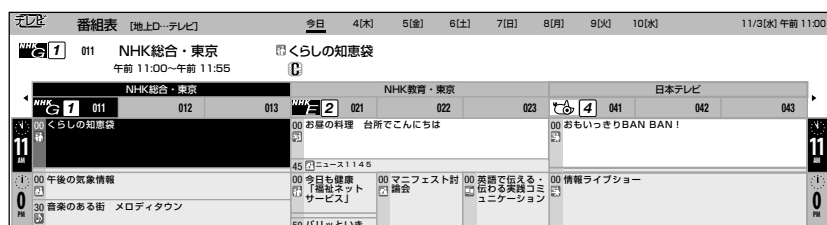
- チャンネルの並び順を変えられます。
- ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」－「表示順」で設定します。

項目	内容
モード 1	• 放送局推奨の並び順で表示します。
モード 2	• チャンネル番号順で表示します。

サブチャンネルを表示しない場合の画面例（多くのチャンネルを表示できます。）

サブチャンネルを表示する場合の画面例

番組表 [地上D…テレビ] 今日 4[木] 5[金] 6[土] 7[日] 8[月] 9[火] 10[水] 11/3[水] 午前 11:00
011 NHK総合・東京 午前 11:00～午前 11:55 くらしの知恵袋
NHK総合・東京 011 012 013 / NHK教育・東京 021 022 023 / 日本テレビ 041 042 043
00 くらしの知恵袋 / 00 お昼の料理 台所でこんにちは / 45 ニュース1145 / 00 おもいっきりBAN BAN！
00 午後の気象情報 / 30 音楽のある街 メロディタウン / 00 今日も健康「福祉ネットサービス」 / 50 バリッといき / 00 マニフェスト討論会 / 00 英語で伝える・伝わる実践コミュニケーション / 00 情報ライブショー

常連番組機能で番組を見る

・ 常連番組機能は、いつも見ている番組が手軽に見られる便利な機能です。本機を使い込むうちに、その曜日時刻にいつも見ている番組をすぐに選局できるようになります。

◆ **重　要** ◆
・ 本機をご購入いただいて初めてお使いになる場合など視聴履歴がないときは、常連番組機能が正しく動作しません。

◇ **おしらせ** ◇
・ 曜日と時間帯ごとによく見ていた番組（ジャンル）が常連番組の候補になります。
・ 常連番組は、その時間帯に放送されている番組の中から選ばれます。

番組表で常連番組を選局する

・ 番組表から、常連番組を選べます。

1 通常の番組表を表示する

を押す

2 機能メニューを表示して、「常連番組」を選ぶ

赤
を押し
で選び
を押す

機能メニュー
- 番組情報
- 常連番組
- ジャンル検索
- 番組詳細検索
- 見つかる検索
- 予約リスト
- 日時移動
- 文字サイズ設定
- サブチャンネル設定
- 放送切換
- テレビ/データ

・ 番組表の中に、一つのチャンネルのように常連番組が表示されます。

3 常連番組の番組欄から、常連番組を選ぶ

で選び
決定
を押す

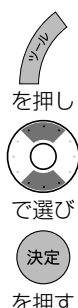
濃い灰色表示は、常連番組としての優先順位が低い番組のため、その放送時間内でも優先順位の高い番組が始まると切り換わります。

・ 放送中の番組を選ぶと、視聴できます。
・ 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、USB ハードディスクへの録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。
・ 通常の番組表に戻りたいときは、青ボタン／戻るボタンのいずれかを押して戻ります。
・ 番組表ボタンまたは終了ボタンを押すと、通常の視聴に戻ります。

ツールメニューで常連番組を選局する

1 ツールメニューを表示して、「常連番組」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

ホーム
ツール
××× ××× ツール
常連番組

- その時刻の常連番組が視聴できます。

常連番組視聴中にチャンネルサインを表示すると、**常連番組アイコン**が表示されます。

◇**おしらせ**◇
- 常連番組の視聴中に番組表を表示すると、常連番組の番組欄を含んだ番組表が表示されます。
- 常連番組の視聴中に「ツール」－「常連番組」を選ぶ操作以外の選局操作をすると、通常の視聴に戻ります。

常連番組の番組情報を見たいときは
- 常連番組の視聴中に「ツール」－「番組情報」を選びます。

本機の電源を入れると常連番組が自動で選局されるように設定する

- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「起動設定」で設定します。

項目	内容
通常	・電源を切った時のチャンネルを表示します。
常連番組	・常連番組を表示します。
カレンダー／時計	・カレンダーや時計を表示します。（⇒ **96** ページ）

◇**おしらせ**◇
- 起動設定を「常連番組」に設定している場合は、本機の電源を入れると、前回電源を切る直前に見ていたチャンネルが映り、その後に常連番組に切り換わります。
- 常連番組に切り換わる前に選局ボタンまたはホームボタンを押すと、常連番組への切り換えは解除されます。
- 起動設定を「常連番組」に設定していても、おはようタイマー、視聴予約、録画予約時は、常連番組に切り換わりません。
- 録画中のときは、起動設定に関わらず、本機の電源を入れると録画しているチャンネルが選局されます。
- 予約の準備中や実行中（⇒ **107**、**122** ～ **123** ページ）は、起動設定の設定内容どおりに動作しない場合があります。
- 電源コードを抜いたときには、視聴履歴の情報が記録されないことがあります。
- より正しく動作させるためには、番組表取得（⇒ **66** ページ）を「する」に設定して、リモコンで電源を切ることをおすすめします。

常連番組の視聴履歴を消したいときは

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「視聴履歴リセット」－「する」を選びます。

音声・映像・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

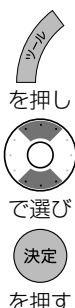
▼テレビ画面のチャンネルサイン

複数の音声を切り換える

を押し

で選び

決定

を押す

ツールメニューを表示して、「音声切換」を選ぶ

- 「音声切換」を選ぶたびに音声が切り換わり、テレビ画面上のチャンネルサインに音声表示が出ます。

マルチ音声番組のとき

→ 音声１ → 音声２～８※ →

※ 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

→ 主 → 副 → 主／副 →

◇**おしらせ**◇

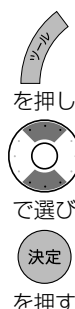
- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声１」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

複数の映像を楽しむ

を押し

で選び

決定

を押す

ツールメニューを表示して、「映像切換」を選ぶ

「映像切換」を選ぶたびに映像※が切り換わり、テレビ画面上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※ 番組によって映像の数は異なります。

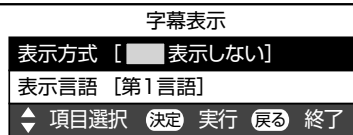
字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

1 ツールメニューを表示して、「字幕操作」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

画面右上に字幕表示メニューが表示されます。

◆字幕の表示方式を変えたいとき

2 「表示方式」を選ぶ

で選び
決定
を押す

字幕表示	
表示方式	[表示しない]
表示言語	[第1言語]
▲▼ 項目選択 決定 実行 戻る 終了	

3 表示させたい字幕の種類を選ぶ

で選び
を押す

◆字幕の表示言語を変えたいとき

2 「表示言語」を選ぶ

で選び
を押す

字幕表示	
表示方式	[表示しない]
表示言語	[第1言語]
▲▼ 項目選択 決定 実行 戻る 終了	

3 表示させたい言語を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 字幕が 1 種類しかない場合は、「第 2 言語」（副）に設定しても「第 1 言語」（主）の字幕が表示されます。

「表示方式」の設定について

- 「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。

工場出荷時の設定

表示しない

- 字幕放送でも、字幕を表示しません。

字幕非表示

字幕表示の種類

オンスクリーン

- 字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

アウトスクリーン字幕上

- 字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側に字幕が表示されます。
- 放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

アウトスクリーン字幕下

- 字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の下側に字幕が表示されます。
- 放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

おはようタイマー・おやすみタイマーで電源を入／切する

時計を合わせる

- 画面に現在の正しい時刻を表示したり、おはようタイマー・おやすみタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。
- デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合には、「時刻設定」で合わせてください。

自動時刻設定機能について

- デジタル放送を受信している場合やインターネットに接続している場合は、自動的に時刻が設定されます。

手動で時刻を設定する

- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

(例) 2011 年 11 月 30 日　午前10時30分に合わせる

1 **上下カーソルボタンで「2011」年に合わせる**

2 **右カーソルボタンを押す**

3 **上下カーソルボタンで「11」月に合わせる**

4 **右カーソルボタンを押す**

5 **同じようにして「日」「時」「分」を合わせる**

6 **決定ボタンを押す**

◇**おしらせ**◇

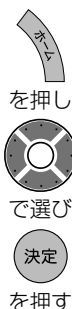
- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は 12 時間表示です。
- 設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日までです。
- 内蔵バッテリーの残量が少ない状態でディスプレイ部の電源プラグをコンセントから抜いたり停電が起きた場合、時刻情報は消去されます。この場合は、時刻設定をやり直してください。

おやすみタイマーの設定項目

項目	内容	
おやすみタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。	
時刻（時）	• タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	• タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。	
モード	**通常**	• 毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット	• 設定時刻の 10 分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	**アイコン＋文字**	• 画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ	• 画面に残り時間を表示します。

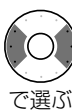
※ 何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「🧰（機能切換）」−「おやすみタイマー」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**42**～**47**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「おやすみタイマー」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

設定に従い自動で電源を切ります。

おやすみタイマー	解除	設定
時刻（時）	午前00	
時刻（分）	00	
モード	サンセット	
表示設定	アイコン+文字	

サンセット：徐々に暗く、音量を小さくし、設定した時間に電源を切ります。

- 「解除」を選ぶと、おやすみタイマー機能が働かなくなります。

3 それぞれの項目を設定する

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

で選ぶ

- それぞれの項目については、「おやすみタイマーの設定項目」（⇒**前**ページ）をご覧ください。

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例（表示設定：「アイコン＋文字」）

おやすみタイマー：残り10分

10分前 ‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐▶ 0分前

通常：→→→→→電源「切」

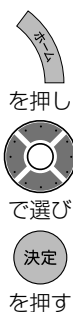
サンセット：→→→→→電源「切」

- 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
- 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとに残り時間が表示されます。

◇おしらせ◇

- 無操作オフや無信号オフ（⇒ **93** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。

目覚ましとして使うなど タイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。（ヘッドホンをつないでいても、ディスプレイ部のスピーカーから音声が出ます。）
- おはようタイマーを設定すると、ディスプレイ部が待機状態のときに、POWER/TIMER（電源 / タイマー）ランプ（⇒ **30** ページ）が橙色に点灯します。
- 異なる設定のタイマーを 7 種類までセットできます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（機能切換）」−「おはようタイマー」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 設定したいタイマーを選ぶ

で選び

を押す

設定した時間に電源を入れます。

	曜日	時刻	入力	ＣＨ	音量	アラーム音	モード
⏰	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	001	30	鳩時計	サンライ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	001	30	電子音	サンライ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	001	30	ベル	サンライ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	001	30	なし	サンライ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	001	30	なし	サンライ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	001	30	なし	サンライ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	001	30	なし	サンライ

3 「おはようタイマー」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

設定した時間に電源を入れます。

［タイマー 1］

おはようタイマー	解除	⏰ 設定
曜日	毎週日曜	
時刻（時）	午前00	
時刻（分）	00	
入力	地上D	
ＣＨ	001 NHK 総合・東京	
音量	20	
アラーム音	なし	
モード	サンライズ	

- 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が働かなくなります。

4 それぞれの項目を設定する

- それぞれの項目については、「おはようタイマーの設定項目」（⇒**次**ページ）をご覧ください。

で選ぶ

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

で選ぶ

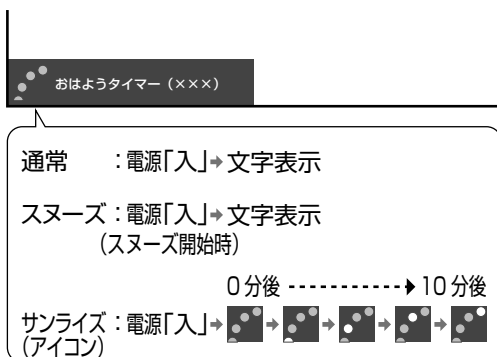
②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 設定したタイマーには、手順 **2** の画面で時計マークが表示されます。

▼ おはようタイマー「サンライズ（アイコン）」の画面例

通常　　：電源「入」→ 文字表示

スヌーズ：電源「入」→ 文字表示（スヌーズ開始時）

0 分後 ------------→ 10 分後

サンライズ（アイコン）：電源「入」→

- モードが「サンライズ（アイコン）」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。モードが「サンライズ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
- モードを「通常」または「スヌーズ」に設定した場合は、メッセージのみが表示されます。

タイマーを設定／解除する

- 左記の手順 **2** の画面で、タイマーの設定／解除を切り換えられます。

1 「タイマー1」～「タイマー7」のいずれかを選ぶ

2 黄ボタンを押す

- 押すたびに、選んだタイマーが「設定」（時計マーク）⇔「解除」（時計マークなし）と切り換わります。
- 設定したタイマーには、左記の手順 **2** の画面で時計マークが表示されます。

おはようタイマーの設定項目

項目	内容
おはようタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。「1 回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。
曜日	• タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週○曜」（○は日から土のいずれか）「1 回だけ」の中から選べます。
時刻（時）	• タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
時刻（分）	• タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
入力	• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、放送の種類（地上Ｄ、ＢＳ、ＣＳ）、HDMI、USB メディアのいずれかを選びます。 •「USB メディア」を選んだときは、USB メモリーの音楽が再生されます。 USB メモリーのいちばん上の階層に「GM」という名称のフォルダを一つだけ作成し、その中に MP3 ファイルを入れておくと、おはようタイマーとして再生できます。再生は、再生リストに表示される順にリピート再生されます。
CH	• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される番組を、左右カーソルボタンで選びます。USB ハードディスクで録画しているときは、録画しているチャンネルでタイマーが起動します。
音量	• タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0 ～ 100 の範囲で選べます。
アラーム音	• タイマーで電源が入ったときに鳴る音声（なし、ベル、電子音、鳩時計）を選びます。 • アラーム音の設定中に青ボタンを押すと、設定した音を試聴できます。 •「ベル」「電子音」「鳩時計」は 5 分間鳴り続けます。途中で何か操作をすると、入力の音声に切り換わります。
モード	**通常** • 設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。
	スヌーズ • いったん電源を切っても、5 分後に再度電源が入るようにします。 • 音量を下げた場合でも、5 分後に元の音量に戻します。 • チャンネルや入力を切り換えても、5 分後に元のチャンネルに戻します。 •「解除」—「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。 •「解除」—「する」を選択しないかぎり、7 回（35 分間）スヌーズ動作を繰り返します。 • スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。 • 決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。 •「電源スイッチ設定」(⇒ **57** ページ) を「モード 2」に設定してディスプレイ部の電源スイッチで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。
	サンライズ / **サンライズ（アイコン）** • 設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10 分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。 •「サンライズ（アイコン）」を選ぶと、画面にアイコンが表示されます。

▼スヌーズ機能動作中の画面表示

現在、スヌーズ動作中です。
解除
「解除」で決定
「しない」を選択
スヌーズを解除しますか？
する
しない
「する」を選択
スヌーズ解除

次のページに続く

◇おしらせ◇

おはようタイマーを「設定」にすると

- 「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）
- 7 種類のタイマーのうち、同じ時刻が設定されている場合は、「曜日」が「1 回だけ」のタイマーが優先されます。次にタイマー番号の小さいものが優先されます。
- 「曜日」が「1 回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1 回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。）

アラーム音について

- 放送波が受信できない状態や、音声のないテレビ放送を視聴している場合、外部入力機器の電源が入っていないなど視聴できる状態でない場合は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても、電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせします。

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- 本機ディスプレイ部を待機状態にした後、外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。
- 「USB メディア」を選んでいても、設定した時刻に USB メモリーが接続されていない場合は、最後に見ていたテレビのチャンネルで電源が入ります。

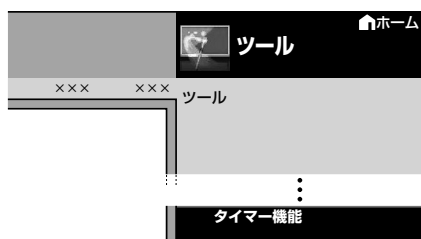
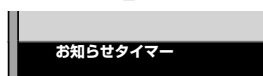
おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ（アイコン）」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。
- サンライズの動作中に操作すると、操作時点での明るさと音量になります。
- 10 分後に画面が最も明るくなりますが、すぐに通常使用状態に戻ります。

お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は

- 「電源スイッチ設定」（⇒ **57** ページ）を「モード 2」に設定してディスプレイ部の電源スイッチで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。

お知らせタイマーとして使う

1 ツールメニューを表示して、「タイマー機能」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

2 「お知らせタイマー」を選ぶ

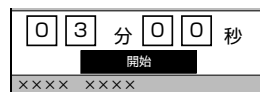
で選び
決定
を押す

3 「分」または「秒」の欄を選び、回転部で時間を入力する

で選び
を押す

・「00 分 01 秒」～「99 分 59 秒」の間で設定できます。（初期値は「03 分 00 秒」です。）

・お知らせタイマーの設定を中止したいときは、戻るボタンを押します。

4 「開始」を選ぶ

で選び
決定
を押す

・カウントダウンが始まります。
・カウントダウンを一時停止するには、「ツール」－「タイマー機能」－「お知らせタイマー」を選び、緑ボタンを押します。
再度緑ボタンを押すと、カウントダウンが再開します。
・カウントダウン実行中にタイマーを止めたいときは、カウントダウン中に「ツール」－「タイマー機能」－「お知らせタイマー」を選び、「解除」を選んで決定します。
・残り時間が「00 分 00 秒」になると電子音が 1 分間鳴り続けます。
・電子音を途中で止めたいときは、リモコンのボタンをいずれか押します。

◇おしらせ◇

・お知らせタイマーが「00 分 00 秒」になったとき、同時に選局操作や視聴予約、録画予約が動作した場合は、電子音が少し遅れて鳴ることがあります。
・消音中や、テレビ放送・外部入力以外を視聴しているときは、残り時間が「00 分 00 秒」になっても、電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。
・放送波が受信できない状態や、音声のないテレビ放送を視聴している場合、外部入力機器の電源が入っていないなど視聴できる状態でない場合は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても、電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせします。

次のようなときは、電子音が止まります。

・リモコンのボタンを押したとき
・視聴予約、録画予約が開始されたとき
・ディスプレイ部の電源を「切」にしたとき

画面のサイズや映像、音声を調整する

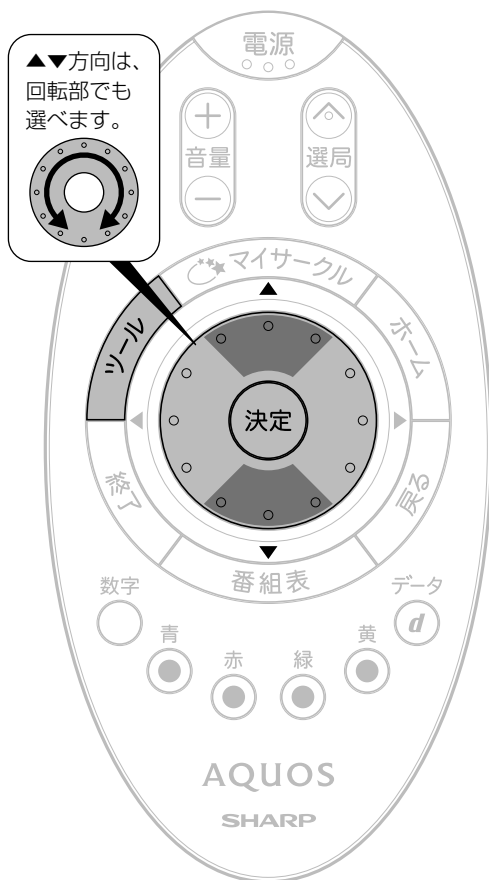
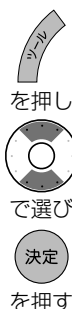
映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは

- 放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。このような黒帯を消したいときは、「画面サイズ」の変更をしてください。映像の左右幅や上下幅を変えることで、黒帯を消すことができます。
- 映像の種類（⇒ **296** ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

画面サイズ切換の設定項目

項目	内容
ノーマル	• 通常のテレビ（4：3 サイズ）の映像をそのまま映します。
シネマ	• シネスコまたは 16：9 サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	• 16：9 から 4：3 に圧縮された映像を元の 16：9 に戻して画面いっぱいに映します。
スマートズーム	• 通常 4：3 映像をより自然に拡大して映します。
ワイド 4：3	• 通常 4：3 映像を画面いっぱいに映します。 • 16：9 映像の場合はこのように映ります。
ワイド 16：9	• 通常 4：3 映像の中央部を左右に拡大して映します。 • 通常 16：9 映像の中央部（4：3）を画面いっぱいに映します。入力信号が 16：9 で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
アンダースキャン 16：9 → 16：9	• 入力信号どおりの映像で映します。

◆ 重　要 ◆

- 元の映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 画面サイズを切り換えるときに画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

1 ツールメニューを表示して、「画面サイズ」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

- 画面サイズ切換メニューが表示されます。
- ホームメニューから「設定」－「 (機能切換)」－「視聴操作」を選び、「画面サイズ」を選んで表示することもできます。

2 お好みの画面サイズを選ぶ

で選び
を押す

- 480i ／ 480p 映像の場合（ビデオ放送など）と、1080i 映像の場合（ハイビジョン）と、1080p ／ 720p 映像の場合（ハイビジョン）で、選べる画面サイズは変わります。

◇おしらせ◇

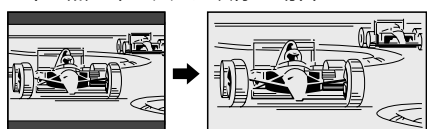
- 字幕表示の「表示方式」（⇒ **71** ページ）を「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」にした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は､「表示方式」を「表示しない」または「オンスクリーン」にする必要があります。
- 1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。
  ハイビジョン放送など、画面サイズ「フル 1」でご覧になっているときに、上部にわずかな黒帯が表示される場合は、「フル 2」でご覧ください。

映像を最適な大きさに自動で切り換える

- オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。（オートワイド機能）
- デジタル放送視聴時は選択できません。

項目	内容
映像判別	• HDMI 入力で入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（⇒ **78** ページ）にします。
HDMI 識別	• HDMI 入力で入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

1 マイサークルを表示して、「HDMI機器を見る」を選ぶ

マイサークル を押し
で選び
決定 を押す

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定を押す

選びかたは、42 ～ 47 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「オートワイド」を選ぶ

で選び

決定を押す

オートワイド

4 設定したい項目を選ぶ

で選ぶ

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び

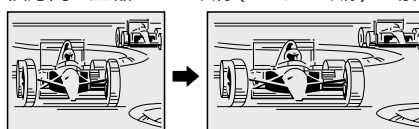
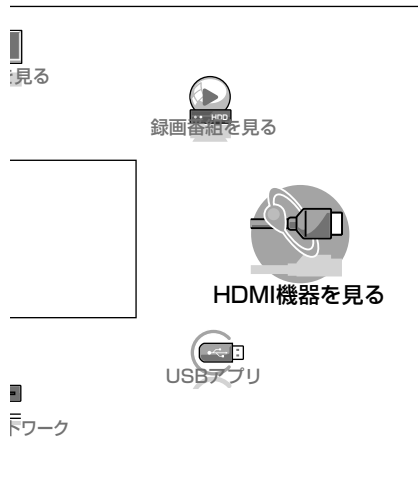
決定を押す

する　：画面サイズを自動で最適化します。

しない：画面サイズの最適化機能は働きません。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「映像判別」は、HDMI 端子から入力された映像が、1080i、720p、1080p の場合は働きません。

画面の大きさが頻繁に切り換わるときは

- ビデオなどの外部機器を再生しているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。（最適な画面サイズを探すために起こる現象です。故障ではありません。）気になる場合は、「オートワイド」の設定を「しない」にしてください。
- デジタル放送を見ているときは設定できません。

1 前ページからの手順1～3を行う

2 設定したい項目を選ぶ

映像判別
する　しない

で選ぶ

3 「しない」を選ぶ

で選び

決定を押す

映画やゲームなどに適した映像・音声にする（AV ポジション）

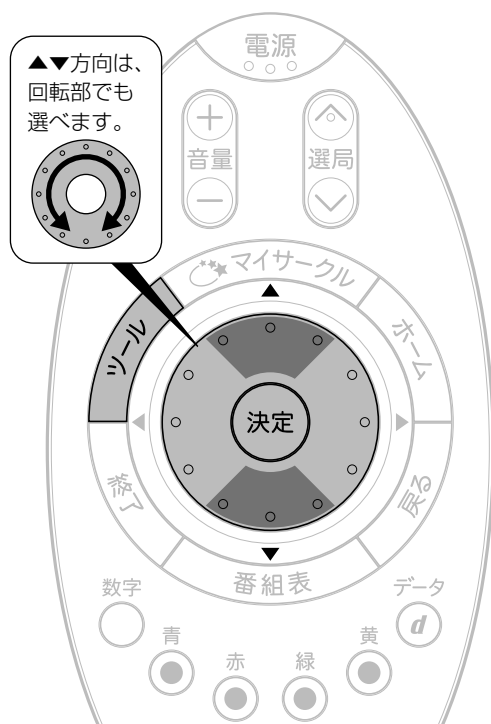
AV ポジションの設定項目

項目	内容
標準	• 映像や音声の設定がすべて標準値になります。（工場出荷時の設定です。）
映画	• コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	• テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 • すばやい反応を要求されるゲームの場合は、このモードでお使いください。
PC ※	• PC 用の画面モードです。
AV メモリー	• 入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
フォト	• 静止画を見やすくします。
ダイナミック	• くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。
ダイナミック（固定）	• くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。 • この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。

※「PC」は HDMI 入力選択時に表示されます。

◇**おしらせ**◇

- AV ポジションの「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、映像調整（⇒ **84** ページ）を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。
  入力切換を行っても、「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- 入力ごとに個別に調整したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- 入力によっては選択できない AV ポジションがあります。
- AV ポジションは入力ごとに選べます。（例えば、テレビは「標準」、HDMI 入力は「ダイナミック」など）
- AV ポジションを「PC」に切り換えるとき、または「PC」から別の AV ポジションに切り換えるときは、一時的に映像が消えます。
- 接続する機器によっては、上の表以外の AV ポジションが表示される場合があります。

AV ポジションを選ぶ

1 ツールメニューを表示して、「AVポジション(画質切換)」を選ぶ

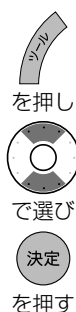
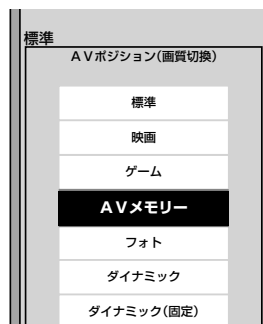
を押し

で選び

を押す

2 お好みの設定を選ぶ

で選び

決定
を押す

HDMI 接続をしたときは

- HDMI ケーブルを使ってディスプレイ部と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的に AV ポジションを切り換えます。(HDMI コンテンツタイプ連動機能)

映像の種別	映像の内容 ⇒「(本機の AV ポジション)」
通常	• 録画したドラマを再生 ⇒「**標準**」に切り換わります。
シネマ	• BD ソフトの映画を再生 ⇒「**映画**」に切り換わります。
フォト	• デジタルカメラから取り込んだ静止画 ⇒「**フォト**」に切り換わります。
グラフィック	• パソコンからの入力 ⇒「**PC**」に切り換わります。
ゲーム	• ゲーム使用中 ⇒「**ゲーム**」に切り換わります。

HDMI コンテンツタイプ連動機能が働かないようにするには

- AV ポジションが頻繁に切り換わって見づらい場合は、「HDMI コンテンツタイプ連動」を「しない」に設定します。
- HDMI 入力の、HDMI コンテンツタイプ連動機能が働かないように設定できます。
  ホームメニューから、「設定」－「機能切換」－「外部端子設定」－「HDMI コンテンツタイプ連動」を選び、「しない」に設定します。

画面の明るさや色を変える（映像調整）

- 映像をより見やすくするために、明るさや色などを調整できます。プロ設定では、より細かな映像調整ができます。
- 映像調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます（「ダイナミック（固定）」以外）。先にＡＶポジション（⇒ **82** ページ）を選んでから映像調整してください。

1 映像調整をしたいAVポジションを選ぶ

AV ポジションの選びかた

- ⇒ **83** ページ
- 下記手順 **2** の画面で「AV ポジション (画質切換)」を選び、設定することもできます。

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
- 「AV メモリー」は、入力ごとの調整となります。
- その他の AV ポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

2 ホームメニューを表示して、「設定」−「(映像調整)」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

4

で選び

決定 を押す

◆「明るさセンサー(OPC)」「プロ設定」以外を設定する場合

①左右カーソルボタンでお好みの設定にする
②操作を終了する場合はホームボタンを押す

決定 を押す

◆「明るさセンサー(OPC)」「プロ設定」を設定する場合

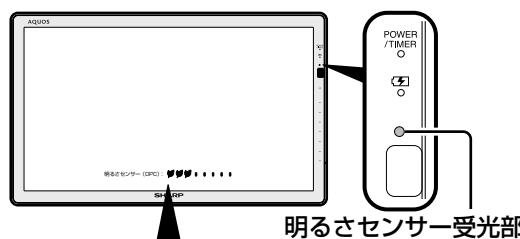
画面の指示に従う

- 画面に従って操作します。

明るさセンサーについて

- 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

明るさセンサーを「入:表示あり」にすると

- 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

- 音量表示中、消音中は表示されません。
- ホームメニュー表示中は表示されない場合があります。

◇おしらせ◇

- AV ポジションが「ダイナミック（固定）」の場合は、明るさセンサーの設定ができません。

AV ポジション	明るさセンサーの設定
標準（工場出荷時の設定）	• 設定可（切、入、入:表示あり）
ダイナミック（固定）	• 設定不可

「映像調整」の設定項目

項目	内容
AV ポジション（画質切換）	• 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。（⇒ **82** ページ）
明るさセンサー（OPC）	• ディスプレイ部を置いている室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。
明るさ	• 画面をお好みの明るさに手動で調整します。
映像	• 映像の強弱を調整します。
黒レベル	• 画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	• 映像の色の濃さを調整します。
色あい	• 色を調整します。
画質	• 画面をお好みの画質に調整します。 • AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。
プロ設定	• 映像をさらにきめ細かく調整します。（⇒**下記**）
リセット	• 映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

プロ設定の項目

項目	内容
カラーマネージメント	• 色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。 **カラーマネージメントの調整項目について**（例：色相の調整の場合）
色温度	• 青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。
アクティブコントラスト	• シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。※2
ガンマ設定	• 映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
デジタル NR	• 録画した番組やビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。※1※2

カラーマネージメントの調整項目（例：色相の調整の場合）

系統色	調整 −30……0……+30	系統色	調整 −30……0……+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⇔ 黄に近づく	C(シアン)	緑に近づく ⇔ 青に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⇔ 緑に近づく	B(青)	シアンに近づく ⇔ マゼンタに近づく
G(緑)	黄に近づく ⇔ シアンに近づく	M(マゼンタ)	青に近づく ⇔ 赤に近づく

※ 1　A V ポジションが「PC」のときは選択できません。
※ 2　• USB メディアのときは選択できません。
　　　• インターネット、ホームネットワークで動画を再生しているときは選択できます。

画面のチラつきやざらつきを抑えてすっきりさせる

• 「プロ設定」の「デジタル NR」を、「オート」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。

音質を調整する（音声調整）

- 選択している AV ポジションの音声を調整できます。
- 普段テレビを視聴しているときの音量にして調整してください。
- ＡＶポジションごとに、音声調整を記憶できます。先にＡＶポジション（⇒ **82** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

項目	内容
オートボリューム	• 自動的に最適な音量に調整する機能です。（調整のしかた⇒ **87** ページ）
高音	• 高音を調整できます。
低音	• 低音を調整できます。
バランス	• 左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
サラウンド	• 内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。
リセット	• 音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

◇**おしらせ**◇

次の場合は音声調整ができません
- AV ポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき
- ヘッドホンを接続しているとき（「ヘッドホン」設定が「モード 2」のときを除く）

「サラウンド」について
- 「自動」に設定すると、サラウンド再生が可能な番組を選局した際、自動でサラウンド再生します。
- ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
- 放送や BD/DVD などのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。

音声調整のしかた

1 普段テレビを視聴しているときの音量にする

を押す

2 音声調整をしたい AVポジションを選ぶ

- 音声調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます。（「ダイナミック（固定）」以外）
- 先にＡＶポジションを選んでから音声調整をします。

AV ポジションの選びかた
- ⇒ **82**、**83** ページ

AV ポジションによる違いについて
- 「ダイナミック（固定）」では、調整できません。

3 ホームメニューを表示して、「設定」－「(音声調整)」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42 ～ 47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
×××　×××
音声調整
オートボリューム　[切]
高音　[0] −15 +15
低音　[0] −15 +15
バランス　[映] 左　右
サラウンド　[自動]

4 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定します。

5

を押し
で選び
決定を押す

◆「オートボリューム」を設定する場合

- 上下カーソルボタンで「強」「中」「弱」「切」のいずれかを選ぶ

◆「サラウンド」を設定する場合

- 上下カーソルボタンで「自動」「入」「切」のいずれかを選ぶ

◆「高音」「低音」「バランス」を設定する場合

で選び
決定を押す

- 左右カーソルボタンでお好みの設定にする

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- サラウンドを「自動」に設定すると、サラウンド再生が可能な番組を選局したときに、自動でサラウンド再生します。

音量を自動で調整する（オートボリューム）

- チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。
- 撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(音声調整)」－「オートボリューム」を選ぶ

を押し
で選び
決定を押す

選びかたは、**42 ～ 47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「強」「中」「弱」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

強　音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。
中　音量変化を中くらいに抑えます。
弱　音量変化をわずかに抑えます。
切　この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンの音声に対しては働きません。
- 放送や BD/DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える

• ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

ヘッドホンを使用しているときの、音の出かた

項目		スピーカー	ヘッドホン
モード 1	スピーカーから音を出さない	× （出力されません）	**見ている画面の音声**
モード 2	スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ	**見ている画面の音声**	**見ている画面の音声**

※「モード 2」ではヘッドホンをつないだときに、「ツール」－「消音」を選んでも、ヘッドホン出力を停止できません。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

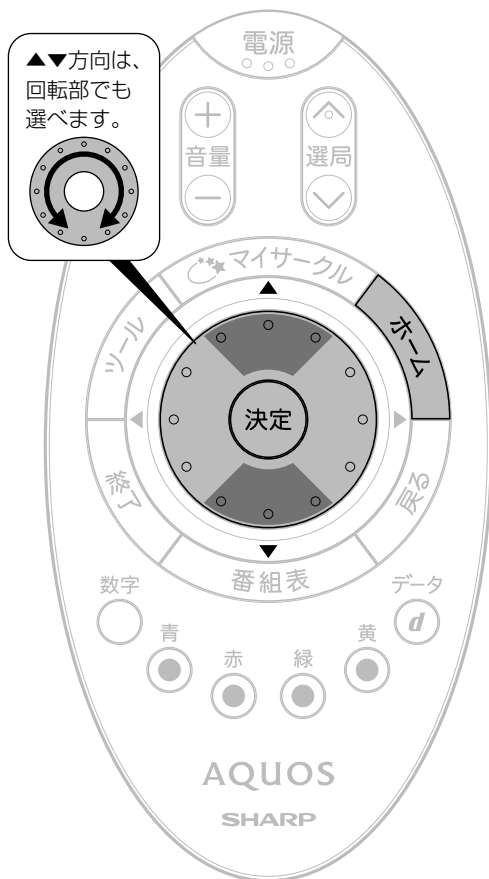
▼ ホームメニューの画面例

2 「ヘッドホン」を選ぶ

で選び
決定 を押す

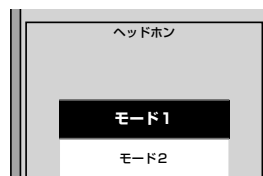
3 「モード1」「モード2」のいずれかを選ぶ

で選び
決定 を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

「モード 2」の音量調整について

• スピーカーの音量調整はリモコンで行います。
• ヘッドホンの音量調整はディスプレイ部の音量（＋／－）ボタン（タッチボタン）で行います。
• 「ツール」－「消音」を選んでも、ヘッドホンの音量は「0」になりません。

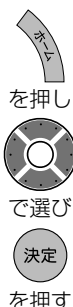
ヘッドホンを使用しないとき

• 設定に関係なくスピーカーから音が出ます。

ホームメニューや番組表の設定を変える

ホームメニューの文字の大きさを変える

・ホームメニューに表示される文字の大きさを変更することができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

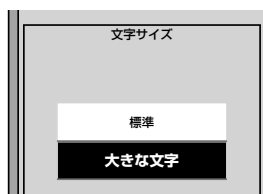
▼ ホームメニューの画面例

2 「文字サイズ」を選ぶ

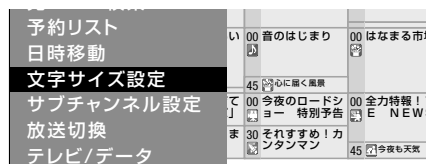
で選び 決定 を押す

文字サイズ [××]

3 「標準」または「大きな文字」を選ぶ

で選び 決定 を押す

・ホームメニュー画面の文字が選んだ文字の大きさで表示されます。
・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

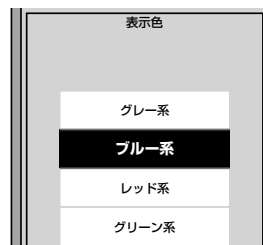
番組表の文字の大きさを変える

・番組表に表示される文字の大きさを変更することができます。
・番組表ボタンを押して番組表を表示して、赤ボタンを押します。機能メニューから「文字サイズ設定」を選び、決定します。

・「標準」または「大きな文字」に設定できます。

◇**おしらせ**◇

・「大きな文字」に設定した場合、「サブチャンネル設定」(⇒ **67** ページ)は「しない」になります。

番組表やホームメニューなどの配色を変える(表示色)

・番組表、裏番組一覧(ホームメニューの「チャンネル」)、番組情報、ホームメニュー画面、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」の４種類から選べます。
・ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「表示色」で設定します。

暗証番号を設定し、視聴を制限する

- 視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

暗証番号設定

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(視聴準備)」–「各種設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

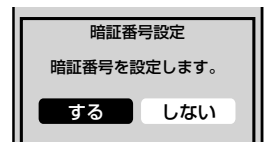
選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

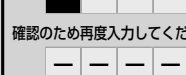
2 「暗証番号設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 暗証番号を設定している状態で、「しない」を選んだ場合、確認の画面が表示されます。確認の画面で「する」を選ぶと、暗証番号が消去され「視聴年齢制限設定」「ネットサービス制限設定」が初期化されます。

4 4桁の暗証番号を入力する

または
で数字を選び
を押す

- **暗証番号は必ずメモしてください。**

- 左ボタンを押すと、1 つ前の欄に戻ることができます。

5 確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

または
で数字を選び
を押す

- 間違った番号を入力した場合は、手順 **4** からやり直してください。

6 「確認」で決定する

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇ **おしらせ** ◇

暗証番号を忘れたときは

- 個人情報の初期化（⇒ **284** ページ）が必要です。個人情報の初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。暗証番号はメモなどをして忘れないようにしてください。

暗証番号を変更するときは

①左記の手順 **1** ～ **2** を行う
- 暗証番号入力画面が表示されます。

②リモコンの回転部とカーソルボタンを使って、暗証番号を入力する
- 暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定をやり直してください。

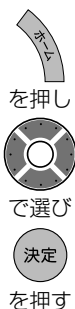
視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。
- この設定には、暗証番号設定（⇒**前**ページ）が必要です。

◇**おしらせ**◇

- IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」を選ぶ

ホーム を押し で選び 決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

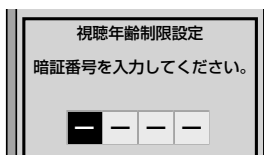
▼ ホームメニューの画面例

2 「視聴年齢制限設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 暗証番号が設定されていない場合は、前ページ手順 **3** の画面が表示されます。画面に従って操作してください。

3 暗証番号を入力する

または
で数字を選び
を押す

4 年齢制限するか、しないかを選ぶ

で選ぶ

◆ 年齢制限する場合

① 左右カーソルボタンで年齢の入力欄を選ぶ
② 手順 **5** に進む

◆ 年齢制限しない場合

① 左右カーソルボタンで「無制限」を選ぶ
② 手順 **6** に進む

5 制限する年齢の上限を入力する

または
で数字を選び
を押す

- 制限しない場合は「無制限」を選び、決定ボタンを押します。

6 決定する

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

省エネの設定をする

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

・テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

1 ツールメニューを表示して、「タイマー機能」を選ぶ

を押して　で選んで　決定を押す

2 「オフタイマー」を選ぶ

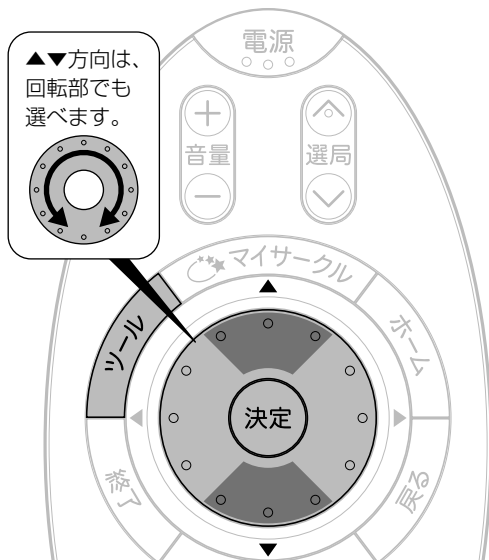
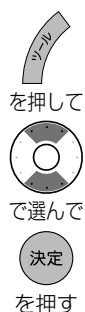
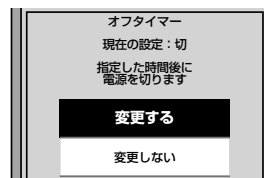
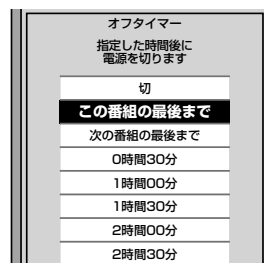
で選び　決定を押す

3 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

4 設定したい時間を選ぶ

で選び　決定を押す

・オフタイマーの残り時間が５分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
・オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

◇**おしらせ**◇

・「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。
・「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。
・番組終了の約２分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。
・番組の終了時刻の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。

オフタイマーの残り時間を確認するには

・オフタイマーがすでに設定されているときは、左記手順 **1** のあと、「オフタイマー」の項目でオフタイマーの残り時間が確認できます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

- 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「無信号オフ」を選ぶ

を押し

で選ぶ

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

チャンネル　設 定　ホーム
安心･省エネ
無信号オフ　する　しない

2 「する」を選ぶ

で選び

を押す

無信号オフ　する　しない

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 電源が切れる 5 分前から画面左下に残り時間が表示されます。

◇**おしらせ**◇

無信号オフ機能について

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

- 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「無操作オフ」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「30分」または「3時間」を選ぶ

で選び

を押す

無操作オフ
30分
3時間
しない

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

無操作オフ機能について

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。

部屋の照明を消したときに本機の電源も切る（照明オフ連動）

※「照明オフ連動」が働きはじめたあとでリモコン操作を行うと、画面の明るさと音量が元に戻ります。
※「照明オフ連動」が働きはじめたあとで部屋が明るくなった場合は、「照明オフ連動」が解除されます。

項目	内容	
照明オフ連動	・照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。	
電源切（待機状態）移行時間	0 分	・ディスプレイ部を置いている部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、すぐに本機の電源を「切」にします。
	15 分※	・ディスプレイ部を置いている部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、15 分後に本機の電源を「切」にします。
	30 分※	・ディスプレイ部を置いている部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、30 分後に本機の電源を「切」にします。
	60 分※	・ディスプレイ部を置いている部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、60 分後に本機の電源を「切」にします。
表示設定	**アイコン＋文字**	・画面にアイコンとメッセージを表示します。
	文字のみ	・画面に文字を表示します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「照明オフ連動」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

チャンネル　設定　ホーム
×××　×××
安心･省エネ
証明オフ連動　[解除]

2 「照明オフ連動」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

周囲が暗くなってから、設定した時間後に電源を切ります。

照明オフ連動	解除	設定
電源切（待機状態）移行時間	0分	
表示設定	アイコン+文字	

0分　：周囲が暗くなってから、すぐに電源を切ります。

3 それぞれの項目を設定する

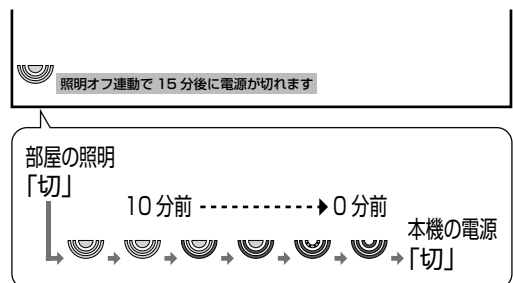
① 上下カーソルボタンで項目を選ぶ

で選ぶ

② 左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

で選ぶ

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ 照明オフ連動の画面例
（表示設定：アイコン＋文字）

・表示設定が「アイコン＋文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
・表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
・電源を切る 10 分前から、残り時間が表示されます。

◇**おしらせ**◇

・ディスプレイ部の明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。
・ディスプレイ部を置いている部屋が暗い状態で本機の電源を入れた場合は、照明オフ連動が働かないことがあります。（この機能は、ある程度の暗さに変わったときに働きます。）
・テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。

ディスプレイ部のバッテリー動作時の設定を変える

- 本機のディスプレイ部は、バッテリー動作時に画面の明るさが少し暗くなります。これは、バッテリーの消費電力を抑えるためです。（工場出荷時の設定）
- バッテリー動作時の画面の明るさは、「バッテリー動作時設定」で変えられます。

項目	内容
モード 1	• 映像の明るさを抑え、バッテリーでの視聴時間を長くします。
モード 2	• 映像の明るさをモード 1 より抑え、バッテリーでの視聴時間をより長くします。
モード 3	• 電源コード接続時と同じ明るさになります。バッテリーでの視聴時間はモード 1 より短くなります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(安心・省エネ)」−「バッテリー動作時設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「モード1」「モード2」「モード3」のいずれかを選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

で選び

を押す

ディスプレイ部のバッテリーを長くお使いいただくには

- ディスプレイ部に電源コードをつないで視聴しているときは、バッテリーを空にした状態で充電しないように設定すると、バッテリーの劣化を抑え、バッテリーを長持ちさせることができます。

項目	内容
する	• ディスプレイ部に電源コードをつないでいる場合に、バッテリーが満充電になるまで充電します。
しない	• ディスプレイ部に電源コードをつないでいても、充電しません。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(安心・省エネ)」を選ぶ

を押し

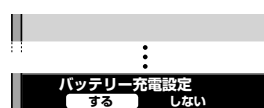
で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「バッテリー充電設定」を選ぶ

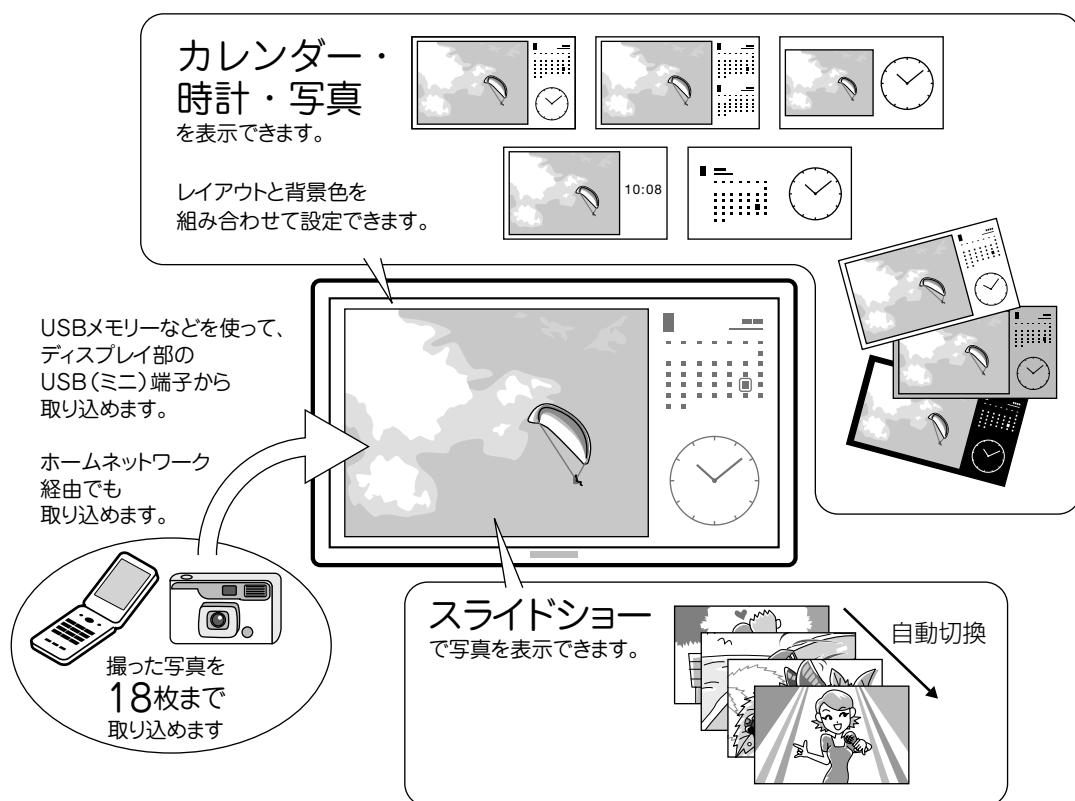
で選ぶ

3 「する」または「しない」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

で選び

を押す

カレンダーや時計を表示する

- 本機は、カレンダー・時計・お気に入りの写真などを一緒に表示して、デジタルフォトフレームのように楽しめます。
- カレンダー・時計・写真の組み合わせは、5 パターンあります。背景の色は 3 色から選べます。
- 写真は、デジタルカメラで撮影したものなどを USB メモリーやホームネットワークから 18 枚まで取り込んで、スライドショー形式で表示できます。

カレンダー・時計・写真を表示する

1 マイサークルを表示して、「カレンダー／時計」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

・カレンダー／時計の画面が表示されます。

・カレンダー／時計の表示中にカラーボタンを押して、以下の設定が行えます。

青	**ガイダンス表示／非表示** ・カレンダー／時計画面の下部に操作説明を表示／非表示できます。
赤	**写真設定（⇒ 98 ページ）** ・スライドショーの間隔や効果の設定ができます。 ・再生する写真を選べます。 ・取り込んだ写真を削除できます。
緑	**レイアウト変更（⇒右記）** ・カレンダー／時計のレイアウトを選べます。

・表示する写真を選び直したいときは、「写真の設定をする」（⇒ **98** ページ）をご覧ください。

本機の電源を入れるとカレンダー／時計が自動で表示されるように設定する

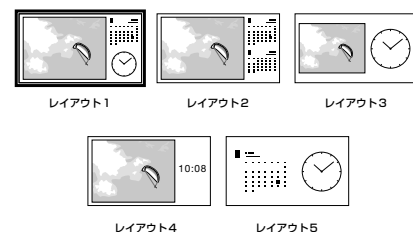
・「起動設定」（⇒ **69** ページ）で設定します。

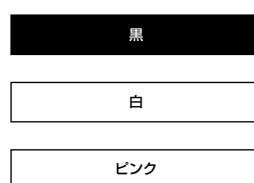
レイアウトや背景色を変える

・5 種類のレイアウトと、3 色の背景を組み合わせて設定できます。

1 カレンダー／時計のガイダンス表示中に、レイアウト変更画面を表示する

緑
を押す

2 「レイアウト選択」で「レイアウト1」～「レイアウト5」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

3 「背景色選択」で「黒」「白」「ピンク」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

次のページに続く

写真の設定をする

- 写真の選択／削除や、スライドショーの設定ができます。

1 カレンダー／時計のガイダンス表示中に、写真設定画面を表示する

赤
を押す

◆ 写真を選び直したいとき

2 表示させたい写真を選び、
黄（選択／選択解除）を押す

- 選んだ写真にはチェックマークが付きます。もう一度選ぶとチェックマークが外れます。

で選び
黄
を押す

◆ 写真を削除したいとき

2 削除したい写真を選び、青（写真削除）を押す

で選び
青
を押す

3 「する」を選ぶ

- 「しない」を選ぶと、手順 **1** の画面に戻ります。

で選び
決定
を押す

◆ スライドショーの設定をしたいとき

2 赤（設定メニュー）を押す

赤
を押す

3 「スライドショー間隔」を選ぶ

で選び
を押す

4 「約5秒」「約10秒」「約30秒」「約60秒」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

5 「スライドショー効果」を選ぶ

で選び
を押す

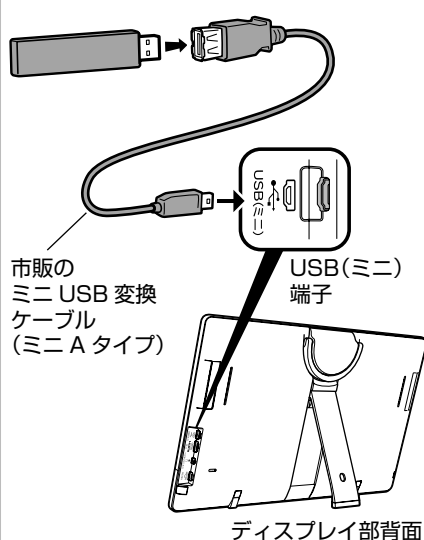
6 「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

写真を取り込む

USB メモリーから写真を取り込む場合

・本機ディスプレイ部の USB 端子は、ミニ USB コネクタです。必要に応じて、変換アダプタなどを準備してください。

1 写真が保存されたUSBメモリーを、本機ディスプレイ部のUSB(ミニ)端子に接続する

・USB メディア画面が表示されます。
・USB メディア画面が表示されないときは、マイサークルを表示して、「USB アプリ」を選び、決定します。マイサークルの操作について詳しくは⇒ **38** ページをご覧ください。

ディスプレイ部に写真が一枚もない場合は

①カレンダー／時計を表示して、赤（写真設定）ボタンを押します。（⇒ **97** ページ）
②「USB メディアに切り換える」を選んで決定します。
③手順 **2** に進みます。

2 「写真を見る」を選ぶ

で選び
を押す

3 取り込みたい写真が入っているフォルダを選ぶ

で選び
決定
を押す

4 取り込みたい写真を選ぶ

・最大 18 枚の写真が取り込めます。

で選び
を押す

5 赤ボタンを押す

・「カレンダー／時計への写真取り込み」が表示されます。

赤
を押す

6 「カレンダー／時計への写真取り込み」で決定する

・19 枚以上取り込もうとしたときは、画面に「カレンダー／時計に切換える」「終了」のメッセージが表示されます。
すでに取り込んだ写真を削除する場合は、「カレンダー／時計に切換える」を選びます。写真の削除については⇒**前**ページをご覧ください。
そのまま操作を終了する場合は、「終了」を選びます。

を押す

次のページに続く

ホームネットワークから写真を取り込む場合

1 本機チューナー部をホームネットワークに接続する

- ホームネットワークについて詳しくは、⇒ **198** ページをご覧ください。

ディスプレイ部に写真が一枚もない場合は

- カレンダー／時計を表示して、赤（写真設定）ボタンを押します。(⇒ **97** ページ)
- 「ホームネットワークに切換える」を選んで決定します。
- 手順 **2** に進みます。

2 「写真を見る」を選ぶ

ホームネットワークのトップ画面の例

3 サーバー機器を選ぶ

で選び
を押す

4 取り込みたい写真のあるフォルダを選ぶ

で選び
決定
を押す

5 取り込みたい写真を選ぶ

で選び
を押す

- スライドショー再生が始まります。
- スライドショー再生中の操作については、⇒ **203** ページをご覧ください。

6 スライドショー再生中に赤ボタンを押す

赤
を押す

7 「カレンダー／時計への写真取り込み」を選ぶ

で選び
を押す

- 19 枚以上取り込もうとしたときは、画面に「カレンダー／時計に切換える」「終了」のメッセージが表示されます。
  すでに取り込んだ写真を削除する場合は、「カレンダー／時計に切換える」を選びます。写真の削除については⇒ **98** ページをご覧ください。
  そのまま操作を終了する場合は、「終了」を選びます。

8 「確認」で決定する

数字を入力する（数字キーパネル）

• データ放送やインターネットの使用中に数字の入力が必要になった場合は、数字キーパネルを表示して、数字を入力できます。

数字キーパネルの表示位置を変えたいときは

• 数字キーパネルの表示中に赤ボタンを押すと、数字キーパネルの表示位置が「画面左下」⇔「画面右下」に変わります。

1 画面内の数字入力欄を選ぶ

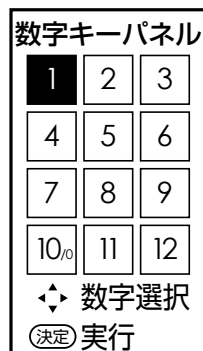
2 数字キーパネルを表示する

数字を押す

3 入力したい数字を選ぶ

または

で選ぶ

4 決定する

決定を押す

• 手順 **1** で選んだ数字入力欄に、数字が入力されます。
• 戻るボタンまたは終了ボタンを押すと、数字キーパネルが消えます。

5 2桁以上の数字を入力する場合は、右の入力欄を選ぶ

を押す

6 手順3～5を繰り返し、入力する

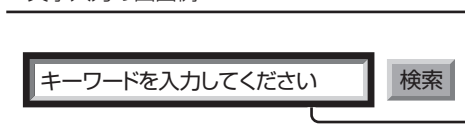
• 最後の数字を入力して決定すると、数字の入力が完了します。

◇おしらせ◇

• 状況により、数字キーパネルが自動的に消えることがあります。
• 画面に数字入力欄が表示されていないときに数字キーパネルを表示させて数字を入力すると、番組選局ができます。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

- 本機の操作で文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

文字の入力に使うリモコンのボタン

- 入力欄のカーソルを移動します。
- 予測変換しているときは変換候補を選びます。
- 漢字変換しているときは、左右で変換する範囲を指定します。

- 文字を消去します。
- 予測変換や漢字変換しているときは、変換を取り消します。

- 現在の入力をすべて取り消します。
  ソフトウェアキーボードも消えます。

- 青：ひらがなを漢字に変換します。
  （漢字を入力できる欄のみ）
- 赤：予測変換します。
- 緑：文字の種類（文字種）を選びます。
- 黄：文字入力を完了します。
  ソフトウェアキーボードが消えます。

入力できる文字の一覧

• 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな（全角）

あいうえお ぁぃぅぇぉ	かきくけこ がぎぐげご	さしすせそ ざじずぜぞ
たちつてと っ だぢづでど	なにぬねの	はひふへほ ばびぶべぼ ぱぴぷぺぽ
まみむめも	やゆよ ゃゅょ	らりるれろ
、。？！ ・「 」	わをんーゎ	゛ ゜
←	（スペース）	→

カタカナ（全角）

アイウエオ ァィゥェォヴ	カキクケコ ガギグゲゴ	サシスセソ ザジズゼゾ
タチツテト ッ ダヂヅデド	ナニヌネノ	ハヒフヘホ バビブベボ パピプペポ
マミムメモ	ヤユヨ ャュョ	ラリルレロ
、。？！ ・「 」	ワヲンーヮ	゛ ゜
←	（スペース）	→

半角英字／全角英字

. / @ : -	abcABC	defDEF
ghiGHI	jklJKL	mnoMNO
pqrsPQRS	tuvTUV	wxyzWXYZ
? ! ( ) _	− − −	全角／半角切換
←	（スペース）	→

半角数字／全角数字

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0		全角／半角切換
←	（スペース）	→

半角記号

<table>
<tr><td>. / @</td><td>, : ;</td><td>_ - ¥</td></tr>
<tr><td>$ % &</td><td># + *</td><td>= | ~</td></tr>
<tr><td>" ‘ ^ ’</td><td>( ) < ></td><td>[ ] { }</td></tr>
<tr><td>? !</td><td></td><td>全角／半角切換</td></tr>
<tr><td>←</td><td>（スペース）</td><td>→</td></tr>
</table>

全角記号

<table>
<tr><td>．／＠・</td><td>，：；</td><td>＿ー￥</td></tr>
<tr><td>＄ ％ ＆</td><td>＃ ＋ ＊</td><td>＝ ｜ ￣ ～</td></tr>
<tr><td>" ‘ ＾ ’</td><td>（ ） ＜ ＞</td><td>［ ］ ｛ ｝</td></tr>
<tr><td>？ ！</td><td></td><td>全角／半角切換</td></tr>
<tr><td>←</td><td>（スペース）</td><td>→</td></tr>
</table>

区点コード

• 本機に搭載する全ての全角文字が入力できます。
• 区点入力では、カーソルボタンで文字を選択し、決定することで文字を入力します。

16 進数

• 文字種から「16 進数」は選べません。16 進数専用の入力欄を選んだときに入力できます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	abc	def :

◇おしらせ◇

• 入力欄によって、選択できる文字種が変わります。
• 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。
• インターネットにおいて、区点コード入力で一部の記号文字を入力すると、文字化けなど正しく処理されない場合があります。

文字を入力する
⇒ **104 ～ 105** ページ

文字を入力する

◇**おしらせ**◇

文字入力の制限について

- ホームメニューから「設定」—「(視聴準備)」—「通信（インターネット）設定」—「LAN 設定」で LAN 設定の文字入力をするときは、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。このとき、全角で 128 文字（半角の場合は 256 文字）を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②カーソルボタンで「履歴削除」を選ぶ
- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②カーソルボタンで「予測 OFF」を選ぶ
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

「お早うございます」と入力する手順例

1 文字を入力できる欄を選ぶ

で選び

を押す

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字を選ぶ

2 「あ行」を選ぶ

で選び

を押す

あ行	か行	さ行
た行	な行	は行
ま行	や行	ら行
記号	わをんーゎ	゛゜
←	スペース	→

3 「お」を選ぶ

で選び 決定 を押す

あ行	か行	さ行
た行	な行	は行
あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ		
記号	わをんーゎ	
←	スペース	→

入力中の文字に応じた予測変換候補が表示されます。
画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。

予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合

- 次の手順で語を入力します。
  ①赤ボタンを押す
  ②上下左右カーソルボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す

入力中に文字を消去する場合

- ［ ← ］または［ → ］を選び、決定して、カーソルを移動させます。
- 戻るボタンを押して、文字を消去します。

4 同じようにして「は」、「よ」、「う」を入力する

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは

- 「゛　゜」を選んで決定します。
- 「゛」または「゜」を選んで決定します。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

- 「た行」を選んで決定します。
- 「っ」を選んで決定します。

スペースを入力するときは

- 「スペース」を選んで決定します。

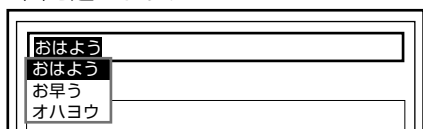
入力できる文字は

- 「入力できる文字の一覧」（⇒ **103** ページ）をご覧ください。

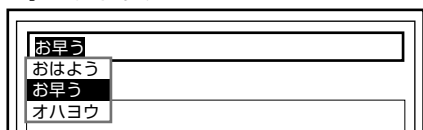
漢字やカタカナに変換する

5 入力欄の文字を変換する

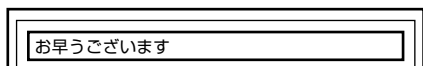
青 を2回押す

- 変換候補が表示されます。
- 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

6 入力したい文字を選ぶ

で選び 決定 を押す

- ここでは「お早う」を選びます。
- 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

7 続けて文字を入力する

で選び 決定 を押す

- ここでは「ございます」と入力します。

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、決定 を押します。

8 入力中の文字を確定する

黄 を押す

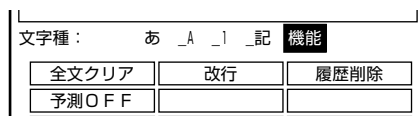
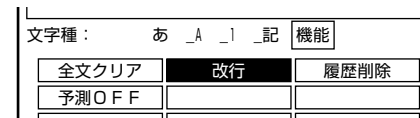
- **前**ページの手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

改行するとき

1 改行したい箇所を選ぶ

2 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す

文字種： あ _A _1 _記 機能
全文クリア 改行 履歴削除
予測ＯＦＦ

3 「改行」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 「↵」が入力されます。黄 を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

◇**おしらせ**◇

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

入力中の文字を全て消去するとき

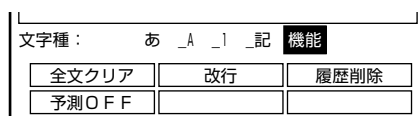
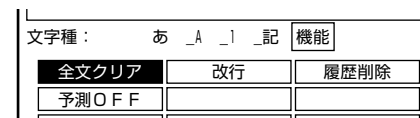
- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す

文字種： あ _A _1 _記 機能
全文クリア 改行 履歴削除
予測ＯＦＦ

2 「全文クリア」を選ぶ

で選び

決定 を押す

入力中の文字が全て消えます。

- 続けて文字を入力するときは、緑 を押して、文字種を選んでください。

デジタル放送を録画・録画予約する場合は

デジタル放送の視聴予約と録画予約について

- 予約には「視聴予約（⇒**次**ページ）」と「録画予約（⇒**下記**）」の2つがあります。

USBハードディスクを使って、録画・録画予約する場合

- USBハードディスク⇒ **108** ページ

ファミリンクに対応したレコーダーを使って録画する場合

- ファミリンク⇒ **142** ページ

著作権について

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

ダビング10について

- デジタル放送番組の全てがダビング10になるわけではありません。

コピー制御信号について

- デジタル放送のほとんどの番組には録画可能回数を制限するコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288
（午前10時～午後8時）
（2011年3月現在）

◆ 重 要 ◆

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

見たい番組を予約する（視聴予約）

- 番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）
- 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。

◇おしらせ◇

- 録画予約と合わせて、32 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（⇒ **126** ページ）が必要です。
- 予約を確認することもできます。（⇒ **126** ページ）
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 視聴予約の開始によって本機の電源が入ったときは、番組が終了すると自動的に電源が切れます。ただし、視聴予約の実行中に何らかの操作をすると番組が終了しても電源は切れません。
- 番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。番組が始まる 2 分前までに予約をしてください。開始 2 分前になると、予約できません。
- 視聴予約は、予約設定時の番組情報に従い動作します。延長などによる追従は行いません。
- デジタル放送の有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。

1 番組表を表示する

番組表 を押す

2 予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選ぶ

で選び

を押す

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（⇒ **61** ～ **65** ページ）
- USB ハードディスクを接続しているときは、USB ハードディスクへの録画予約となります。「視聴予約」に変更する場合は⇒ **126** ～ **127** ページで「視聴予約」に変更してください。
- USB ハードディスクをはじめて接続するときは、⇒ **112** ページをご覧ください。

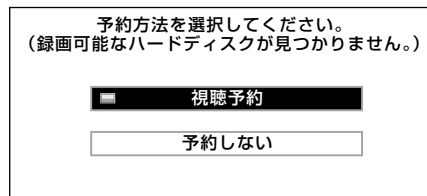
3 「視聴予約」を選ぶ

で選び

を押す

予約方法を選択してください。
（録画可能なハードディスクが見つかりません。）

視聴予約

予約しない

- 視聴予約が設定され、ディスプレイ部が待機状態のときは、POWER/TIMER（電源／タイマー）ランプが橙色点灯します。
- 本機の電源を切るときは、リモコンで電源を切って（待機状態）ください。
- 操作を終了する場合は番組表ボタンまたは終了ボタンを押します。

USB ハードディスクを使って デジタル放送を録画・再生するための準備をする

USB ハードディスクを使ってできること／できないこと

- USB ハードディスクを本機チューナー部につないで、デジタル放送の録画・再生が楽しめます。

できること

○ 地上デジタル放送の録画と再生
○ BS デジタル放送の録画と再生
○ 110 度 CS デジタル放送の録画と再生
○ 常連番組の自動録画（常連録画）と再生

できないこと

× IPTV（ひかり TV）の録画
× アクトビラ ビデオの録画
× BD プレーヤーなど、本機につないだ外部入力映像の録画
× 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生
× 本機につないで録画した USB ハードディスクの映像を、他の映像機器で再生・複製
× 同時接続した USB ハードディスクへの同時録画
× 同時接続した異なる USB ハードディスクを使った同時録画再生
× 録画中の IPTV（ひかり TV）の視聴
× 録画中のアクトビラ ビデオの視聴
× 録画中の USB メディアの再生
× 裏番組録画
× 録画中のホームネットワーク再生
× 録画中のインターネット
× 録画中の yahoo 動画再生
× 録画中の YouTube 動画再生
× 録画中のカレンダー／時計の表示

◆ **重　要** ◆

- USB ハードディスクを使うためには、最初に必ず USB ハードディスクを使うための準備「機器の初期化」が必要です。
  初期化をすると、USB ハードディスクに記録されているデータは全て消えます。（⇒ **112** ページ）

予約・録画中に電源を切る場合は

- 予約・録画中に電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで切ってください。
- ディスプレイ部やチューナー部の電源スイッチで電源を切る場合、電源スイッチ設定（⇒ **57** ページ）をご覧ください。

本機で使えるUSBハードディスクについて

- 本機は 16 台までの USB ハードディスクを登録して使えます。USB ハブ（市販品）を使用することで、最大４台までの同時接続が可能になります。ただし、録画再生に使える USB ハードディスクは１台になり、メニューで切り換えて使用します。USBハブ経由でUSBハードディスクを接続する場合は、USB ハブに AC アダプターを使用し、電源供給をする必要があります。USB ハブから USB ハブを接続しての使用はできません。
  USB ハブの種類によっては、USB ハブの中で複数の接続をしているものもあり、使用できない場合があります。

動作確認済 USB ハードディスク・USB ハブ

- ホームページやカタログなどでご確認ください。
  ホームページ　http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

◆　重　要　◆

- USB ハードディスクに付属の取扱説明書は、必ずお読みください。

録画時間について

- 録画時間は、お使いになる USB ハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画時間の目安です。

容量 ＼ 放送の種類	BS・110 度 CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
2TB	約 174 時間	約240時間	約347時間
1.5TB	約 130 時間	約180時間	約260時間
1TB	約 87 時間	約120時間	約173時間
750GB	約 65 時間	約 90 時間	約130時間
640GB	約 56 時間	約 77 時間	約111時間
500GB	約 44 時間	約 60 時間	約 87 時間
400GB	約 35 時間	約 48 時間	約 70 時間
320GB	約 28 時間	約 39 時間	約 56 時間
300GB	約 26 時間	約 36 時間	約 52 時間
250GB	約 22 時間	約 31 時間	約 43 時間

◇おしらせ◇

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間は、BS/110 度 CS デジタルハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準（SD）放送は約 12Mbps で算出しています。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他条件により**上記**の時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

ハードディスクの制約

- 本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。

ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USB ハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

USBハードディスクに録画をする前にお読みください

◆　重　要　◆

- 録画予約の待機中や録画実行中に、チューナー部の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。

  チューナー部の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

録画できる番組数と予約件数について

- 1台のUSBハードディスクには、通常録画と常連録画をあわせて最大999番組まで録画可能です。（USBハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。）
- 最大32件までの予約が可能です。

録画予約実行中の制限について

- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。

◇おしらせ◇

録画予約について

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

コピー制御信号について

- デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
- コピー制御信号が録画禁止の場合は、USBハードディスクに録画できません（視聴のみ可能）。また、本機でUSBハードディスクに録画した番組は、ダビングできません。

ハードディスクの制約

- 本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。
- 録画中は選局、ホームネットワーク、インターネット、IPTV、USBメモリーの使用はできません。

◆　重　要　◆

- 録画中、または予約録画中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。
- パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

USB ハードディスクを使うための準備のながれ

1 USBハードディスクと本機チューナー部をつなぐ

• ⇒**下記**

2 初めて使うUSBハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする

• ⇒ **112** ページ

◆ 重 要 ◆

• 初期化を行うと、ハードディスク内のデータすべてが消去されます。

3 「USB-HDDの選択」で使用するUSBハードディスクを選ぶ

• ⇒ **113** ページ

4 「ツール」－「ファミリンク操作」－「録画」をUSBハードディスクへの録画に使用するには、「録画機器選択」で「USB-HDD」を選択する

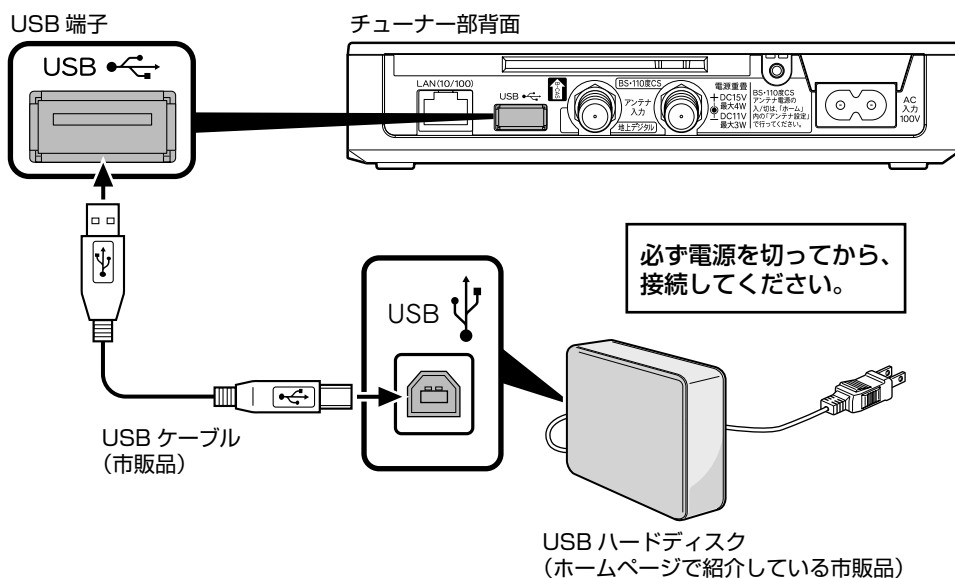
• ⇒ **144** ページ

5 必要に応じて省エネの設定をする

• ⇒ **116** ページ

• USB ハードディスクの使いかた（録画・再生）については、⇒ **120** ～ **132** ページをご覧ください。

USB ハードディスクをつなぐ

• 本機チューナー部の USB 端子に、市販の USB ハードディスクをつなぎます。
• 接続には、市販の USB ケーブルを使います。
• USB ハードディスクを取りはずすときは⇒ **114** ページをご覧ください。

USB ハードディスクを初めて接続するときは

USB ハードディスクを初期化する

・USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。
・初期化するときは、本機チューナー部のUSB 端子とUSB ハードディスクを1台だけ直接接続してください。

◇**おしらせ**◇
・USB ハードディスクを初期化すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。消去されたタイトルは元に戻せませんので、USB ハードディスクの内容をよく確認してください。
・他社のレコーダーやパソコンで録画したUSB ハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化が必要です。

1 USBハードディスクと本機の準備をする

・USB ハードディスクをつなぎます。
(⇒ **111** ページ)
・USB ハードディスクと本機の電源を入れます。

2 ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「USB-HDD設定」を選ぶ

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

を押し

で選び

決定を押す

▼ ホームメニューの画面例

3 「機器の初期化」を選ぶ

で選ぶ

4 「する」を選ぶ

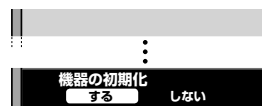
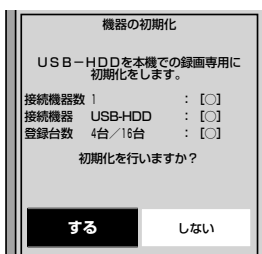
で選び

決定を押す

機器の初期化
する　しない

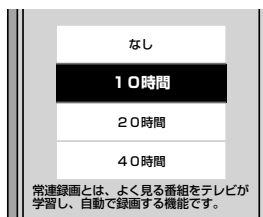
5 「する」を選ぶ

で選び

決定を押す

◆常連録画時間設定

- 常連留守録機能については、⇒ **128** ページをご覧ください。

6 「なし」「10時間」「20時間」「40時間」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

- USBハードディスクの容量(⇒ **109** ページ）を超える項目は、選べません。

◆機器の初期化

7 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 初期化が実行されます。
- 初期化中に USB ハードディスクを取り外したり、USB ハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。

8 「確認」で決定する

決定 を押す

9 録画先に使う録画機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 「ツール」－「ファミリンク操作」－「録画」を選んだときの録画先として使う録画機器を選択します。

- 初期化の操作が済んだら、必要に応じて「オートチャプター設定」をしておくと便利です。(⇒ **119** ページ)

USB ハードディスクを接続している場合に、使用する USB ハードディスクを選択する

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選ぶ

を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDDの選択」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 表示された機器から1台を選択する

- 接続が 1 台の場合でも選択されていない場合がありますので、選択してください。

はじめにお読みください
電源を入れる／基本の使いかた
テレビを見る／便利な使いかた
USBハードディスクをつないで録る・見る
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

USB ハードディスクの名前を変更する

- USB ハードディスクを複数台つないだ（登録した）ときにつないだ機器を識別しやすくするために、各 USB ハードディスクに名前を付けることができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選ぶ

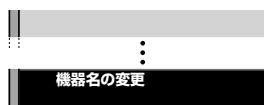
を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「機器名の変更」を選ぶ

で選び
を押す

機器名の変更

3 名前を変更したいUSBハードディスクを選び、「機器名を変更しますか？」で「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 ソフトウェアキーボードで、新しい名前を入力する

- 文字入力のしかた⇒ **102** ページ

5 「この名称に変更しますか？」で「変更して終了」を選ぶ

で選び
を押す

USB ハードディスクを取りはずすときは

- 本機や USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

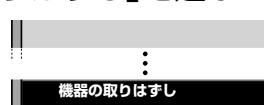
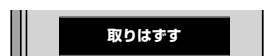
▼ ホームメニューの画面例

2 「機器の取りはずし」を選ぶ

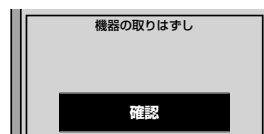
で選び
を押す

機器の取りはずし

3 「取りはずす」を選ぶ

を押す

- 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
- 取りはずしが完了するまで、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

4 「確認」で決定する

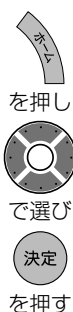
を押す

5 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

USB ハードディスクの登録解除について

- 本機で USB ハードディスクを使うには、USB ハードディスクを本機チューナー部につないでから、「初期化」をする必要があります。(⇒ **112** ページ)
- 本機は USB ハードディスクを 16 台まで登録できます。

◇**おしらせ**◇
- 「機器の初期化」を行うことで、本機に USB ハードディスクが登録されます。
- 17 台目以降の USB ハードディスクを登録する場合には、登録済みの USB ハードディスクを「機器の登録解除」により登録解除してから「機器の初期化」を行ってください。
- 本機に登録していない USB ハードディスクでは、録画・再生できません。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「USB-HDD設定」を選ぶ

ホームを押し
で選び
決定を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「機器の登録解除」を選ぶ

で選び
決定を押す

3 登録を解除したいUSBハードディスクを選ぶ

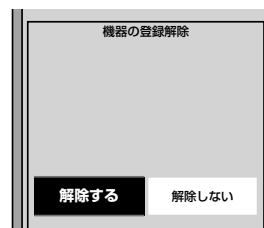
で選び
決定を押す

- 画面の指示に従って操作をします。

4 「解除する」を選ぶ

で選び
決定を押す

5 もう一度「解除する」を選ぶ

で選び
決定を押す

- この USB ハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、この USB ハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。

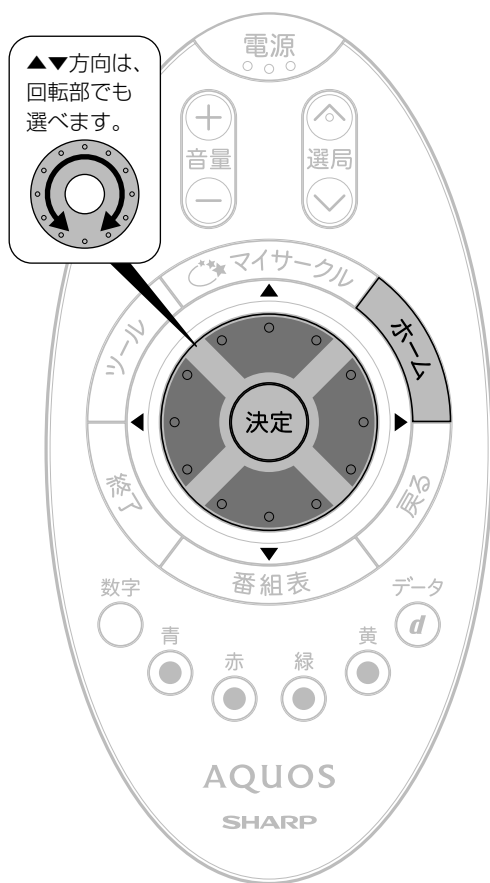
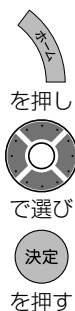
6 「確認」で決定する

決定を押す

USB ハードディスクを省エネで使うには

- USB ハードディスクを使わない状態が続いたときに、USB ハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

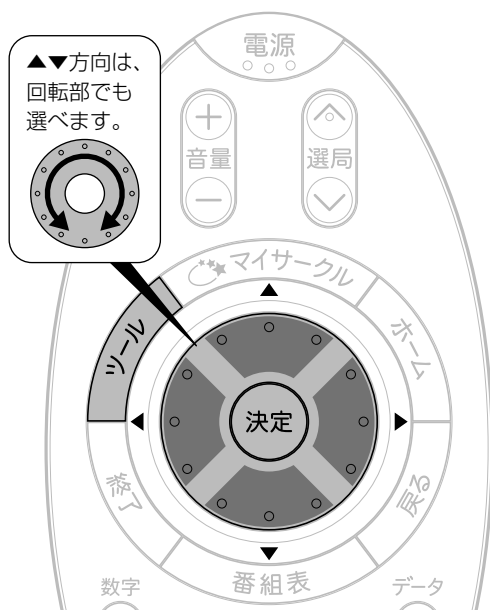
2 「省エネ設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

3 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

ファミリンクパネルの操作のしかた

- USB ハードディスクと接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 ツールメニューを表示して、「ファミリンクパネル」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

2 USBハードディスクを選ぶ

で選び 決定 を押す

3 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び
を押す

操作機器名

操作ボタン
詳しくは「操作ボタンの機能について」(⇒**下記**)をご覧ください。

ボタン	説明
視聴メニュー	• 視聴メニューを表示します。
録画リスト	• USB ハードディスクの録画リストを表示します。

操作ボタン※1 の機能について

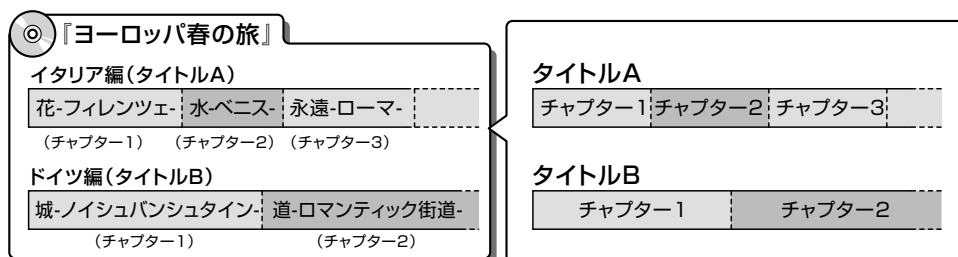
ボタン	機能	ボタン	機能
早戻し	• 早戻し再生	早送り	• 早送り再生
前	• 前のチャプター※2 に戻って頭出し（逆頭出し）		
次	• 次のチャプター※2 に進んで頭出し（順頭出し）		
10秒戻し	• 10 秒後戻し	30秒送り	• 30 秒先送り
再生	• 再生	一時停止	• 一時停止
停止	• 停止		
録画	• 録画	録画停止	• 録画を停止

※1 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
※2 チャプターとは、オートチャプター設定（⇒ **119** ページ）で設定された、再生区切り位置です。

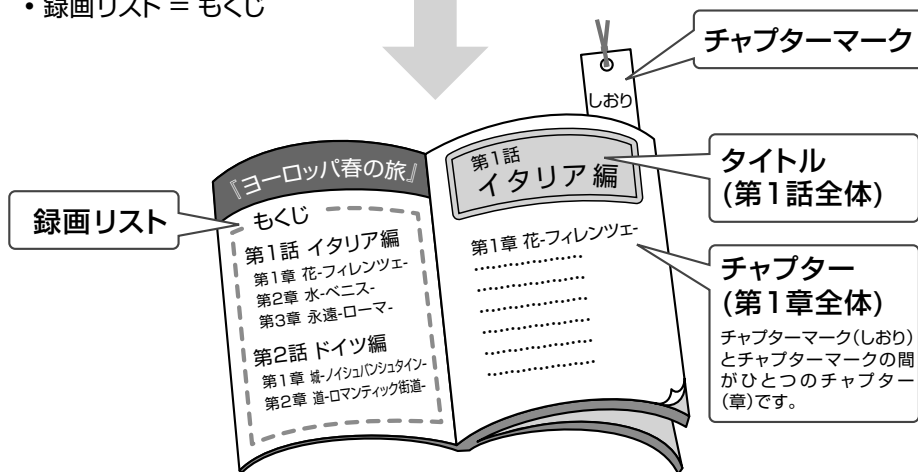
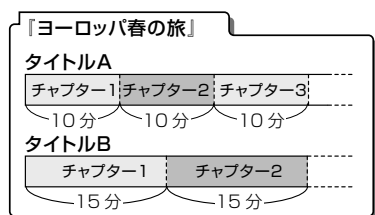
録画した番組の構成について

- 録画した番組は、1 回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。各タイトル（録画した番組）は「録画リスト」に一覧表示され、再生・タイトルの並べ換え・保護・保護解除・消去ができます。（⇒ **130**、**136**、**138**、**140** ページ）

「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係

例）市販のビデオディスクの場合

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル ＝ 話
- チャプター ＝ 章
- 録画リスト ＝ もくじ

チャプターマーク
しおり
『ヨーロッパ春の旅』
もくじ
第1話 イタリア編
第1章 花-フィレンツェ-
第2章 水-ベニス-
第3章 永遠-ローマ-
第2話 ドイツ編
第1章 城-ノイシュバンシュタイン-
第2章 道-ロマンティック街道-
第1話
イタリア編
第1章 花-フィレンツェ-
録画リスト
タイトル
（第1話全体）
チャプター
（第1章全体）

チャプターマーク（しおり）とチャプターマークの間がひとつのチャプター（章）です。

例）本機で録画した USB ハードディスクの場合

- 本機は、一定時間でチャプターを作成できます。※
  - ※ 本機にはチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。（録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。⇒**次**ページ）
  - ※ 図のタイトル A は「オートチャプター設定」を「10 分」に、タイトル B は「15 分」に設定した例です。

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

項目	内容
しない	• チャプターが入りません。
10 分	• 10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	• 15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	• 30 分間隔でチャプターが入ります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、42 ～ 47 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「オートチャプター設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

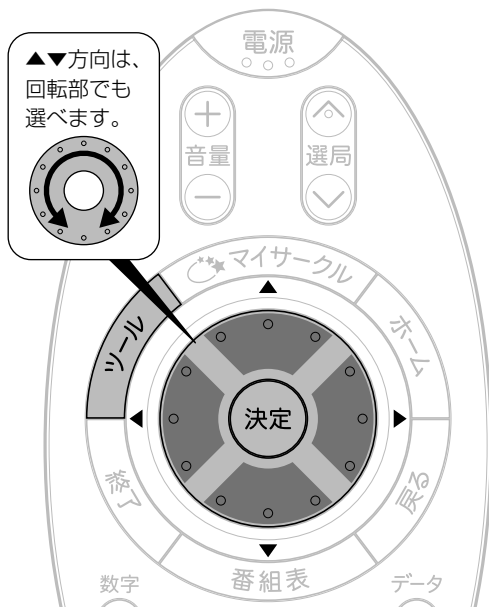
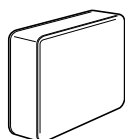
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

USB ハードディスクに デジタル放送の番組を録画・録画予約する

放送中の番組を録画する

- 今見ている番組をその場で USB ハードディスクに録画します。
- 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重 要 ◆

- 録画の前に「USB ハードディスクを使ってできること／できないこと」（⇒ **108** ページ）をご覧ください。
- USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
- 「ツール」－「ファミリンク操作」－「録画」で USB ハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」（⇒ **144** ページ）で「USB-HDD」を選択しておく必要があります。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機のチューナー部に B-CAS カードが入っていることを確認します。

B-CAS(ビーキャス)カード
⇒**224**ページ

2 番組選局を表示して、録画したいチャンネルを選ぶ

- 番組選局⇒ **49** ページ

3 ファミリンクパネルを表示する

- ファミリンクパネルの表示のしかたは⇒ **117** ページをご覧ください。

4 ● 録画 を選んで、録画をはじめる

- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。

録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。

- 録画を開始するとき、テレビ画面の映像や音声が 1 ～ 3 秒程度途切れます。これは無線接続の暗号化情報を更新するために起こる症状であり、故障ではありません。
- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、ファミリンクパネルを表示して、「録画停止」ボタンを選びます。

◇**おしらせ**◇

- デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴・録画できません。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

◇おしらせ◇

- 録画予約の待機中や録画実行中に、チューナー部の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。

  チューナー部の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで、最大 6 時間録画が続きます。
- 録画終了時刻を設定したいときは⇒**下記**をご覧ください。

録画終了時刻の設定をやり直すには

1 録画中に、ファミリンクパネルを表示する

- ファミリンクパネルの表示のしかたについては⇒ **117** ページをご覧ください。

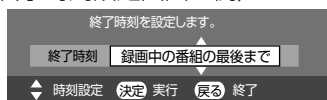
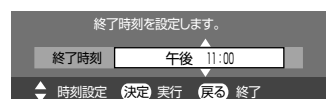
2 録画 を選んで、終了時刻設定画面を表示させる

で選び 決定 を押す

（終了時刻設定画面の例）

3 終了時刻を選ぶ（1分単位）

で選び

を押す

終了時刻を設定します。
終了時刻 午後 11:00
時刻設定 決定 実行 戻る 終了

- 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10分単位で選べるようになります。（カーソルボタンを押し直すと、1分単位の動作に戻ります。）

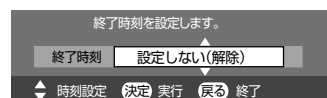
「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

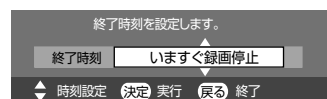
- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

設定を解除したいとき

- 「設定しない（解除）」を選びます。

「設定しない（解除）」を選んだとき

- 「設定しない（解除）」を選んだときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで最大 6 時間録画が続きます。USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画を途中で停止したいとき

- 「いますぐ録画停止」を選びます。

- 続いて「する」を選ぶと、実行中の録画が停止します。

デジタル放送の番組を録画予約する

- 番組表を使って、番組を録画予約できます。
- 7 日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32 番組です。

◆ 重 要 ◆

- 録画予約の前に「USB ハードディスクを使ってできること／できないこと」(⇒ **108** ページ) をご覧ください。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機のチューナー部に B-CAS カードが入っていることを確認します。

B-CASカード(ビーキャス)
⇒**224**ページ

2 番組選局を表示して、録画したい放送の種類を選ぶ

- 番組選局⇒ **49** ページ

3 番組表を表示する

番組表 を押す

4 予約したい番組を選ぶ

で選ぶ

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(⇒ **61** ～ **65** ページ)
- 視聴年齢制限が設定されている番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号(⇒**90**ページ) を入力してください。
- 常連番組の番組欄（⇒ **68** ページ）から番組を選ぶこともできます。

5

を押す

予約する

- 「この番組を USB-HDD に録画予約しました」というメッセージが表示されます。
- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

録画禁止の番組を予約したときは

- 視聴予約となります。

USB ハードディスクが接続されていないときは

- 予約方法の選択画面が表示されます。

次のような画面が表示されたときは

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　予約しない

- **124** ページをご覧ください。

6

番組表

を押す

番組表を消す

- 予約が設定されると、本機チューナー部の POWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプ（⇒ **30** ページ）が橙色点灯します。

録画予約した内容を取り消し・変更したいときは

- ⇒ **126** ページをご覧ください。

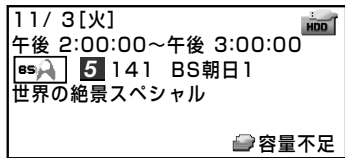
◇おしらせ◇

- 録画予約の待機中や録画実行中に、チューナー部の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。

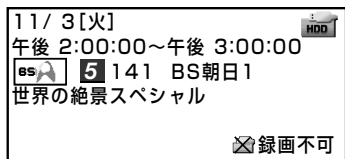
  チューナー部の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
- 録画予約ができないときは、「故障かな？と思ったら」（⇒ **263** ページ）を参照してください。エラーメッセージについては、（⇒ **273** ～ **275** ページ）をご覧ください。

予約設定時のメッセージについて

- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト（⇒ **126** ページ）に「容量不足」と表示されるとき

USB ハードディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。

- USB ハードディスクを接続しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。（タイトル消去⇒ **140**・**141** ページ）

予約リスト（⇒ **126** ページ）に「録画不可」と表示されるとき

USB ハードディスクを接続していないときに表示されます。

- 初期化（登録）済み（⇒ **112** ページ）の USB ハードディスクを接続してください。

本機で初期化していない（登録されていない）USB ハードディスクが接続されているときに表示されます。

- 接続した USB ハードディスクを本機で初期化（⇒ **112** ページ）してください。

設定した予約が他の予約と重複しているメッセージが表示されるとき

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　予約しない

- 既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させることができます。

設定中の予約を残したいとき

- 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定された予約を残したいとき

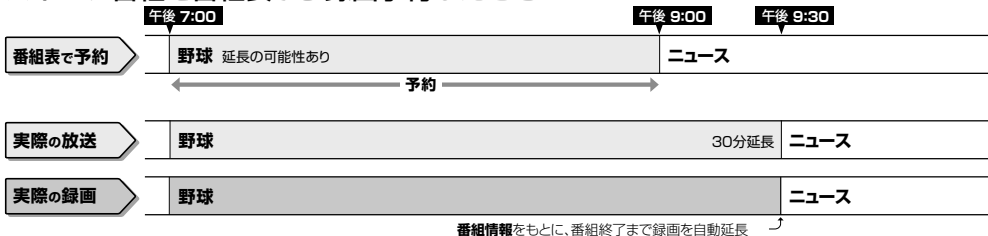
- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

◇おしらせ◇

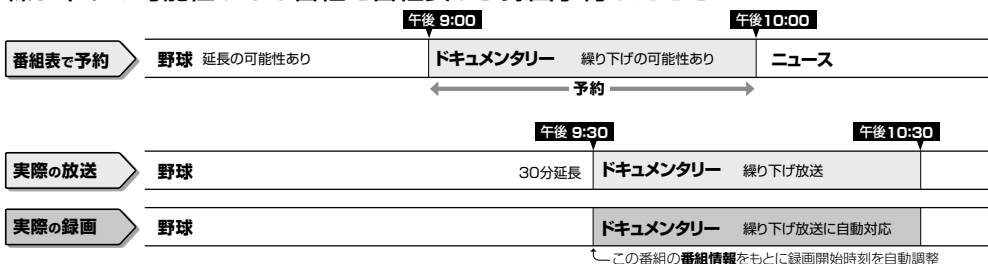
- USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ（⇒ **273** 〜 **275** ページ）も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

番組表でのデジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画予約の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

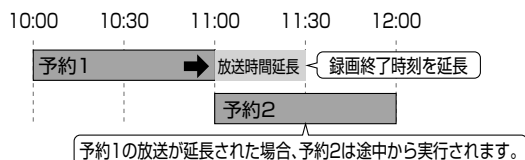
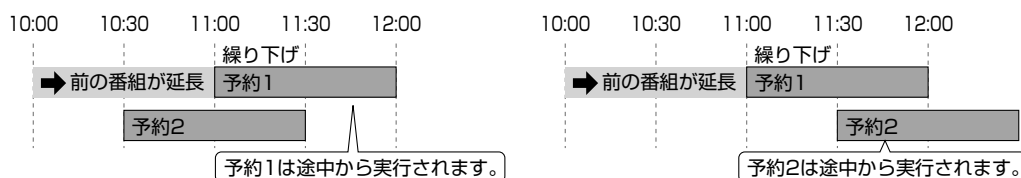
スポーツ番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

繰り下げの可能性がある番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

番組の延長により、予約が重なった場合

- 先に始まった録画予約が終了したあと、次の重なった録画予約を途中から実行します。

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 日時を指定して予約したいときや、視聴予約（⇒ **107** ページ）、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

1 番組表を表示して、機能メニューを表示する

番組表 を押し
赤 を押す

2 「予約リスト」を選ぶ

で選び

を押す

3 確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ

で選び
決定 を押す

- で予約されている番組を選びます。
- でページ ①～⑧ のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、**58** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

- 上記は、番組表から予約した予約の変更・取り消し画面です。日時指定予約の場合は、画面が若干異なります。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆ 予約を取り消したいとき

4 ①「取り消す」を選ぶ ②「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

［地上Dテレビ番組の予約設定］

予約方法：USB-HDD録画
11月 3日［火］午後 2：00～午後 3：00

この番組の予約を取り消しますか？

する　しない

- 予約が取り消されます。
手順 **2** の画面に戻ります。

◆ 予約の設定を変更するとき

つづき

で項目を

で内容を選ぶ

変更したい項目の内容を選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日 開始時刻 終了時刻 予約方法
11/3 ［火］ 午後 2 ：00 ～ 午後 3 ：00 USB-HDD録画

残時間： ** 時間 ** 分 今回の予約時間： 1 時間 00 分 番組指定

設定項目	予約方法	録画日	開始時刻／終了時刻
設定内容	• USB-HDD 録画※1 • 視聴予約※2	• 日付※3 • 毎週○曜※3 • 毎日 • 月ー土 • 月ー金	(「番組指定予約」の場合、変更できません。)※3

※１ USB ハードディスクが認識できないときは、表示されません。

※２ 視聴予約については、⇒ **107** ページをご覧ください。

※３ 黄（日時指定予約）を押して変更する場合、「日付」「開始時刻」「終了時刻」も変更できます。「日付」は、「今日の日付」～「28 日後の日付」や「毎週○曜日」も選べます。

5 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

6 「戻る」で決定する

決定 を押す

［地上Dテレビ番組の予約設定］

予約方法：USB-HDD録画
11月 4日 ［水］ 午後 4：00～午後 5：00

この番組をUSB-HDD録画予約しました。

戻る

繰り返し予約をする

• 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し録画予約できます。

1 **122ページからの手順1～手順5で繰り返し予約をしたい番組を選び、録画予約を設定する**

2 **上下左右カーソルボタンでもう一度同じ番組を選び、決定する**

• 予約リストからも選べます。

3 **①上下左右カーソルボタンで「録画日」を選ぶ**

②上下カーソルボタンで「毎週○曜」「毎日」「月－土」「月－金」のいずれかを選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日 開始時刻 終了時刻 予約方法
毎日 午後 2 ：00 ～ 午後 3 ：00 USB-HDD録画

残時間： ** 時間 ** 分 今回の予約時間： 1 時間 00 分 番組指定

• 青を押すと、「毎日予約」に設定できます。

• 赤を押すと、「毎週予約」に設定できます。

• 黄を押すと、「日時指定予約」※1 に切り換えられます。

4 **左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する**

5 **「戻る」で決定する**

予約方法：USB-HDD録画
毎日 午後 2：00～午後 3：00

この番組をUSB-HDD録画予約しました。

戻る

※１ 「日時指定予約」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。
「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後３時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

◇おしらせ◇

• 「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

常連番組を USB ハードディスクに自動で録画する（常連留守録）

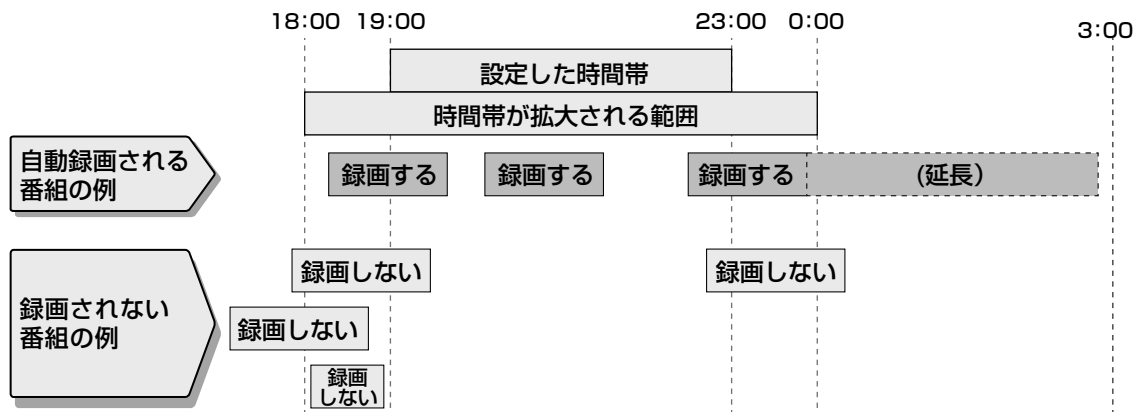
- テレビを視聴していないときに、USB ハードディスクを使って、常連番組（⇒ **68** ページ）を自動で留守録できます。（チューナー部の電源がオフ状態のときは、常連留守録できません。）
- 常連留守録機能で録画できるのは、毎日同じ時間帯（4 時間）です。工場出荷時は 19 時～ 23 時に設定されています。常連留守録機能で録画する時間帯は、変更できます。
- 常連留守録機能で録画した番組の再生については、⇒ **131**・**132** ページをご覧ください。

◆　重　要　◆

- 常連留守録機能を使うには、USB ハードディスクに常連録画専用領域を作っておく必要があります。
- 常連留守録機能で録画した番組は、常連録画専用領域の録画可能時間を越えないように、録画日時の古い番組から自動的に消されます。消されたくない番組は、消される前に録画リストへ移動（⇒ **137** ページ）しておくか、はじめから通常の録画・録画予約をしてください。

◇おしらせ◇

- 常連留守録機能で録画する時間帯と通常の録画予約の時刻が重なったときは、通常の録画予約が優先されます。
- 常連留守録機能で設定できる時間帯は４時間ですが、番組の放送状況により、設定した時間帯の前後にそれぞれ１時間まで拡大されることがあります。また、番組が延長して、常連留守録の時間帯を過ぎてしまったときは、その番組の最後まで（最大３時間まで）録画されます。

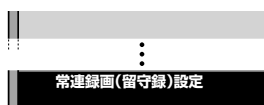
（例）録画時間帯が 19：00 ～ 23：00（工場出荷時）の場合

常連録画（留守録）の設定をする

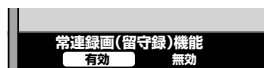
1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(視聴準備)」–「USB-HDD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「常連録画(留守録)設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

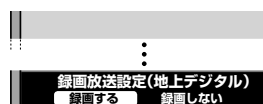
3 「常連録画(留守録)機能」で「有効」を選ぶ

で選ぶ

4 「録画時間帯」で時間帯を選ぶ

を押し
で選ぶ

5 「録画放送設定(地上デジタル/BS/CS)」で録画したい放送を選び、「録画する」を選ぶ

を押し
で選ぶ

録画放送設定(地上デジタル)
録画する　録画しない

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

6 「常連録画時間設定」で「なし」「10時間」「20時間」「40時間」のいずれかを選ぶ

- 空き容量が不足している場合は、不要なタイトル（録画した番組）を削除してから、再度設定してください。
- 常連録画時間を増やす場合は、録画リストのタイトルを削除してください。
- 常連録画時間を減らす場合は、常連録画のタイトルを削除してください。

7 本機の電源を切り、待機状態にする

- 常連留守録は、本機が待機状態のときに開始します。

◇おしらせ◇

- 「録画時間帯」や録画放送設定の各項目は、「常連録画（留守録）機能」を「無効」にすると選べません。
- USB-HDD 録画中は「常連録画時間設定」は選べません。
- 常連留守録の録画中に本機の電源を入れると、録画中のチャンネルが表示されます。チャンネルを切り換えたいときは、ファミリンクパネルを表示して、「録画停止」を選んで録画を停止してください。（録画したところまではタイトルとして保存されます。）

USB ハードディスクに録画した番組を再生する

USB ハードディスクに録画した番組を録画リストから再生する

- 録画リストを表示して、USB ハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

録画リストの画面例

◇おしらせ◇

- 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生はできません。
- 「USB-HDD の選択」で選ばれた USB ハードディスクに録画した番組が表示されます。

1 マイサークルを表示して、「録画番組を見る」を選ぶ

- 「録画リスト」が表示されます。
- ホームメニューから「チャンネル」－「入力切換」－「USB-HDD」を選んで切り換えることもできます。
- ファミリンクパネルを表示して、ファミリンクパネルから選ぶこともできます。⇒ **117** ページ

2 再生したい番組を選ぶ

で選び

決定

を押す

- 1ページに 12 タイトルまで表示されます。13 タイトル以上あるときは、◎ を押すと、ページを切り換えて表示できます。

録画リスト　常連録画（留守録）

ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX[X]	午
午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX[X]	午
おとうさんもいっしょ	XX/XX[X]	午
きょうのお献立	XX/XX[X]	午
金曜ドラマスペクタクル「執事探偵５」	XX/XX[X]	午
奥様あなたのTVショッピング	XX/XX[X]	午
どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX[X]	午
笑ってよ　いいとも	XX/XX[X]	午
SLAP×STICK	XX/XX[X]	午
朝ビバ！	XX/XX[X]	午
情報アリーナ特等席	XX/XX[X]	午
連続時代劇「大奥24時」	XX/XX[X]	午

⋮

- 選んだ番組の再生が始まります。

◆ フォルダを選び直したいときは

3 「録画リスト」または「常連録画（留守録）」フォルダを選ぶ

を押し

で選び

を押す

- 「録画リスト」と「常連録画（留守録）」フォルダを切り換えたい場合は、戻る を押してから選び直します。
- 通常の録画・録画予約で録画した番組は、「録画リスト」フォルダにあります。
- 常連留守録で録画された番組は、「常連録画（留守録）」フォルダにあります。

録画リスト　常連録画（留守録）

××××××××	XX/XX[X]	午
××××××××××××	XX/XX[X]	午
×××××××××	XX/XX[X]	午
××××××	XX/XX[X]	午
×××××××××××××××	XX/XX[X]	午

4 再生したい番組を選ぶ

で選び

を押す

USB ハードディスクに録画した番組をホームメニューから再生する

・ホームメニューを表示して、再生したい番組を選んでみましょう。

1 再生の準備をする

・本機の電源を入れます。

2 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

ホーム を押し 　で選び 　決定 を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「USB-HDD」または「常連録画（留守録）」を選ぶ

で選ぶ

・通常の録画・録画予約で、録画した番組は、「USB-HDD」にあります。
・常連留守録で録画された番組は、「常連録画（留守録）」にあります。

USB-HDD を選んだときの画面例

常連録画（留守録）を選んだときの画面例

4 再生したい番組を選ぶ

で選び 　決定 を押す

・１ページに８タイトルまで表示されます。９タイトル以上あるときは、黄 または 緑 を押すとページを切り換えて表示できます。
・選んだ番組の再生が始まります。
・再生を止めるときは、ファミリンクパネルを表示して、「停止」を選びます。

◇**おしらせ**◇

・表示の順番を変更する場合は、赤 を押して録画リストで並び換えをしてください。(⇒ **136** ページ)
「USB-HDD の選択」で選ばれた USB ハードディスクに録画した番組が表示されます。

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

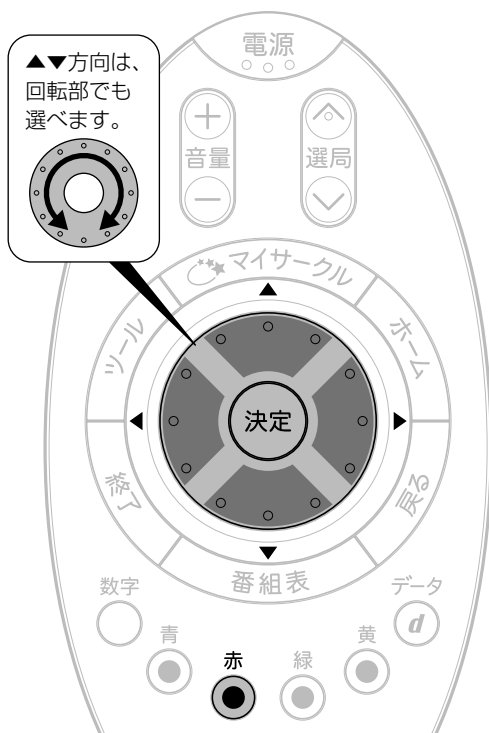
・録画中の番組を再生することができます。
・録画、予約録画に対応しています。

1 ファミリンクパネルを表示して、「再生」を選ぶ

・ファミリンクパネル⇒ **117** ページ

2 追いかけ再生を選ぶ

再生時の操作

停止ボタンを選んで途中で止めた場合の再生について

◆ 停止した場所からつづけて再生するときは

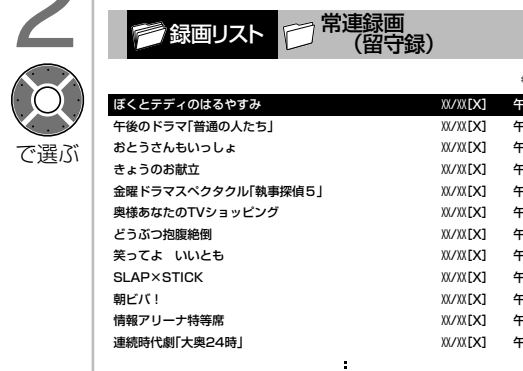
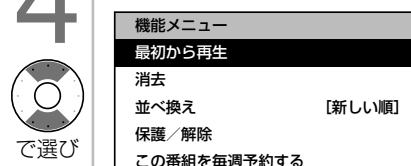
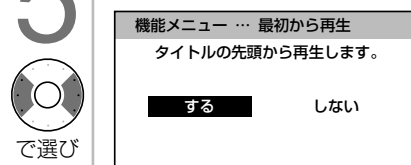
1 ファミリンクパネルを表示して、「再生」を選ぶ

- つづきから再生できます。
- タッチボタンの「再生」ボタンを押しても再生できます。(⇒**35**ページ)
- ファミリンクパネル⇒ **117** ページ

◆ はじめから再生するときは

1 録画リストを表示する

- ⇒ **130** ページ

2 再生したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

ぼくとテディのはるやすみ XX/XX[X] 午
午後のドラマ「普通の人たち」 XX/XX[X] 午
おとうさんもいっしょ XX/XX[X] 午
きょうのお献立 XX/XX[X] 午
金曜ドラマスペクタクル「執事探偵5」 XX/XX[X] 午
奥様あなたのTVショッピング XX/XX[X] 午
どうぶつ抱腹絶倒 XX/XX[X] 午
笑ってよ　いいとも XX/XX[X] 午
SLAP×STICK XX/XX[X] 午
朝ビバ！ XX/XX[X] 午
情報アリーナ特等席 XX/XX[X] 午
連続時代劇「大奥24時」 XX/XX[X] 午
⋮

3 機能メニューを表示する

赤
を押す

4 「最初から再生」を選ぶ

で選び
決定
を押す

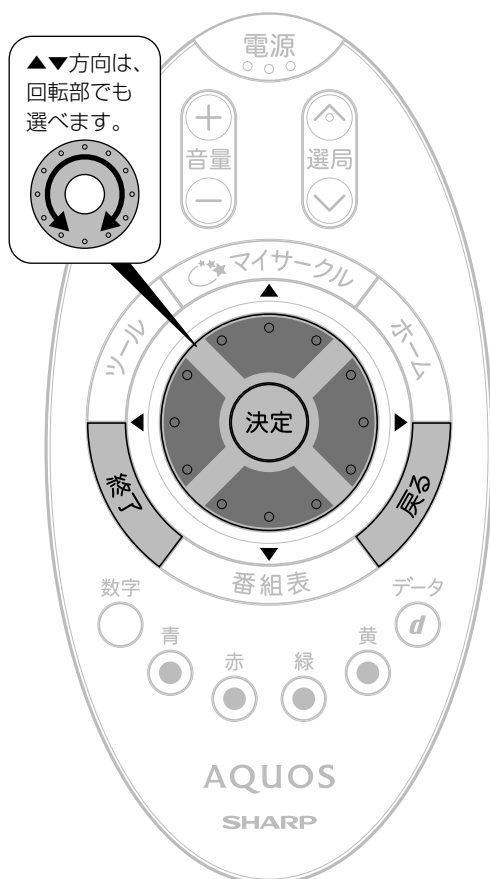
機能メニュー
最初から再生
消去
並べ換え　[新しい順]
保護／解除
この番組を毎週予約する

5 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 選んだタイトルがはじめから再生されます。

再生中に設定をする（視聴メニュー）

• 再生しながら、再生情報を確認したり、リピート再生が行えます。

1 再生中にファミリンクパネルを表示する

• ファミリンクパネルの表示のしかた⇒ **117** ページ

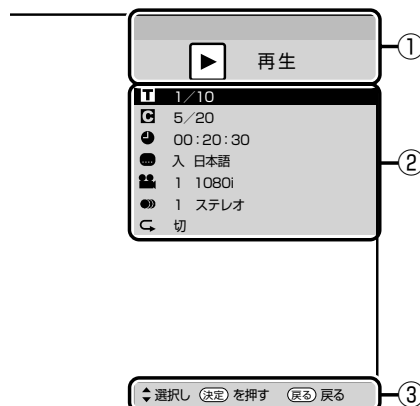
2 「視聴メニュー」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 設定項目を選ぶ

で選び

を押す

①再生状態表示
　動作状態やディスクの種類
②設定項目（⇒**次**ページ）
③操作ガイド表示

4 設定する（⇒次ページ）

で選び

決定 を押す

5 設定を終了する

または

終了

を押す

◇**おしらせ**◇

• アングルや字幕などの表示が「ーー」と表示される場合は、そのタイトルに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

画面表示と各設定項目について

・再生しているタイトルによって選択できる項目は異なります。

1 T タイトル（トラック）選択

・再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。

2 C チャプター再生表示

・再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。

3 再生経過時間表示

・選択したタイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

4 字幕言語再生表示

・再生中のタイトルに字幕がある場合に、切り換えられます。

5 映像切換

・再生中のタイトルに複数の映像がある場合に、切り換えられます。

6 音声切換

・再生中のタイトルに複数の音声がある場合に、切り換えられます。

7 リピート再生

・再生中のタイトルまたはチャプターを、くり返し再生できます。（⇒**右記**）

タイトル（録画した番組）またはチャプターをくり返し再生する(リピート再生)

・視聴メニューで、選んだタイトル（録画した番組）やチャプター（章）をくり返し再生できます。

1 録画リストを表示する

・⇒ **130** ページ

2 くり返したいタイトルまたはチャプターを選んで再生する

3 ①ファミリンクパネルを表示する
②再生中に「視聴メニュー」を選ぶ

4 「」を選ぶ

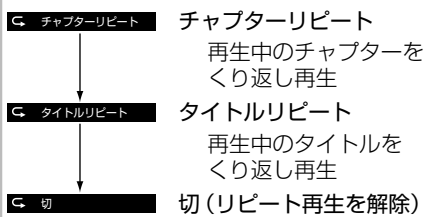
で選び

を押す

5 「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選ぶ

で選び

決定を押す

チャプターリピート	**チャプターリピート** 再生中のチャプターをくり返し再生
タイトルリピート	**タイトルリピート** 再生中のタイトルをくり返し再生
切	**切（リピート再生を解除）**

・リピート再生を開始します。
・選択画面に戻るには戻るボタンを押します。

USB ハードディスクに録画した番組の管理

録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1 USBハードディスクの準備をする

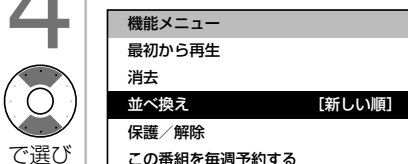
2 録画リストを表示する
- ⇒ **130** ページ

3 機能メニューを表示する

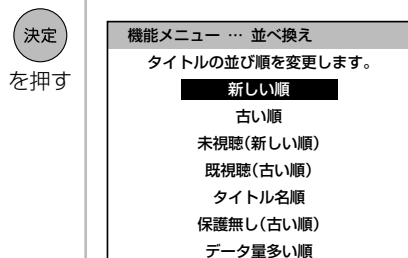
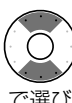
赤
を押す

4 「並べ換え」を選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー	
最初から再生	
消去	
並べ換え	[新しい順]
保護／解除	
この番組を毎週予約する	

5 「新しい順」「古い順」「未視聴（新しい順）」「既視聴（古い順）」「タイトル名順」「保護無し（古い順）」「データ量多い順」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー … 並べ換え
タイトルの並び順を変更します。
新しい順
古い順
未視聴（新しい順）
既視聴（古い順）
タイトル名順
保護無し（古い順）
データ量多い順

- 並べ換えを行うと、録画リストフォルダと常連録画（留守録）フォルダの中にあるそれぞれのタイトルが選択した順に並べ換えられます。

録画済みのタイトルを次回も録画予約したいときは（また見たい予約）

1 USBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する
- ⇒ **130** ページ

3 毎週予約したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

4 機能メニューを表示する

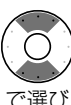
赤
を押す

5 「この番組を毎週予約する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー	
最初から再生	
消去	
並べ換え	[新しい順]
保護／解除	
この番組を毎週予約する	

6 「確認」で決定する

決定 を押す

録画予約した内容を取り消し・変更したいときは
- ⇒ **126** ページをご覧ください。

常連留守録機能で録画した番組を録画リストへ移動する

タイトルを 1 つ選んで移動する

1 常連録画(留守録)フォルダ内のタイトルを録画リストフォルダに移動したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

・⇒ **130** ページ

3 「常連録画(留守録)」フォルダを選ぶ

で選び
決定
を押す

ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX[X]	午
午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX[X]	午
おとうさんもいっしょ	XX/XX[X]	午
きょうのお献立	XX/XX[X]	午

4 移動したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

5 機能メニューを表示する

赤
を押す

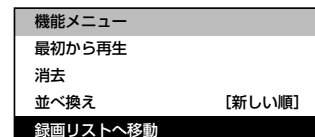
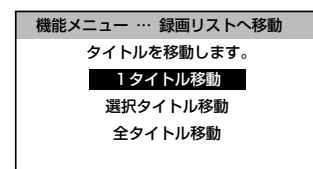
6 「録画リストへ移動」を選ぶ

機能メニュー
最初から再生
消去
並べ換え [新しい順]
録画リストへ移動

で選び
決定
を押す

7 「1 タイトル移動」を選ぶ

機能メニュー … 録画リストへ移動
タイトルを移動します。
1タイトル移動
選択タイトル移動
全タイトル移動

で選び
決定
を押す

- 選んだタイトルが録画リストへ移動します。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

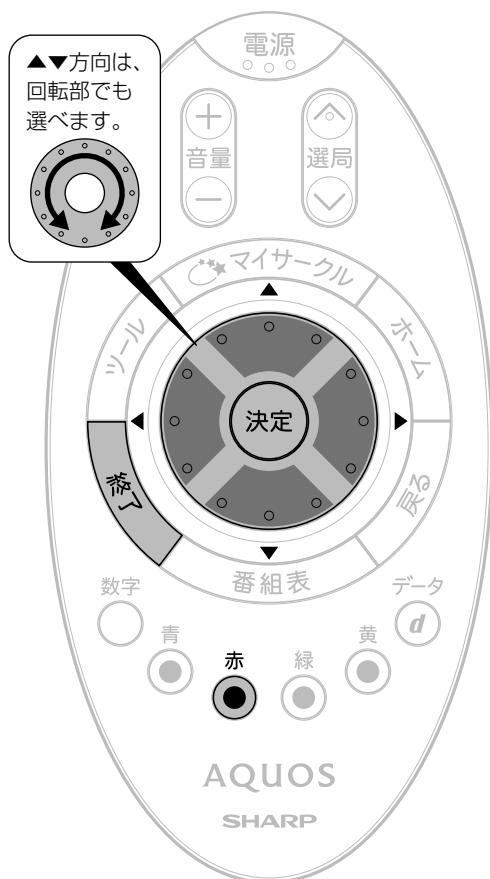
常連録画（留守録）フォルダ内のタイトルを全て録画リストへ移動する

- 「タイトルを 1 つ選んで移動する」の手順 **1** ～ **3** と手順 **5** ～ **6** を行います。
- 上下カーソルボタンで「全タイトル移動」を選んで決定します。

常連録画（留守録）フォルダ内のタイトルを複数選んで録画リストへ移動する

- 「タイトルを 1 つ選んで移動する」の手順 **1** ～ **3** と手順 **5** ～ **6** を行います。
- 上下カーソルボタンで「選択タイトル移動」を選んで決定します。
- 上下左右カーソルボタンで移動したいタイトルを選んで決定します。選んだタイトルにはチェックマークが付きます。
- 赤ボタンを押して、確定します。

タイトル（録画した番組）を消さない設定と設定解除をする

- 間違って消さないよう、タイトル（録画した番組）を保護できます。

タイトルを 1 つ選んで保護／解除する

1 タイトルを保護／解除したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

- ⇒ **130** ページ

3 保護／解除したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

録画リスト　常連録画（留守録）

	タイトル	
	ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX[X]
	午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX[X]
	おとうさんもいっしょ	XX/XX[X]
🔒	きょうのお献立	XX/XX[X]
	金曜ドラマスペクタクル「執事探偵５」	XX/XX[X]
	奥様あなたのTVショッピング	XX/XX[X]
	どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX[X]
🔒	笑ってよ　いいとも	XX/XX[X]
	SLAP×STICK	XX/XX[X]
	朝ビバ！	XX/XX[X]
	情報アリーナ特等席	XX/XX[X]
	連続時代劇「大奥24時」	XX/XX[X]

⋮

4 機能メニューを表示する

赤 を押す

5 「保護／解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー
最初から再生
消去
並べ換え　［新しい順］
保護／解除
この番組を毎週予約する

6 「1タイトル保護／解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー … 保護／解除
タイトルを保護／解除します。
1タイトル保護／解除
選択タイトル保護／解除
全タイトル保護／解除

- 選んだタイトルを保護／解除できます。

7 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

保護する　保護解除

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで保護／解除する

1 **前ページの手順1～2と手順4～5を行う**

2 **「選択タイトル保護／解除」を選ぶ**

で選び
を押す

機能メニュー … 保護／解除
タイトルを保護／解除します。
1タイトル保護／解除
選択タイトル保護／解除
全タイトル保護／解除

3 **保護／解除したいタイトルを選ぶ**

で選び
を押す

	チェック	タイトル	日付
NEW	☑	ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX
	☑	午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX
	☑	おとうさんもいっしょ	XX/XX
	☑	きょうのお献立	XX/XX
NEW	☑	金曜ドラマスペクタクル「執事探偵5」	XX/XX
NEW	☐	奥様あなたのTVショッピング	XX/XX
	☐	どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX
	☑	笑ってよ　いいとも	XX/XX
NEW	☐	SLAP×STICK	XX/XX
	☐	朝ビバ！	XX/XX
	☐	情報アリーナ特等席	XX/XX
	☐	連続時代劇「大奥24時」	XX/XX

- 保護したいタイトルに、チェックマークを付けます。
- 最大20タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルにはチェックマークが付きます。もう一度選ぶとチェックマークが外れます。

4 **選んだタイトルを確定する**

赤
を押す

- チェックマークが付いたタイトルが保護されます。
- チェックマークのない（外した）タイトルは保護されません。

	保護	タイトル	日付
NEW	🔒	ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX
	🔒	午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX
	🔒	おとうさんもいっしょ	XX/XX
	🔒	きょうのお献立	XX/XX
NEW		金曜ドラマスペクタクル「執事探偵5」	XX/XX
NEW		奥様あなたのTVショッピング	XX/XX
		どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX
	🔒	笑ってよ　いいとも	XX/XX
NEW		SLAP×STICK	XX/XX
		朝ビバ！	XX/XX
		情報アリーナ特等席	XX/XX
		連続時代劇「大奥24時」	XX/XX

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USBハードディスクのタイトルを全て保護／解除する

1 **前ページの手順1～2と手順4～5を行う**

2 **「全タイトル保護／解除」を選ぶ**

で選び
決定
を押す

機能メニュー … 保護／解除
タイトルを保護／解除します。
1タイトル保護／解除
選択タイトル保護／解除
全タイトル保護／解除

3 **「保護する」または「保護解除」を選ぶ**

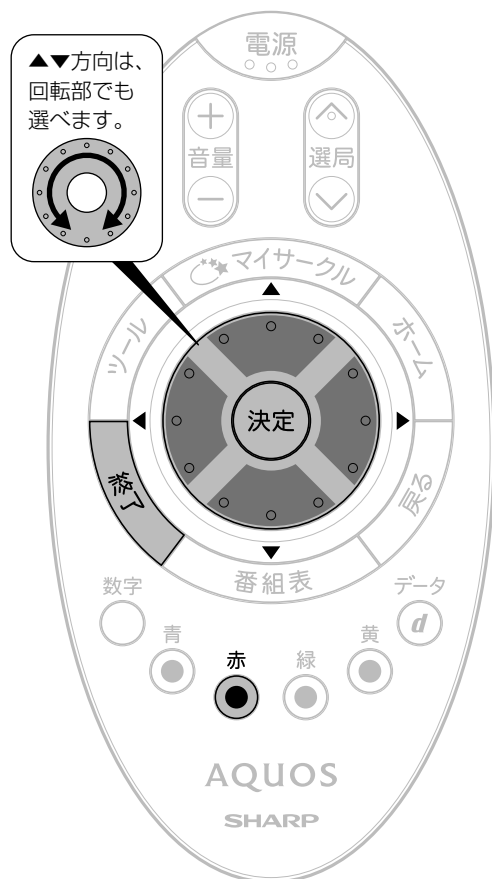
で選び
を押す

保護する	保護解除

- すべてのタイトルが保護または保護解除されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトル（録画した番組）を消去する

• すでに見て不要なタイトル（録画した番組）を録画リストから消去できます。

◇**おしらせ**◇
• 消去したタイトルは復活できません。

タイトルを 1 つ選んで消去する

1 タイトルを消去したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する
• ⇒ **130** ページ

3 消去したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

• 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「保護／解除」（⇒ **138**·**139** ページ）を行ってください。

NEW		ぼくとテディのはるやすみ	XX/X
		午後のドラマ「普通の人たち」	XX/X
		おとうさんもいっしょ	XX/X
	🔒	きょうのお献立	XX/X
NEW		金曜ドラマスペクタクル「執事探偵５」	XX/X
NEW		奥様あなたのTVショッピング	XX/X
		どうぶつ抱腹絶倒	XX/X
	🔒	笑ってよ　いいとも	XX/X
NEW		SLAP×STICK	XX/X
		朝ビバ！	XX/X
		情報アリーナ特等席	XX/X
		連続時代劇「大奥24時」	XX/X

4 機能メニューを表示する

赤 を押す

5 「消去」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 「1タイトル消去」を選ぶ

で選び 決定 を押す

• 選んだタイトルが消去されます。
• 消去中は、電源を切らないでください。
• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで消去する

1 前ページの手順1～2と手順4～5を行う

2 「選択タイトル消去」を選ぶ

で選び
決定
を押す

機能メニュー … 消去
タイトルを消去します。
1タイトル消去
選択タイトル消去
全タイトル消去

3 消去したいタイトルを選ぶ

で選び
決定
を押す

NEW	ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX
	午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX
	おとうさんもいっしょ	XX/XX
	きょうのお献立	XX/XX
NEW	金曜ドラマスペクタクル「執事探偵5」	XX/XX
NEW	奥様あなたのTVショッピング	XX/XX
	どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX
	笑ってよ　いいとも	XX/XX
NEW	SLAP×STICK	XX/XX
	朝ビバ！	XX/XX
	情報アリーナ特等席	XX/XX
	連続時代劇「大奥24時」	XX/XX

- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。

4 選んだタイトルを確定する

赤
を押す

- ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て消去する

1 前ページの手順1～2と手順4～5を行う

2 「全タイトル消去」を選ぶ

で選び
決定
を押す

機能メニュー … 消去
タイトルを消去します。
1タイトル消去
選択タイトル消去
全タイトル消去

3 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

- すべてのタイトルが消去されます。（保護されたタイトルは残ります。）
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

ファミリンクで使う

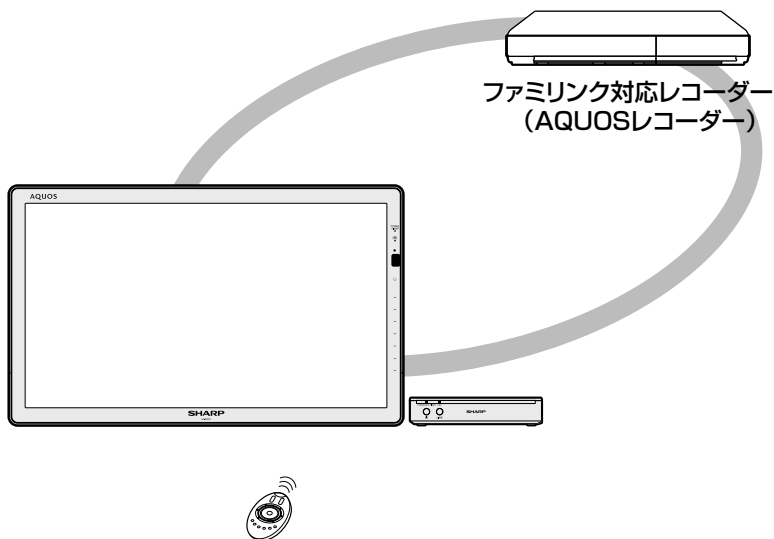
ファミリンクとは

- HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格－ HDMI CEC（Consumer Electronics Control）－を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダーなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOS レコーダー）をHDMI 認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

テレビで見ている番組を、かんたんに録画

レコーダーの番組表を呼び出して、録画予約

録画した番組を、かんたんに再生

◇**おしらせ**◇

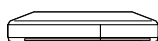
- ファミリンクの対応機種についてはSHARP web ページ内のAQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

> **AQUOS サポートステーション**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機ディスプレイ部に向けて操作してください。AQUOS レコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機にはi.LINK 端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載のAQUOS レコーダーと接続したときi.LINK 録画（2 番組同時録画）は働きません。

ファミリンク機能を使うための準備について

1. 接続をしましょう。

- 市販品の HDMI 認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器とディスプレイをつないでください。

2. 設定をしましょう。

- ファミリンク機能を使うためには、以下の設定が必要です。（本機に付属のリモコンでも設定できます。）

> - 「連動起動設定」⇒**右記**
> - 「録画機器選択」⇒ **144** ページ
> - 「選局キー」⇒ **144** ページ
> - 「ファミリンク制御（連動）」⇒ **145** ページ
> - AQUOS レコーダー側の設定も必要です。
>   ⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

3. 使ってみましょう。

- ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。⇒ **146** ページ
- 録画してみましょう。
  ⇒ **148** ～ **149** ページ
- 再生してみましょう。
  ⇒ **150** ～ **151** ページ

AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約することもできます。

- ⇒ **149** ページ

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

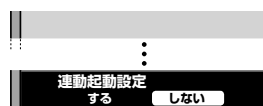
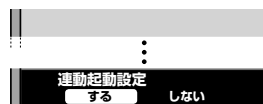
選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「連動起動設定」を選ぶ

で選ぶ

3 「する」を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

録画先として使う機器を選ぶ

- 機器をつないだときの設定です。本機からファミリンク録画する機器、またはUSB-HDD録画機器を指定するための設定です。
- USB-HDD録画機器を初めて接続するときは、⇒ **112** ページもご覧ください。
- 「ツール」－「ファミリンク操作」－「録画」を選んだときに録画する機器を選ぶ設定です。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「録画機器選択」を選ぶ

で選び
決定
を押す

3 録画する機器を選ぶ

で選び
決定
を押す

- USB-HDDは、USBハードディスクを接続しているとき選択ができます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする

「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下のAQUOSレコーダーの操作が行えます。

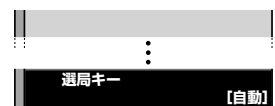
- 選局ボタンで選局の操作ができます。
- 番組表を表示できます。
- データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
- 番組表の表示や、データ連動ボタンは、接続している機器によっては操作できない場合があります。

この設定は、HDMI端子の設定です。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す
選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「選局キー」を選ぶ

で選び
決定
を押す

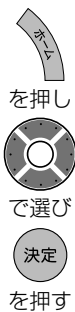
3 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

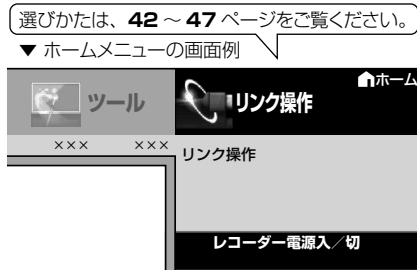
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。

本機から AQUOS レコーダーの電源を入／切するには

・本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。

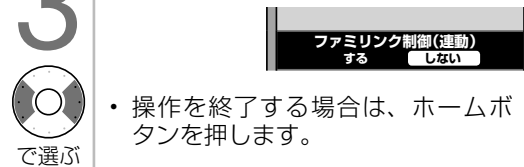
を押し
で選び
を押す

ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「レコーダー電源入／切」を選ぶ

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

・この操作をするたびに、本機とつないでいる AQUOS レコーダーの電源を入／切できます。
・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

一般の HDMI 機器が誤作動するときは

・ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ファミリンク制御（連動）」を選ぶ

で選ぶ

3 「しない」を選ぶ

で選ぶ

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンクⅡ機能に対応したBD プレーヤー・BD レコーダーを接続した場合に、ファミリンク対応機器操作用のファミリンクパネルを表示できます。(表示内容は機器により異なります。)

- ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ 重 要 ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していない機器(ファミリンクⅠ対応機器)では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

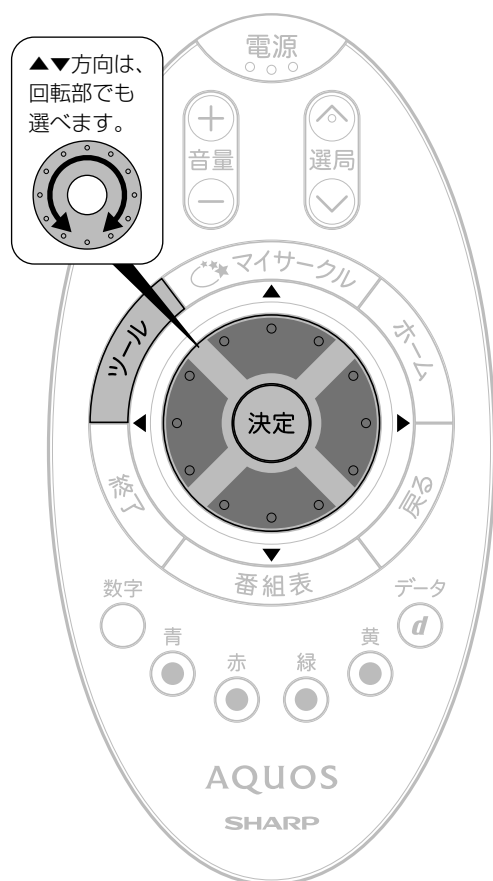
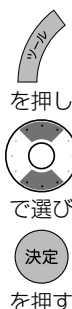
1 ツールメニューを表示して、「ファミリンクパネル」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

2 操作したい機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

ファミリンクでつながっている機器が表示されます。

3 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び

を押す

操作機器名

操作ボタン

詳しくは「操作ボタンの機能について」(⇒**次**ページ)をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- プレーヤーと接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

ボタン	説明
電源	• ファミリンク対応機器の電源を入／切できます。
番組表	• ファミリンク対応機器の番組表を表示します。
録画リスト	• ファミリンク対応機器の録画リストを表示します。
ポップアップメニュー	• ファミリンク対応機器のポップアップメニューを表示します。
ホーム	• ファミリンク対応機器のホーム画面を表示します。
メディア切換	• ファミリンク対応機器のメディアを切り換えます。

操作ボタン※1 の機能について

ボタン	説明
早戻し	• 早戻し再生
再生	• 再生
早送り	• 早送り再生
前	• 前のチャプター※2 に戻って頭出し（逆頭出し） • 一時停止後のコマ戻し
一時停止	• 一時停止
次	• 先のチャプター※2 に進んで頭出し（順頭出し） • 一時停止後のコマ送り
10秒戻し	• 10 秒後戻し
停止	• 停止
30秒送り	• 30 秒先送り
録画画質	• 録画画質を選択
録画	• 録画
録画停止	• 録画を停止

※１　視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
※２　チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

• AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「スタートメニュー表示」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

• AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
• AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

◇おしらせ◇

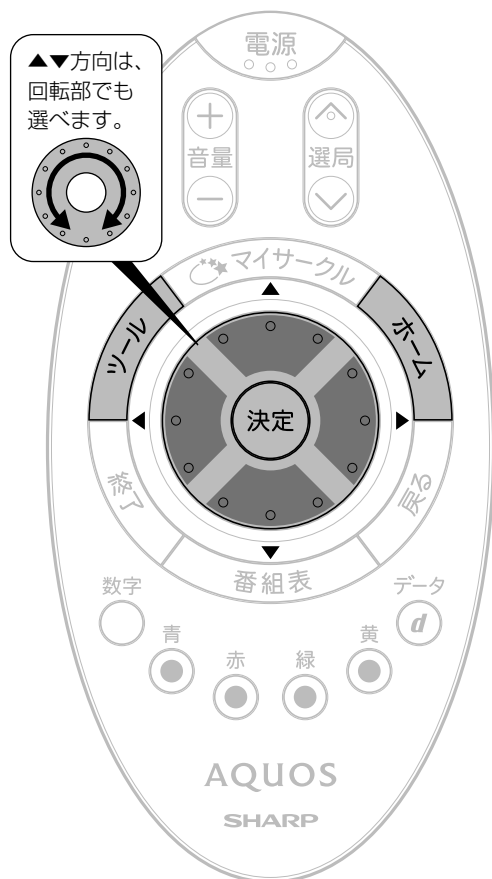
• スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて　（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

見ている番組をすぐに録画する

◆ 重 要 ◆

ファミリンクで録画を行う前に AQUOS レコーダー側の録画準備が必要です。次のことなどを確認します。

- ディスプレイと AQUOS レコーダーをつないでいますか。
- B-CAS カードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。
- アンテナが接続されていますか。
- 記録メディア（HDD、BD、DVD など）に空き容量がありますか。
- 本機のホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「録画機器選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。（⇒ **144** ページ）
- 初期設定では HDMI 入力に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

再生・録画するメディア（HDD/DVD など）を切り換える

- 必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／ BD モード／ DVD モードを切り換えます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「機器のメディア切換」を選ぶ

を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 レコーダーのメディアの種類（「HDD」や「BD/DVD」、「DVD」など）を選ぶ

を押す

- AQUOS レコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
- 「機器のメディア切換」で決定するごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

見ている番組を AQUOS レコーダーに録画する

1 ツールメニューを表示して、「ファミリンク操作」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

2 録画したい番組の視聴中に「録画」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 「録画機器選択」(⇒ **144** ページ)で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。

録画の停止について

- お使いの AQUOS レコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。

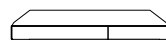
録画終了時刻が表示されない AQUOS レコーダーの場合は

- 手動で録画の停止が必要です。録画したい番組が終わったら、「ツール」－「ファミリンク操作」－「録画停止」を選んでください。
- ファミリンクⅡ機能に対応していないレコーダーの場合は、レコーダーのリモコンで録画停止してください。

◇**おしらせ**◇

- 「録画機器選択」(⇒ **144** ページ) で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 他の外部入力を視聴しているときは、「ツール」－「ファミリンク操作」－「録画」を選んでも録画できません。

AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約する

レコーダーの番組表を呼び出して、予約を設定

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「リンク予約(録画予約)」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

- 表示されたレコーダーを選択すると、レコーダー側の番組表が表示されます。

2 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの

で操作します。(詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)

AQUOS レコーダーを再生する

視聴する HDMI 対応のレコーダー（録画機器）を選ぶ

- 視聴する HDMI 機器を選びます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク機器リスト」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 視聴したい機器を選ぶ

で選び
を押す

最後に録画した番組を再生する

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーを操作できます。

1

を押し

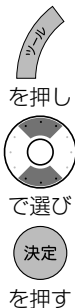
で選び

を押す

ツールメニューを表示して、「ファミリンクパネル」を選ぶ

2

で選び

を押す

ファミリンクパネルの「再生」ボタンを選んで、録画した番組を再生する

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ホームメニューから「リンク操作」－「録画リストから再生」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、ファミリンクパネルで操作が行えます。
⇒ **146** ページ

AQUOS レコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「連動起動設定」を「する」に設定します。（⇒ **143** ページ）

1

を押し

で選び

を押す

ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「録画リストから再生」を選ぶ

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

- AQUOS レコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOS レコーダーの録画リストが表示されます。

2

で選び

を押す

再生したい番組（タイトル）を選び再生する

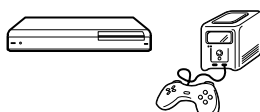
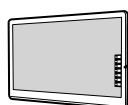
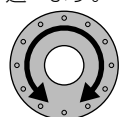
- 録画リストは本機のリモコンの

で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、ファミリンクパネルを表示して「停止」ボタンを選びます。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

◇**おしらせ**◇

- AQUOS レコーダーが DVD モードになっていて DVD ビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ホームメニューから「リンク操作」－「機器のメディア切換」を選んで、AQUOS レコーダーのモードを切り換えてください。

HDMI で接続した外部機器の映像を見る（BD プレーヤーやゲーム機などの画面を表示するには）

外部機器の画面に切り換える（入力切換）

・テレビ放送の画面から HDMI 入力の画面に切り換えると、BD や DVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

灰色で表示した手順は BD プレーヤーなどの外部機器の操作です。

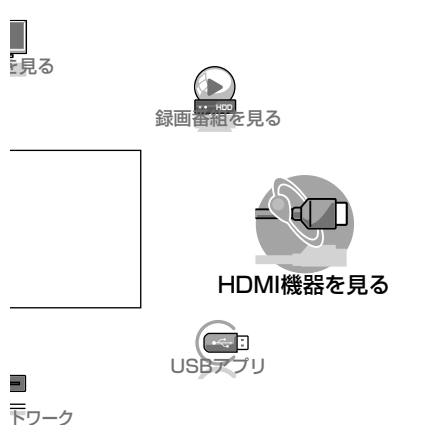
1 BDプレーヤーなどを本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいディスクなどをセットする

3 マイサークルを表示して、「HDMI機器を見る」を選ぶ

マイサークル を押し

で選び

決定 を押す

- BD プレーヤーなど HDMI でつないだ入力に切り換わります。
- ホームメニューから「チャンネル」－「入力切換」－「HDMI」を選んで切り換えることもできます。
- マイサークル⇒ **36** ページ

4 BDプレーヤーなどを再生する

- 再生映像が表示されます。
- 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続した BD プレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p(24Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i、VGA

- 対応している音声信号はリニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

入力切換の表示を
お好みのなまえに変えるには

- HDMI 入力に接続している機器に合わせ、チャンネルサインに表示される機器の名称を変更できます。
- お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。
- マイサークルを表示して、「HDMI 機器を見る」を選び、ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「入力表示」を選んで、表示させたい名称を選びます。
- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。（文字を入力する⇒ **102** ページ）

使用していない入力を
スキップするには

- HDMI 入力、ホームネットワークを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「入力スキップ」を選び、上下カーソルボタンでスキップしたい入力を選んで、左右カーソルボタンで「する」を選びます。

◇**おしらせ**◇

- 「入力スキップ」を「する」に設定すると、入力切換をしても入力を選べなくなります。入力スキップを解除する場合は、上記「入力スキップ」の設定で「しない」を選んでください。

ゲーム機をつないで使う

目に優しい映像で、ゲームを楽しみましょう

- テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適なAV ポジション(⇒ **82** ページ)の「ゲーム」にすることをお奨めします。

ゲームの反応が遅いときは

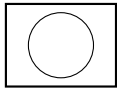
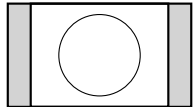
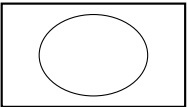
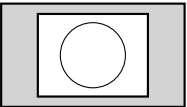
- ゲームによっては、映像の動きの速いシーンにおいて、反応が遅くなる場合があります。
- ゲームによっては、キーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合があります。反応が遅く感じる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更してください。

◇**おしらせ**◇

- 本機と接続できるゲーム機は、HDMI 接続できる機種のみです。D 端子、S 端子などでは接続できません。
- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

パソコンとつないで使う

パソコンの モニターとして使う

パソコンと
つなぐ⇒**232**ページ

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン（PC）の出力の解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。

本機が対応している解像度

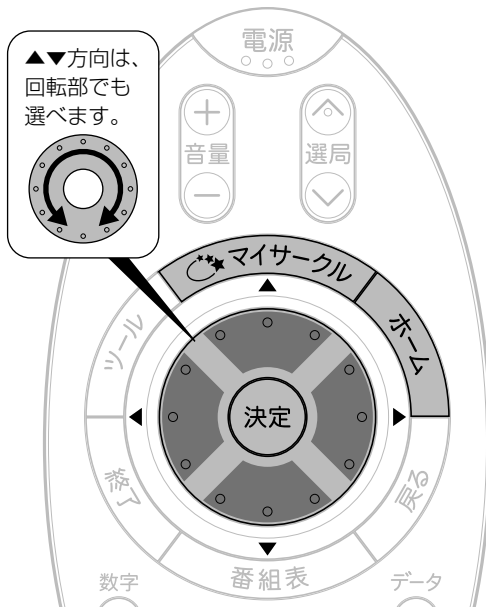
解像度（画素）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	VESA規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○
WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
※ 480p	720 × 480	31.5	60	
※ 1080i	1920 × 1080	33.8	60	
※ 720p	1280 × 720	45.0	60	
※ 1080p	1920 × 1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、
⇒ **78** ～ **79** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

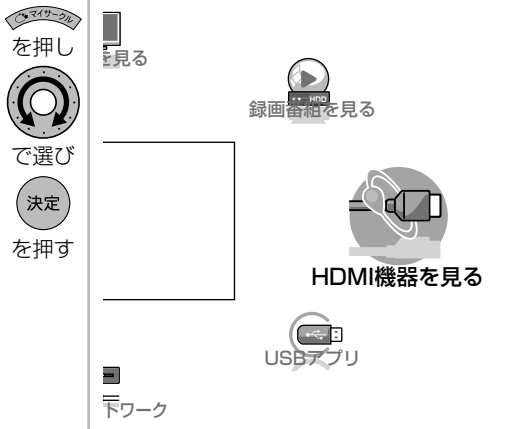
- 省エネの設定をすることができます。（⇒ **92** ページ）
- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒**下記**をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

パソコンの画面を表示させる

1 パソコン(PC)の電源を入れる

2 マイサークルを表示して、「HDMI機器を見る」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

• ホームメニューから「チャンネル」－「入力切換」－「HDMI」を選んで入力を切り換えることもできます。

画面サイズを選ぶ

3 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」を選ぶ

を押し
で選び
を押す
選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

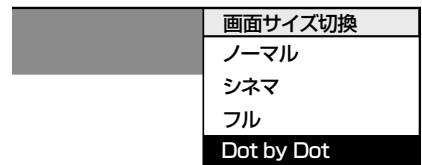
▼ ホームメニューの画面例

• ツールボタンを押して「画面サイズ」を選ぶと、直接手順 **5** の画面が表示されます。

4 「画面サイズ」を選ぶ

で選び
決定
を押す

5 お好みの画面サイズを選ぶ

で選ぶ

6 画面サイズ切換メニューを消す

を押す

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

- インターネットやホームネットワークを楽しむために、ブロードバンド環境やLAN環境を用意しましょう。
- 通信端末認定品の市販のルーターなどを使ってLAN接続をしてください。

ブロードバンド環境やLAN環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
オーナーズラウンジAQUOS.jpやインターネットの表示 使いかた ⇒**172〜180**ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
YouTubeの動画の視聴 使いかた ⇒**181**ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
アクトビラ ビデオの視聴 使いかた ⇒**195〜197**ページ	プロバイダとの契約が必要	光回線環境が必要	必要
デジタル放送の双方向通信 **（LAN接続に対応している番組のみ）**	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
IPTVの視聴 使いかた ⇒**182〜194**ページ	プロバイダとの契約と、IPTVサービスの契約が必要	光回線環境が必要	必要
ホームネットワーク上の写真データの表示・印刷／動画や音楽データの再生 使いかた ⇒**198〜211**ページ	不要	不要	必要

◇**おしらせ**◇

AQUOS.jpについて
- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

視聴者参加型データ放送の利用について
- 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。（LAN接続で利用できるものもあります。）

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルの利用について
- アクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）を利用するには、光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度（常時）12Mbps以上の光回線（FTTH）が必要です。

IPTVの利用について
- IPTVのご利用には、実効速度（常時）20Mbps以上の光回線（FTTH）が必要です。

ホームネットワークの利用について
- ホームネットワークを利用するには、LAN接続が必要です。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

双方向通信について
- 無線LAN接続状態のときは、双方向通信ができません。

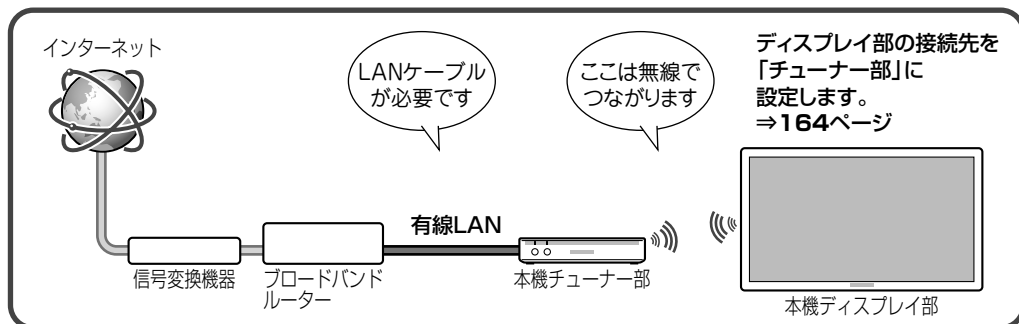
ブロードバンド環境とLAN 環境の用意のしかた

- ブロードバンド環境につないでいるブロードバンドルーターを本機チューナー部に有線 LAN で接続すると、インターネットやホームネットワークが楽しめます。

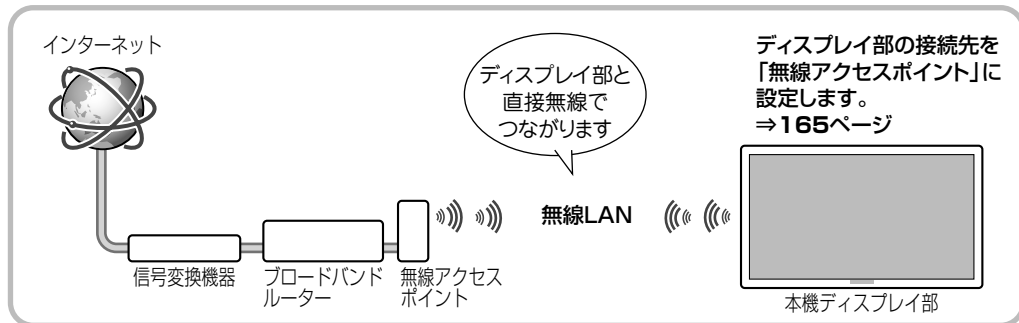
1 ブロードバンド環境を用意する

- ⇒ **160** ページをご覧ください。
- ブロードバンド環境がない場合は⇒ **158** ～ **159** ページをご覧ください。

2 本機チューナー部に有線LANで接続する

- おすすめの接続方法です。⇒ **161** ページをご覧ください。

- ディスプレイ部の接続先をチューナー部に変更する場合は⇒ **164** ページをご覧ください。

本機ディスプレイ部に無線 LAN で接続することもできます。

- ブロードバンドルーターが無線 LAN に対応している場合や無線アクセスポイントにつながっている場合は、本機ディスプレイ部と直接無線 LAN で接続できます。⇒ **162** ～ **163** ページをご覧ください。
- この場合は、デジタル放送の視聴や USB ハードディスク機能など、本機チューナー部の機能が利用できなくなります。

- ディスプレイ部の接続先を無線アクセスポイントに変更し、無線 LAN で使うための設定が必要です。⇒ **165** ～ **167** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

本機ディスプレイ部に直接無線 LAN で接続する場合は、チューナー部の機能を利用できなくなります。具体的には、以下のような制約があります。

- 地上デジタル／ BS ／ 110 度 CS 放送が視聴できません。
- 地上デジタル／ BS ／ 110 度 CS 放送に関する機能（番組表やデータ放送など）が使用できません。
- USB ハードディスクに関する機能が使用できません。
- 予約機能が使用できません。
- 電源を入れたときは、インターネットの AQUOS.jp の画面が表示されます。

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた

- インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV 回線・ADSL 回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。次のような手順が必要です。

1 サービスを提供するプロバイダーや回線事業者と契約する

- パソコン売り場などにあるパンフレットなどをご覧になり、申し込むプロバイダーや回線事業者を選びます。
- お申し込みになる前に、次の内容を確認してください。

プロバイダーや回線事業者に確認すること

- 申し込むサービスがお住まいの地域で提供されているか。
- ブロードバンドルーターの機種に指定や制限がないか。
- インターネットに接続する機器の台数やサポートなどに指定や制限がないか。
- ADSL モデムやケーブルモデムなどの信号変換機器を、お客様自身で購入する必要があるか。
- 購入する場合は、信号変換機器の種類も確認してください。

- 申し込み手続きが完了すると、プロバイダーからインターネットの接続に必要な設定情報が発行されます。

◇おしらせ◇

- プロバイダーによっては、ブロードバンド回線とセットでサービスを提供している会社もあります。
- プロバイダーの料金や回線使用料金はさまざまです。また、同じプロバイダーであっても、コースによって価格が異なります。
- 申し込みをされてから回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかったりする場合があります。

2 必要に応じてブロードバンドルーターを購入する

- ブロードバンドルーターは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

◇おしらせ◇

- 信号変換機器には、ブロードバンドルーター機能が内蔵されているものもあります。この場合、ブロードバンドルーターは必要ありません。ただし、LAN ケーブルを接続するための端子が 1 つしかない場合､ハブ（市販品）が必要です。信号変換機器にブロードバンドルーター機能が内蔵されているかどうかは、販売店やプロバイダー、回線事業者にご確認ください。

本機には、プロバイダーに接続するためのユーザー ID やパスワードを登録できません。

- 接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合は、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。

3 LANケーブルを購入する

- LAN ケーブルは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。
- LAN ケーブルは、10BASE-T/100 BASE-TX タイプのものをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- LAN ケーブルをお買い求めになる前に、本機とブロードバンドルーターを設置する場所を決めて、必要なケーブルの長さを測っておいてください。

4 ブロードバンド回線と信号変換機器、信号変換機器とブロードバンドルーターを接続する

- **160** ページのように接続します。接続について詳しくは、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご確認ください。接続の際は、それぞれの取扱説明書も併せてお読みください。

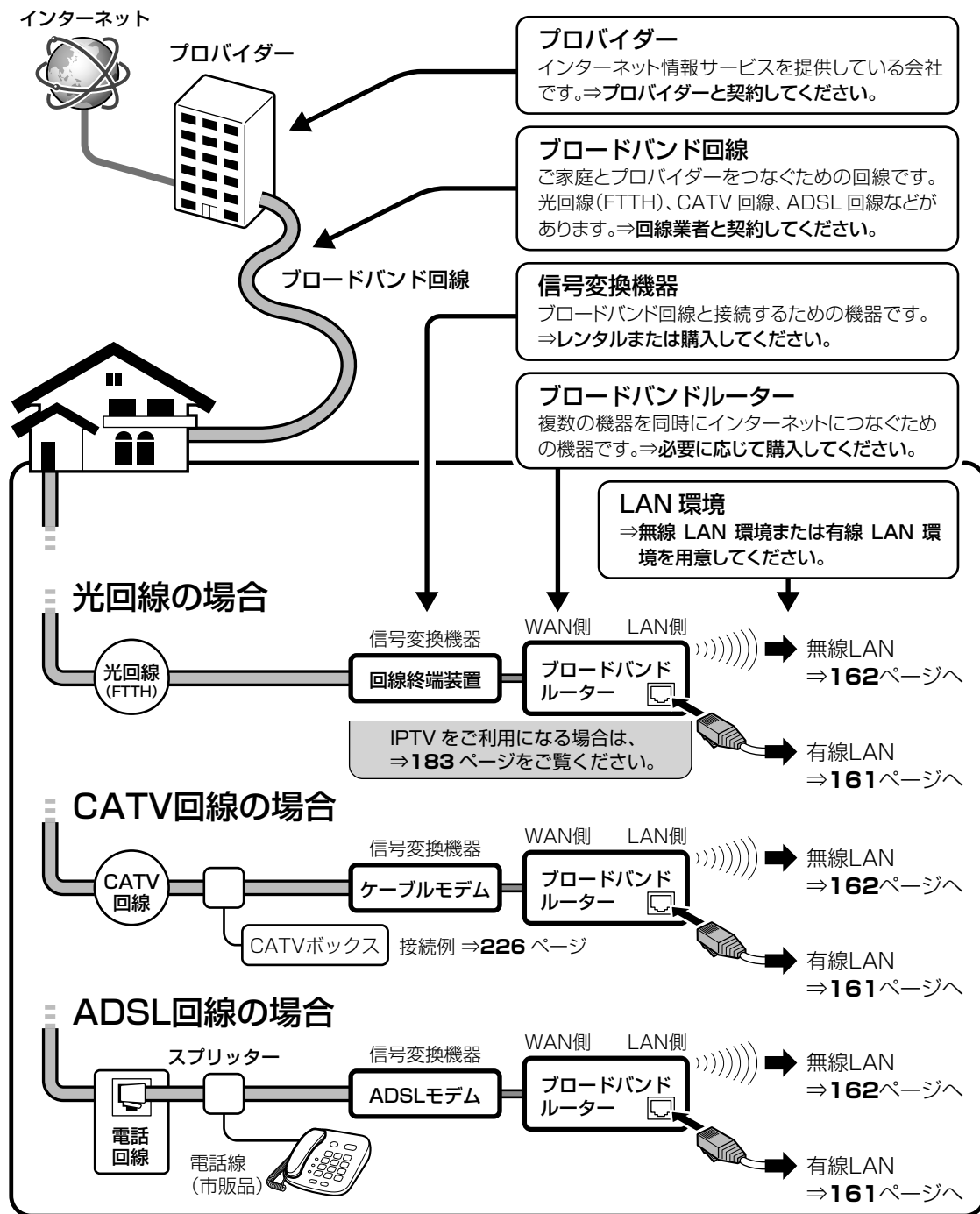
◇**おしらせ**◇

- IPTV サービスが IPv6 サービスの場合には、IPv6 に対応したブロードバンドルーターが必要になります。
- ADSL モデムやケーブルモデムにルーター機能がある場合は、ブロードバンドルーターは不要です。モデムの取扱説明書に従ってルーター機能をオンにしてください。なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合はモデムのルーター機能を無効にしないと正しく通信できない場合があります。詳しくは、モデムやブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

5 ブロードバンドルーターの設定をする

- プロバイダーから提供された設定情報（接続のためのユーザー ID やパスワード、IP アドレス、DNS など）をブロードバンドルーターに設定します。
- 設定の操作については、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 設定にはパソコンが必要になる場合があります。パソコンをお持ちでない方は、お買いあげの販売店や、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご相談ください。

ブロードバンド環境を用意する

- 本機をインターネットに接続するために、下記の環境をご用意ください。

◇**おしらせ**◇

IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス(動画)をご利用いただくには、光回線(FTTH)が必要です。

- IPTV のご利用には、実効速度(常時)20Mbps 以上の光回線(FTTH)が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度(常時)12Mbps 以上の光回線(FTTH)が必要です。

本機チューナー部に有線 LAN で接続する場合

- 市販の LAN ケーブルをお持ちでない場合は、購入してご用意ください。
- 本機チューナー部の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子を、LAN ケーブルで接続します。

接続例 **A**

ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

信号変換機器（ルーター機能なし）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置

ブロードバンドルーター（市販品）

LANケーブル（市販品）

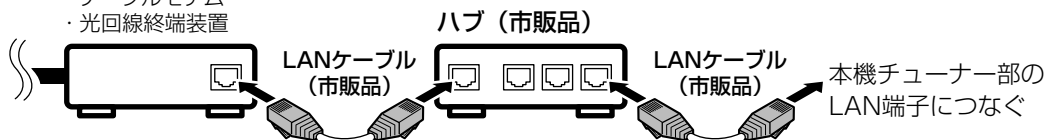
LANケーブル（市販品）

本機チューナー部のLAN端子につなぐ

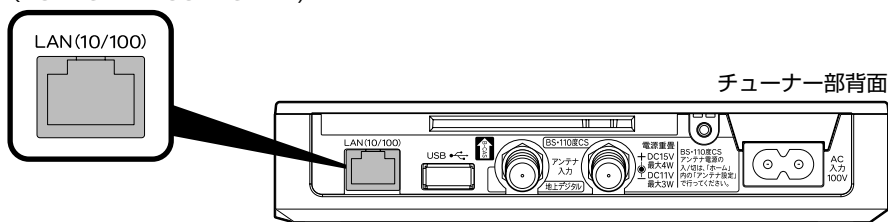
接続例 **B**

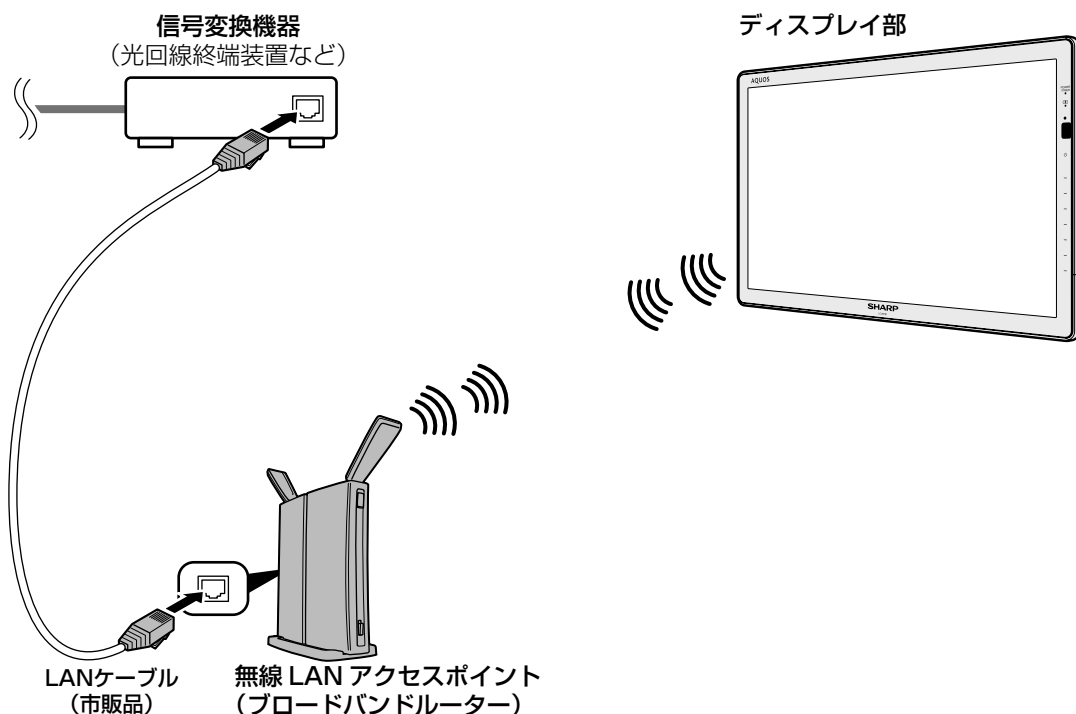
ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがない場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置

接続例

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置

LAN 端子
（10BASE-T/100BASE-TX）

本機ディスプレイ部に 無線 LAN で接続する場合

- 市販の無線 LAN アクセスポイントをお使いの場合は、本機ディスプレイ部と直接無線 LAN で接続できます。この場合は、デジタル放送の視聴や USB ハードディスク機能など、本機チューナー部の機能が利用できなくなります。

◇おしらせ◇

- 無線 LAN を利用するためには無線 LAN アクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき設置、設定を行ってください。無線 LAN アクセスポイントは、安定したワイヤレス接続のために 802.11n(5GHz) 方式 /IPv6 ブリッジ接続／ AES 暗号化に対応した、（株）BUFFALO 製 WZR-HP-AG300H/V（市販品）のご使用をおすすめします。
- 無線 LAN 接続をご利用になる場合は、有線 LAN 接続のご利用はできなくなります。接続先設定で、無線 LAN 接続（無線アクセスポイント）または有線 LAN 接続（チューナー）を選んでご利用ください。⇒ **164** ページ
- 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、無線設定情報を初期化してください。⇒ **284** ページ（個人情報初期化）

- すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
  - コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  - 障害物の近くへの設置
  - 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
  - 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ
- くわしくは、SHARP Web ページ内のAQUOS サポートステーション「Q&A 情報」、又は (株) バッファロー Web ページをご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

(株) バッファロー Web
86886.jp

無線ＬＡＮ使用上のご注意

- 無線 LAN をご利用の場合は、電波や個人情報などに関して守らなければならない注意事項があります。
- 詳しくはご使用の無線 LAN 機器の取扱説明書を必ずご覧になり正しくお使いください。
- お客さま、または第３者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。
- 無線 LAN 機器をご利用の場合は、暗号設定有無に関わらず、電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
個人情報（セキュリティー関連）に関する使用上の注意事項について、詳しくはご使用の無線 LAN 機器の取扱説明書を必ずご覧になり正しくお使いください。
- 一般的な無線ＬＡＮ機器として、ご家庭宅内でお使いください。
  - 機密を要する重要な通信や、人命に関わる通信など、重要な通信には使用しないでください。
  - 病院内や医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。
- 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。
- 日本国内でのみ使用できます。

ディスプレイ部の接続先を切り換える

- 本機ディスプレイ部の無線接続先を切り換えることができます。（工場出荷時は、「チューナー部」に設定されています。）
- ディスプレイ部の接続先を「チューナー部」に設定したときは、チューナー部に接続した有線 LAN から、チューナー部を経由してインターネットを利用できます。
- ディスプレイ部の接続先を「無線アクセスポイント」に設定したときは、無線アクセスポイントを経由してインターネットを利用できます。この場合は、デジタル放送の視聴や USB ハードディスク機能など、本機チューナー部の機能が利用できなくなります。
- ディスプレイ部の接続先を切り換えたときは、IPTV のチャンネル設定情報がクリアされますので、必要に応じて再設定を行ってください。⇒ **186** ～ **187** ページをご覧ください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「LAN設定」を選ぶ

LAN設定

で選び 決定 を押す

3 「接続先設定」を選び、現在の設定を確認する

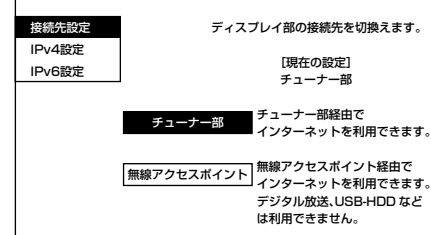
で選ぶ

接続先設定
IPv4設定
IPv6設定

ディスプレイ部の接続先を切換えます。

［現在の設定］
チューナー部

チューナー部：チューナー部経由でインターネットを利用できます。

無線アクセスポイント：無線アクセスポイント経由でインターネットを利用できます。デジタル放送、USB-HDD などは利用できません。

チューナー部に接続した有線 LAN から、チューナー部を経由してインターネットを利用する場合

- 「現在の設定」が「チューナー部」になっていることを確認してください。
- 「無線アクセスポイント」になっている場合は「チューナー部」を選び、決定してください。

接続先をチューナー部に変更します。
決定ボタンを押すと、しばらく表示が消えますが、そのままお待ちください。

実行

- 「実行」で決定すると、本機ディスプレイ部が再起動します。再起動中は、画面の表示が数十秒間消えます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

無線アクセスポイントを経由してインターネットを利用する場合

- 「現在の設定」が「無線アクセスポイント」になっていることを確認してください。
- 「チューナー部」になっている場合は「無線アクセスポイント」を選び、決定してください。
- ⇒ **165** ページの手順で接続の設定をしてください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

無線アクセスポイントに接続する

- 無線LANに接続するには、無線アクセスポイントと本機ディスプレイ部の接続設定をしておく必要があります。
- WPS対応のアクセスポイントをお使いになる場合は、WPSでの接続がおすすめです。(WPSに対応していないアクセスポイントをお使いの場合は、⇒ **167** ページの手順で接続の設定をしてください。)
- WPSでの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式がありますが、プッシュボタン方式で接続すると、かんたんに設定することができます。

プッシュボタン方式

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、自動的に接続できます。

PINコード方式

- PIN (Personal Identification Number) コードとは、無線LANルーターや本機などの機器がお互いに情報をやり取りするときに機器の識別に利用するための識別番号のことです。
- PINコードを手動で入力して接続の設定をします。(⇒ **166** ページ)

プッシュボタン方式で無線アクセスポイントに接続する

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「LAN設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

LAN設定

3 「接続先設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

接続先設定
IPv4設定
IPv6設定

ディスプレイ部の接続先を切換えます。

[現在の設定]
チューナー部

チューナー部　チューナー部経由でインターネットを利用できます。

無線アクセスポイント　無線アクセスポイント経由でインターネットを利用できます。デジタル放送、USB-HDDなどは利用できません。

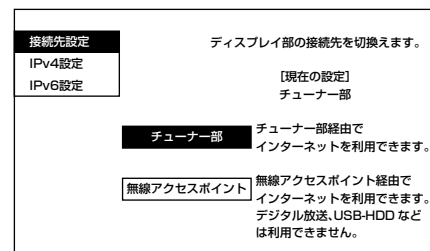
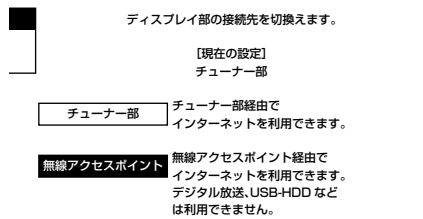
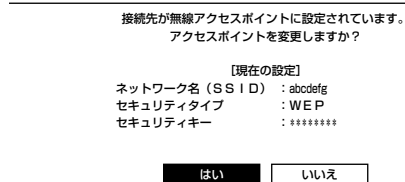
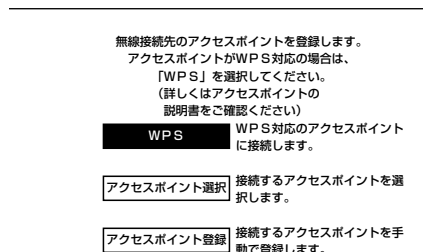
4 「無線アクセスポイント」を選ぶ

で選び　決定 を押す

ディスプレイ部の接続先を切換えます。

[現在の設定]
チューナー部

チューナー部　チューナー部経由でインターネットを利用できます。

無線アクセスポイント　無線アクセスポイント経由でインターネットを利用できます。デジタル放送、USB-HDDなどは利用できません。

- 現在の設定が「無線アクセスポイント」の場合は、アクセスポイントを変更するかどうかを確認する画面が表示されます。接続する場合は「はい」を選んで決定し、手順 **5** へ進みます。

接続先が無線アクセスポイントに設定されています。
アクセスポイントを変更しますか?

[現在の設定]
ネットワーク名(SSID)　:abcdefg
セキュリティタイプ　:WEP
セキュリティキー　:********

はい　いいえ

5 「WPS」を選ぶ

で選び　決定 を押す

無線接続先のアクセスポイントを登録します。
アクセスポイントがWPS対応の場合は、
「WPS」を選択してください。
(詳しくはアクセスポイントの
説明書をご確認ください)

WPS　WPS対応のアクセスポイントに接続します。

アクセスポイント選択　接続するアクセスポイントを選択します。

アクセスポイント登録　接続するアクセスポイントを手動で登録します。

6 「プッシュボタン方式」を選ぶ

で選び
を押す

設定方法を選択してください。
アクセスポイントがプッシュボタン方式に
対応している場合は、
「プッシュボタン方式」を選択してください。

プッシュボタン方式　ボタンを押して設定します。

ＰＩＮコード方式　ＰＩＮコード（数字）を入力して設定します。

- 「PIN コード方式」で設定するときは、「PIN コード方式で無線アクセスポイントに接続する」（⇒**右記**）をご覧ください。

7 「次へ」で決定する

を押す

- アクセスポイントの WPS ボタンが押されるのを待っている状態になります。

8 アクセスポイントの WPSボタンを5秒以上押す

アクセスポイントのＷＰＳボタンを
5秒以上押してください。

中止

- WPS ボタンとは、無線 LAN 自動接続のためのボタンです。アクセスポイントによっては、WPS ボタンの名称が異なる場合や、ボタンを数秒間押し続ける必要があります。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

▼アクセスポイントの例

- アクセスポイントの AOSS ボタンを押すと、無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了したら、接続の内容が表示されます。

9 「実行」で決定する

決定
を押す

無線接続設定が完了しました。
決定ボタンを押すと、しばらく表示が消えますが、
そのままお待ちください。

［現在の設定］
ネットワーク名（ＳＳＩＤ）：abcdefg
セキュリティタイプ：ＷＥＰ
セキュリティキー：********

実行

- 「実行」で決定すると、本機ディスプレイ部が再起動します。再起動中は、画面の表示が数十秒間消えます。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。

PIN コード方式で 無線アクセスポイントに接続する

1 **165ページの手順1〜5を行う**

2 **「PINコード方式」を選んで決定する**

3 **本機のPINコードをアクセスポイントに設定する**

- PIN コードが表示されます。（PIN コードは、「PIN コード方式」を選ぶたびに異なる番号が表示されます。）
- 表示された PIN コードを、アクセスポイントに設定します。設定のしかたは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントに PIN コードを設定したら「次へ」で決定します。

4 **接続するアクセスポイントのSSIDを選んで決定する**

- SSID の確認のしかたについては、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了したら、接続の内容が表示されます。

5 **「実行」で決定する**

- 「実行」で決定すると、本機ディスプレイ部が再起動します。再起動中は、画面の表示が数十秒間消えます。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。

その他の手動設定で無線アクセスポイントに接続する

- 手動での設定方法には、アクセスポイント選択方式とアクセスポイント登録方式があります。

アクセスポイント選択方式

- 接続できるアクセスポイントを検索してリスト表示し、接続するアクセスポイントを選択します。

アクセスポイント登録方式

- 接続するアクセスポイントのSSID番号を入力します。

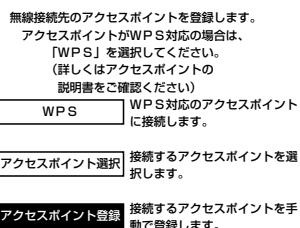
1 **165ページの手順1～4を行う**

2 **上下カーソルボタンで「アクセスポイント選択」または「アクセスポイント登録」のいずれかを選び、決定する**

無線接続先のアクセスポイントを登録します。
アクセスポイントがWPS対応の場合は、
「WPS」を選択してください。
（詳しくはアクセスポイントの
説明書をご確認ください）

WPS　WPS対応のアクセスポイントに接続します。

アクセスポイント選択　接続するアクセスポイントを選択します。

アクセスポイント登録　接続するアクセスポイントを手動で登録します。

- 「WPS」で設定するときは、⇒ **165** ページをご覧ください。

「アクセスポイント選択」を選んだ場合

- 手順 **3** へ進みます。

「アクセスポイント登録」を選んだ場合

- 手順 **4** へ進みます。

3 **上下カーソルボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定する**

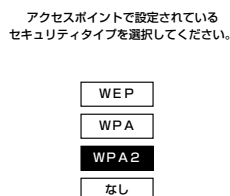
- 手順 **5** へ進みます。

4 **SSIDを入力する**

- 「文字を入力する（ソフトウェアキーボード）」（⇒ **102** ページ）をご覧になり、SSIDを入力します。

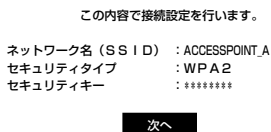
左右カーソルボタンで「次へ」を選び、決定する

5 **上下カーソルボタンで「WEP」「WPA」「WPA2」「なし」のいずれかを選び、決定する**

- アクセスポイントで設定されているセキュリティタイプを選びます。

6 **セキュリティーキーを入力する**

- 「文字を入力する（ソフトウェアキーボード）」（⇒ **102** ページ）をご覧になり、セキュリティーキーを入力します。

左右カーソルボタンで「次へ」を選び、決定する

7 **設定の内容を確認し、決定する**

8 **「実行」で決定する**

- 「実行」で決定すると、本機ディスプレイ部が再起動します。再起動中は、画面の表示が数十秒間消えます。

- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

- インターネットに接続できない場合（AQUOS.jp を表示できない場合）は、以下の手順で、ネットワークの設定を確認します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「LAN設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 「IPv4設定」を選ぶ

- 各項目に数値が表示されているか確認します。

で選び

決定 を押す

LANの情報（IPv4）を設定します。

[現在の設定]

IPアドレス　：自動設定 192.168.100.5
ネットマスク　：自動設定 255.255.255.0
ゲートウェイ　：自動設定 192.168.100.1
DNS　：自動設定 192.168.100.1
MACアドレス：00:00:00:00:00:00

- この画面に表示されている数値は一例です。お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

各項目が空欄の場合

次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- ブロードバンドルーターの DHCP 機能（IP アドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。（⇒**次**ページ）
- 有線 LAN につないでいる場合は、チューナー部の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。

各項目に数値が表示されている場合

LAN 設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「ネットサービス制限設定」－「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。（⇒ **170** ページ）

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

ネットワークの設定を変更する

- IP アドレスなどを手動で設定する場合は、次の手順で設定を変更します。

1 **前ページの手順1～2を行う**

2 **上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、決定する**

IPv4 を設定する場合
- 「IPv4 設定」を選んで決定します。

IPv6 を設定する場合
- 「IPv6 設定」を選んで決定します。

3 **左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する**

4 **IPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**
- 「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒**右記**)をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合
- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

5 **DNSのIPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**
- 「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒**右記**)をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
- セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合
- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

6 **「完了」で決定する**
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 **入力欄を選ぶ**

で選び
を押す

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 **文字を入力する**

で選び
を押す

3 **入力した文字を確定する**

黄
を押す

- ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

◇**おしらせ**◇

IP アドレスについて
- TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて
- TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて
- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき
- DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

インターネットへの接続を制限する

双方向サービスやインターネット接続の利用を制限する

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送やインターネットでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇**おしらせ**◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **90** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を禁止する設定の例

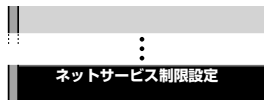
1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

を押し

で選び 決定 を押す

▼ ホームメニューの画面例

2 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を選ぶ

で選び

を押す

デジタル放送接続制限

- デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

インターネット接続制限

- インターネットの接続を禁止する／禁止しないを設定できます。禁止すると、インターネットの表示やIPTV の視聴ができなくなります。

4 暗証番号を入力する

- 暗証番号の入力のしかたについては⇒ **90** ページをご覧ください。

5 「する」を選ぶ

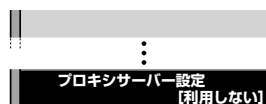
で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

プロキシ設定機能を利用する（プロキシサーバー設定）

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。

◇**おしらせ**◇
- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **90** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 前ページの手順1～2を行う

を押し
で選び 決定 を押す

2 「プロキシサーバー設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

プロキシサーバー設定
[利用しない]

3 暗証番号を入力する

- 暗証番号の入力のしかたについては⇒ **90** ページをご覧ください。

4 「変更する」を選ぶ

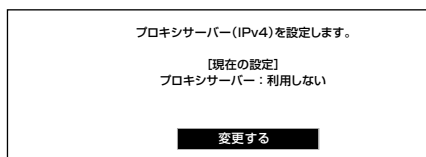
決定 を押す

プロキシサーバー(IPv4)を設定します。

[現在の設定]
プロキシサーバー：利用しない

変更する

5 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

6 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

で選び 決定 を押す

- 各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
- 文字を入力し 黄 で確定します。詳しくは「文字を入力する」（⇒ **102** ページ）をご覧ください。

7 「完了」で決定する

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

はじめにお読みください
電源を入れる／基本の使いかた
テレビを見る／便利な使いかた
USBハードディスクをつないで録る・見る
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな?／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）

- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

AQUOS.jp の表示内容は一例です。

接続について

- インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- 「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **156** ～ **167** ページ）をご覧になり、接続と設定を行ってください。

本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

- 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。
  - ファイルのダウンロードはできません。
  - 表示したページの履歴は表示できません。
  - ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
  - ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
  - PDF（電子文書）を読み込む機能はありません。
  - メールの送受信機能はありません。

AQUOS.jp を表示する

を押し

で選び

を押す

マイサークルを表示して、「AQUOS.jp」を選ぶ

- ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。（画面は一例です。）

- テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。選局ボタンやマイサークルで「テレビを見る」を選んでも戻せます。

AQUOS.jp が表示されないときは

- 「LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。ホームボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」（⇒ **168** ページ）をご覧になって、インターネットに接続してください。

◇**おしらせ**◇

視聴予約しているときは

- 視聴予約した時間になると、予約した番組が表示されます。

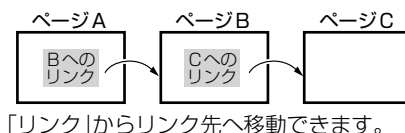
インターネットを楽しむ操作
⇒ **174** ～ **178** ページ

インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた

ブラウザとは

- インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

リンクについて

- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。
- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。

ページA　ページB　ページC

Bへのリンク　Cへのリンク

「リンク」からリンク先へ移動できます。

◆ 重 要 ◆

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークやCookieなどの情報が正しく保存されない場合があります。また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇おしらせ◇

セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（⇒ **179** ～ **180** ページ）

Cookieの確認画面が表示されたとき

- Cookie（⇒ **297** ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie設定」で設定できます。また、Cookieはまとめて削除することもできます。（⇒ **179** ～ **180** ページ）

ページの中に ☒ が表示されたとき

- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバーの（再読み込み）（⇒**次**ページ）を選んで、ページを表示し直してみてください。

タブの使いかた

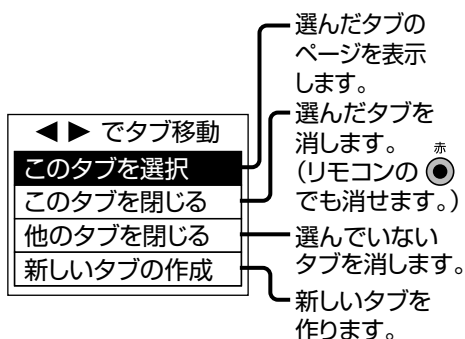
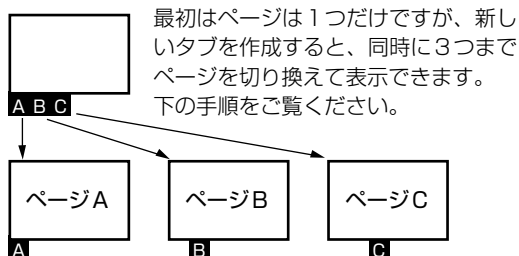
- インターネットのページを、同時に３つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。

最初はページは１つだけですが、新しいタブを作成すると、同時に3つまでページを切り換えて表示できます。下の手順をご覧ください。

選んだタブのページを表示します。

選んだタブを消します。（リモコンの赤でも消せます。）

選んでいないタブを消します。

新しいタブを作ります。

1 タブ操作メニューを表示する

緑 を押す

- タブ操作メニューを閉じた状態からリモコンの青で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示することができます。
- すでにタブを３つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

2 操作したいタブを選ぶ

で選ぶ

タブ

3 「このタブを選択」を選ぶ

で選ぶ

ツールバー（便利機能）の使いかた

- ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

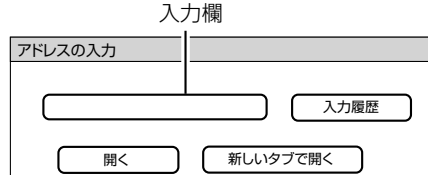
黄 を押す

ツールバー(便利機能)を表示する

ツールバー(便利機能)

- でボタンを選び決定を押すとその機能が実行されます。（⇒**下記**）
- ツールバー（便利機能）を消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。

ツールバー(便利機能)について

ボタン	はたらき
	リンク先のページを新しいタブで表示します。
	タブ操作メニューを表示します。
	１つ前のページに戻ります。
	前のページを見たあとに元のページに再び進みます。
	ページを再表示します。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	AQUOS.jp を表示します。
	URL を入力するときに選びます。(⇒**176** ページ)
	ブックマークを開くときに選びます。(⇒**177** ページ)
	表示中のページをブックマークに登録します。(⇒**177** ページ)
	ブラウザメニューを表示します。(⇒**179** ページ)

URL（アドレス）を入力してページを表示する

・URL（アドレス）は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所（アドレス）のようなものです。雑誌や広告などで URL を知っているときは、URL を入力してページを表示できます。
・URL は、一般的に「http://」から始まります。

◇おしらせ◇
・「ブラウザ制限」（⇒**次**ページ）を「する」にすると、アドレスの入力は選べません。

URL（アドレス）を入力してページを表示する

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（アドレスの入力）を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで入力欄を選び、決定する**

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 **表示したいページのURLを入力する**

・文字入力の方法については⇒ **102** ページをご覧ください。

5 **カーソルボタンで「開く」を選び、決定する**

URL を入力して表示したページを、入力履歴の一覧から選ぶ

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（アドレスの入力）を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで「入力履歴」を選び、決定する**

・入力履歴の一覧が表示されます。

4 **カーソルボタンでURLを選び、決定する**

・アドレスの入力画面に戻ります。入力欄には、選んだ URL が入力されます。

◇おしらせ◇

入力履歴を削除するときは

①入力履歴の一覧で、削除したい URL を選び、青ボタンを押す
・入力履歴メニューが表示されます。

②上下カーソルボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す
・入力履歴をすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

③左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

表示しているページの URL を保存する（ブックマーク登録）

- ページをブックマーク（⇒ **299** ページ）に登録しておくと、次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

◇**おしらせ**◇
- 「ブラウザ制限」（⇒**右記**）を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1 **登録したいページを表示する**

2 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

3 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（ブックマークに登録）を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**
- ブックマークに登録されます。

◇**おしらせ**◇
- マイサークルにお気に入り Web として登録する場合は、⇒ **40** ページをご覧ください。

ブックマークに登録したページを開く

- よく見るページのブックマークを選ぶと、すばやくページを表示できます。

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（ブックマークを開く）を選び、決定する**
- ブックマーク一覧が表示されます。

3 **カーソルボタンで表示したいブックマークを選ぶ**
- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

4 **決定する**
- 選んだページが表示されます。

ブックマークを新しいタブで開くときは
- 決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

有害サイトへのアクセスを防ぐ（ブラウザ制限）

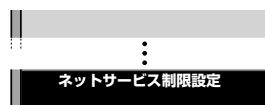
- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URL を入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

◇**おしらせ**◇
- 「ブラウザ制限」を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「通信（インターネット）設定」を選ぶ**

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 **上下カーソルボタンで「ネットサービス制限設定」を選び、決定する**

3 **上下カーソルボタンで「ブラウザ制限」を選び、決定する**
- 暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。（⇒ **90** ページ）

4 **暗証番号を入力する**
- 暗証番号の入力については⇒ **90** ページをご覧ください。

5 **上下カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

次のページに続く

ブックマークの便利な使いかた

- ツールバー（便利機能）の ♡（ブックマークを開く）を選んだあと、ブックマークメニューで次のようなことができます。

ブックマークのタイトルや URL を編集する

- ブックマークのタイトルや URL を編集（書き換え）できます。

◇**おしらせ**◇

- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合（⇒ **177** ページ）、ブックマークの編集は選べません。

1 **ブックマーク一覧から、編集したいブックマークを選ぶ**

- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

- （画面例）

3 **「編集」を選ぶ**

- ブックマークの編集画面が表示されます。

4 **タイトル欄またはアドレス欄(URL)を選ぶ**

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 **タイトルやURLを入力する**

- 文字入力の方法については⇒ **102** ページをご覧ください。

6 **編集を終えたら「する」を選ぶ**

- 入力した文字が保存されます。

ブックマーク一覧の表示を変更する

- ブックマーク一覧をページのタイトルで表示するか URL で表示するか選べます。

1 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

2 **ブックマークメニューの「アドレスで表示」または「タイトルで表示」を選ぶ**

ブックマーク一覧の表示順序を入れ換える

1 **表示順序を変更したいブックマークを選ぶ**

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

3 **「上へ移動」または「下へ移動」を選ぶ**

- 表示順序が入れ換わります。

ブックマークを削除する

1 **削除したいブックマークを選ぶ**

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

3 **「削除」を選ぶ**

- ブックマークをすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

4 **「する」を選ぶ**

インターネットを見るための設定を確認・変更するには

- ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。
- ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

ブラウザメニューの基本操作

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（メニュー）を選び、決定する**

ブラウザメニューが表示されます。

表示設定　セキュリティ設定
拡大・縮小表示
文字コード
ページ情報
リセット
ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。
○ 拡大
◉ 標準
○ 縮小
決定キーを押すと設定が反映されます。

3 **左右カーソルボタンで「表示設定」または「セキュリティ設定」を選び、決定する**

表示設定　セキュリティ設定
セキュリティ
Cookie設定
サーバー証明書
ブラウザ情報
セキュリティに関する設定を行います。

4 **変更する項目を選び、設定の変更や内容の確認をする**

- 各項目の詳しい操作については、表示設定メニュー（⇒**右記**）およびセキュリティ設定メニュー（⇒ **180** ページ）をご覧ください。

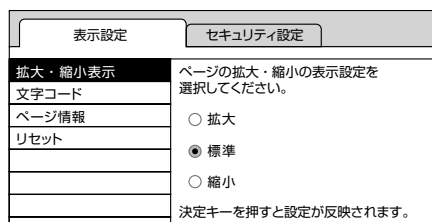
5 **変更や確認が終わったら、黄ボタンを押してブラウザメニューを消す**

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻すときは

1. 上記の手順 **3** で「表示設定」を選び、決定します。
2. 「リセット」を選び、決定します。
3. 確認の画面で「する」を選び、決定します。
4. 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

表示内容に関する設定（表示設定メニュー）

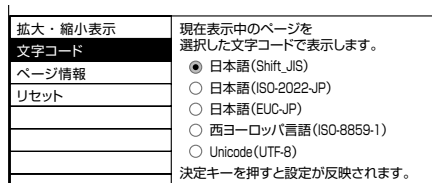
拡大・縮小表示

- ページの表示サイズを変更できます。

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

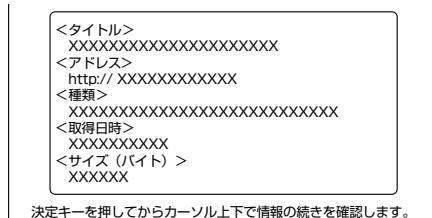
文字コード

- ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効 / 無効（⇒ **180** ページ）および文字コードの設定は戻りません。

ページの情報を確認する

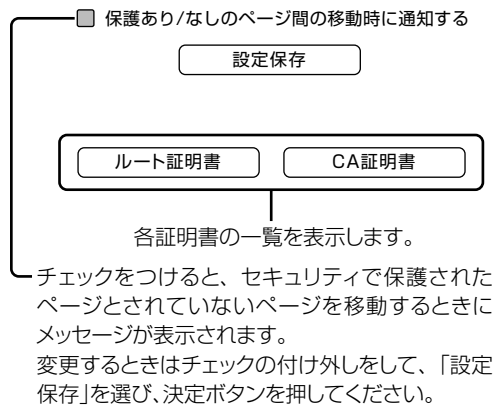
- 表示しているページの情報を確認できます。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

はじめにお読みください
電源を入れる／基本の使いかた
テレビを見る／便利な使いかた
USBハードディスクをつないで録る・見る
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

セキュリティに関する設定（セキュリティ設定メニュー）

セキュリティ

- セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定ができます。
- 本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換えができます。
  ※ ページを表示しても安全であることを証明するものです。

チェックをつけると、セキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージが表示されます。
変更するときはチェックの付け外しをして、「設定保存」を選び、決定ボタンを押してください。

証明書を確認するとき

1 **上記の画面で確認したい証明書の種類を左右カーソルボタンで選び、決定する**
- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **カーソルボタンで確認したい証明書を選び、決定する**
- 選んだ証明書の内容が表示されます。
- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

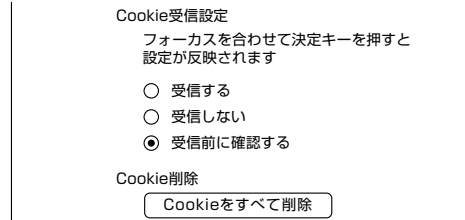
1 **上記の画面で確認したい証明書の種類を選び、決定する**
- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **カーソルボタンで無効にしたい証明書を選び、青ボタンを押す**
- サブメニューが表示されます。
- 選んだ証明書の内容が表示されます。

3 **上下カーソルボタンで「無効にする」を選び、決定する**
- 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie（クッキー）の設定を変更する

- Cookie（⇒ **297** ページ）の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。

Cookie受信設定
フォーカスを合わせて決定キーを押すと設定が反映されます
○ 受信する
○ 受信しない
◉ 受信前に確認する
Cookie削除
Cookieをすべて削除

- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び、決定ボタンを押します。
- 「受信前に確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

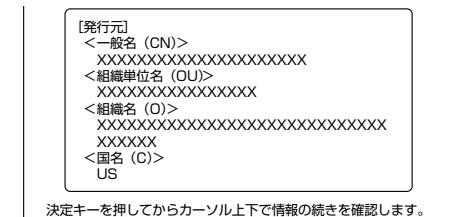
- 上記の画面で上下カーソルボタンで「Cookie をすべて削除」を選び、決定します。
- 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

サーバー証明書を確認する

- セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。

決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◆ 重　要 ◆

- 本機には、インターネットのページ閲覧を禁止、もしくは、制限するための機能が複数組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる場合には、この機能の利用をお勧めします。
- 利用にあたって以下の機能を搭載しています。必要な機能を選び設定を行ってください。なお、全ての設定に暗証番号の入力 (パスワードロック機能) が必要です。
  - インターネット接続を禁止する⇒ **170** ページ
  - アドレス入力機能を禁止する (ブラウザ制限) ⇒ **177** ページ
  - プロキシ設定機能を利用する (プロキシサーバー設定) ⇒ **171** ページ

YouTube につないで動画を見る

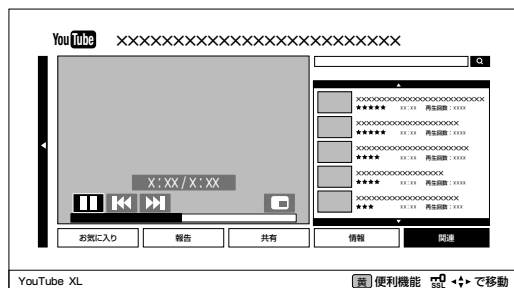
- インターネットの動画共有サービス「YouTube」を利用して、動画の視聴を楽しめます。

◇おしらせ◇

- YouTube サービスは、予告なく URL が変更になったり、サービスが終了することがあります。
- 本機では動画や音声を再生できない場合があります。
- YouTube の操作画面は、予告なく変更されることがあります。
- YouTube のページを表示しているときは、ブラウザの操作に制限があります。
- YouTube の動画は、VOD 操作パネルでは操作できません。
- YouTube のページでは、カーソルボタンを使ってフォーカスを移動してください。回転部では操作できません。
- 本製品では YouTube 視聴用に Adobe® Flash® Lite® を使用しているため、PC での動作と異なる場合があります。
- Adobe® Flash® Lite® は、YouTube のページでのみ有効です。

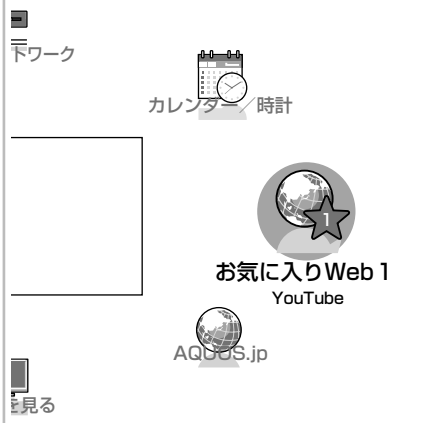
YouTube を視聴する場合は、マイサークルのお気に入り Web、もしくは、AQUOS.jp 上のリンクから YouTube のページへ遷移してお楽しみください。次のような場合には、YouTube をご利用できません。

- ブラウザで YouTube の URL を入力した場合。
- YouTube のページをブラウザのブックマークに登録し、そのブックマークから選んだ場合。

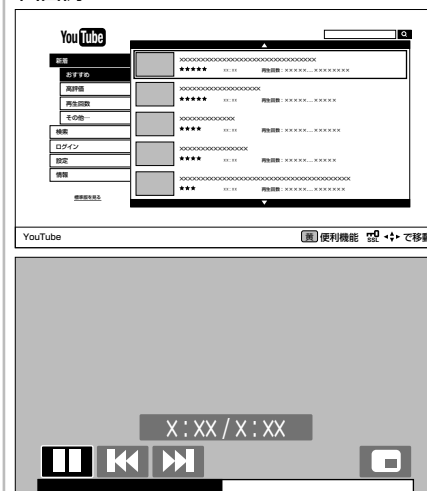
画面例

1 マイサークルを表示して、「お気に入りWeb1 YouTube」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

2 YouTubeのページを操作して、動画を再生する

- カーソルボタンなどで操作をします。一般には動画を一覧から選んだり、検索をして再生します。操作については、YouTube のページでお調べください。

画面例

3 YouTubeのページを消す

- テレビの画面に戻ります。

終了 を押す

IPTV（ひかり TV）を視聴するための準備

- IPTV とはブロードバンド回線を使って受信するテレビ放送などのサービスです。従来のテレビ放送は壁のアンテナ端子につないで受信しますが、IPTV はご家庭に設置しているブロードバンドルーターなどとつないで受信します。
- IPTV のサービスには、テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。2011 年 3 月現在、株式会社 NTT ぷららより、IPTV サービスとして「ひかり TV」が提供されています。

IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ

IPTVサービスの契約をする
- IPTVサービス（ひかりTVなど）のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
- 本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、**IPTVを受信するためのセットトップボックス（STB）は不要**です。

▼

光回線（FTTH）に接続する⇒次ページ

▼

IPTVの基本登録をする⇒184ページ
- IPTVサービスを利用するための登録をします。

▼

IPTVのチャンネルを設定する⇒186ページ
- IPTVの放送サービスをご利用になる場合に必要です。

◇おしらせ◇
- IPTV サービスによっては、IPTV を見るためのサービスとビデオを見るためのサービスでコースが分かれているものもあります。
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- 引っ越した場合、IPTV が視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

IPTV（ひかり TV）を見るための接続

- ご契約の IPTV サービスによって必要になるブロードバンド環境が異なります。詳しくは IPTV サービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス（STB）は不要**です。

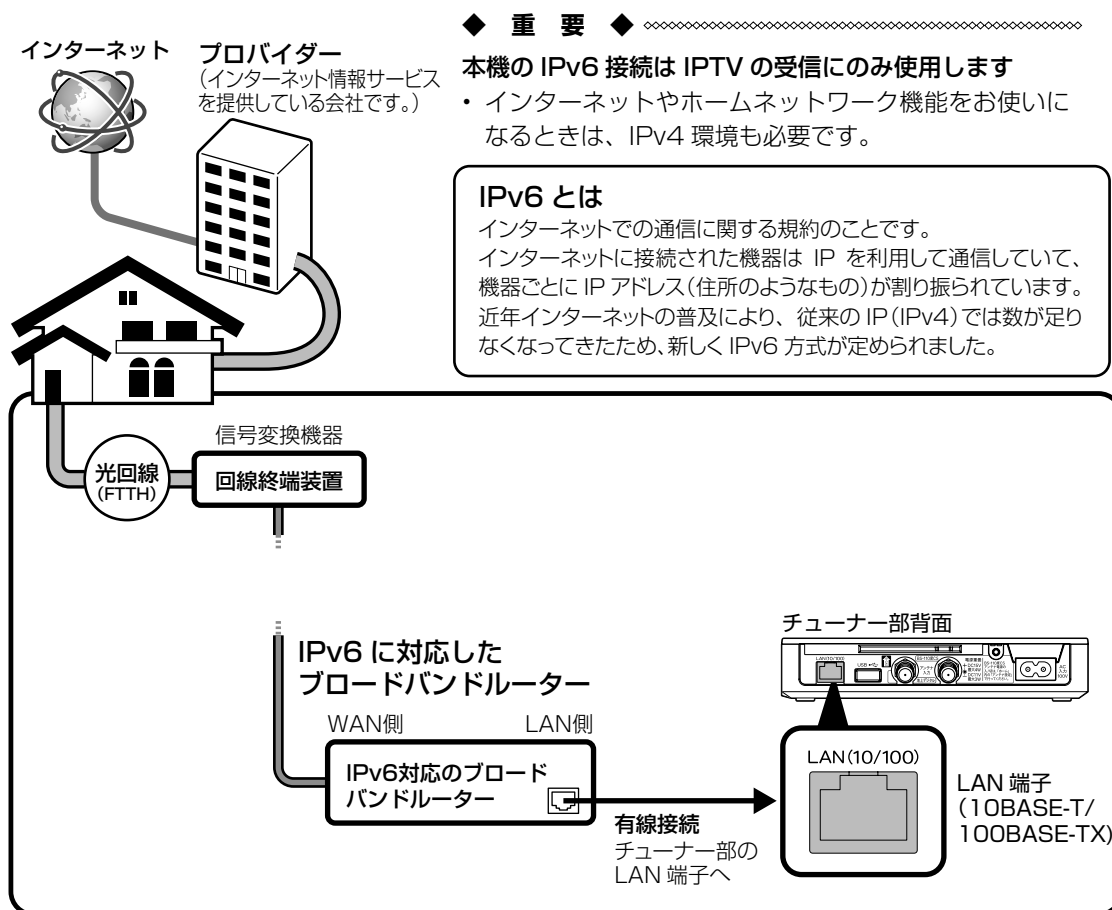
IPv6 環境の場合（IPTV サービスが、IPv6 方式の場合に必要な接続です。）

◆ **重　要** ◆

本機の IPv6 接続は IPTV の受信にのみ使用します

- インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4 環境も必要です。

IPv6 とは

インターネットでの通信に関する規約のことです。
インターネットに接続された機器は IP を利用して通信していて、機器ごとに IP アドレス（住所のようなもの）が割り振られています。
近年インターネットの普及により、従来の IP（IPv4）では数が足りなくなってきたため、新しく IPv6 方式が定められました。

IPv4 環境の場合

- 「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **156** ～ **161**、**164** ページ）をご覧になり、ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

IPTV（ひかり TV）を見るための設定

IPTV の基本登録をする

- IPTV を視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
- 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

「IPTV 設定」－「サービス設定」について

- かんたん初期設定の「IPTV 設定」を「する」にした場合、IPTV のサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たに IPTV の契約をした場合は、IPTV のサービス設定を「する」に設定してください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
××× ×××
視聴準備
通信（インターネット）設定

2 「IPTV設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

3 「サービス設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

サービス設定
基本登録
チャンネル設定
受信状態

IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です
[現在の設定]
IPTV設定：利用不可
する　しな

4 「する」を選ぶ

で選び　決定 を押す

IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です。）
[現在の設定]
IPTV設定：利用不可
する　しない

5 「終了」で決定する

決定 を押す

6 「基本登録」を選ぶ

で選び
を押す

サービス設定
基本登録
チャンネル設定
受信状態

基本登録を行う事業者を選択してくだ
事業者の登録ページに移動します

事業者ID	事業者名
00	○○○
01	×××

7 基本登録をするIPTV事業者名を選ぶ

で選び
を押す

- IPTV 事業者の基本登録画面が表示されます。

（例）

8 「基本登録」をする

で選び
を押す

- 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

IPTV のチャンネル設定は⇒ **186** ページをご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

IPTV の基本登録画面が表示されないときは

- IPTV サービス事業者が IPv6 でサービスを行っている場合は、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「LAN 設定」－「IPv6 設定」を選び、各項目に数値が入っているか確認します。
- 各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
  - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
  - ブロードバンドルーターが IPv6 に対応したものになっていますか。また、IPv6 を使用できる設定になっていますか。
  - 有線 LAN につないでいる場合は、チューナー部の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
  - 光回線の終端装置 (ONU) や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。

  これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者や IPTV サービスへお問い合わせください。
- IPTV サービス事業者が IPv4 でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」（⇒ **168** ページ）をご覧ください。

IPTV のチャンネルを設定する

- IPTV の放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
  IPTV のチャンネル設定の前に、IPTV の基本登録が必要です。

◇**おしらせ**◇

チャンネルを追加するときは

- 「IPTV ー自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **4** で「IPTV ー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」ー「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「IPTV設定」を選ぶ

IPTV設定

で選び
を押す
3 「チャンネル設定」を選ぶ

サービス設定
基本登録
チャンネル設定
受信状態

IPTVの受信チャンネルの設定です
(チャンネル設定をする前に、必ずLAN
設定しておいてください。

で選び
決定
を押す

4 「IPTV－自動」を選ぶ

で選び
決定
を押す

5 「する」を選ぶ

で選び
を押す

「しない」を選んだ場合は

- チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。

- 自動設定が始まります。

- 自動設定が終わるまでしばらくお待ちください。

6 「終了」を選ぶ

を押す

自動
追加
個別

IPTVのチャンネルを登録しました。

放送局名	3桁	設定値 数字
○○○ △△△△	001	1
○○○ ×××	002	2
○○○ □□□□	003	3
○○○ △△△	004	4
○○○ ××	005	5

終了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

IPTV のチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。

- IPTV の放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。（⇒ **184** ページ）
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTV の放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

選局ボタンで選べる不要なチャンネルを飛ばす／スキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）で非表示にするには

1. **左記の手順 4 で「IPTV －個別」を選び、決定する**
2. **スキップするチャンネルを選び、決定する**
3. **「スキップ」を選び、決定する**
4. **「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する**
5. **「番組表、チャンネル一覧の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」または「しない」を選び、決定する**
   - 「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）に表示されなくなります。ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

IPTV（ひかり TV）を見る

IPTV（ひかり TV）の テレビサービスを楽しむ

・番組選局画面を使って選局してみましょう。

1 テレビの画面の表示中に回転部を回して、番組選局画面を表示する

を回す

2「IPTV」を選ぶ

で選ぶ

3 チャンネルを選ぶ

または
で選び
を押す

◇**おしらせ**◇

・IPTVを見るための準備については、「IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ」（⇒ **182** ページ）をご覧ください。

番組選局画面の色を変えるには

・番組選局画面の表示中に赤ボタンを押すごとに、黒系→白系→ピンク系に画面の色が変えられます。

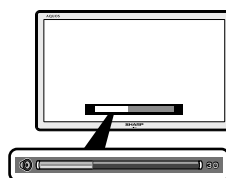
チャンネルの選局と音量の調整について

チャンネルの選局について

を押す

チャンネルを選局する

・チャンネルを順／逆に切り換えます。

・チャンネルの切り換え時に動きの効果をつけることができます。（⇒ **56** ページ）

音量の調整について

を押す

音量を調整する

・「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

音を消したいときは

・ツールメニューから「消音」を選ぶと、一時的に音を消せます。（⇒ **47** ページ）

◇**おしらせ**◇

・テレビ画面やHDMI入力など、入力ごとに別々の音量に設定できます。

IPTV サービスのポータル画面に切り換えるには

- 詳しくは「IPTV（ひかり TV）のポータル画面を活用する」（⇒ **194** ページ）をご覧ください。
- ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
- IPTV サービスによっては、IPTV を受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。このときは、ポータル画面に切り換えてください。

- 見ている IPTV の放送サービスに連動したポータルがある場合に、そのポータル画面に切り換えます。

字幕や音声を切り換えるときは

- 字幕や複数の音声がある番組の場合は、字幕や音声を切り換えることができます。（⇒ **70** ～ **71** ページ）

3 桁のチャンネル番号を入力して選局するときは

- 受信できるチャンネルが多数ある場合は、3 桁のチャンネル番号を使った選局が便利です。詳しくは⇒ **50** ページをご覧ください。

デジタル放送に戻すときは

- 視聴中にリモコンの回転部を回して番組選局を表示して、「地上 D」「BS」「CS」のいずれかを選ぶと、デジタル放送に戻せます。

◇**おしらせ**◇

IPTV の視聴について
- IPTV は光回線（FTTH）を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
- IPTV の受信状態については、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「IPTV 設定」－「受信状態」で確認できます。
- 番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。
- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ホームメニューから番組を選ぶ

- テレビ放送の選局と同じように、IPTV の番組を、ホームメニューの「チャンネル」や番組表から選べます。

1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

を押し

で選ぶ

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「IPTV(テレビ)」を選ぶ

を押し

で選ぶ

- 複数のプラットホームを受信している場合は、ホームメニューより「設定」－「機能切換」－「視聴操作」－「テレビ / データ / ポータル」を選んでプラットホームを切り換えられます。

3 見たい番組を選ぶ

で選び

を押す

- 選んだ番組に切り換わります。

- 手順 **3** で決定せずに 青 を押すと、番組情報が表示されます。

放送中の番組（裏番組）を調べる

1 IPTVを視聴中に裏番組の一覧(ホームメニューの「チャンネル」)を表示する

を押す

- 複数のプラットホームを受信している場合は、ホームメニューより「設定」－「機能切換」－「視聴操作」－「テレビ / データ / ポータル」を選んでプラットホームを切り換えられます。

2 見たい番組を選ぶ

で選び

決定

を押す

- 選んだ番組に切り換わります。

◇**おしらせ**◇

- プラットホームとは、IPTV サービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1 種類の IPTV サービスに加入しているときでも、IPTV サービスによっては複数のプラットホームを使用している場合があります。また、複数の IPTV サービスに加入していても使用しているプラットホームは 1 つだけの場合もあります。
- ポータル画面表示中および VOD 再生中は、番組情報が表示されます。番組情報画面の操作については、⇒ **53** ページをご覧ください。

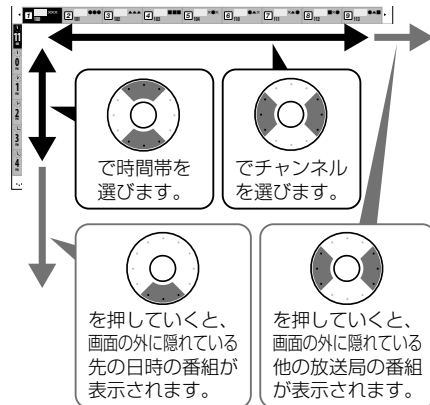
番組の放送予定を調べる

1 番組表を表示する

番組表を押す

- 一時的に音声が停止します。
- 複数のプラットホームを受信している場合は、ホームメニューより「設定」－「機能切換」－「視聴操作」－「テレビ / データ / ポータル」を選んでプラットホームを切り換えられます。

2 見たい番組を選ぶ

で選ぶ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

3 決定する

を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- IPTV の番組は予約できません。

- 番組表を閉じるときは、番組表を押して閉じます。

◇**おしらせ**◇

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- IPTV の番組表に表示される情報の期間は最大 8 日分です。
- IPTV の番組表を表示しているときは、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
- IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

テレビ放送の番組表と同じように次の操作ができます

- 番組情報の表示
- 指定した日時の番組表を表示
- 見つかる検索
- ジャンル検索
- 特徴検索
- キーワード検索

- 番組の選びかたについての詳しい操作は⇒ **61** ～ **65** ページをご覧ください。

IPTV（ひかり TV）の ビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

• ビデオオンデマンド（VOD※）とは映画などのタイトルを見たいときに、見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。

※「VOD」とは、Video on Demand のことです。

◆ 重　要 ◆

ビデオオンデマンドを利用するためには

• IPTV サービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

◇**おしらせ**◇

• ビデオオンデマンドは、「ビデオサービス」や「ビデオレンタル」などと呼ばれる場合もあります。

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

• タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面（⇒ **194** ページ）で行います。

◆ ポータル画面を表示する

1 番組選局を表示して、「IPTV」を選ぶ

• IPTV（テレビ）の選びかたは ⇒ **188** ページ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」－「テレビ／データ／ポータル」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

• 前回表示したポータル画面が表示されます。

3 ポータルリストを表示する

番組表 を押す

4 表示したいポータル画面を選ぶ

で選び
を押す

◆ ビデオオンデマンドのタイトルを探す

5 ① 画面の項目からビデオオンデマンドに関する項目を選ぶ

② 再生したいタイトルを選ぶ

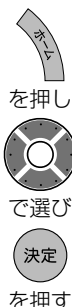
で選び
を押す

• 以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

再生中の操作のしかた（VOD 操作）

・VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

2 「VOD操作」を選ぶ

・画面の一部に映像が表示されているようなコンテンツの場合は、VOD 操作パネルが表示されない場合があります。

で選び
決定
を押す

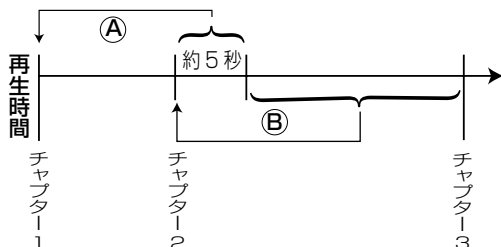
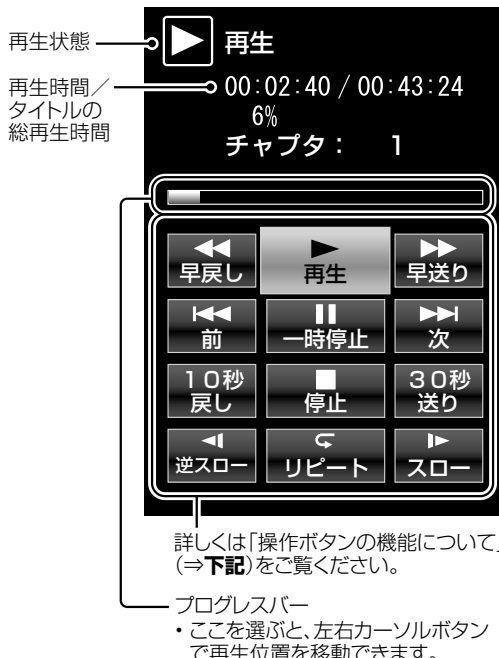
3 操作したい機能のボタンを選ぶ

・VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

◇**おしらせ**◇

逆頭出しボタン（前）は、再生位置によってはたらきがかわります。

・再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ)、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

VOD 操作パネルの見かた

詳しくは「操作ボタンの機能について」(⇒**下記**)をご覧ください。

プログレスバー
・ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を移動できます。

操作ボタンの機能について

早戻し	再生	早送り
早戻し再生	再生	早送り再生
前のチャプター※に戻って頭出し（逆頭出し）	一時停止	1 つ先のチャプター※に進んで頭出し（順頭出し）
10 秒後戻し	停止	30 秒先送り
スロー巻戻し再生	リピート 1 つのタイトルを繰り返し再生します	スロー再生

※ チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

◇**おしらせ**◇

・視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
・VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。

IPTV（ひかり TV）のポータル画面を活用する

- ポータル画面とは IPTV サービスの窓口となる画面のことです。

ポータル画面でできること※

- IPTV サービスの基本登録をする
- ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
- IPTV サービス事業者からのお知らせを確認する
- IPTV サービスのサービスプランを変える

※ できることは IPTV サービスによって異なります。詳しくは IPTV サービス事業者にお問い合わせください。

1 番組選局を表示して、「IPTV」を選ぶ

- IPTV（テレビ）の選びかたは
⇒ **188** ページ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「テレビ／データ／ポータル」を選ぶ

を押し　で選び　決定を押す

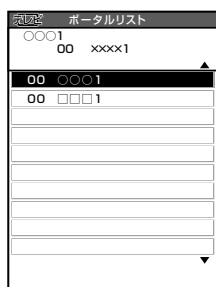
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

3 ポータルリストを表示する

番組表を押す

4 表示したいポータル画面を選ぶ

で選び

決定を押す

- 選んだポータル画面が表示されます。

（例）

5 画面の中から目的の項目を選ぶ

で選び　決定を押す

- 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。

ポータル画面から IPTV のテレビ放送に切り換えるには

- 番組選局から「IPTV」を選択してください。

◇**おしらせ**◇

次の場合は、手順 2 で「テレビ／データ／ポータル」を選んでも、IPTV のテレビ放送が表示されます。

- ポータル画面に映像が表示されているとき
- IPTV のビデオオンデマンドを全画面で再生しているとき

アクトビラ ビデオを見る

- アクトビラ ビデオとは、テレビ向けインターネットサイト「アクトビラ」が提供している映像配信サービスです。
- アクトビラ ビデオには「アクトビラ ビデオ」と「アクトビラ ビデオ・フル」があります。

アクトビラ ビデオ

- インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。
- 文字や写真と同時に映像も楽しめます。
- ページ上の項目や本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラ ビデオ・フル

- 全画面で再生する映像コンテンツです。
- 大画面で迫力ある映像を楽しめます。
- 本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラを利用するときは

- サービスへの入会などは不要です。ただし、アクトビラ ビデオのコンテンツによっては有料のものもあります。
- リモコンの基本操作は、「インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた」（⇒ **174** ページ）と同様です。

・画面に表示される内容は変更になる場合があります。

必要な準備について

- インターネットに接続するためのブロードバンド環境のうち、光回線（FTTH）が必要です。本機を光回線（FTTH）に接続してください。詳しくは「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **156** ～ **167** ページ）をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルの視聴について

- コンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

必要な回線速度について

- アクトビラ ビデオをお楽しみになる場合は、実効速度 6Mbps 程度必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルの場合は、実効速度 12Mbps 程度必要です。
- 光回線（FTTH）においても、お客様のご利用環境（ハブやルーターの性能など）や回線の混雑状況などにより、時間帯によっては実効速度が低下する場合があります。

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。

- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを見る

- アクトビラ ビデオをお楽しみになるためには、回線の実効速度が 6Mbps 程度必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルをお楽しみになるためには、回線の実効速度が 12Mbps 程度必要です。

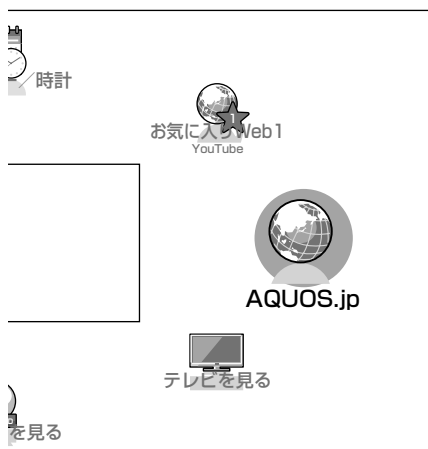
実行速度を確認するときは

- 実効速度は、お手持ちのパソコンを用いて、アクトビラのホームページ（http://actvila.jp）の「スピードテスト」で確認することができます。（2011 年 3 月現在）

1 マイサークルを表示する

マイサークル を押す

- 表示中に次の操作を行います。

2 「AQUOS.jp」を選ぶ

で選び 決定 を押す

ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。

- AQUOS.jp の表示内容は一例です。

3 「アクトビラ」を選ぶ

で選び

を押す

- アクトビラのポータル画面が表示されます。

4 視聴したいアクトビラ ビデオまたはアクトビラ ビデオ・フルのコンテンツを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上･下・左・右）で「再生」などの項目を選びます。
- 早送りや早戻しの操作は、画面に表示されているボタンを使います。（映像コンテンツによっては早送りや早戻しができないものもあります。）
- VOD 操作パネル（⇒**次**ページ）で操作することもできます。
- アクトビラ ビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。このときは VOD 操作パネルで操作してください。（⇒**次**ページ）

テレビの画面に戻すときは

- ホームボタンを押します。

コンテンツの再生を停止するときは

- VOD 操作パネルで停止ボタンを選びます。

◇おしらせ◇

- 再生中、一部ブラウザ操作に制限があります。（タブ操作やブラウザメニューの「拡大・縮小表示」、文字入力など）

再生中の操作のしかた
(アクトビラ ビデオ/アクトビラ ビデオ・フル)

- VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「視聴操作」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

2 「VOD操作」を選ぶ

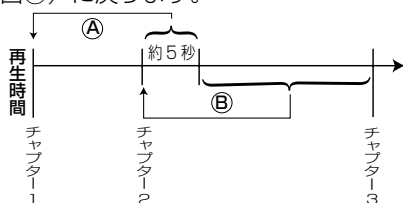
で選び
を押す

3 操作したい機能のボタンを選ぶ

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

◇**おしらせ**◇
- VOD操作パネルでアクトビラ ビデオを操作した場合、ブラウザからのVOD操作が正しく動作しないことがあります。

逆頭出しボタン(前)は、再生位置によってはたらきがかわります。
- 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに(下図Ⓐ)、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター(下図Ⓑ)に戻ります。

VOD 操作パネルの見かた

操作ボタンの機能について

早戻し	再生	早送り
早戻し再生	再生	早送り再生
前	一時停止	次
前のチャプター※に戻って頭出し(逆頭出し)	一時停止	1 つ先のチャプター※に進んで頭出し(順頭出し)
10秒戻し	停止	30秒送り
10 秒後戻し	停止	30 秒先送り
逆スロー	リピート	スロー
スロー巻戻し再生	リピート 1 つのタイトルを繰り返し再生します	スロー再生

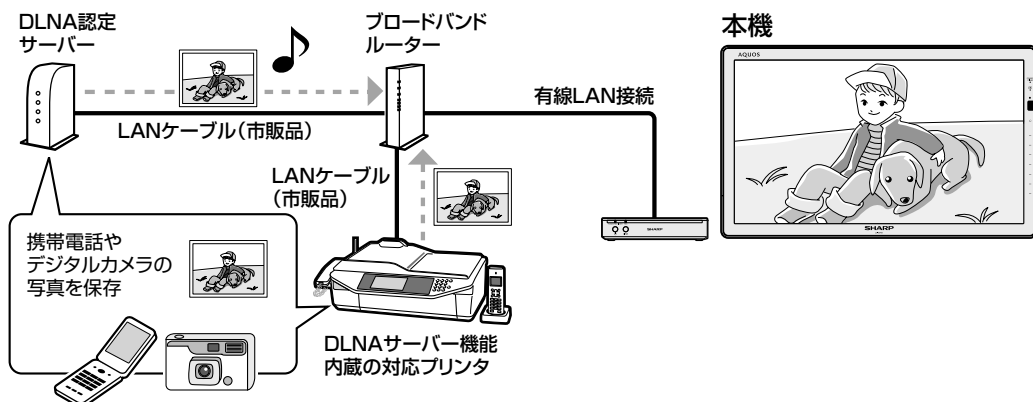
※ チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

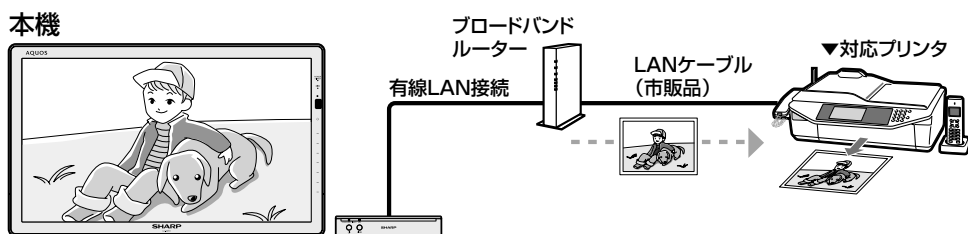
◇**おしらせ**◇
- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- アクトビラ ビデオ・フルを VOD 操作パネルを表示しないで視聴しているときに、戻るボタンを押すと再生が終了します。

ホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ

- ホームネットワークに本機をつないで、ネットワーク経由で映像・写真・音楽を再生できます。
- 表示した写真を、本機に対応したプリンタで印刷することもできます。

サーバー内の写真・映像・音楽を再生する

ホームネットワークで写真を楽しむ（⇒ **200** ページ）
録画した番組をホームネットワークで楽しむ（⇒ **206** ページ）
ホームネットワークで音楽を楽しむ（⇒ **210** ページ）

表示した写真を印刷する

⇒ **204** ページ

使用可能なサーバー／プリンタ／携帯電話の最新情報について

- SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- サーバーやプリンタの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

本機で表示できる写真データの形式

- 対応データ形式：DCF2.0 規格対応 JPEG 静止画※1※2
- 最大ファイルサイズ：6MB※3
- 最大解像度（画像サイズ）：4096 x 4096 画素※3※4

※1　以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。

※2　以下の形式は表示できません。
プログレッシブＪＰＥＧ、ロスレス回転ＪＰＥＧ（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケールＪＰＥＧ、ＹＵＶ４４４（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など。
なお、サーバーによってはデータ形式変更やファイルサイズの縮小、画像サイズの変更を行うため、上記制限のあるファイルでも表示されることがあります。

※3　約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度（画像サイズ）や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度（画像サイズ）や画質設定を小さめに変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。またプリンタの扱えるファイルサイズ上限により印刷できないことがあります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

※4　上記制限を超える写真はサーバーにより 160 × 120 画素のサムネイル画像が全画面に表示されます。このため、解像度が大幅に低下することがあります。

◇おしらせ◇

- 本機は DLNA 認定フォトプレーヤー (DLNA CERTIFIED™ Photo Player) です。
- DLNA 認定機器とは DLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- 本機には静止画を保存することはできません。
- 印刷中にチャンネル切換や入力切換を行うと印刷が正しく完了しないことがあります。またシャープ製ファクシミリ複合機（DLNA サーバー機能、およびプリント機能内蔵）では印刷中のエラーはプリンタには表示されますが、本機の画面に表示されないことがあります。
- サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- 録画予約実行中および USB-HDD 録画中は、ホームネットワーク機能を使用できません。

ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USB ハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示／印刷について

- 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、**前**ページの SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。
- SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。

ホームネットワークで写真を楽しむ

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

1 マイサークルを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

- ホームネットワークの初期画面が表示されます。
- メモリーモードを「オン」に設定し、前回写真のスライドショー中に終了していた場合は、スライドショーが始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた⇒ **208** ページ）

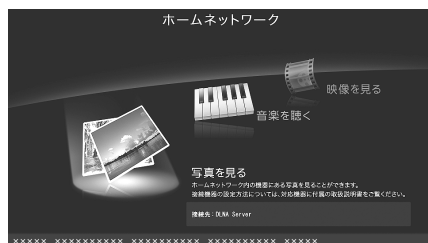
2 「写真を見る」を選ぶ

で選び
決定
を押す

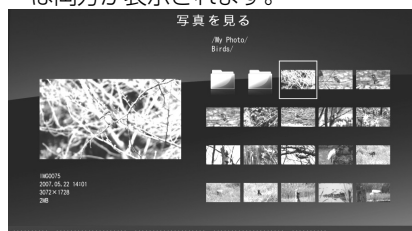
ホームネットワークのトップ画面の例

3 サーバー機器を選ぶ

で選び
を押す

- 一度スライドショーが表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に表示したスライドショーを再度表示できます。また、黄ボタンを押すと最後にスライドショーを表示したフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 フォルダを選ぶ

で選び
決定
を押す

- フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。

- 青ボタンを押すと、一覧の表示のしかたを変えられます。（⇒ **202** ページ）
- フォルダ内の写真が一覧表示されます。

5 写真を選ぶ

で選び
を押す

- 写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- スライドショーを停止するには、もう一度決定ボタンを押します。
- 「BGM 再生」（⇒**次**ページ）を「する」に設定しているときは、音楽が流れます。

◇**おしらせ**◇

- シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中にSDカードを抜くと写真を取得できません。また電話やFAXの使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間はDLNAサーバー機能が停止します。詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

- 「ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ」（⇒ **271** ～ **272** ページ）をご覧ください。

- 本機で表示できる写真データの形式については⇒ **199** ページをご覧ください。
- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

写真表示のしかたを変える

- スライドショーの間隔や BGM のオン／オフなど、写真表示の設定を変更できます。

1 写真表示中に、写真メニューを表示する

赤 を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 好みの設定を選ぶ

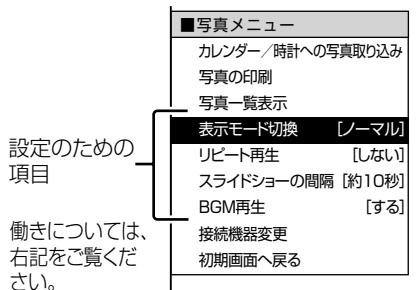
「表示モード切換」の画面例

ノーマル
シネマ

で選び

を押す

◇**おしらせ**◇

- 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
- 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。
- スライドショーなどの「写真を見る」機能を、お好みの BGM でご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由により BGM が停止する場合がありますが、その場合も「写真を見る」機能はそのまま続行されます。再度 BGM を再生するには、初期画面より「音楽を聴く」を選び、音楽の再生をやり直してください。

設定のための項目

項目	内容
表示モード切換※1	•「ノーマル」（縦横比を変えずに画面内に最大で収める）と「シネマ」（縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める）を切り換えます。
リピート再生	•「する」と「しない」（スライドショーで最後の写真のあとに最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか）を切り換えます。
スライドショーの間隔※2	• スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。
BGM再生※3	•「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ･ホ短調）が流れます。

※1 写真の縦横比が 16:9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

※2 サーバーや写真によってはスライドショーの間隔が設定値通りにならない場合があります。

※3 スライドショーの BGM をお好みの音楽にするには

①BGM にしたい曲を再生する

②終了ボタンを押す
ホームネットワークの初期画面が表示されます。

③上下カーソルボタンで「写真を見る」を選ぶ

④写真を選び決定ボタンを押してスライドショーを開始する
スライドショーが始まります。BGM には①で再生したフォルダ内の曲が流れます。音楽の再生について詳しくは、⇒ **210** ページをご覧ください。

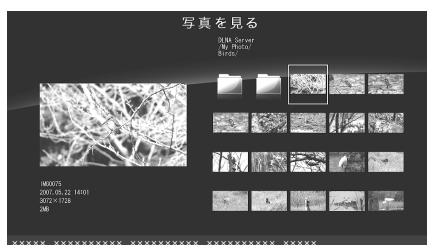
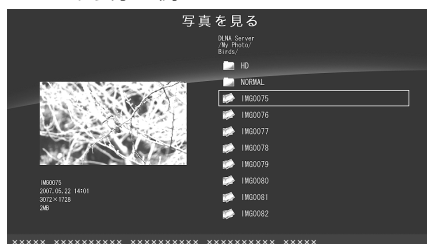
次のページに続く

一覧表示のしかたを変える（リストとサムネイル）

• フォルダの一覧表示中または写真の一覧表示中に、リスト表示とサムネイル表示を切り換えることができます。

を押す

「写真を見る」の画面で一覧表示のしかたを変える

▼サムネイル表示の例

▼リスト表示の例

◇**おしらせ**◇

• サーバー機器や写真データによってはサムネイルが表示されないことがあります。
• 縦位置で撮影した写真でもサムネイルは横位置で表示されることがあります。（サーバーの仕様により異なります。）

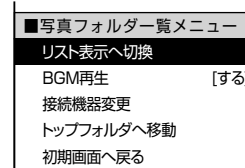
写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能

• 写真やフォルダの一覧表示中に、写真フォルダー覧メニューを呼び出して便利な機能を使うことができます。

1 写真一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを表示する

を押す

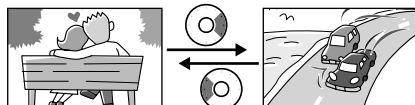
2 設定したい項目を選ぶ

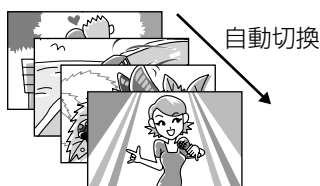
で選び 決定 を押す

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	• 写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示（⇒**左記**）とサムネイル表示を切り換えます。
BGM 再生	• 「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、写真を見るためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。 ▼**接続機器選択画面** 接続機器選択 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx で選び 決定 を押す
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーの一番上のフォルダを表示します。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

写真表示中の操作について

• 写真表示中に、次の写真に切り換えたり写真を回転させたりすることができます。
• 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

• 右カーソルボタンで次の写真を表示します。
• 左カーソルボタンで 1 つ前の写真を表示します。
• リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

• スライドショーを開始します。
• もう一度決定ボタンを押すとスライドショーを停止します。

青

• ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。

［例］ガイダンス（操作案内）

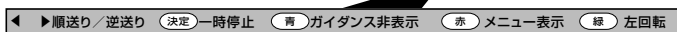
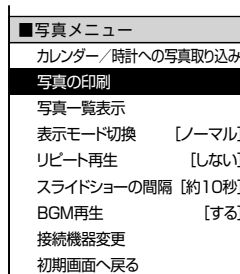
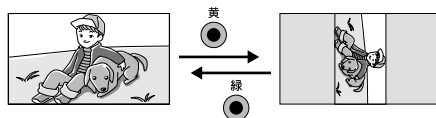
◀ ▶順送り／逆送り 決定 一時停止 青 ガイダンス非表示 赤 メニュー表示 緑 左回転

赤

• 写真メニューを表示します。

黄

• 写真を右に 90 度回転します。

緑

• 写真を左に 90 度回転します。

• 一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

• 初期画面に戻ります。

表示した写真を印刷する

- 表示した写真は、ホームネットワークの対応プリンタで印刷することができます。

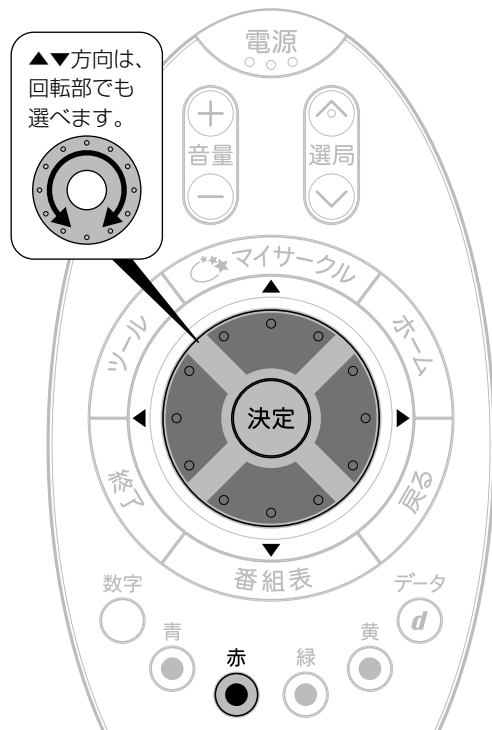
◇おしらせ◇

- 対応プリンタにはホームネットワーク接続するための設定が必要です。詳しくはプリンタの取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- 本機対応プリンタの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 印刷に使うプリンタを指定する場合や印刷に使うプリンタを変更する場合は、印刷設定画面で「プリンタ選択」を選んで決定します。プリンタ選択画面で、プリンタを選んで決定します。

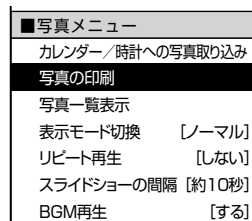
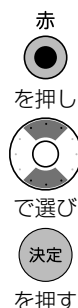
対応プリンタ名が表示されないときは

- 対応プリンタの電源が入っているか、対応プリンタに IP アドレスが設定されているかを確認してください。

◆印刷設定画面を表示する

1 ホームネットワークで写真を表示する

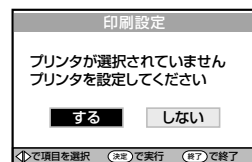
- ⇒ **200** ～ **203** ページ

2 写真メニューを表示し、「写真の印刷」を選ぶ

赤 を押し
で選び
決定 を押す

3 プリンタ名を確認する

- ホームネットワークに接続された対応プリンタ名が表示されていれば印刷することができます。
- 用紙の設定をするときは、次のページへ進みます。
- 印刷をするときは「印刷実行」を選びます。

プリンタが選択されていない場合は

- 「プリンタを設定してください。」と表示されます。
  「する」を選んで決定すると、プリンタ選択メニューが表示されます。

使用するプリンタを選んで決定すると、印刷設定画面に戻ります。

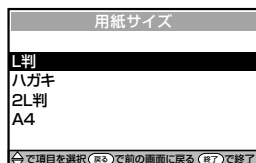
◆用紙の設定をする

4 「用紙サイズ」を選ぶ

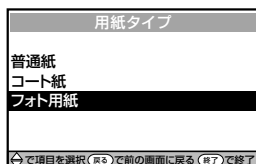
で選び

を押す

・用紙サイズ画面が表示されます。

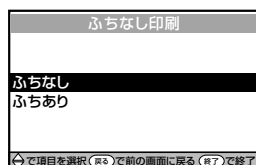
用紙サイズ
L判
ハガキ
2L判
A4
で項目を選択 戻る で前の画面に戻る 終了 で終了

・「L 判」「ハガキ」「2L 判」「A4」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

5 「用紙タイプ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

・用紙タイプ画面が表示されます。

・「普通紙」「コート紙」「フォト用紙」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

6 「ふちなし印刷」を選ぶ

で選び 決定 を押す

・ふちなし印刷画面が表示されます。

・「ふちなし」「ふちあり」のどちらかを選んで決定します。
・ふちなし印刷が不可能な場合は、「ふちなし」は選べません。

◇**おしらせ**◇

・用紙タイプ、用紙サイズはプリンタにより呼び方が本機と異なる場合があります。
「普通紙」はコピー用紙などに相当します。
「コート紙」はつや消しのある写真用用紙に相当します。
「フォト用紙」は写真印画紙のような光沢のある写真用用紙に相当します。
・プリンタにセットされた用紙と、印刷設定画面での用紙設定が一致していないと用紙の一部にのみ印刷されたり、写真の一部のみ印刷される場合があります。

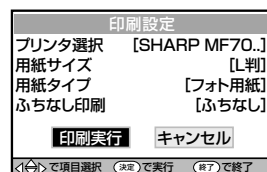
◆印刷する

7 「印刷実行」を選ぶ

で選び

を押す

印刷設定
プリンタ選択	[SHARP MF70..]
用紙サイズ	[L判]
用紙タイプ	[フォト用紙]
ふちなし印刷	[ふちなし]

印刷実行　キャンセル
で項目選択 決定 で実行 終了 で終了

・「この写真の印刷を受け付けました」という表示が出て、印刷が実行されます。
・印刷中に選局や入力切換をすると印刷が完了しないことがありますので、「この写真の印刷を受け付けました」の表示が消えるまでお待ちください。

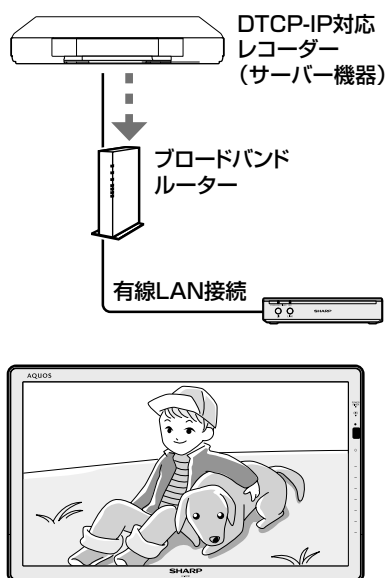
◇**おしらせ**◇

・印刷に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。（ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ⇒ **271**～**272** ページ）

録画した番組をホームネットワークで楽しむ

- 本機は、DTCP-IP 対応レコーダー（サーバー機器）に保存されているデジタル放送（地上デジタル放送､BS デジタル放送）の映像を表示できる動画プレーヤーです。

DTCP-IP とは

- DTCP-IP は、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ（1 回だけ録画可能なデジタル放送の番組など）を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IP は、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。

使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー（サーバー機器）は、DTCP-IP 対応のレコーダーです。詳しくは SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには」をご覧ください。

> **AQUOS サポートステーション**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- DTCP-IP 対応レコーダーに録画した MPEG2/AAC、H.264/AAC、H.264/AC3 形式の映像が再生できます。

◇おしらせ◇

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送の STB（セットトップボックス）や CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を保障しておりません。レコーダーが配信可能な映像データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

DTCP-IP 対応レコーダーの取扱説明書または web ページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。（プレイリストは不可など）
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の映像を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況（使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など）によっては、映像をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機の「接続機器選択」に表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーで BD ／ DVD の再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはハードディスクに記録されている映像のみ配信できます。BD や DVD の映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機の MAC アドレスを登録する必要があります。
- 本機は DLNA 認定動画プレーヤー（DLNA CERTIFIED Video Player）です。
- 無線 LAN 環境で DTCP-IP により著作権保護された映像を再生するには、無線 LAN のセキュリティ設定を行う必要があります。また、著作権保護された映像を安定して受信頂くためには、802.11a/n（5GHz）方式と AES 暗号化によるセキュリティ設定を組み合わせてご利用いただくことをおすすめします。
- 無線 LAN 環境の詳細につきましては、⇒ **162** ページからの「本機ディスプレイ部に無線 LAN で接続する場合」をご確認ください。

ホームネットワークのサーバーにある映像を再生する

1 マイサークルを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

マイサークルを押し

で選び 決定を押す

- ホームネットワークの初期画面が表示されます。

2 「映像を見る」を選ぶ

で選び 決定を押す

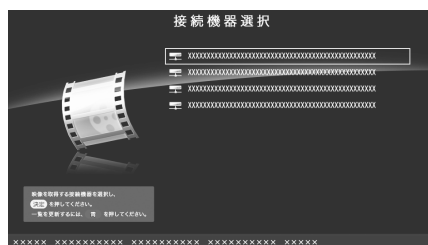
ホームネットワーク

音楽を聴く

写真を見る

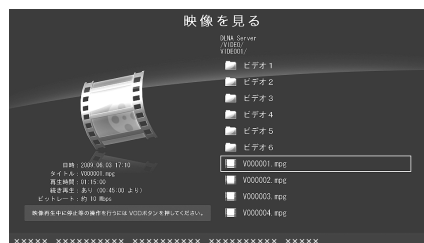
映像を見る

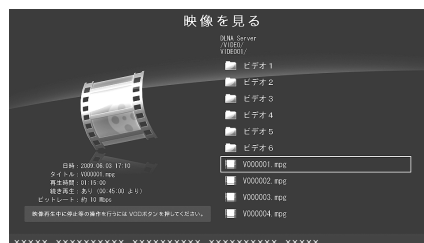
3 サーバー機器を選ぶ

で選び 決定を押す

- 一度映像が表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した映像の続きを再生できます(続きを再生できる場合。続きを再生できない場合は先頭から再生します)。
  また、黄ボタンを押すと最後に再生した映像のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 フォルダがある場合は、フォルダを選ぶ

で選び

を押す

- フォルダ内の映像が、レコーダーが提示した順番で一覧表示されます。

5 映像を選ぶ

で選び 決定を押す

- で映像を選び決定を押すと、その映像が再生されます。
- 戻るで、１つ上のフォルダを表示できます。
- 本機で再生できない映像が表示されることもあります。表示される映像は、正常に再生できることを保障するものではありません。

6 再生を終了する

を押す または

を押す

- 戻るまたは、終了で、映像リスト表示に戻ります。

次のページに続く

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した映像の状態を再生の新しい順で 20 件まで保持しています。**207** ページの手順 **5** で映像を選んで再生すると、つづきから再生します。
- 最初から再生したいときは、**207** ページの手順 **5** で、上下で映像を選び、青ボタンを押します。

メモリーモードについて

- いったん放送に戻り、**207** ページの手順 **1** で「ホームネットワーク」を選ぶと、すぐに最後に視聴した映像のつづきから再生できます。(メモリーモードが「オン」の場合)
- **207** ページの手順 **2** で緑ボタンを押すと、前回再生していた映像のつづきから再生できます。
- 映像を一覧から選びたいときなど、メニュー画面から開始したい場合は、再生を停止したあとにホームネットワークの初期画面まで戻り、赤ボタンを押してメニューを表示させ、メモリーモードを「オフ」にします。

◇おしらせ◇

再生中に映像や音声が途切れる場合

- レコーダーと本機を無線 LAN や PLC(電力線通信)を使った LAN 環境で接続している場合は、LAN の通信速度が不足して再生が途切れることがあります。
- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LAN の通信速度が低くても再生できる場合があります。

メモリーモードの設定を変える

- メモリーモードを「オン」に設定すると、ホームネットワークを開始したとき、前回最後に表示または再生した写真・映像・音楽のいずれかをすぐに再生開始します。

1 トップ画面表示中に、トップメニューを表示する

赤

を押す

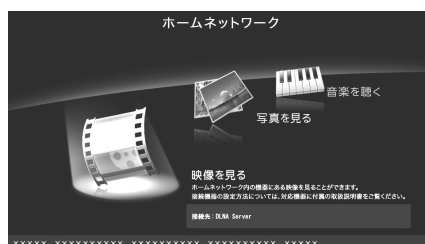
2 「メモリーモード」を選ぶ

で選び

を押す

3 「オン」または「オフ」を選ぶ

で選び

を押す

- メモリーモードを「オン」に設定しても、サーバーに接続できないなどの理由により、前回最後に再生した写真・映像・音楽が再生できない場合があります。

再生中の操作のしかた（ホームネットワーク）

• VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「VOD操作」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 操作したい機能のボタンを選ぶ

• VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

で選び

を押す

VOD 操作パネルの見かた

詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**下記**）をご覧ください。

プログレスバー
• ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を映像全体の5%単位で移動できます。

操作ボタンの機能について

再生

先頭に戻る　一時停止

30秒送り

10 秒後戻し　停止　30 秒先送り

リピート
1 つのタイトルを繰り返し再生します

◇**おしらせ**◇

• 早送り再生／スロー再生／逆スロー再生には対応していません。
• 対応できない操作ボタンは、表示されません。
• 10 秒後戻し／ 30 秒先送りで操作できる時間は、おおよその時間です。

ホームネットワークで音楽を楽しむ

◇**おしらせ**◇

- 本機は DLNA 認定音楽プレーヤー（DLNA CERTIFIED Audio Player）です。
- DLNA 認定機器とは DLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。

本機で再生できる音楽データの形式

- LPCM：
  サンプリング周波数 44.1/48KHz、stereo/mono
- MP3 形式で作成されたファイル：
  サンプリング周波数 32/44.1/48kHz
  32kbps から 320kbps、stereo/mono

使用可能なサーバーについて

- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

DLNA 認定サーバー内の音楽ファイルの再生について

- 本機の「ホームネットワーク」で再生できるのはホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの対応ファイル形式のものだけです。
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

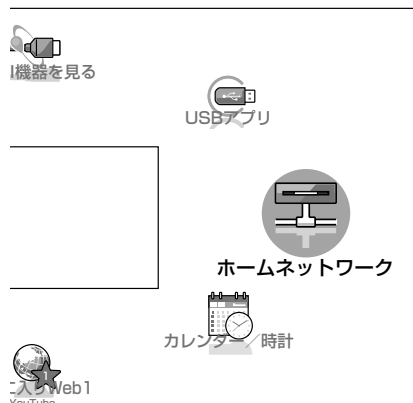
ホームネットワークのサーバーにある音楽を再生する

1 マイサークルを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

を押し

で選び

決定

を押す

- ホームネットワークの初期画面が表示されます。
- メモリーモードを「オン」に設定し、前回音楽を再生していた場合は、音楽再生が始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた⇒ **208** ページ）

2 「音楽を聴く」を選ぶ

で選び

を押す

ホームネットワークのトップ画面の例

3 サーバー機器を選ぶ

で選び

を押す

- 一度音楽が再生されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダ内の音楽を再度再生できます。また、黄ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後の接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 フォルダを選ぶ

で選び
を押す

- フォルダと曲名が混在している場合は両方が表示されます。

- フォルダ内の曲名が一覧表示されます

5 曲名を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 音楽が再生されます。

- ◎で曲名を選び 決定 を押すと、その曲が再生されます。
- 戻るで、1つ上のフォルダを表示できます。
- 赤●で表示されるメニューからトップフォルダや、再生中の曲が保存されているフォルダを表示することもできます。(⇒**右記**)
- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生されます。

再生中の操作

曲の最初から再生するとき

- ◎を押す

前の曲を再生するとき

- ◎を続けて2回押す(約3秒以内に押してください)

次の曲を再生するとき

- ◎を押す

音楽を停止するとき

- 青●を押す

音楽の一覧表示中や再生中の便利な機能

- 繰り返し再生の設定や音楽を聴くためのサーバーの変更などができます。

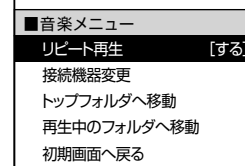
1 音楽一覧表示中または再生中に、音楽メニューを表示する

赤
を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 好みの設定を選ぶ

で選び
を押す

設定のための項目

項目	内容
リピート再生	• フォルダ内の音楽をすべて再生したときに、もう一度最初から再生するかどうかを設定します。(1曲のみのリピートはできません。)
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、音楽を聴くためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーのトップフォルダを表示します。
再生中のフォルダへ移動	• 現在再生している曲のフォルダへ移動します。 • 停止中の場合は「停止中のフォルダへ移動」と表示されます。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

USB メモリーの写真や音楽を楽しむ

- USB メモリーに保存された写真や音楽を楽しむことができます。

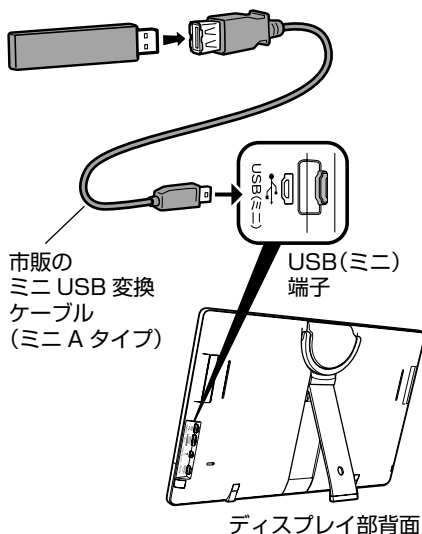
◇おしらせ◇
- USB メモリー機器によっては、記録されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80 文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「USB メディア」を終了する前に、USB メモリーやメモリーカードを本機から取り外さないでください。
- USB メモリーの抜き差しを繰り返さないでください。
- カードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをカードリーダーに挿入し、その後カードリーダーを本機に接続してください。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。

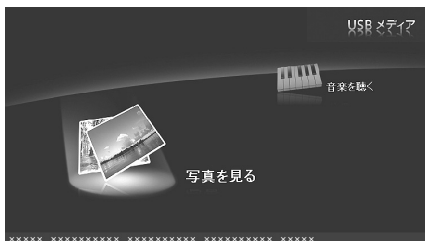
USB メモリーの互換性

USB メモリー機器	USB メモリー、USB カードリーダー（マスストレージクラス）
ファイルシステム	FAT、FAT32
写真ファイル形式	JPEG(.jpg)(DCF2.0 準拠)
音楽ファイル形式	MP3(.mp3) ビットレート： 32k ～ 320kbps サンプリング周波数： 32k, 44.1k, 48kHz

◇おしらせ◇
- プログレッシブ形式の jpeg ファイルはサポートされていません。
- USB1.1 の装置に入っているファイルは、正しく再生されないことがあります。
- 推奨 USB ハブ以外を使って接続した場合、操作は保証されません。
- 「選局効果」（⇒ **56** ページ）が「する」に設定されている場合、USB メディア画面から「写真を見る」「音楽を聴く」を選択したとき、USB メディア画面に戻るときに動きの効果が付きます。
- 録画予約実行中は、USB 機能は利用できません。
- USB 機能を利用中は、画面サイズの切り換え（⇒ **79** ページ）ができません。

写真や音楽を楽しむ

1 写真や音楽が記録されたUSBメモリーを、本機ディスプレイ部のUSB（ミニ）端子に接続する

- USB メディア画面が表示されます。
- 本機ディスプレイ部の USB 端子は、ミニ USB コネクタです。必要に応じて、変換ケーブルなどを準備してください。

USB メディア画面の例

2 USBメディア画面が表示されないときは、マイサークルを表示して、「USBアプリ」を選ぶ

マイサークル を押し で選び 決定 を押す

- 手順 **1** の画面（例）が表示されていることを確認します。
- ディスプレイ部に USB メモリーをつないだ場合は、手順 **4** に進みます。
- カードリーダーなどを使って複数のメモリーカードをつないでいる場合は、使用するメモリーカードを選ぶ必要があります。手順 **3** に進みます。

3 再生したいデータが入っているメモリーカードを選ぶ

赤 を押す

で選び 決定 を押す

- 最大 16 個の USB が表示されます。
- 本機の電源を「切」にしたあとでもう一度電源を「入」にしたとき、カードリーダーに割り当てられた各メモリーカードのスロットの番号が変わることがあります。

USBメニュー … USB選択

USBを選択してください

USB 1	USB 2	USB 3	USB 4

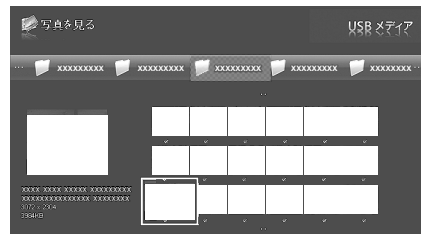
4 「写真を見る」または「音楽を聴く」を選ぶ

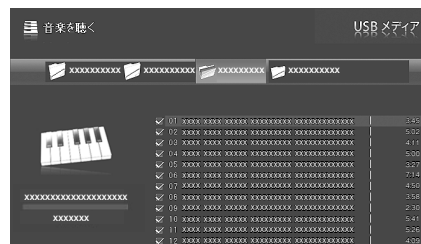
で選び 決定 を押す

5 再生したいデータが入っているフォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

6 再生したい写真や音楽を選ぶ

で選び 決定 を押す

写真一覧画面の例

音楽一覧画面の例

- 写真表示中の操作⇒ **214** ページ
- 音楽再生中の操作⇒ **217** ページ

次のページに続く

写真表示中の操作について

写真一覧画面の例

サムネイル表示中の操作

ボタン	説明
決定	• 選んだ写真を表示します。
	• 写真や、希望の項目を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• スライドショーを開始します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• スライドショー再生時に再生する BGM 一覧画面を表示します。
黄	• スライドショー再生を行う画像の選択／選択解除を行います。現在選択されている画像に対してのみ有効です。

◇**おしらせ**◇
- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。
  ※EXIF ファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。

スライドショー表示中の操作

- サムネイル選択画面に表示される写真は、スライドショーとして表示されます。

ボタン	説明
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
黄	• カレンダー／時計で使用する写真を取り込みます。

◇**おしらせ**◇
- スライドショー表示中は、選択された BGM が繰り返し再生されます。
- スライドショーは、戻るを押すまで続きます。

個別の写真を表示中の操作

- サムネイル選択画面で選ばれた写真が表示されます。

ボタン	説明
	• 同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• 写真を左に 90° 回転します。
黄	• 写真を右に 90° 回転します。

◇**おしらせ**◇
- 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。
- USB メニューから写真取り込みを選択することで、カレンダー／時計で表示する写真を取り込めます。ただし、「×」マークが表示されている写真は取り込めません。

スライドショーの間隔を選ぶ

・スライドショーの速度は、USB メニュー画面から「スライドショー間隔」を選んで設定します。

1 サムネイル表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤
を押す

2 「スライドショー間隔」を選ぶ

USBメニュー	
スライドショー間隔	[約10秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

で選び
を押す

3 「約5秒」「約10秒」「約30秒」「約60秒」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

◇おしらせ◇
・写真によってはスライドショーの間隔が設定時間どおりにならない場合があります。

スライドショーの効果を選ぶ

・スライドショー表示中、画面が切り換わるときに動きの効果がつくよう設定できます。

1 サムネイル表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤
を押す

2 「スライドショー効果」を選ぶ

USBメニュー	
スライドショー間隔	[約10秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

で選び
を押す

3 「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

フォルダ内のすべてのスライドショー画像を設定／リセットする

・表示される画像を設定またはリセットします。

1 サムネイル表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤
を押す

2 「スライドショー全選択」または「スライドショー全解除」を選ぶ

USBメニュー	
スライドショー間隔	[約10秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

で選び
決定
を押す

・「スライドショー全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての画像にチェックマークが付きます。
・「スライドショー全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての画像からチェックマークが外れます。

3 スライドショーを開始する

青
を押す

次のページに続く

スライドショーの BGM を選ぶ

• スライドショー表示中に流れる音楽（BGM）を選べます。

1 サムネイル表示中に、USB メニュー画面を表示する

赤

を押す

2 「スライドショーBGM選択へ」を選ぶ

で選び

決定 を押す

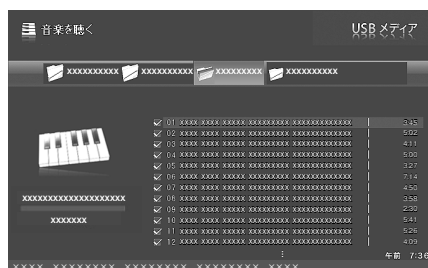
• 音楽一覧画面が表示されます。

3 音楽（BGM）を選ぶ

で選ぶ

黄

を押す

• 選択された音楽にチェックマークが付きます。

ボタン	説明
	• 音楽を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• 音楽の再生を停止します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• 音楽を再生／一時停止します。
黄	• スライドショーの BGM にする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。

4 フォルダを選ぶ画面に戻る

を押す

5 サムネイル画面に戻る

を押す

6 サムネイル選択画面でスライドショーを開始する

青

を押す

• スライドショーのあいだ、BGM が流れます。

◇おしらせ◇

• 初期設定では、すべての音楽ファイルが選ばれています。

フォルダ内のすべての音楽をスライドショーの BGM に設定／解除する

1 サムネイル表示中に、USB メニュー画面を表示する

赤

を押す

2 「スライドショーBGM選択へ」を選ぶ

で選び

を押す

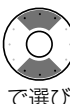
• 音楽一覧画面が表示されます。

3 BGMにしたい音楽が入っているフォルダを選ぶ

で選び

を押す

4 任意の音楽を選んでいる状態で赤ボタンを押す

赤 を押す

5 「BGM全選択」または「BGM全解除」を選ぶ

で選び
決定 を押す

音楽再生中の操作について

音楽一覧画面の例

ボタン	説明
決定	• 選んだ音楽を再生します。
(方向ボタン)	• 音楽を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• 音楽の再生を停止します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• 音楽を再生／一時停止します。
黄	• 自動再生をする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。チェックマークが付いていない音楽は、自動再生中にスキップされます。

◇おしらせ◇

- 無効な音楽ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、プログレスバーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

フォルダ内の音楽の自動再生を設定／解除する

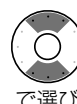
- 音楽の自動再生を設定または解除します。

1 音楽一覧表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤 を押す

2 「自動再生全選択」または「自動再生全解除」を選ぶ

で選び
決定 を押す

USBメニュー
自動再生全選択
自動再生全解除

- 「自動再生全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルにチェックマークが付きます。
- 「自動再生全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルからチェックマークが外れます。

3 音楽を再生する

緑
を押す

テレビの設置・接続・受信設定の進めかた

基本的な準備のながれ

- 本機の設置・接続・受信設定などの基本的な進めかたのながれです。

1 **本機を設置する**

⇒220ページ

2 **チューナー部にB-CAS（ビーキャス）カードを入れる**

⇒224ページ

3 **アンテナをつなぐ**

⇒226～229ページ

- 壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は、「壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合」（⇒**下記**）をご覧ください。

4 **他の機器をつなぐ**

- 「他の機器をつなぐ場合は」（⇒**次**ページ）をご覧ください。

5 **電源コードをつなぐ**

⇒233ページ

6 **本機を設置する**

- 別売品を使うと、壁に掛けて設置できます。（⇒ **220** ページ）

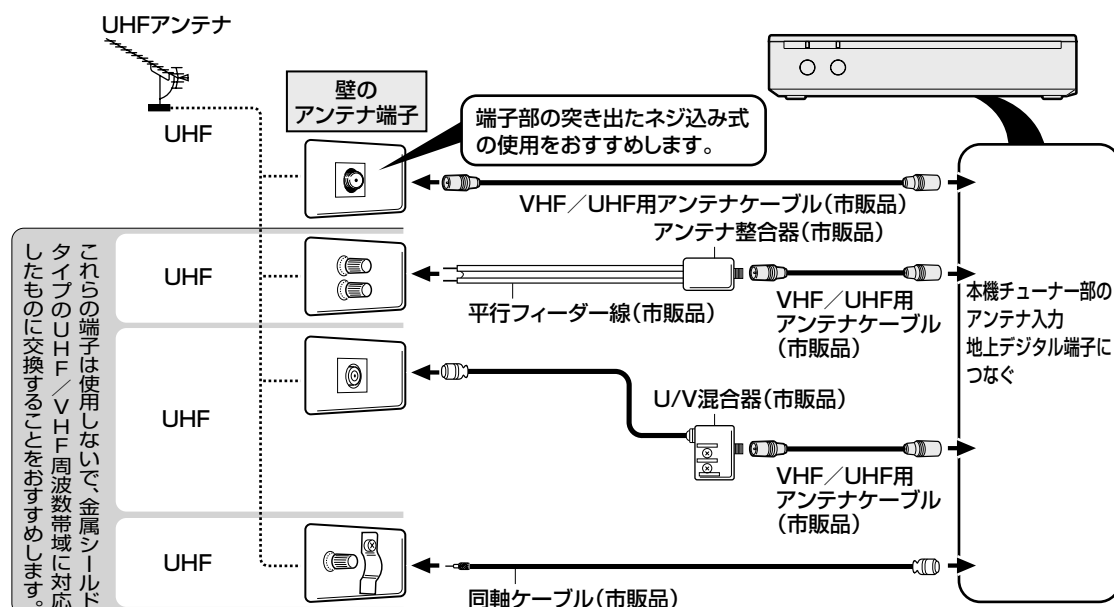
7 **かんたん初期設定をする**

⇒234～238ページ

- 画面の指示に従って設定を進めます。
- 受信の設定は、個別に行えます。（⇒ **240** ～ **247** ページ）

- 操作に困ったときは、⇒ **254** ～ **278** ページをご覧ください。

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合

- 壁のアンテナ端子のかたちが **226** ページの記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。

他の機器をつなぐ場合は

- 本機に他の機器をつなぐ場合は、以下をご覧ください。

USBハードディスクをつなぐ

⇒111ページ

- 市販のUSBハードディスクをチューナー部につなぎ設定すると、番組を録画できるようになります。

ファミリンク対応機器をつなぐ

⇒230ページ

- ファミリンク機能を搭載しているAQUOSレコーダー・プレーヤーなどのつなぎかたです。

本機とAQUOSレコーダーをつなぐ

• ⇒ **230** ページ

レコーダー･プレーヤー･ゲーム機などをつなぐ

⇒231ページ

- ファミリンク対応機器以外のレコーダーやプレーヤー、ゲーム機などのつなぎかたです。

HDMI出力端子が付いた機器をつなぐ

• ⇒ **231** ページ

パソコンをつなぐ

⇒232ページ

本機をHDMI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

• ⇒ **232** ページ

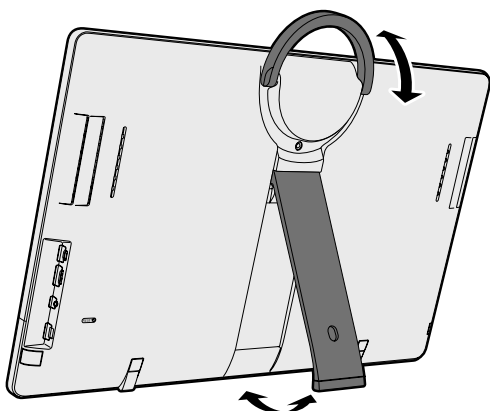
ネットワークにつなぐ

⇒156～163ページ

- インターネット（ブロードバンド）やLAN（家の中のネットワーク）のつなぎかたです。
- LANのつなぎかたには、有線方式と無線方式があります。
- IPTVの番組を見る場合には、インターネットへの接続が必要です。

本機を設置する

ディスプレイ部のスタンドについて

- 自立スタンドは、「カチッ」と音がするまで確実に開いてください。開ききらない状態でご使用になると、ディスプレイ部が倒れて壊れたり、けがの原因となります。

- ディスプレイ部の自立スタンドやキャリングハンドルに、手をはさまれないようご注意ください。ディスプレイ部を設置または移動するときに、自立スタンドやキャリングハンドルの可動部に手や指がはさまり、けがの原因となることがあります。

別売品について

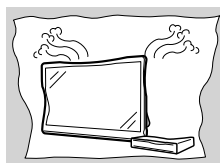
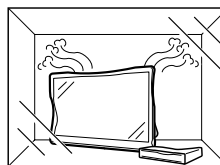
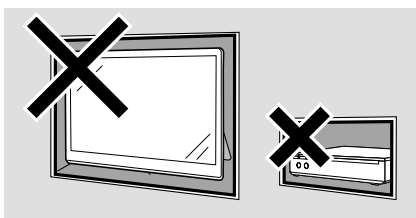
- ディスプレイ部は、別売の壁掛けフックを使って設置することもできます。
- 本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。　　（2011 年 3 月現在）

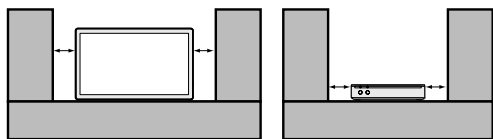
No.	品　名	形　名	対応機種
1	**壁掛けフック**	**AN-20WL1**	LC-20FE1

- ディスプレイ部を壁に掛けて設置する場合は、必ず当社製の「壁掛けフック AN-20WL1」をご使用ください。

本機を設置するときに気をつけること

以下のような設置のしかたをしないでください。

- 風通しの悪いところに入れない
- 密閉した箱に入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布などをかけない
- 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない（使用温度 0℃～ 35℃）
- 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。

設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- ディスプレイ部を持ち上げたり、運んだりする場合は、キャリングハンドルをお持ちください。液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
- 左右それぞれ 10cm 以上のスペースを空けてください。
- チューナー部側面の通風孔はふさがないでください。左右それぞれ 10cm 以上のスペースを空けてください。

- 左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、ホームメニューの「設定」－「(音声調整)」で調整してください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- チューナー部は縦置きにしないでください。横置きでお使いください。
- チューナー部の上下左右には、他の機器を重ねて設置しないでください。

ワイヤレス接続のご注意

- 本機は、ワイヤレス接続でディスプレイ部を持ち運んで視聴を楽しめます。ワイヤレス接続でお楽しみいただくために、以下をご覧になり正しくお使いください。
  - 金属、コンクリートなど電波を遮蔽する場所に設置しないでください。
  - 密閉した場所にいれたり、金属の上や金属の近くに設置しないでください。
  - 台所、浴室など水が入る場所には設置しないでください。
  - じゅうたんや布団などの上に設置しないでください。
  - 電波に関する使用上の注意事項があります。詳しくは⇒ **19** ～ **20**、**22**、**24** ページをご覧になり正しくお使いください。

◇おしらせ◇

- すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり、通信速度が遅くなることがあります。このような場合は、利用環境および設置場所を変えてご使用ください。
  - コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  - 障害物や金属の近くの設置
  - 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉（⇒ **19** ～ **20** ページ）
  - 電子レンジなどの磁場、静電気、電波障害が発生するところ
- 画面がでない、接続状態が悪いなど、ワイヤレス接続が正常にできない場合は、次の方法でワイヤレスの接続状態を確認してください。
  - チューナー部とディスプレイ部の無線接続設定を行う（⇒ **248** ページ）
  - チューナー部とディスプレイ部の無線接続状態を確認する（⇒ **248** ページ）
  - 外部アクセスポイントとディスプレイ部の無線接続設定を行う（⇒ **165** ～ **167** ページ）
  - 外部アクセスポイントとディスプレイ部の無線接続状態を確認する（⇒ **33** ページ）
  - ディスプレイ部にメッセージが表示されたときは、無線通信に不具合が発生しています。「エラーメッセージが出たら」（⇒ **270** ページ）をご覧ください。
- くわしくは SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

放送の種類について

VHF アンテナ
地上アナログ放送のみ受信できます。
地上デジタル放送は、受信できません。

UHF アンテナ
地上デジタル放送と、UHF 帯の地上アナログ放送を受信できます。

地上アナログ放送

- **本機では、地上アナログ放送を受信できません。**
- 地上アナログ放送と BS アナログ放送は、2011 年 7 月 24 日までに終了することが国の法令によって定められています。

受信に必要なアンテナ

- VHF 対応のアンテナや UHF 対応のアンテナが必要です。

◆ 重 要 ◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

地上デジタル放送

- 2003 年 12 月から東京・大阪・名古屋の 3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年 12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

デジタル放送のその他の特長

B-CAS カード

- **デジタル放送を受信するには、B-CAS カードが必要です。本機チューナー部に B-CAS カードを入れてください。****（⇒ 224 ページ）**

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選んで切り換えます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。

※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。インターネットのブックマークとは異なります。

◇**おしらせ**◇

- ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

- **BSデジタル放送**
- **110度CSデジタル放送**

BS・110 度 CS 共用アンテナ
BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
(他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。)

BS デジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。（スキップ設定⇒ **247** ページ）
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！ e2」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

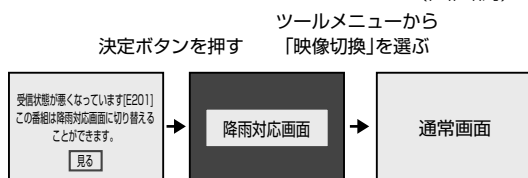
- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- **従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応したものに交換する必要があります。**

BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選ぶと元の映像に戻れます。

（画面例）

決定ボタンを押す　　ツールメニューから「映像切換」を選ぶ

110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード（掲示板）

- プラットホーム（スカパー！ e2）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（⇒ **285** ページ）

（画面例）

B-CAS（ビーキャス）カードと有料放送の受信について

B-CAS カードを挿入する（B-CAS カードの役割について）

- デジタル放送（地上デジタル放送、BSデジタル放送、110 度 CS デジタル放送）を楽しむために、**B-CAS（ビーキャス）カードをチューナー部に必ず入れてください。** B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カードの抜き差しについて

- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、B-CAS カードを抜く場合は、チューナー部の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。

- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先

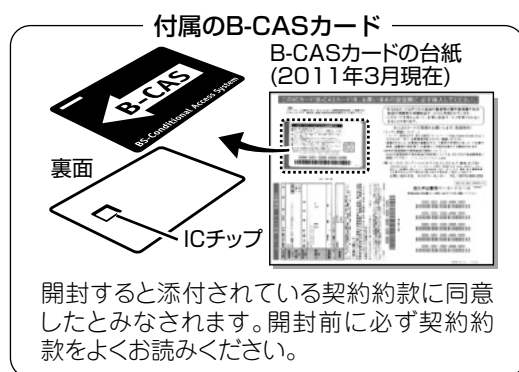
B-CAS カード　カスタマーセンター
電話　0570-000-250
（2011 年 3 月現在）

付属のB-CASカード

B-CASカードの台紙
(2011年3月現在)

裏面

ICチップ

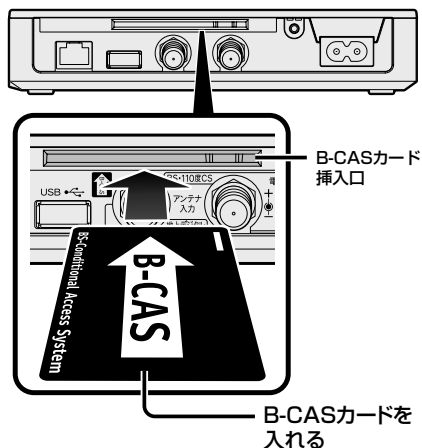
開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

1 B-CASカードの台紙の内容を読む

- B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている B-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。

2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

- 奥まで差し込んだ状態で、本機から約 7 ～ 8mm とび出します。

チューナー部背面

- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（⇒ **279** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

WOWOW や スカパー！e2 などの 有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！ e2 などの各プラットホーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。

2011 年 3 月現在

有料BS・110度CSデジタル放送局

WOWOW

- **カスタマーセンター**
  電話番号：0120-580807
  受付　：9：00 ～ 20：00（年中無休）
  ホームページ：http://www.wowow.co.jp/

スター・チャンネル

- **スター・チャンネル　カスタマーセンター**
  電話番号：0570-013-111
  PHS、IP 電話のお客様は 045-339-0399
  受付　：10：00 ～ 18：00
  ホームページ：http://www.star-ch.jp/
- スター・チャンネル　ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！e2　カスタマーセンターへお問い合わせください。

110度CSデジタル衛星サービス会社

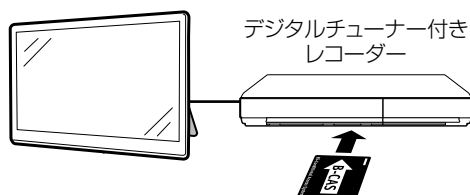
スカパー！e2 （CS1・CS2）

- **スカパー！e2　カスタマーセンター**
  電話番号：0570-08-1212
  PHS、IP 電話のお客様は 045-276-7777
  受付　：10：00 ～ 20：00（年中無休）
  ホームページ：http://www.e2sptv.jp/

◇**おしらせ**◇

- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

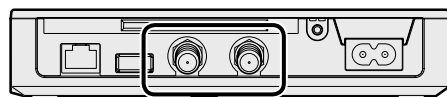
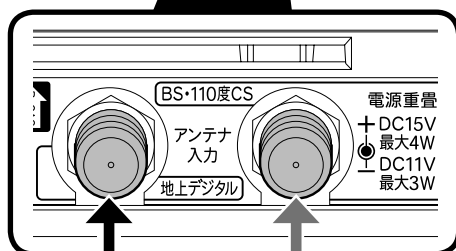
デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。

有料放送で登録したB-CASカードは、レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、マイサークルを表示して「HDMI 機器を見る」を選び、レコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

アンテナをつなぐ（テレビだけをつなぐ場合）

地上デジタル放送用アンテナとつなぐ

・ 地上デジタル放送を見るための接続です。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

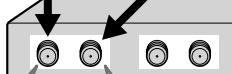
アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

ケーブルテレビを見るときは

・ 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

壁のアンテナ端子

CATV

ケーブルテレビ
専用受信機▶

ケーブル
入力端子

ケーブル
出力端子

VHF ／ UHF 用
アンテナケーブル
（市販品）

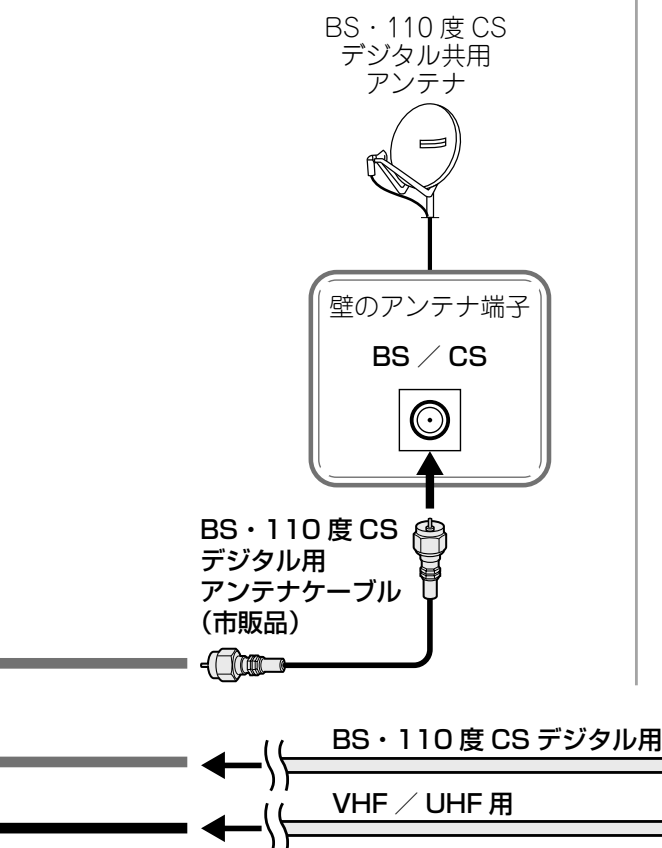
◇**おしらせ**◇

・ **CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（⇒ 245 ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。**
・ 本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

BS・110度CS デジタル放送用 アンテナとつなぐ

・ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

個人でアンテナを設置しているとき

（BS・110度CSデジタルと UHF／VHFが別の端子のとき）

マンションなどの共聴システムで受信しているとき

（BS・110度CSデジタルとUHFが混合されているとき）

BS・110度CS
デジタル共用
アンテナ

UHF
アンテナ

混合器

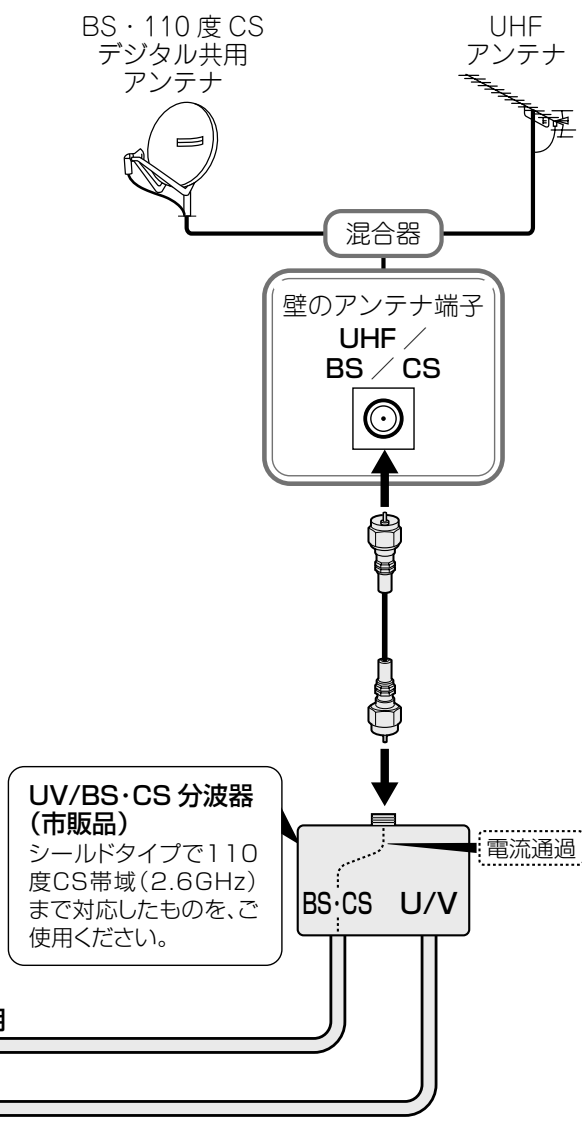
壁のアンテナ端子
UHF／
BS／CS

UV/BS·CS 分波器
（市販品）
シールドタイプで110度CS帯域（2.6GHz）まで対応したものを、ご使用ください。

電流通過

BS·CS　U/V

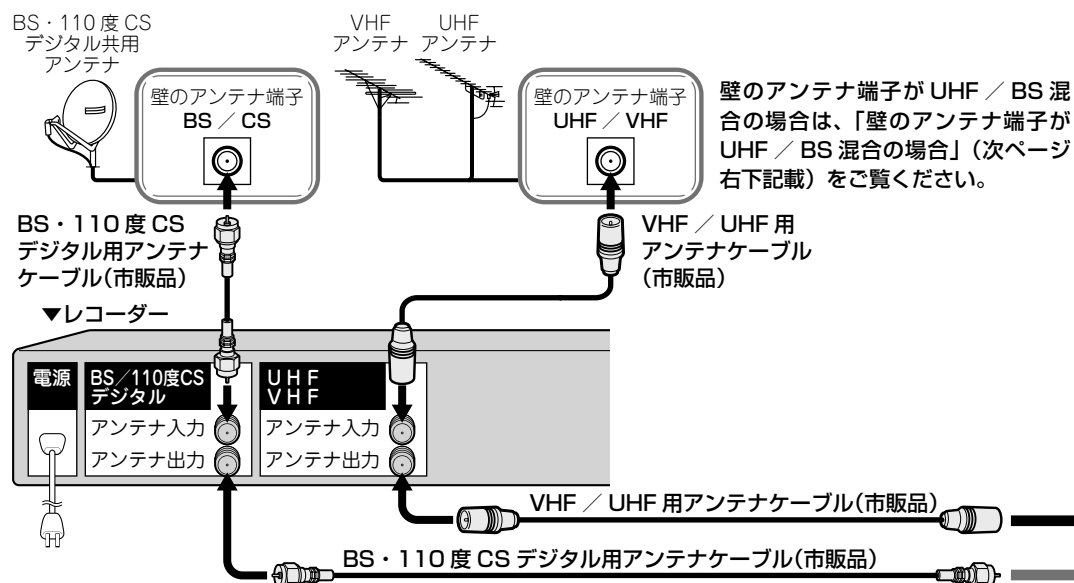
BS・110度CSデジタル用

VHF／UHF用

◇おしらせ◇

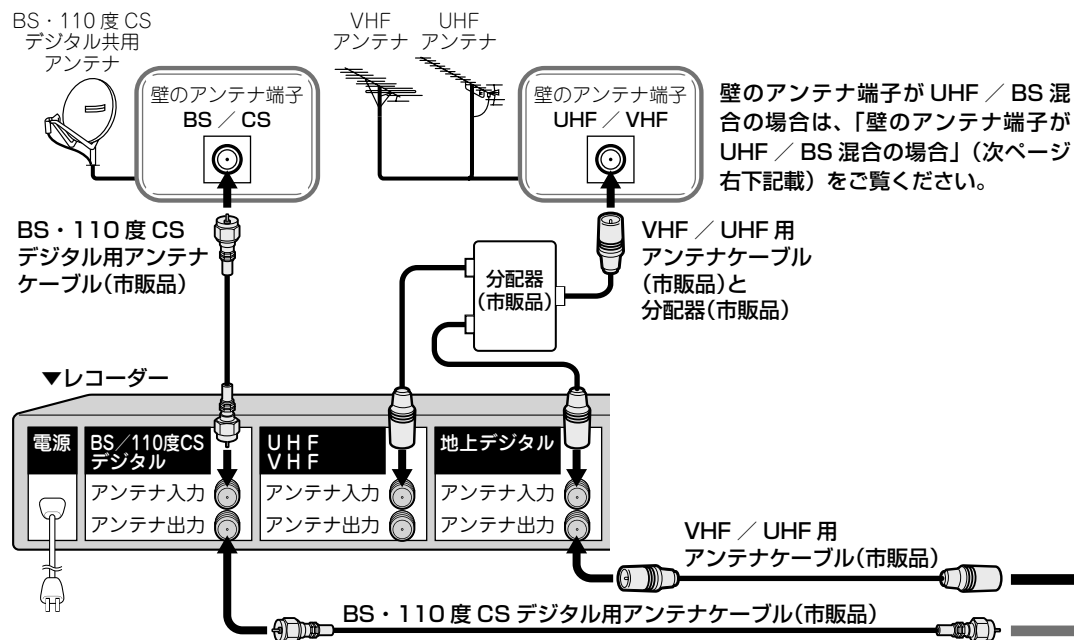
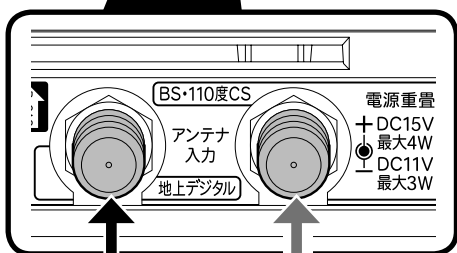
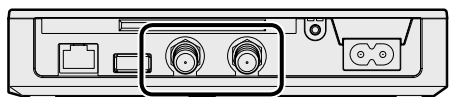
・**接続をやり直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**（⇒ **233** ページ）（BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子は、BS・110度CSデジタルアンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに+15V／+11Vの電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。）
・市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110度CS帯域（2.6GHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線はS-5C-FBなど。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
・従来のBSアナログアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

アンテナをつなぐ（レコーダーもつなぐ場合）

デジタルチューナー搭載のレコーダーの場合

地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子のレコーダーにつなぐとき

地上デジタルと地上アナログの入力が別々の端子のレコーダーにつなぐとき

▼チューナー部背面

BS•110度CS
アンテナ入力
地上デジタル
電源重畳
DC15V 最大4W
DC11V 最大3W

デジタルチューナーを搭載していないレコーダーの場合

壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合」（下記）をご覧ください。

壁のアンテナ端子 BS／CS

壁のアンテナ端子 UHF／VHF

BS・110度CSデジタル用アンテナケーブル（市販品）

VHF／UHF用アンテナケーブル（市販品）

▼レコーダー

電源

UHF VHF
アンテナ入力
アンテナ出力

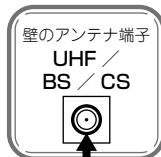
本機で放送が受信できない場合は、⇒**250**ページをご覧ください。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合

- UV/BS·CS分波器（市販品）を使って、VHF/UHF用とBS·110度CSデジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

壁のアンテナ端子 UHF／BS／CS

電流通過

UV/BS·CS分波器（市販品）
シールドタイプで110度CS帯域(2.6GHz)まで対応したものを、ご使用ください。

BS·CS　U/V

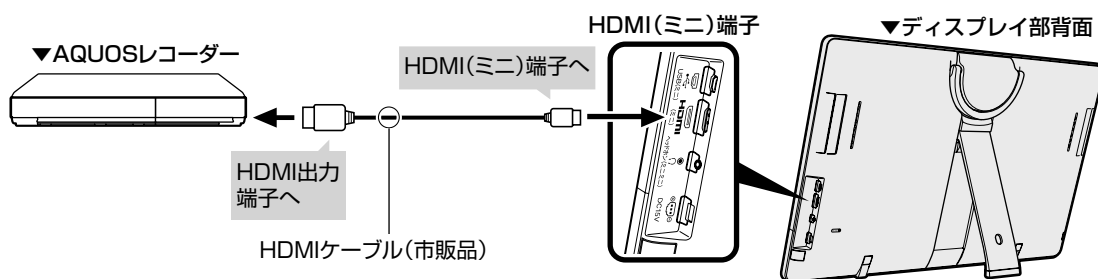
レコーダーやテレビにつなぐ

ファミリンク対応機器をつなぐ

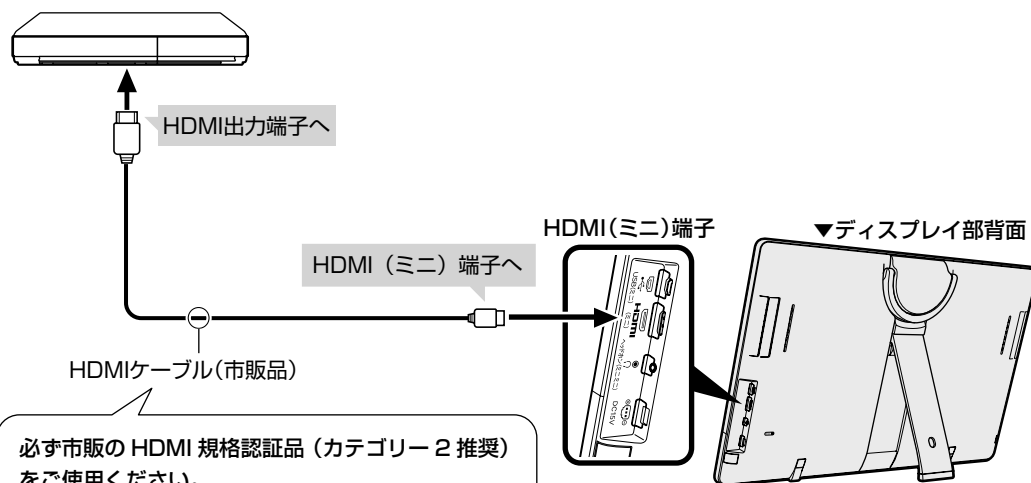
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。
- 本機ディスプレイ部の HDMI 端子は、HDMI ミニ端子です。ファミリンク対応機器との接続には、HDMI ミニ端子ケーブルをお使いください。通常の HDMI ケーブルをお使いの場合は、HDMI ミニ端子変換ケーブルをご用意ください。

◆ 重　要 ◆

- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を HDMI 入力に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

HDMI 出力端子が付いた機器をつなぐ

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 本機ディスプレイ部の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- 本機ディスプレイ部の HDMI 端子は、HDMI ミニ端子です。ファミリンク対応機器との接続には、HDMI ミニ端子ケーブルをお使いください。通常の HDMI ケーブルをお使いの場合は、HDMI ミニ端子変換ケーブルをご用意ください。

必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。
規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。

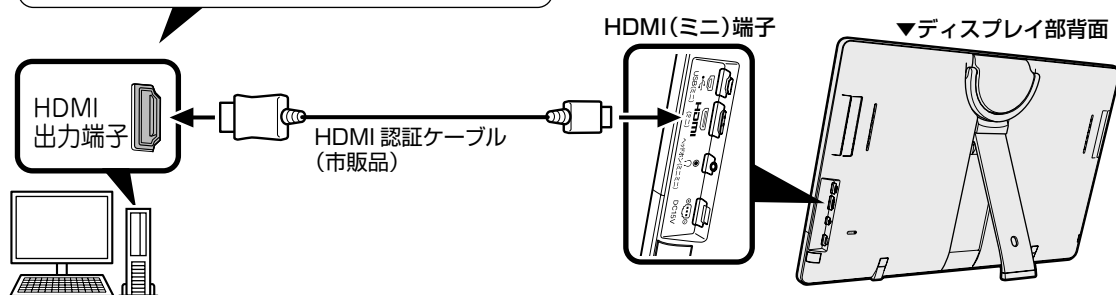
対応している映像信号

- 1080p（24Hz/60Hz）、720p、1080i、480p、480i、VGA

対応している音声信号

- 種類：リニア PCM
  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

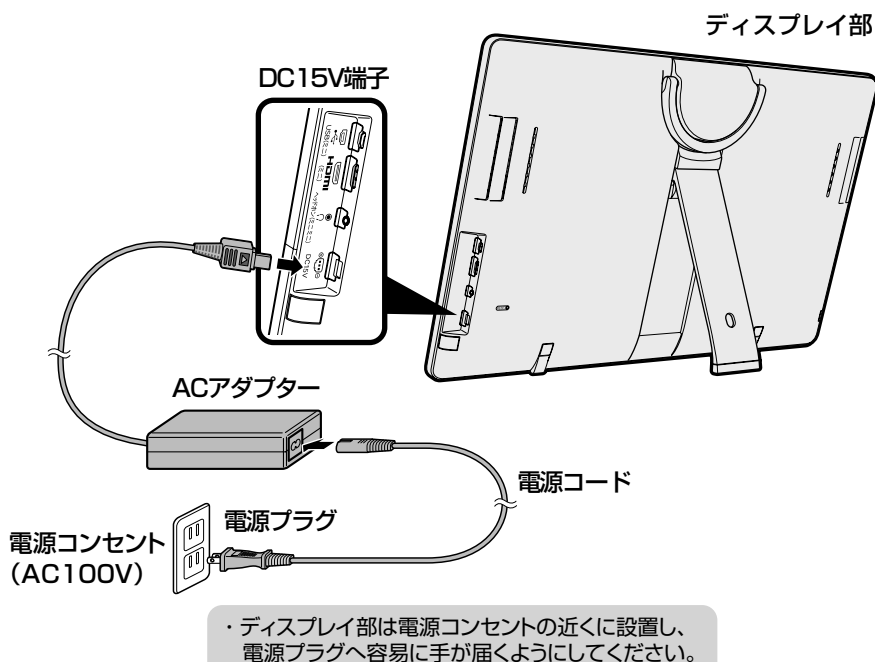
パソコンをつなぐ

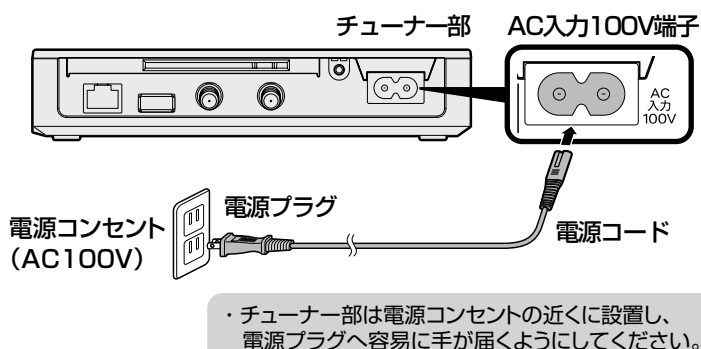
本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

- 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。
- 本機ディスプレイ部の HDMI 端子は、HDMI ミニ端子です。パソコンとの接続には、HDMI ミニ端子ケーブルをお使いください。通常の HDMI ケーブルをお使いの場合は、HDMI ミニ端子変換ケーブルをご用意ください。

電源コードをつなぐ

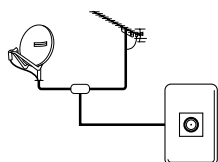
⚠注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

1 付属のACアダプターと電源コードを使って、ディスプレイ部と電源コンセントをつなぐ

・ディスプレイ部は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

2 付属の電源コードを使って、チューナー部と電源コンセントをつなぐ

・チューナー部は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

◆ **重 要** ◆

- AC アダプターのプラグと電源コードのプラグは、抜けないように確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

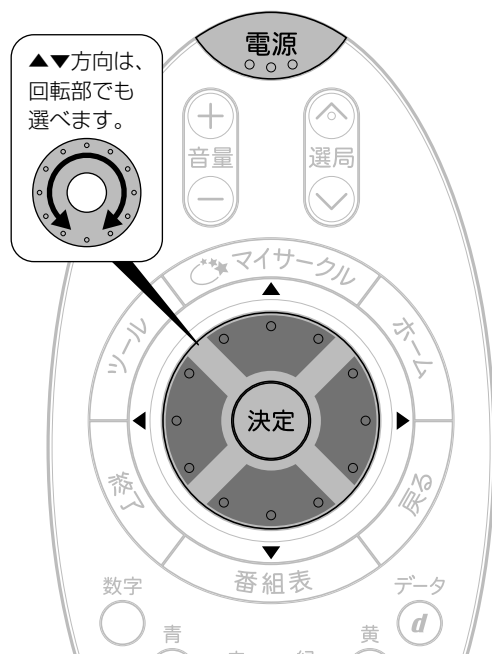
放送を受信するために最初に必要な「かんたん初期設定」などの設定をする

ビーキャス
B-CASカード
⇒**224**ページ

- お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。

ネットワーク機能（インターネットや IPTV など）をお使いになる場合は

- ブロードバンドルーターと有線または無線で LAN 接続してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときは

- ホームメニューからかんたん初期設定を行ってください。(⇒ **238** ページ)

◇**おしらせ**◇

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1 ディスプレイ部の電源を入れる

電源を押す

電源コードのつなぎかた

- ⇒ **233** ページ

電源の入れかた

- ⇒ **30** ページ

ディスプレイ部、およびチューナー部に
それぞれの電源コードをつないでください。

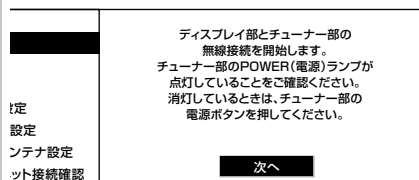
次へ

- **電源を入れると、上記の画面が出ます。必ずディスプレイ部とチューナー部に電源コードを接続してください。接続するまでは、「かんたん初期設定」ができません。**
- **電源コードを接続したら、「次へ」で決定します。**

2 メッセージを確認して決定する

を押す

ディスプレイ部とチューナー部の
無線接続を開始します。
チューナー部のPOWER（電源）ランプが
点灯していることをご確認ください。
消灯しているときは、チューナー部の
電源ボタンを押してください。

次へ

- チューナー部の電源を入れていない場合は、電源を入れてから「次へ」で決定します。
- 「次へ」で決定してから約 2 分以内に手順 **3** を行います。

途中で設定を中止するときは

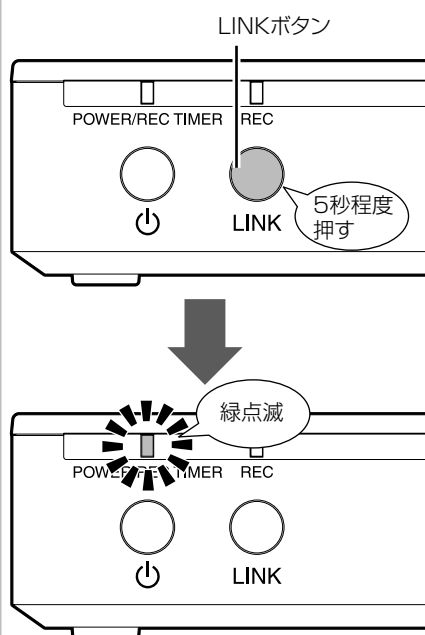
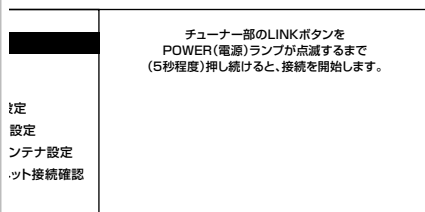
- 電源をお切りください。再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。

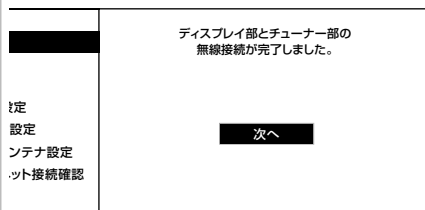
B-CAS カードが正しく挿入されていないときは

- 「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されます。電源を切り、⇒ **224** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

リモコンと本体のリモコン番号が異なるときは

- 「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されます。⇒ **286** ～ **287** ページの手順に従ってリモコン番号の設定を行ってください。

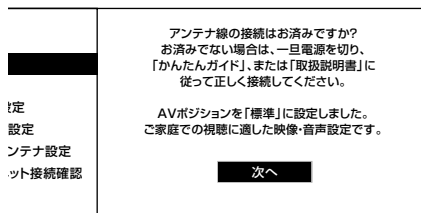
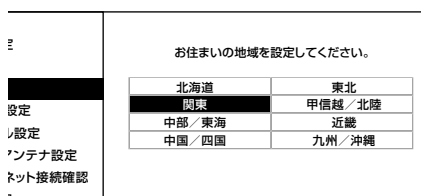
3 チューナー部のLINKボタンを、チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが点滅するまで（5秒程度）押し続ける

4 メッセージを確認して決定する

決定を押す

- 無線接続設定に失敗した場合や、チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが緑点灯にならない場合は、画面の指示に従って再設定をしてください。

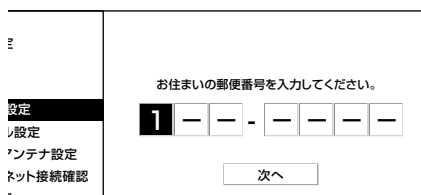
5 メッセージを確認して決定する

決定を押す

6 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び 決定を押す

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

7 郵便番号を入力する

または で選び を押す

- リモコンの回転部または上下カーソルボタンで数字を選び、右カーソルボタンで決定します。

8 郵便番号をすべて入力したら、「次へ」で決定する

決定を押す

次のページに続く

◆ チャンネルを設定する

9 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

地上デジタル放送のチャンネル設定をしますか?

設定しない場合は、「しない」を選択してください。
現在の地域設定は○○です。

する　しない

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- 自動的に地上デジタル放送のチャンネルが登録されます。
- 手順 **10** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

地上デジタル放送を受信できる地域の場合

- 「電源スイッチ設定」(⇒ **57** ページ)を「モード 2」に設定して本機(ディスプレイ部／チューナー部)の電源スイッチでいったん電源を切ってチューナー部の UHF アンテナの接続を確認してください。ディスプレイ部の電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

まだ地上デジタル放送を受信できない地域の場合

- 決定ボタンを押してください。

◆ BS･CSアンテナを設定する

10 「する」または「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、手順 **12** に進みます。

- 「する」を選んだときは、「BS/CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

次の画面が表示されたときは

BS・CS アンテナを接続していないとき

- 「次へ」を選び決定ボタンを押してください。

BS・CS アンテナを接続しているとき

- 「電源スイッチ設定」(⇒ **57** ページ)を「モード 2」に設定して本機(ディスプレイ部／チューナー部)の電源スイッチでいったん電源を切って、チューナー部の BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。(⇒ **226** ～ **229** ページ)
  電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

電源確認　リンク設定　接続確認　地域設定

受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。

BS･CS アンテナ電源　オート　入　切

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、手順 **12** の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや、移転などで BS･110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは

- ⇒ **240** ～ **241** ページ

11 受信状態を確認して決定する

決定 を押す

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	受信強度が 60 以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	「電源スイッチ設定」(⇒ **57** ページ）を「モード 2」に設定して本機（ディスプレイ部／チューナー部）の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。(⇒ **226** ～ **229** ページ）

12 インターネット接続の確認をし、決定する

決定 を押す

インターネットを利用する場合は
お手持ちのブロードバンドルーターと、
チューナーユニットのLAN端子を
LANケーブルで接続してください。
次へ

13 IPTV(ひかりTV)を見る場合は「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

IPTV（ひかり TV）を見るには

- IPTV サービスの契約、光回線の契約、ブロードバンド環境が必要です。本機をブロードバンド環境につないでおいてください。

IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です。）
する　しない

14 「次へ」で決定する

決定 を押す

IPTVサービス設定が完了しました。
次へ

15 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

で選び 決定 を押す

かんたん初期設定は、すべて終了しました。
（詳しい操作方法は、付属の「かんたんガイド」、
または「取扱説明書」をご覧ください。）

[設定内容]
リンク設定 :接続できました
B-CASカード :認識できました
地域設定 :○○
郵便番号 :〒○○○−○○○○
地上デジタル :受信可能
BS/CSアンテナ電源 :オート
IPTV設定 :利用可能

完了　再設定

設定内容が表示されますので
確認してください。

- これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。
⇒ **48** ～ **49** ページ
放送が受信できないときは
⇒ **250** ～ **253** ページ

◇おしらせ◇

- B-CAS カードが正しく挿入されているかをテストできます。
（「システム動作テスト」⇒ **279** ページ）

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

1 ホームメニューを表示して、「設定」を選ぶ

チャンネル　設定　ホーム

を押し

で選び

を押す

2 「（視聴準備）」を選ぶ

で選び

を押す

3 「かんたん初期設定」を選ぶ

で選び

を押す

- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（⇒ **234** ページ）

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。（⇒ **240** ページ）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。（⇒ **242** ページ）

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。（⇒ **244** ページ）

デジタル放送のチャンネルスキップ設定

- デジタル放送のチャンネルをスキップする設定ができます。（⇒ **246** ページ）

地デジ難視対策衛星放送を視聴するための設定

- BS291ch ～ BS298ch は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴する場合は、スキップ設定（⇒ **247** ページ）で「BS デジタル」の「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

110 度 CS デジタル放送を視聴するための準備

- 110 度 CS デジタル放送を初めて選局するときは、CS ネットワーク情報を取得する必要があります。次の手順で操作してください。

1 番組選局を表示する

回す

- 番組選局については⇒ **49** ページ

⇒ **49** ページ

2 「CS」を選ぶ

で選ぶ

- CS デジタル放送を選びます。

3 100chを選ぶ

で選び

を押す

4 番組表を表示して、青ボタンを押し番組表を更新する

を押し
青
を押す

- 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。

5 001chについても、手順1～手順4を行う

- 2011 年 3 月 現 在 CS001ch は放送されていません。

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

- 上記の手順で、100ch または 001ch の番組表を更新してください。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒ **234** ～ **238** ページ）を行ってください。）
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	• 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 • チューナー部の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	• 「オート」を選んで BS デジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • チューナー部の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ **重　要** ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 番組選局を表示して「BS」を選ぶ

回して

で選ぶ

- 番組選局については⇒ **49** ページ
- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「アンテナ設定」を選ぶ

で選び

を押す

4 「電源・受信強度表示」を選ぶ

で選び

決定

を押す

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5 「オート」「入」「切」の いずれかを選ぶ

で選ぶ

◆ 受信強度の調整

6 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。(アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

7 調整が終わったら決定ボタンを押す

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 手順 **6** で「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」(⇒ **268** ページ)をご覧ください。
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。(表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。)

※ 受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

デジタル放送の受信強度の確認(信号テスト)をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

(例) BSデジタル放送の信号テストをする

1 前ページの手順1〜3を行い、「信号テストーBS」を選び、決定する

2 カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。(2011 年 3 月現在)

- 「受信状態:良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」(⇒ **268** ページ)をご覧になり、適切な処置を行ってください。

3 カーソルボタンで「終了」を選び、決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の受信強度の確認(信号テスト)について

- 手順 **1** で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

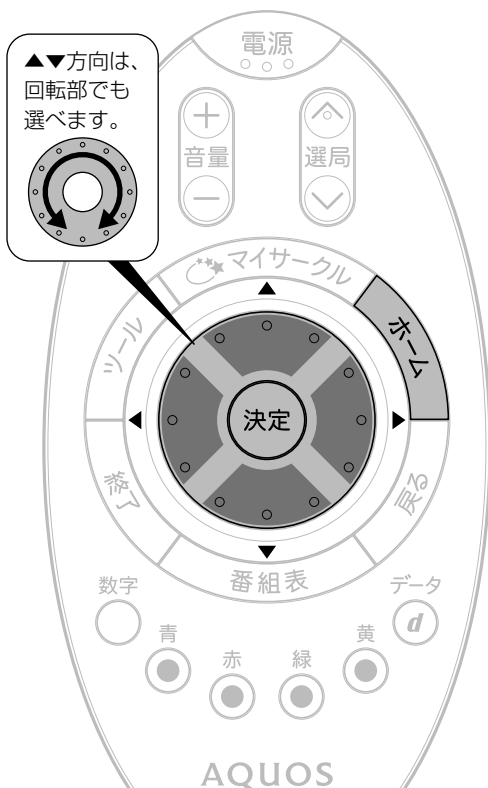
- 手順 **1** で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  (例:BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。)

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。
- チャンネル設定（⇒ **244** ページ）の前に、必ず地域設定をしてください。
- お客様がお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

◆ 重 要 ◆

- B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。

ビーキャス
B-CASカード
⇒**224**ページ

◆ 地域選択 ◆

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

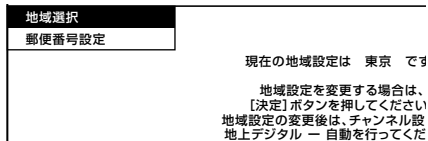
▼ ホームメニューの画面例

2 「地域設定」を選ぶ

で選び

決定を押す

3 「地域選択」を選ぶ

で選び

決定を押す

◇おしらせ◇

- 「地域選択」は、工場出荷時は「関東」－「東京」に設定されています。
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル－自動」を行ってください。（⇒ **244** ページ）

4 お住まいの地域を選ぶ

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

で選び 決定 を押す

5 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

茨城	栃木
群馬	埼玉
千葉	東京
東京 島部	神奈川

で選び 決定 を押す

◆ 郵便番号設定 ◆

6 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し で選び 決定 を押す

選びかたは、42 ～ 47 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

7 「地域設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

8 「郵便番号設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

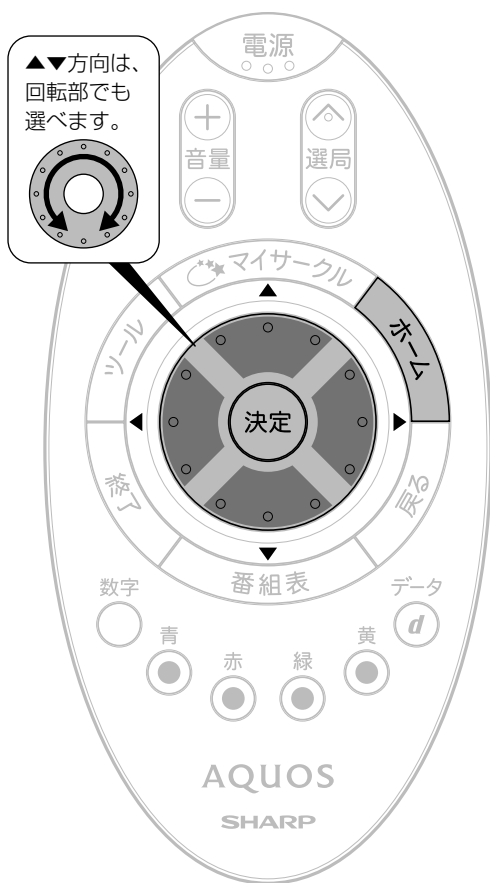
9 郵便番号を入力する

または

で選び を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、リモコンの回転部または上下カーソルボタンで数字を選び直します。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」(⇒ 242 ページ)をしてください。**

1 番組選局を表示して「地上D」を選ぶ

回して

で選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

▼ ホームメニューの画面例

を押し

で選び

を押す

3 「チャンネル設定」を選ぶ

チャンネル設定

で選び

を押す

4 「地上デジタル」を選ぶ

地上デジタル	地上デジタル放送の受信チャンネルの
BSデジタル	(チャンネル設定をする前に、必ず地
CSデジタル	お住まいの地域に設定しておいてく

で選び

を押す

5 「地上デジタル−自動」を選ぶ

地上デジタル−自動	チャンネルサーチを行い、お住まい 地域の地上デジタル放送のチャンネ 自動登録します。 変更したスキップ設定はクリアされ
−追加	
−個別	
−選局順	この設定でチャンネルサーチを実行し

で選び

決定 を押す

6 「する」を選ぶ

タル−自動	チャンネルサーチを行い、お住まいの 地域の地上デジタル放送のチャンネルを 自動登録します。 変更したスキップ設定はクリアされます。
−追加	
−個別	
−選局順	この設定でチャンネルサーチを実行しますか?
	現在の地域設定は ○○ です。
	する　しない

で選び

決定 を押す

- 自動登録が始まります。

タル−自動	視聴可能な放送局を確認しています。 しばらくお待ちください。
−追加	受信チャンネル ●●ch
−個別	リモコン番号 1
−選局順	放送局名 ●●●

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◆ 重 要 ◆

新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタル−自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **5** で「地上デジタル−追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

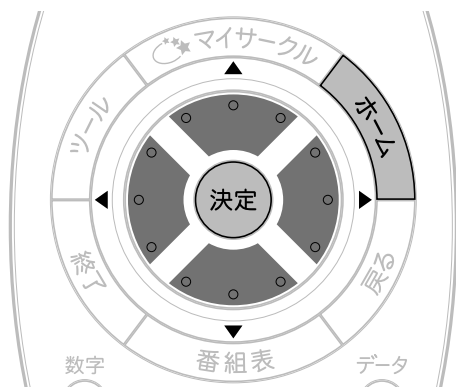
◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の CATV(ケーブルテレビ)放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は、「パススルー方式」(UHF 帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF 帯)です。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

チャンネルスキップの設定

選局(∧順／∨逆)ボタンで選局するときのチャンネルスキップ設定

- 選局（∧順／∨逆）ボタンで選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすように設定できます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

（例）地上デジタル放送のチャンネルスキップの設定をする

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
を押す

選びかたは、42 ～ 47 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

チャンネル設定

3 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
地上デジタル放送の受信チャンネルの
（チャンネル設定をする前に、必ず地
お住まいの地域に設定しておいてくた

- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順 **5** に進みます。

4 「地上デジタルー個別」を選ぶ

で選び 決定 を押す

地上デジタルー自動	チャンネル	3桁
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	061
ー選局順	テレビ 3 ●●●●●	121
	テレビ 4 ●●●●●	041
	テレビ 5 ●●●●●	021

5 変更したいチャンネルを選ぶ

で選び
を押す

タルー自動	チャンネル	3桁	スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051-1	
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	051-2	
ー選局順	テレビ 3 ●●●●●	121	
	テレビ 4 ●●●●●	041	
	テレビ 5 ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。
スキップ　戻る

6 「スキップ」を選ぶ

で選び
を押す

- このメニューで行ったスキップ設定は、**次**ページのチャンネルスキップ設定と連動します。

7 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

番組表で選局するときのチャンネルスキップ設定

- 番組表で選局するときに、視聴しないチャンネルを番組表で表示しないように設定できます。
- **前**ページの「選局（∧順／∨逆）ボタンで選局するときのチャンネルスキップ設定」と同じ設定もあわせて行うことができます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ**

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

番組表設定

2 **上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する**

3 **上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する**

4 **手順3で「地上デジタル」または「BSデジタル」を選んだ場合は、上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する**

- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されますので、手順 **5** に進みます。

手順3で「CSデジタル」を選んだ場合は、スキップ設定したい3桁番号の範囲を選び、決定する

- 手順 **6** に進みます。

5 **左右カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する**

- 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されますので、手順 **7** に進みます。
- 「個別設定」を選んだ場合は、手順 **6** に進みます。

6 **上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、決定する**

7 **カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する**

両方する	• 選局時と番組表のどちらもスキップします。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	• 番組表のみ表示されなくなります。 • 選局時は表示されます。
選局のみ	• 選局時のみ表示されなくなります。 • 番組表には表示されます。
両方しない	• 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BS デジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。
- 番組表で表示されない設定にすると、番組選局画面（⇒ **49** ページ）にも表示されなくなります。

ディスプレイ部とチューナー部をつなぐ無線通信の接続設定を変えるときは

- 本機のディスプレイ部とチューナー部をつなぐ無線通信の設定を変えることができます。
- 「接続設定」は通常「自動」（工場出荷時設定）のままお使いください。無線通信の帯域やチャンネルを固定したいときのみ、「手動」に変更してください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

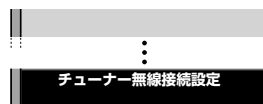
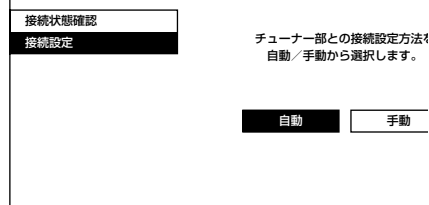
2 「チューナー無線接続設定」を選ぶ

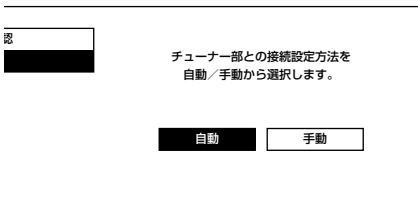
で選び
を押す

チューナー無線接続設定

3 「接続設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

チューナー部との接続設定方法を
自動／手動から選択します。
自動 手動

4 「自動」または「手動」を選ぶ

で選び
決定
を押す

◆「自動」を選んだ場合

- 左右カーソルボタンで「する」を選ぶと、チャンネルが自動で設定されます。

◆「手動」を選んだ場合

- 左右カーソルボタンで「40MHz」または「20MHz」を選択し、上下カーソルボタンで設定したいチャンネルを選んで決定します。
  そのあと左右カーソルボタンで「する」を選ぶと、チャンネルが設定されます

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

現在の接続状態を確認したいときは

1 **ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「各種設定」を選ぶ**

を押し
で選び
を押す

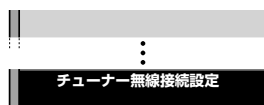
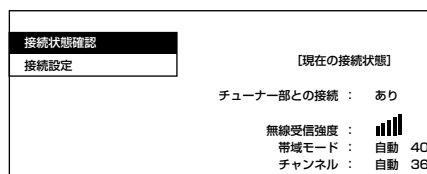
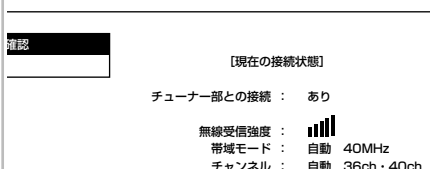
選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 **「チューナー無線接続設定」を選ぶ**

で選び 決定 を押す

3 **「接続状態確認」を選ぶ**

で選ぶ

4 **接続状態を確認する**

◆ **重　要** ◆

- 通信環境によっては、ディスプレイ部とチューナー部との間の無線通信伝送が十分に行えず、映像が乱れることがあります。
- 無線受信強度のアイコンで、無線受信強度のレベルを確認できます。(⇒ **33** ページ)
- チューナー部との接続が「なし」の場合、または無線受信強度が低くなっている場合は、チューナー部からの電波が弱くなっている可能性があります。ディスプレイ部とチューナー部を近づける、または障害物があれば取り除いてください。無線受信強度が低くても、映像の乱れがなければ問題ありません。そのままご使用ください。

干渉発生の検出によるチャンネルの変更について

- 「接続設定」を「自動」(工場出荷時設定)にしている場合は、無線通信のチャンネルが自動的に設定されます。
- 「自動」に設定している場合に映像が乱れると、本機が電波の干渉が原因だと判定したときに、チャンネル変更を促すメッセージが表示されます。
- チャンネル変更を促すメッセージが表示されたときに「はい」を選んで決定すると、電波の干渉する可能性が低いチャンネルに自動的に切り換えます。
- 再び映像が出るまで、最大 2 分程度かかります。

◆ **重　要** ◆

- 本機は 5.3GHz/5.6GHz 帯のチャンネルも利用しています。電波法の規制に従い、気象レーダーなどを検知した場合は、自動でチャンネルを変更します。最大 2 分程度映像が途切れることがあります。

放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

- 受信状態が悪い場合、右のような画面が表示されます。
- 右のような画面が表示されているときに決定ボタンを押すと、受信状態の一覧が表示されます。
- 受信状態の一覧（下の画面）では、デジタル放送の各チャンネルの受信強度や地上デジタル放送で受信できるチャンネルなどが確認できます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定ボタンを押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

受信状態一覧の画面を消すときは

- 終了ボタンを押します。

（画面は一例です。）

BS 103chが受信できません。[E202]
リモコンで放送切換や選局を確認ください。または
アンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪など
の影響で一時的に受信できない場合もあります。
（決定）で受信状態を確認します。

現在放送されていません。 [E203]
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や雪などの天候の影響で
一時的に受信できない場合もあります。
（決定）で受信状態を確認します。

<地上デジタル>

放送局	3桁	受信強度 XXXX/XX/XX	受信強度 現在	状態
NHK総合・東京	011 1	87	64	A
NHK教育・東京	021 2	87	65	A
日本テレビ	041 4	90	66	A
TBS	061 6	82	41	C
フジテレビジョン	081 8	77	35	C
テレビ朝日	051 5	85	53	B
テレビ東京	071 7	80	39	C
放送大学	121 12	80	43	C
tvk	–	32	0	☆E

☆が示されているチャンネルは隣接地域向け放送であるため、この地域では受信強度が十分確保できない可能性があります。

<BS・CSアンテナ>

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS–1	94	A
BS–3	94	A
BS–5	–	–
BS–7	–	–
BS–9	94	A
BS–11	–	–
BS–13	94	A
BS–15	94	A
BS–17	94	A

CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
CS–2	90	A
CS–4	86	A
CS–6	67	A
CS–8	69	A
CS–10	46	B
CS–12	45	B
CS–14	43	B
CS–16	56	D
CS–18	42	B
CS–20	31	B
CS–22	41	C
CS–24	1	C

［受信状態］
A アンテナ信号は良好です
B 受信強度が60以下です
C アンテナ信号が不足しています または、アンテナ信号が強すぎます
D 受信状態が良くありません
E 受信できません
※良好な受信には、受信強度が60以上必要です。

［設定内容］
地域設定 :○○
郵便番号 :〒000-0000
B–CASカード :OK
BS・CSアンテナ電源 :オート（切）
バージョン情報 :00000000 0000000

受信状態の一覧は、直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BSデジタル」「110度CSデジタル」のいずれか一方）が表示されます。

受信できないチャンネルがあるときは

受信状態一覧の、【ここをお確かめください】の表示内容を確認してください。

【ここをお確かめください】

テレビ　受信状態一覧　11/ 3［火］午前11:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
（決定）キーを押すと受信状態を再確認することができます。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS･CSアンテナが、BSデジタル･110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS･CSアンテナがBSデジタル･110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

- アンテナとの接続について⇒ **226** ～ **229** ページをご覧ください。
- 「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」⇒ **253** ページもご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **238** ページをご覧ください。
- 受信している放送局は数字キーパネルの数字ボタンに自動で割り当てられます。
  数字ボタンが割り当てられていない場合は、3 桁入力で選局できます。

▼地上デジタル放送の受信状態一覧

<地上デジタル>

放送局	3桁		受信強度 XXXX/XX/XX	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011	1	87	64	A
NHK教育･東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	－		32	0	☆E

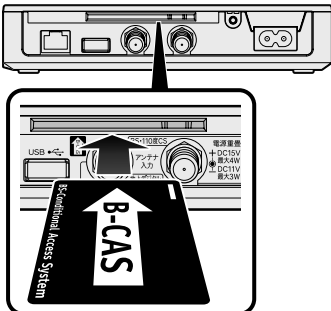
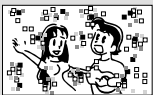
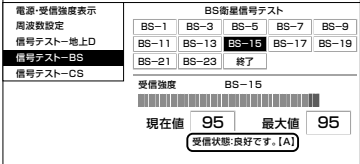
現在割り当てられている
数字キーパネルの数字ボタン

◇おしらせ◇

BS デジタル放送の受信状態について

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。
  このため、「BS-5」「BS-7」「BS-11」の受信状態は表示されません。
  (2011 年 3 月現在)

BS・110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
  BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは
（[E202] と表示される）

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
映像も音声も出ない	• アンテナケーブルは接続されていますか。 • 端子を間違えて接続していませんか。 • アンテナケーブルが切れていませんか。 • BS·CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。 • B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 チューナー部背面	**226〜229•253** **ー** **ー** **240〜241** **224**
映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。	• アンテナの向きは正しいですか。 • 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（⇒ **268** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 電源・受信強度表示 / 周波数設定 / 信号テスト−地上D / 信号テスト−BS / 信号テスト−CS BS衛星信号テスト: BS−1 BS−3 BS−5 BS−7 BS−9 BS−11 BS−13 BS−15 BS−17 BS−19 BS−21 BS−23 終了 受信強度 BS−15 現在値 95 最大値 95 受信状態:良好です。【A】 • 110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	**ー** **240〜241** **ー**
BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	• WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。 • 地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570-08-2200）	**225** **247**
110 度 CS デジタル放送が視聴できない	• アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応のものを使用していますか。	**226〜229**
画面にノイズが出る	• ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。 • アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	**ー** **226〜229•253**
特定のチャンネルだけ映らない	• 有料放送は視聴契約が必要です。 • アンテナの受信強度を確認してください。	**225** **240〜241**

• アンテナの接続については、**226** 〜 **229** · **253** ページをご覧ください。

アンテナ接続の
ワンポイントアドバイス

• お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

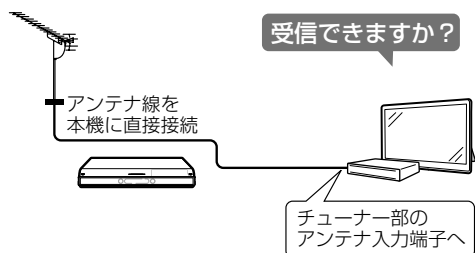
こんなときは

アンテナ線を、レコーダーを経由して本機チューナー部に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

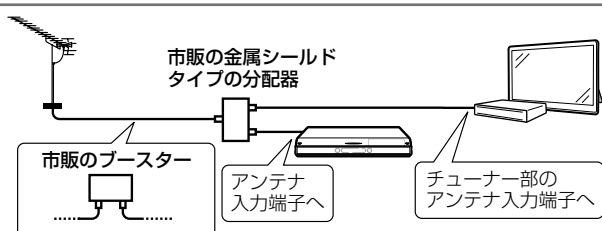
レコーダーに接続しているアンテナ線を本機チューナー部の入力に直接接続してみてください。

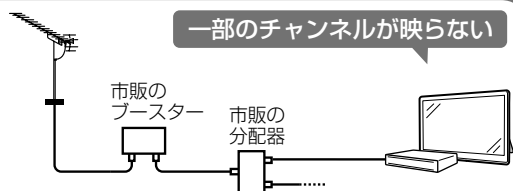
本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。

• レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して､レコーダーと本機チューナー部のそれぞれに接続してください。

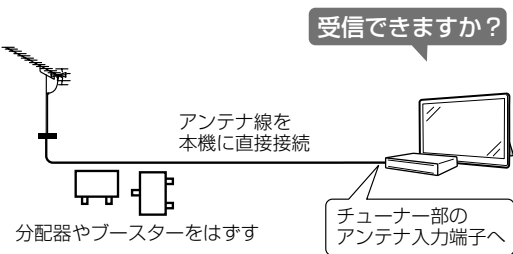
それでも受信できない場合は…

• アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機チューナー部に直接接続してみてください。
(レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。)

正しく受信できる場合は､本機の故障ではありません。

• 分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…

• ご購入のご販売店などにご相談ください。

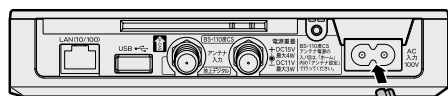
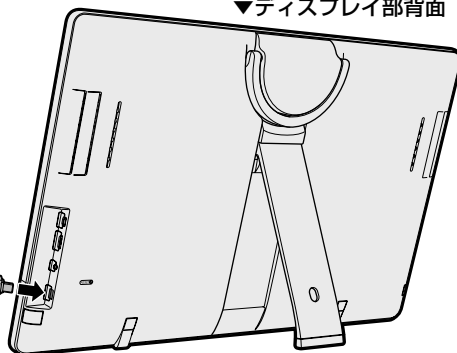
故障かな？と思ったら

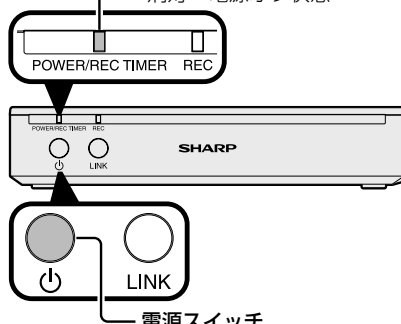
- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（⇒ **290** ページ）をご覧ください。

まず確認してください

電源が入らない

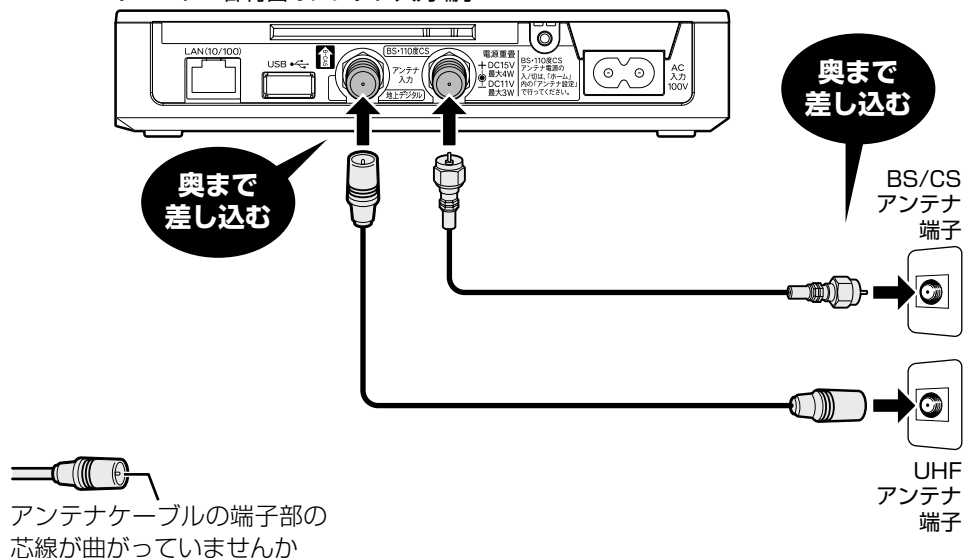
電源コードのプラグを、本体側、電源コンセント側ともに、奥まで確実に差し込んでください（⇒ 233 ページ）

- 電源コードは、ディスプレイ部、チューナー部それぞれにあります。

バッテリー残量が少ないと、本機ディスプレイ部の電源が入りません。電源コードをつないでください

ランプが点灯していないときは、本体（ディスプレイ部／チューナー部）の電源スイッチを押して電源を入れてください（⇒30ページ）

テレビ放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください
(⇒ **226** ～ **229** ページ)

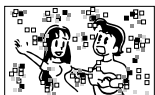
チューナー部背面のアンテナ入力端子

アンテナケーブルの端子部の
芯線が曲がっていませんか

BD・DVD などが見られない

マイサークルを表示して「HDMI 機器を見る」を選んでください
(⇒ **152** ページ)

全般についての
故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。また、本機側から抜けていませんか。 ・ディスプレイ部のPOWER/TIMER（電源／タイマー）ランプ、チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが緑色に点灯していますか。 ・テレビ放送を見たいのに、HDMI入力などに切り換えられていませんか。 ・外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 ・接続ケーブルが抜けていませんか。	233 30 37 37 –
リモコンが動作しない	・ディスプレイ部のPOWER/TIMER（電源／タイマー）ランプ、チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが緑色に点灯していますか。 ・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 ・リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 ・リモコンと本体ディスプレイ部のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 ・照明の向きを変えるなどしてみてください。 ・蛍光灯などが近くにありませんか。 ・受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） ・電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。室温が極端に低下していませんか。	30 29 29 29 286～287 –
映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。	48 48 26
BDプレーヤーの映像が映らない、BDプレーヤーの映像が映らなくなった	・外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・外部機器を接続している入力を選んでいますか。 ・外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	– – 152 –
音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。	53
色が薄い 色あいが悪い	・「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	84～85
画面が暗い 黒色が潰れる	・「AVポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AVメモリー」を試してください。	82～83
画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	80～81

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
本機ディスプレイ部の上部 / 背面部が熱い	• 内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体ディスプレイの温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	**－**
本機チューナー部の上部 / 側面部 / 背面部が熱い	• 内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、通風孔を通って抜ける構造になっているため、温かくなります。本機チューナー部の温度が異常に上昇したときは、本機チューナー部の POWER/REC TIMER（電源 / 録画予約）ランプが緑色で２回点滅し、その後、自動的にチューナー部の電源が切れます。	**27**
画面右下に「温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	• 本機ディスプレイの温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 • 本機ディスプレイの設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 • 本機ディスプレイの内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	**－** **－** **－**
画面右下に「チューナー温度」の文字が点滅し、その後、本機チューナー部との無線接続が切れ、本機チューナー部の POWER/REC TIMER（電源 / 録画予約）ランプが緑色で２回点滅する	• 本機チューナー部の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 • 本機チューナー部の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。チューナー部側面の通風孔をふさがないように設置してください。 • 本機チューナー部の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。	**－** **－** **－**
リモコンや本体のボタンの操作ができない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源スイッチ設定」（⇒ **57** ページ）を「モード２」に設定して本体（ディスプレイ部／チューナー部）の電源スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約１分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • 本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	**－** **286～287**
ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	**－**
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	• 本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 •デジタル放送の録画予約を実行している場合 •ダウンロードをしている場合 •有料放送の契約情報を取得している場合 •地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	**122～123・128～129** **280～281** **－** **66**
時刻表示が画面に出ない	•「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	**55**
時刻表示が消えない	•「ツール」－「画面表示」－「モード３」を設定してください。	**54**
字幕表示が画面に出ない	• 放送によっては、字幕を送っていない場合があります。 • 字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。	**－** **71**
入力切換をしても選べない	• 入力スキップが「しない」に設定されていますか。	**153**
電源が勝手に切れる	• 自動で電源がオフになるモードになっていませんか。受信機レポートで確認してください。	**285**
電源が入らない	• ディスプレイのバッテリー残量が空になっていませんか。電源コードを接続して使用してください。	**32**

デジタル放送関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
? 映像も音声も出ない	・個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。個人でBS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 ・その局が放送していない時間帯ではありませんか。 ・HDMI入力などに切り換えられていませんか。 ・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・本機チューナー部と本機ディスプレイ部の無線接続設定はされていますか。無線接続状態の確認をして、設定されていない場合は、「チューナー無線接続設定」を行ってください。	**240** **－** **37** **224** **248**
• 映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする • 音声が途切れる • 映像が映らない／映らなくなる	・アンテナの向きがずれていませんか。 ・受信強度を確認してください。 ・受信状態を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ディスプレイ部とチューナー部が離れすぎていませんか。 ・ディスプレイ部とチューナー部の間に障害物はありませんか。	**－** **240~241•250** **240~241•250** **－** **226～229** **－** **－**
BSデジタル放送の一部が視聴できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ・地デジ難視対策衛星放送（BS291ch～BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570－08－2200）	**224** **225** **247**
110度CSデジタル放送が受信できない	・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ブースターや分配器などをご使用になっている場合、110度CS帯域（2.6GHz）まで対応した機器をお使いですか。	**226～229** **226～229**
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	・強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 ・春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	**－** **－**

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
地上デジタル放送が受信できない	• お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 • 地上デジタル放送の受信に必要な UHF アンテナが正しく設置されていますか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。 • お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 • チャンネル設定は正しくされていますか。	**ー** **ー** **226～229** **242～243** **244～245**
画面にノイズが出る	• VHF/UHF のアンテナケーブルが BS・110 度 CS デジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	**ー**
特定のチャンネルだけ映らない	• 契約していない有料放送ではありませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570 ー 08 ー 2200）	**225** **240~241** **247**
番組表が表示されない **番組表に表示されない番組がある**	• 地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 • デジタル放送を選局していますか？ • 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 • スキップをする設定にしていませんか。	**66** **ー** **ー** **247**
番組の予約をしても受信できない	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	ー
デジタル放送が受信できない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源スイッチ設定」（⇒ **57** ページ）を「モード 2」に設定してディスプレイ部とチューナー部の電源スイッチで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送を視聴するとき、BS・110 度 CS 共用アンテナ（市販品）および BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブル（市販品）を接続していますか。	ー ー

インターネット関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
AQUOS.jpのページが表示されなくなった	• ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が切れていませんか。 • LAN ケーブルがはずれていませんか。 •「ネットサービス制限設定」－「インターネット接続制限」を「禁止しない」に設定してください。 • ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	－ 161 170 －
文字が読めない文字になった	• ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	**179**
カーソルボタンでページの続きを表示できない	• ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	－
インターネットに接続できない	•「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 **【パソコンをお持ちの場合】** • ご使用になっている LAN ケーブル (CAT5 以上）をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 • できる場合は、ブロードバンドルーターから LAN 側（本機側）の接続･設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターから WAN 側（プロバイダー側）の接続・設定を確認してください。 **【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】** • 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。 • 外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。「電源スイッチ設定」（⇒ **57** ページ）を「モード 2」に設定してディスプレイ部とチューナー部の電源スイッチで電源を切り、1 分間放置した後、再度電源を入れてください。	**156～167** － － －
ホームページの音声が聞こえない **ホームページの動画が再生できない**	• 本機では、一部の形式の音声ファイル (WAV や AAC ／ドルビーデジタル形式の一部) については再生可能ですが、一般の Web ページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてその Web ページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	－
パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	• 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 ・ファイルのダウンロードはできません。 ・PDF（電子文書）を読み込む機能はついておりません。 ・メールの送受信機能はありません。	－

無線接続関係についての故障かな？と思ったら

■本機のチューナー部との無線接続を利用している場合

• 本機はチューナー部とディスプレイ部とを無線接続しており、無線接続に障害があった場合に正常に動作しません。チューナー部とディスプレイ部の接続状態を確認してください。

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
起動時に接続確認中の画面から進まない **チューナー部と無線接続できない**	• チューナー部の電源が切れていませんか。チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが消灯しているときは、電源が切れています。チューナー部の電源スイッチを押し、電源を入れてください。	**30**
	• チューナー部がディスプレイ部から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては電波が弱くなり、通信が途切れたり届かなくなったりします。ディスプレイ部をチューナー部の近くに設置してください。	**–**
	• 他の無線通信機器を使用していませんか。同じ無線接続チャンネルを利用する無線通信機器との干渉、静電気、電波障害の影響で、無線接続ができなくなることがあります。他の無線通信機器の電源を切ってから確認してみてください。	**–**
	• チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが点滅していませんか。この場合は、チューナー部の電源コードを抜き、しばらくしてからもう一度つないでください。それでもPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが点滅する場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。	**–**
かんたん初期設定のリンク設定でチューナー部との接続設定に失敗する	• 上記「起動時に接続確認中の画面から進まない、チューナー部と無線接続できない」をご確認ください。	**–**
	• チューナー部のLINKボタンを押すときは、チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが点滅するまで（約5秒程度）押し続ける必要があります。	**235**
	• 「チューナー部のLINKボタンをPOWER（電源）ランプが点滅するまで（5秒程度）押し続けると、接続を開始します。」のメッセージが表示されてからLINKボタンを押すまでに時間がかかると、接続に失敗することがあります。メッセージが表示されたら、すぐにLINKボタンを押してください。	**235**
映像や音声がときどき停止する、または映らなくなる	• チューナー部がディスプレイ部から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては電波が弱くなり、通信が途切れたり届かなくなったりします。ディスプレイ部をチューナー部の近くに設置してください。「現在の接続状態を確認したいときは」をご覧いただき、無線受信強度が弱くなっていないか確認してください。無線受信強度が良好になるようにディスプレイ部の設置場所を変えてみてください。	**249**
	• 他の無線通信機器を使用していませんか。同じ無線接続チャンネルを利用する無線通信機器との干渉、静電気、電波障害の影響で、無線接続ができなくなることがあります。他の無線通信機器の電源を切ってから確認してみてください。または、「チューナー無線接続設定」の「接続設定」を「自動」に設定してください。「自動」に設定すると、本機は空いている無線接続チャンネルを検索して接続します。	**248**

次のページに続く

■外部アクセスポイントとの無線接続を利用している場合

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
無線 LAN で接続できない	・「ブロードバンド環境と LAN 環境の用意のしかた」をご覧いただき、ブロードバンド環境をご確認ください。 ・「本機ディスプレイ部に無線 LAN で接続する場合」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。 ・無線 LAN の接続設定を実施されましたか。「無線アクセスポイントに接続する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。 ・ブロードバンドルータやアクセスポイントの設定は正しく設定されていますか。機器の取扱説明書をご確認ください。	**157** **162** **165** **－**
映像や音声がときどき停止する、または繋がらなくなった	・無線 LAN アクセスポイントの設置場所は、本機ディスプレイ部から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が弱くなり通信が途切れたり届かなくなります。無線受信強度をご覧いただき、受信レベルが良好になるように設置位置を変えてみてください。 ・ご使用の無線 LAN アクセスポイントが高速無線通信（802.11n/5GHz/40MHz）に対応していない場合、通信速度が足りず視聴ができない場合があります。無線受信強度と無線 LAN アクセスポイントの対応方式を確認してみてください。 ・無線 LAN アクセスポイントは、本機ディスプレイ部以外に、パソコン / ゲーム機などを無線 LAN で接続していますか。無線 LAN アクセスポイントに複数のネットワーク機器を同時使用する場合、通信速度が落ちて視聴に影響を与える場合があります。他の機器の接続を停止して本機ディスプレイ部だけ接続してみてください。 ・電子レンジ／他の通信機器などを使用していますか。同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉、電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害の影響で、通信速度が落ち視聴に問題を与える場合があります。他の通信機器の電源を落として確認してみてください。またはアクセスポイントの設定で通信周波数を変更してみてください。 ・無線 LAN アクセスポイントに、本機ディスプレイ部および他の機器から無線設定を行うと、アクセスポイントの無線設定が変更される場合があります。アクセスポイントの設定を確認してみてください。	**32～33** **32～33・162** **－** **－** **165**
IPTV 動画サービスだけが受信できない	・お使いのブロードバンドルータおよび無線 LAN アクセスポイントは、IPv6 方式に対応していますか。IPv6 に対応していない場合は接続できない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書でご確認ください。	**－**
無線接続設定ができない（WPS、アクセスポイント選択、アクセスポイント登録、の方法で設定ができない）	・無線 LAN アクセスポイントの設置場所は、本機ディスプレイ部から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が弱くなり接続できない場合があります。本機ディスプレイ部の近くに設定して確認してみてください。	**162～163**
WPS プッシュボタン方式で接続できない	・無線 LAN アクセスポイントは WPS プッシュボタン方式に対応していますか。機器の取扱説明書をご確認ください。 ・無線 LAN アクセスポイントによっては、WPS ボタンを長く押し続ける（約 5 秒以上など）必要があります。機器の取扱説明書をご確認ください。	**－** **－**
WPS プッシュボタン方式で接続できない	・アクセスポイントの設置場所が本機から遠い場所にあるなどにより、メニューで「アクセスポイントの WPS ボタンを 5 秒以上押してください」が表示されてから、アクセスポイントの WPS ボタンが押されるまでに時間がかかると、接続に失敗する場合があります。アクセスポイントの設置場所を本機の近くに置いて、短時間で WPS ボタンが押される様にしてから設定してみてください。	**165～166**
無線受信強度が表示されない	・無線受信強度表示が「しない」になっていませんか。 ・画面表示が「モード３」になっていませんか。	**33** **54**

USB ハードディスク関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない	・USB ハードディスクの電源が入っていますか。 ・録画機器選択画面に USB ハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。 ・USB ハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	ー 112 ー
USB ハードディスクに正しく録画できない	・録画先に指定した USB ハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 ・USB ハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別の USB ハードディスクを接続してください。 ・「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	ー ー 113
USB ハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	・本機チューナー部に接続している USB ハードディスクは本機で録画したものですか。 本機以外のテレビ受信機で録画された USB ハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。 ・本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。 ・「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	ー ー 113
USB ハードディスクが使用できない	・「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。 ・使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は、上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 ・それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ①本機（ディスプレイ部／チューナー部）の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USB ハードディスクの電源を入れ直す ③本機（ディスプレイ部／チューナー部）の電源プラグを差し込んで電源を入れる	113 ー ー
USB ハードディスクに録画した番組が消えた	・USB ハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USB ハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 （上記の場合、録画した番組が消える場合があります。） （録画した番組がすべて消えた場合や、USB ハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。） ・異なる USB ハードディスクをつないでいませんか。 ・「USB-HDD の選択」で異なる USB ハードディスクを選んでいませんか。	ー ー 113
USB ハードディスクに録画を開始するとき、テレビ画面の映像や音声が 1 ～ 3 秒程度途切れる	・無線接続の暗号化情報を更新するために起こる症状であり、故障ではありません。	ー

アクトビラ関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像や音声がときどき停止する	• お使いのブロードバンド回線は光回線（FTTH）ですか。アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ･フルをお楽しみになる場合は、光回線（FTTH）が必要です。 • ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでもアクトビラ ビデオの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度アクトビラ ビデオ･フルを再生してみてください。 • ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。 • 光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによってはアクトビラ ビデオを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	**160** – – –
アクトビラの画質が悪い	• デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。 • 映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	– –

IPTV 関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ポータル情報が取得できない	• お使いのブロードバンドルーターはIPv6に対応していますか。	**183**
チャンネル登録で失敗する	• IPTVのマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	–
テレビ放送やVODの映像が乱れる	• 使用している光回線をIPv4のインターネット接続と共用している場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送やVODの映像が乱れることがあります。 • ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでも IPTV を受信したりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度 IPTV を受信してみてください。	– –
ライセンスが無いと表示される	• 追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	–

バッテリー関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
充電されない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。また、ディスプレイ部から抜けていませんか。 •「バッテリー充電設定」が「しない」になっていませんか。 • 周囲の温度が異常に高かったり低かったりしていませんか。充電中ランプが 1 秒おきに点滅している場合は周囲の温度が充電できる温度ではありません。場所を移動して再充電してください。 • 充電中ランプが異常に早く点滅（1 秒間に 3 回）する場合はバッテリーに異常が発生しています。使用をやめて販売店やお客様相談センターにお問い合わせください。	**233** **95** **31** **290**
バッテリーで視聴したら画面が暗くなる	• バッテリーでの視聴では画面の明るさを抑える設定にしています。バッテリー視聴時の明るさを変えたい場合は「バッテリー動作時設定」で設定を変更してください。	**95**
バッテリー残量が画面に表示されない	•「バッテリー残量表示」が「しない」になっていませんか。 •「画面表示」が「モード３」になっていませんか。 • ディスプレイ部に電源コードを接続している状態で「バッテリー充電設定」が「しない」に設定されている場合やバッテリーが満充電になっているときは、バッテリー残量のアイコンが画面に表示されません。	**33** **54** **32・95**
バッテリーで視聴できる時間が短い	• バッテリーはしっかり充電されていますか。 • 周囲の温度が異常に高かったり低かったりしていませんか。 •「バッテリー動作時設定」が「モード３」になっていませんか。 • 正常に充電したバッテリーで使用時間が短くなってきた場合はバッテリーの寿命ですので新しいバッテリーに交換してください。なお、バッテリーの交換についてはお買い上げの販売店にご相談ください。	**32** **23** **95** **31**

エラーメッセージが出たら

B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CAS カードを正しく挿入してください。 B-CAS カードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	****	• B-CAS カードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入やり直してください。	224
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	224
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	****	• 本機に付属の B-CAS カードを挿入してください。	224
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
この B-CAS カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル（番組）は視聴できません。	−
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	• 降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	223
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	−
○○ ○○○ ch が受信できません。リモコンで放送切換や選局を確認ください。またはアンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪などの影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	• アンテナ線を確認してください。 • 受信強度を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	226～229 240～241・250 240～241 −

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 **雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。**	E203	・番組表などで放送時間を確かめてください。 ・受信強度を確認してください。 ・雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	ー 240~241・250 ー
○○○チャンネルが見つかりません。 **番組表などでチャンネルを確認してください。**	E204	・番組表などでチャンネルを確かめてください。	ー
アンテナ線の接続や設定が正しく行われていないため、アンテナ電源を「切」にしました。 **受信できない場合は、チューナー部の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。**	＊＊＊＊	・電源を入れ直してください。 ・BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、チューナー部の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	ー 226～229・240～241
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	・選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	ー
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	＊＊＊＊	・番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	ー
データが受信できません。	E400	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
この受信機では、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
データの表示に失敗しました。	E402	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー

アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が 60 以下です。【B】	・受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	240 ～ 241
アンテナ信号が強すぎます。【C】	・アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	－
アンテナ信号が不足しています。【C】	・ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	－
アンテナ信号が良くありません。【D】	・受信強度が 60 以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	－
受信できません。【E】	・アンテナが正しく設置されているか確認してください。 ・アンテナ線を確認してください。 ・アンテナの設定が合っているか確かめてください。	－ 226 ～ 229 240 ～ 241

双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
アクセスできませんでした。[C204]	C204	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	＊＊＊＊	・「ネットサービス制限設定」－「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	170
まだルート証明書※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	・アクセスしないことをお勧めします。	－
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	・アクセスしないことをお勧めします。	－

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 **セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？**	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	－

※１　サーバー証明書･･･ 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※２　ルート証明書･････ 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

ファミリンク録画時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 **この放送は録画することができません。**	S05	• 録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 **この放送は録画することができません。** **録画に失敗しました。** **この放送は録画することができません。**	S06 S07	• このネットワークは録画することができません。 • ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 **録画に失敗しました。** **録画に失敗しました。** **録画に失敗しました。**	S09 S10 S11 S12	• ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 **この放送は録画することができません。** **録画に失敗しました。** **この放送は録画することができません。**	S13 S14	• この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。 •「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 **記録可能なメディアがありません。**	S16	•「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 **現在、再生中のため録画できません。**	S17	• 再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 **別の録画を実行中のため、録画できません。**	S18	• 現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 **記録可能なメディアがありません。**	S19	•「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」が書き込み禁止です。 •「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 **放送を受信できないため、録画できません。**	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	•「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」に録画できません。 •「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」を確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	•「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	• 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	• 録画機器を確認してください。

無線接続に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
チューナー部との無線接続が切れました。接続が復帰するまでしばらくお待ちください。		• チューナー部との無線接続が復帰するまでしばらくお待ちください。	−
チューナー部との無線接続が復帰しないため、以下のことをお試しください。 **ディスプレイ部をチューナー部の近くに移動してください。なお復帰しない場合は、チューナー部やディスプレイ部の電源を入れなおしてください。** **チューナー部の電源ランプが点滅しているときは、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧のうえ、ご対応ください。**		• ディスプレイ部をチューナー部の近くに移動してください。 • 近くに移動しても復帰しない場合は、チューナー部やディスプレイ部の電源を入れ直してください。 • チューナー部のPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが点滅している場合は、チューナー部の電源コードを抜き、しばらくしてからもう一度つないでください。それでもPOWER/REC TIMER（電源／録画予約）ランプが点滅する場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。	− 30 −
無線受信強度が低くなっています。無線受信強度が改善する状態でお使いください。（無線受信強度はチューナー部との距離や障害物によって影響を受けます。）		• ディスプレイ部とチューナー部が離れすぎていないか、障害物がないか確認してください。「現在の接続状態を確認したいときは」をご覧いただき、無線受信強度が弱くなっていないか確認してください。無線受信強度が良好になるようにディスプレイの設置場所を変えてみてください。	249
電波干渉により無線接続状態が悪化しています。接続チャンネルの切換えをおすすめします。切換えを行いますか。		• 電波干渉を検出しました。「はい」を選び、決定すると、空いているチャンネルを検索して切り換え、干渉を回避します。映像の乱れなどの症状が改善されます。切り換えには最大約 2 分かかることがあります。	249
接続チャンネルが使えなくなったため、別のチャンネルに切換えました。		• 電波法の規制に従い、気象レーダーなどを検出した場合は、自動でチャンネルを切り換えます。約 20 秒程度映像が途切れますが、正常動作です。	249

ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が 6MB 以下のデータとしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、6MB 以下のデータで撮影できる場合があります。 例）4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ 4096 × 4096 以下の写真にしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例)4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	• 本機で表示可能な仕様の JPEG 以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。**	• 写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。**	• サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後 SD カードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
印刷設定 **機器が見つかりません。** **対応プリンタの電源、接続を確認ください。**	• プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷 **印刷の準備をしています。**	• プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷 **この写真の印刷を受け付けました。**	• プリンタへの印刷指示を完了しました。 写真を表示することができます。
写真を表示できません。 **フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。**	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
印刷できません。 **プリンタが使用中の可能性があります。**	• プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとすると、このメッセージが表示される場合があります。印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
印刷を中断しました。 **プリンタとの接続を確認してください。**	• プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。
印刷できません。 **プリンタを確認してください。**	• プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。
機器に接続できません。 **接続機器選択へ移動します。**	• 前回接続したサーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。
フォルダにアクセスできません。 **トップフォルダへ移動します。**	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 **接続機器から映像データを取得できません。**	• サーバーの設定を確認してください。サーバーによっては設定画面にしていると取得できない場合や、インターネットを利用中は取得できない場合があります。
再生できません。 **この形式の映像データは再生できません。**	• 規格外の映像データは再生できません。 • 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。
再生できません。 **この形式の音楽データは再生できません。**	• 規格外の音楽データは再生できません。 • 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。
データを取得できません。 **フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。** **初期画面に戻ります。**	• メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。** **初期画面に戻ります。**	• メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
再生できません。 **無線 LAN のセキュリティを設定してください。**	• 手動で無線 LAN を設定する場合は、無線 LAN のセキュリティを WPA2 ／ WPA ／ WEP のいずれかに設定してください。ただし、WEP は WPA2 ／ WPA に比べ通信速度が低下します。
内蔵メモリがいっぱいです。	• 内蔵メモリーに取り込める写真枚数は 18 枚です。写真の取り込みを行うには、不要な写真を削除してください。内蔵写真の削除は、カレンダー／時計に切り換えてから行ってください。

USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。 **ハードディスクが認識できないため、録画できません。ハードディスクを接続し直してください。** **まもなく録画予約の開始時間です。録画可能なハードディスクが接続されていません。**	• USB ハードディスクを本機に接続し、使用する USB ハードディスクを選択してください。（⇒ **113** ページ） • 初めて本機に接続する USB ハードディスクの場合は、接続後に初期化してください。（⇒ **112** ページ） • USB ハードディスクの電源を入れてください。
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク準備中のため録画できません。	• USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり録画を停止しました。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	• 不要なタイトルを消去してください。
初期化中のため録画できません。	• USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
録画できる最大タイトル数を超えています。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
予約可能時間を過ぎたので、「ツール」－「ファミリンク操作」の録画で直接録画してください。	• 「ツール」－「ファミリンク操作」－「録画」を選び、直接録画してください。（⇒ **144**、**149** ページ）
予約方法を選択してください。 **（録画可能なハードディスクが見つかりません。）**	• 録画可能な USB ハードディスクを接続してください。もしくは、視聴予約を選択してください。
ハードディスクの容量が不足しています。	• 不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大 32 番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れていました。録画前にはハードディスクを接続し、電源を入れておいてください。	• USB ハードディスクを本機に接続し、使用する USB ハードディスクを選択しておいてください。（⇒ **113** ページ） • 初めて本機に接続する USB ハードディスクの場合は、接続後に初期化しておいてください。（⇒ **112** ページ） • USB ハードディスクの電源を入れておいてください。

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 録画する前に USB ハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	• USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり、録画できませんでした。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに異常があり、録画を停止しました。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
1 タイトルの録画時間が 6 時間を超えたため、録画を停止しました。1 タイトルが 6 時間以上の連続録画はできません。	• 1 タイトルの録画時間は最長 6 時間なので、6 時間単位で録画してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。 **ハードディスクが認識できないため、再生できません。**	• 本機に USB ハードディスクを接続し、使用する USB ハードディスクを選択しているかお確かめください。（⇒ **113** ページ）また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
このタイトルは再生できません。	• 再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	• 本機に接続されている USB ハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別の USB ハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	• 記録時間が 3 秒未満のタイトルは再生できません。
日付・時刻が設定されていません。 **日付・時刻を設定してください。**	• 時計合わせを行ってください。
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。 • USB ハードディスクには IPTV を録画できません。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが 1 分未満の番組、長さが 48 時間超の番組は録画予約ができません。

USB 利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ディスプレイ部に接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 ディスプレイ部の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	• USB過電流が発生しました。ディスプレイ部にUSB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 • ディスプレイ部の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。
チューナー部に接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 チューナー部の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	• USB過電流が発生しました。チューナー部にUSB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 • チューナー部の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。
内蔵メモリがいっぱいです。	• 内蔵メモリーに取り込める写真枚数は 18 枚です。写真の取り込みを行うには、不要な写真を削除してください。内蔵写真の削除は、カレンダー／時計に切り換えてから行ってください。
この写真は取り込みできません。	• 無効な写真ファイルのため、取り込めません。

マイサークルに関する
エラーメッセージ

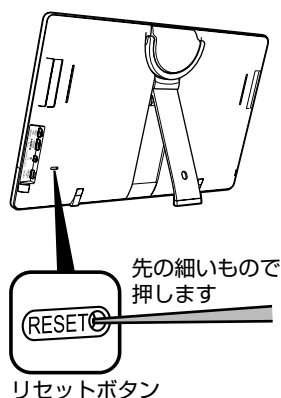
画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
お気に入り Web に登録できません。登録する場合はインターネットに切替えて登録したいページを表示して下さい。		• インターネットに切り替えてから再度お気に入り Web 登録の操作をしてください。	**40**
このページは登録できません。このページのトップ画面を表示する場合はメニュー表示のおすすめ Web から登録して下さい。		• お気に入り Web 登録ではなく、おすすめ Web 登録機能を使い、登録をしてください。	**41**
お気に入り Web に登録できません。他のページで登録して下さい。		• 現在表示中のページはお気に入り Web に登録できません。他のページ（トップページ）などを表示して、再度お気に入り Web 登録をしてください。	**40**

バッテリーに関する エラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
バッテリーが残り少なくなりました。引き続きテレビをお使いになる場合、電源コードをを接続してください。		• 間もなくバッテリーが切れます。視聴を続ける場合は、ディスプレイ部に電源コードを接続してください。	–
バッテリーが残りわずかです。間もなく自動で電源オフします。		• バッテリーがほぼ空のため、メッセージが表示されると、数秒で電源オフします。再び電源を入れる場合は、ディスプレイ部に電源コードを接続してください。	–
長期間バッテリーをご使用になっていないようです。この場合、バッテリーに充電しない設定にしておくことをおすすめします。		• 「バッテリー充電設定」を「する」にしている状態で、常に電源コードを接続してテレビを使用していると、バッテリーは常時満充電状態になります。 • バッテリーは満充電状態が続くと、劣化しやすくなります。このメッセージが表示されたら、バッテリーに充電しない設定にすることをおすすめします。	– 25
バッテリーを長くお使いいただくために、バッテリーが残り少なくなるまで、電源コードを抜いてテレビをご使用ください。		• 電源コードを接続している状態ではバッテリーは使われず、残量はほぼ保持されます。 • バッテリーは、残量が多い状態が長く続くと、劣化しやすくなります。このメッセージが表示されたら、「バッテリー残量表示」が赤色になるまで、電源コードを抜いた状態でテレビを使用することをおすすめします。	– 25

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、ディスプレイ部背面のリセットボタンを押してから、操作をやり直してください。
- リセットボタンは、つまようじなど先の細いものを使って押してください。

◇おしらせ◇

- リセット直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。
- バッテリー動作時にリセットボタンを押すと電源が切れます。このときは、電源スイッチを押しても電源が入りません。電源コードを接続してから電源スイッチを押して、電源を入れてください。

停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容（ホームメニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、ホームメニューから「設定」ー「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時計を合わせる（時刻設定）⇒ **72** ページ）
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  - 静止画／オフタイマー／消音／映像オフ

引越しなどで本機を梱包したり運んだりするときは

- ディスプレイ部はバッテリーを内蔵しているため、バッテリー動作を停止させてください。

バッテリー動作を停止させる手順

1 ディスプレイ部からACアダプターをはずす

- バッテリー動作にします。

2 ディスプレイ部の電源スイッチを押して電源を切る

- ディスプレイ部の POWER/TIMER（電源 / タイマー）ランプが、赤色点灯または消灯します。

3 ディスプレイ部背面のリセットボタンを押す

- ディスプレイ部の POWER/TIMER（電源 / タイマー）ランプが、消灯します。

◇おしらせ◇

バッテリー動作停止の確認方法

- ディスプレイ部の電源スイッチを押します。POWER/TIMER（電源 / タイマー）ランプが点灯しなければ、正常に設定されています。

電源を入れる手順

1 ACアダプターを使って、ディスプレイ部と電源コンセントをつなぐ

2 ディスプレイ部の電源スイッチを押し、電源を入れる

システム動作テスト

- 本機は、B-CAS カードが正しく挿入できているかをテストできます。

◇**おしらせ**◇

システム動作テストに失敗したときは

- B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。

ビーキャス
B-CASカード
⇒**224**ページ

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「システム動作テスト」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「テスト実行」で決定する

を押す

バージョン番号	:	00000000	0000000
		00000000	0000000
システム状態	:		
B−CASカード	:		
DRM番号	:		

テスト実行

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 結果を確認し、「テスト終了」で決定する

決定
を押す

バージョン番号	:	00000000	0000000
		00000000	0000000
システム状態	:	0000−0000−0000−0000−0	
		0000−0000−0000−0000−0	
B−CASカード	:	0000−0000−0000−0000−0	
DRM番号	:	0000−0000−0000−0000−0	

テスト終了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

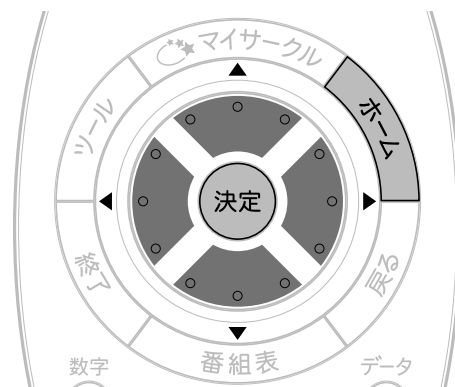
本機のソフトウェアを更新する

- ソフトウェアの更新とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのものです。
- 本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて「する」(自動) に設定されています。

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについてのご注意

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(POWER(電源)ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、待機状態にしてください。
- チューナー部の電源スイッチで電源を切った場合やチューナー部の電源コードをコンセントから抜いている場合は、ダウンロードは実行されません。また、「電源スイッチ設定」(⇒ **57** ページ)を「モード2」に設定してディスプレイ部の電源スイッチを切った場合や電源コードがディスプレイ部に差し込まれていない場合は、ダウンロードが実行されません。

自動ダウンロードを「しない」に設定する

- 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「各種設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

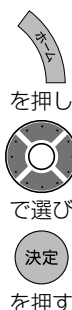
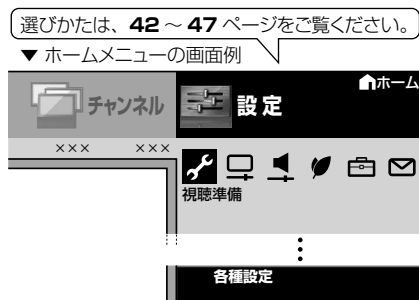
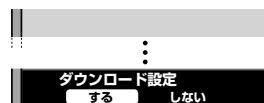
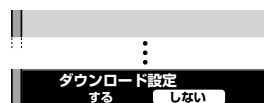
▼ ホームメニューの画面例

2 「ダウンロード設定」を選ぶ

で選ぶ

ダウンロード設定
する　しない

3 「しない」を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

- 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「放送局メッセージ」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ダウンロードのお知らせ」を選ぶ

で選び

決定

を押す

3 ①画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

で選び

を押す

ダウンロードのお知らせ

「メニュー」でダウンロード「しない」が選択されています。
今回のみダウンロードをする場合は「実行」を選択してください。

前へ　次へ　実行

②画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

ダウンロードのお知らせ

今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます。）
ダウンロードしますか？

する　しない

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「放送局メッセージ」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。(画面右上の「お知らせ」の内容や B-CAS カードの番号を確認する ⇒ **285** ページ)

USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

- USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
- ソフトウェアの更新をするときは、パソコンを使用して、あらかじめ更新用ソフトウェアを USB メモリーに書き込んでおく必要があります。更新用ソフトウェアをパソコンから書き込むときは、USB メモリーが空の状態で書き込んでください。

ソフトウェアの更新情報について

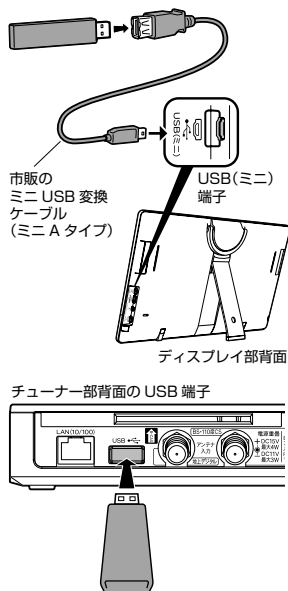
- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USB メモリーにコピーしてください。

◆ 重 要 ◆

- ソフトウェアの更新中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- ソフトウェアの更新中は、電源プラグを抜かないでください。
- ディスプレイ部とチューナー部のソフトウェアは、同時には更新できません。

1 ディスプレイ部またはチューナー部のUSB端子に、更新用ソフトウェアを書き込んだUSBメモリーを取り付ける

ディスプレイ部背面

チューナー部背面の USB 端子
2 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「ソフトウェアの更新」を選ぶ

ホーム を押し ◎ で選び 決定 を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 暗証番号を設定しているときは暗証番号(⇒90ページ)を入力する

4 ディスプレイ部またはチューナー部を選ぶ

5 画面に従って操作する

6 「する」で決定する

- ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
- ソフトウェアの更新が終了すると画面が数秒間消え、ソフトウェアの更新完了メッセージが表示されます。

ソフトウェアの更新が正しくできないときは

- USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データが USB メモリーの中に見つからないときは、エラーメッセージが表示されます。
- 更新用ソフトウェアのデータが書き込まれている USB メモリーを取り付けてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

7 アップデートが完了するまで待つ

8 USBメモリーを本機から取り外す

本機を電源オフにするときは／電源プラグを抜くときは

・ディスプレイ部の電源スイッチでディスプレイ部の電源をオフにしたいときは、「電源スイッチ設定」を「モード 2」にしてください。
「モード 1」に設定されていると、ディスプレイ部の電源スイッチを押してもディスプレイ部は「待機状態」となり、電源オフにはなりません。

「電源スイッチ設定」について

項目	内容
モード 1	・ディスプレイ部の電源スイッチを切っても、視聴予約やおはようタイマーは動作します。 ・リモコンの電源ボタンで電源を切った場合も同様です。
モード 2	・ディスプレイ部の電源スイッチを切ると、電源がオフになり、視聴予約やおはようタイマーが中止されます。

電源プラグをコンセントから抜くときは、次の手順で操作してください。

1 録画や再生を停止する

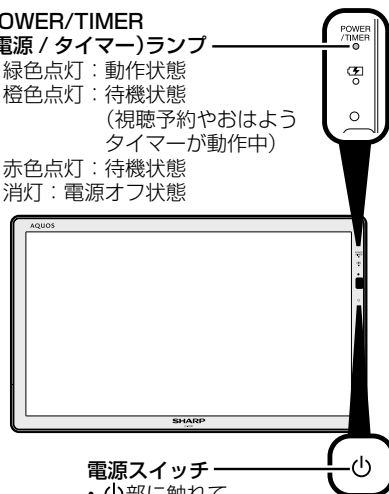
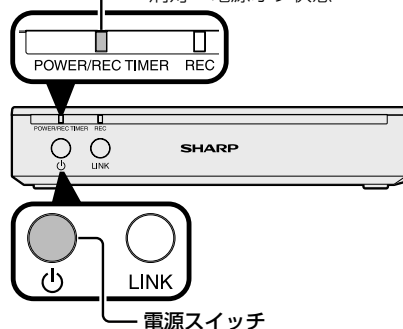
2 電源スイッチ設定を「モード 2」にする

を押し
で選び
を押す

・ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「電源スイッチ設定」－「モード 2」を選びます。

3 電源スイッチを切るまでに開始される予約がないことを確認する

4 電源を切る

・電源スイッチを押し、POWER（電源）ランプが消灯していることを確認します。

5 約5分後に電源プラグを抜く

・POWER（電源）ランプが消灯してから約 5 分が経過したら、電源プラグを抜きます。

◇おしらせ◇
・次回電源立ち上げのとき、場合によっては、時間がかかることがあります。

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

◆ 重 要 ◆

- お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど）がすべて初期化されます。
- **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
  データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇**おしらせ**◇

初期化すると

- 本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

1 本機ディスプレイ部とチューナー部が無線接続していて、動作していることを確認する

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「個人情報初期化」を選ぶ

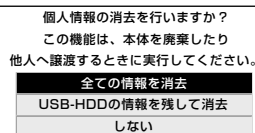
ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**42**～**47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

- ディスプレイ部が外部機器と接続動作しているときは、選べません。

3 「全ての情報を消去」または「USB-HDDの情報を残して消去」を選ぶ

で選び
決定 を押す

- USB ハードディスクに録画したコンテンツの情報を初期化したくないときは、「USB-HDD の情報を残して消去」を選んでください。
- 「全ての情報を消去」を選ぶと、USB ハードディスクに録画した番組も消去されます。

4 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

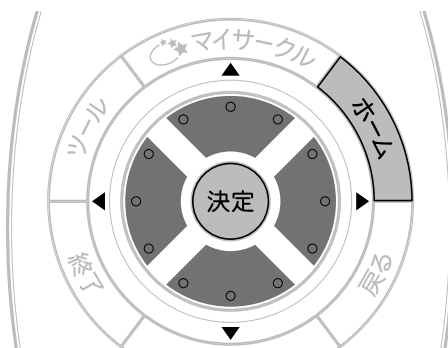
- 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、「電源スイッチ設定」（⇒ **57**・**283** ページ）を「モード 2」に設定し、本体の電源スイッチを押してください。

画面右上の「お知らせ」の内容や B-CAS カードの番号を確認する

- 予約の失敗・変更が生じたときや、放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されたときなどは、画面右上に「お知らせ」が表示されます。
- 「お知らせ」の内容のほかに、B-CAS カードの番号なども確認できます。

項目	内容
受信機レポート	• 予約の失敗や変更に関するレポート(自動で電源オフになった理由など)や B-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
放送局メッセージ	• 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード(CS デジタル)	• 送られている、CS 各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 • ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 • 録画予約実行中は選べません。
B-CAS カード	• 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のため B-CAS カードの番号を表示するものです。 • カード識別…メーカー識別用のアルファベット 1 文字と 3 桁の数字からなります。 • カード ID……カード固有の番号です。

◇おしらせ◇

- 未読の放送局メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の放送局メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
- 受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選んで決定ボタンを押すと、その受信機レポートが消去されます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

選びかたは、**42** ～ **47** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
××× ×××
お知らせ

2 見たい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 項目によっては、このあとネットワーク(放送の種類)を選ぶ手順になります。

3 見たい情報を選ぶ

(例)「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

で選び

を押す

	受信日時	
未読	2/26[月]	ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●

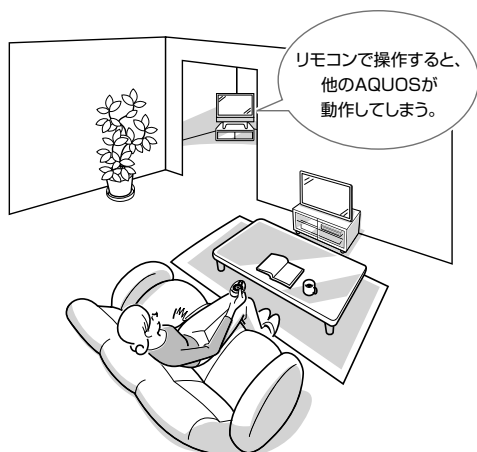
4 情報の内容を確認する

で選び

を押す

- ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選び、決定ボタンを押します。
- 画面に従って操作してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

2台のAQUOSを それぞれのリモコンで 操作するには

• 2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

リモコン番号について

• リモコン番号には「1」「2」があります。リモコン側と本体側の番号を合わせてください。
• 2台のAQUOSを近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他のAQUOSと異なる番号に設定してお使いください。例えば、他のAQUOSが「1」なら本機は「2」にします。
• 設定されている番号が本体とリモコンとで異なっていると、リモコンのボタンを続けて押したときに、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。
• 個人情報を初期化すると本体のリモコン番号は「1」に戻ります。

◇**おしらせ**◇
• 工場出荷時の設定は、本体側・リモコン側ともリモコン番号「1」です。

本体側とリモコン側の リモコン番号を設定する

◆ **重 要** ◆
• 先にリモコン側の番号を変更すると、リモコンで本体側の設定が行えません。

本体側のリモコン番号を切り換える

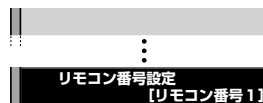
1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「各種設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**42**～**47**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「リモコン番号設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選ぶ

本機のリモコン番号を切換えます。
本機：リモコン番号1

で選び
を押す

4 「する」を選ぶ

本機のリモコン番号を2に変更します。
リモコン番号を変更しますか？

で選び
を押す

本機のリモコン番号を変更した後は、
リモコン側のリモコン番号も合わせてください。
（詳しい設定方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。）

リモコン側のリモコン番号を切り換える

- **前**ページ手順 **3** で選んだリモコン番号と同じ番号にしてください。

◆ リモコン番号を「1」に切り換えるときは

青 を押し続けながら 電源 を5秒以上押す

リモコンの青ボタンを押した状態で電源ボタンを5秒以上押す

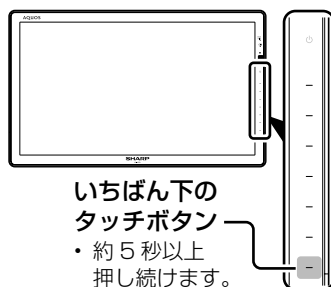
◆ リモコン番号を「2」に切り換えるときは

黄 を押し続けながら 電源 を5秒以上押す

リモコンの黄ボタンを押した状態で電源ボタンを5秒以上押す

本体のボタンで、本体側のリモコン番号を設定するには

- 本体側の番号をリモコン側の番号に合わせます。

1 **ディスプレイ部タッチボタンのガイド表示が出ていない状態で、いちばん下のタッチボタンを約5秒以上押し続ける**

- リモコン番号変更画面が表示されます。

2 **「する」を選び、決定する**

▼リモコン番号変更画面の例

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機　：リモコン番号1
リモコン　：リモコン番号2

する　しない

- タッチボタンの使いかたについては、⇒ **34** ～ **35** ページをご覧ください。

3 **ガイド表示に従い、決定する**

- 本体側のリモコン番号が変更され、リモコンで操作ができるようになります。

◇**おしらせ**◇

- リモコン番号変更画面が表示されてから、約20秒以内に操作を行ってください。約20秒を経過すると、画面が消えます。
- 乾電池が消耗したり、乾電池を交換したときに、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ることがあります。

おもな仕様について

品名			液晶カラーテレビ
形名			LC-20FE1
ディスプレイ部	液晶パネル	表示サイズ	20V型　(横44.4cm×縦24.9cm／対角50.9cm)
		駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
		画素数	1,366(水平)×768(垂直) 画素
		使用光源	LED
	スピーカー		2.8cm　丸型4個
	音声実用最大出力(JEITA)		4W (2W+2W)
	使用電源		DC15V
	消費電力		39W [※1]／35W[※2](待機電力:0.4W[※1])
	接続端子		HDMI(ミニ)入力1系統1端子、USB(ミニ)1系統1端子、 ヘッドホン(ミニミニ)接続端子
	外形寸法	ディスプレイ部	幅48.6×奥行3.3×高さ29.5(cm)
		自立スタンド使用	幅48.6×奥行13.5×高さ28.6(cm)
	本体質量		約3.3kg
	使用温度		0℃～35℃
チューナー部	アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型(地上デジタル入力)、BS-IF 75Ω不平衡型
	使用電源		AC100V･50/60Hz
	消費電力		19W (待機時:8W、電源スイッチオフ時:0.2W)
	接続端子		アンテナ入力地上デジタル(VHF/UHF)端子、 アンテナ入力BS･110度CS端子、 LAN1系統1端子(10BASE-T/100BASE-TX)、USB1系統1端子
	受信チャンネル		BSデジタル001～999ch、 110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル(ワンセグを除く)011～528ch (CATVパススルー対応)
	BS･110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
		トランスポート	MPEG2 システム
		映像	MPEG2 (MP@HL)
		音声	MPEG2 AAC
		限定受信システム	ARIB CASシステム
		受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
		IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
	地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)
		トランスポート	MPEG2 システム
		映像	MPEG2 (MP@HL)
		音声	MPEG2 AAC
		限定受信システム	ARIB CASシステム
		受信周波数帯域	93MHz～767MHz
		CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯
	外形寸法		幅17.0×奥行18.0×高さ3.6(cm)
	本体質量		約0.7kg
	使用温度		0℃～35℃

品名			液晶カラーテレビ
形名			LC-20FE1
無線通信	チューナ部との通信	規格	IEEE802.11n/IEEE802.11a※3準拠 ARIB STD-T71(5GHz帯)
		伝送方式	OFDM方式
		周波数範囲	IEEE802.11n/IEEE802.11a • 5.180GHz~5.240GHz/W52 36, 40, 44, 48ch • 5.260GHz~5.320GHz/W53 52, 56, 60, 64ch • 5.500GHz~5.700GHz/W56 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
		セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
	外部アクセスポイントとの通信	規格	IEEE802.11n/IEEE802.11a※3準拠 IEEE802.11g/IEEE802.11b準拠 ARIB STD-T71(5GHz帯) ARIB STD-T66(2.4GHz帯)
		伝送方式	OFDM方式, DSSS方式
		周波数範囲	IEEE802.11n/IEEE802.11a • 5.180GHz~5.240GHz/W52 36, 40, 44, 48ch • 5.260GHz~5.320GHz/W53 52, 56, 60, 64ch • 5.500GHz~5.700GHz/W56 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11n • 2.412GHz~2.472GHz 1~13ch
		セキュリティ	WPA2-PSK(AES/TKIP) / WPA-PSK(AES/TKIP) / WEP(64/128bit)

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値−高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 本機のディスプレイ部はWi-Fi認証を取得しています。本機のチューナー部は、本機のディスプレイ部とのみ無線接続ができます。
※1 ACアダプター使用時
※2 DC 15V駆動時
※3 従来の11aのJ52対応機器とは接続できません。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。(消耗部品は除く)
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■ 「故障かな?と思ったら」「エラーメッセージが出たら」(⇒ **254** ~ **277** ページ)を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　名：LC-20FE1
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご住所
(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ! (熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか

●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

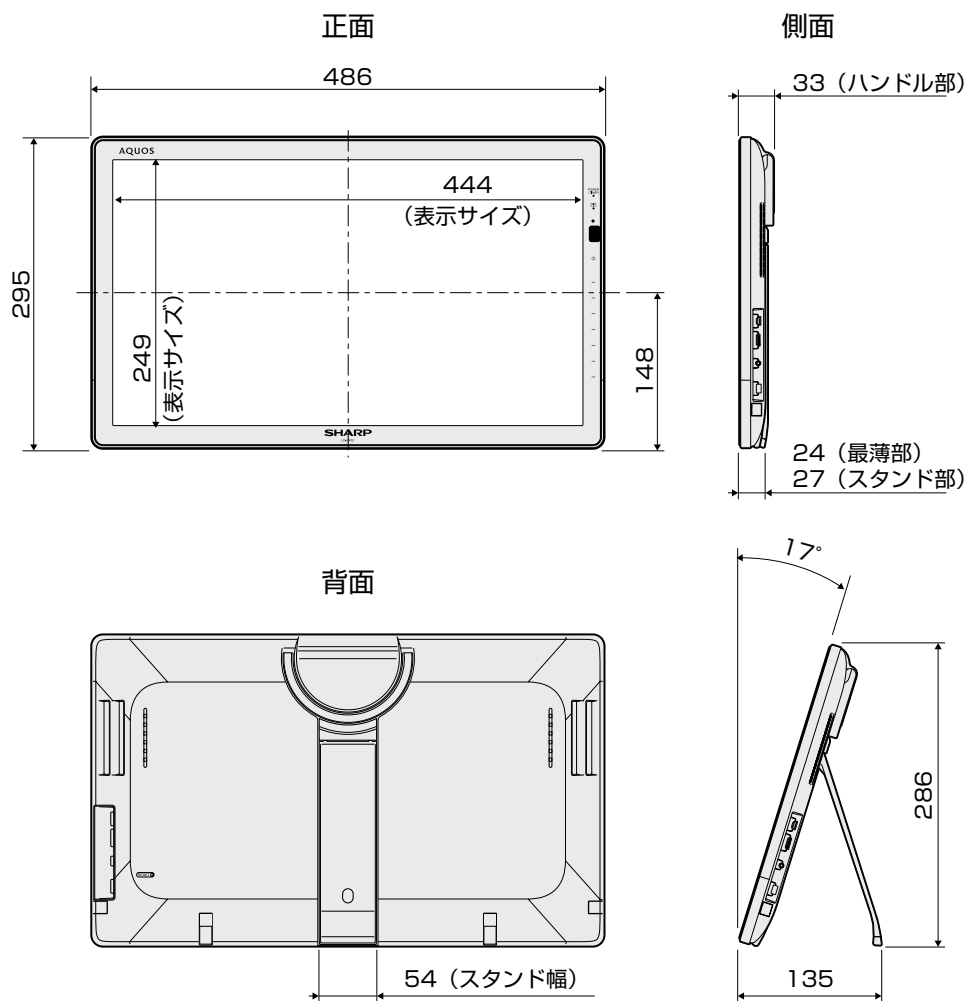
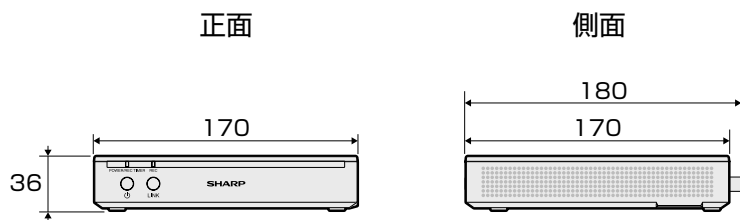
故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

寸法図

LC-20FE1

ディスプレイ部

（単位：mm）

正面

486

444
（表示サイズ）

295

249
（表示サイズ）

148

側面

33（ハンドル部）

24（最薄部）
27（スタンド部）

背面

54（スタンド幅）

17°

286

135

チューナー部

（単位：mm）

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- module-init-tools
- glibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- AGG(ver.2.3)
- NTP
- XMLRPC-EPI
- Expat
- DHCPv6
- Simple IPv4 Link-Local address
- dlmalloc
- util-linux
- coreutils
- jpeg
- libpng
- SQLite
- LVM2
- bash
- libncurses
- device-mapper
- xfsprogs
- parted
- iptables
- ebtables

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

次のページに続く

XMLRPC-EPI

Copyright: (C) 2000 Epinions, Inc.
Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2) THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3) IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

NTP

Copyright (c) David L. Mills 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Powered by Adobe® Flash®

Adobe Systems Incorporated による Adobe® Flash® Lite® 技術を採用しています。
この AQUOS（LC-20FE1）は、Adobe Systems Incorporated からライセンスを受けた Adobe® Flash® Lite® ソフトウェアを採用しています。
Copyright© 1995-2009 Adobe Macromedia Software LLC. All Rights Reserved.
Adobe、Flash および Lite は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Olivier Gay

Free Type 2 font engine

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

MP3はFraunhofer IISおよびThomsonからライセンスされたMPEG Layer-3音声コーディング技術です。

この製品にはIntel Corporationのソフトウェアを一部利用しております。

Ubiquitous SAFE DTCP-IP

この製品には株式会社ユビキタスが開発したDTCP-IP対応ソフトウェアを使用しております。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。

用語の解説

1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線1125本（有効走査線1080本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線750本(有効走査線720本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線1125本（有効走査線1080本）、インターレース方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線525本(有効走査線480本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線525本(有効走査線480本)、インターレース方式。 地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

1080p(24Hz)

映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ(24p信号)で撮影されています。

110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

16:9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

AAC(Advanced Audio Coding)

デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。

AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

ADSL回線

ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

AQUOS.jp

AQUOSのお客様のためのメンバーズサイトです。AQUOSに関する情報を公開しています。

AV

Audio Visual（またはAudio Video)の略で、音響と映像に関する技術や製品の総称です。

テレビやレコーダー、オーディオプレイヤーなどをAV機器と呼びます。

AV-HDDレコーダー

テレビ放送を内蔵のAV-HDD（エーブイ-ハードディスクドライブ)に録画する機器です。

テレビ放送を放送画質のまま、長時間(数十時間)録画することができます。

B-CASカード(ビーキャスカード)

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。B-CASカードを受信機に挿入すると、接続されたデジタル放送の視聴が可能となります。また、有料放送の視聴を希望される場合は、放送局への申し込みが必要です。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、BS（アナログ)放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、ニュース·スポーツ·番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

CATV(ケーブルテレビ)

ケーブル(有線)テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

CATV回線
ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

Cookie
Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。

例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

DLNA(Digital Living Network Alliance)
デジタル機器の相互接続を実現させるための標準化活動を推進している団体です。

デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

DVI(Digital Visual Interface)
コンピュータとディスプレイを接続するための規格のひとつです。デジタル信号で映像データをやりとりするため、画質の劣化が少なく、高画質な表示ができます。DVI-Iは、デジタル信号に加え、アナログ信号での映像データのやりとりもできます。

EPG(Electronic Program Guide)
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。

高精細な映像入力に対応しています。

HTML
インターネットのページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

IP(Internet Protocol)
インターネットでの通信に関する規約のことです。ネットワークに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。

LAN
Local Area Network (ローカル･エリア･ネットワーク)の略で、コンピューター･ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

PCM(Pulse Code Modulation)
音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。

USB(Universal Serial Bus)
もともとはパソコンなどに周辺機器を接続するための規格のひとつです。

プリンターやハードディスクなど様々な周辺機器が発売されています。

WAN
Wide Area Network (ワイド･エリア･ネットワーク)の略で、コンピューター･ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

Webサイト
サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jpもひとつのWebサイトです。

次のページに続く

インターネット
世界中にある小さなコンピューター･ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

インターネットサービスプロバイダー
ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISPと表記されることもあります。

インターレース（飛び越し走査）
テレビやビデオの画像表示では、有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線を描きます（この1画面を1フィールドといいます）。次に偶数番めの有効走査線を描きます。これで、1枚の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

お知らせ
BS ／ 110度CS ／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

キャッシュ
ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。

ページのデータは、インターネットを通じて取り込まれています。いつもインターネットからデータを取り込んで表示させると、常にデータを取り込むための時間がかかってしまいます。このため、保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

高画質アクティブコンディショナー
見ている映像に応じて自動的にコントラストや色を調整し、ノイズを低減してみやすい映像が楽しめます。

映像調整－プロ設定のアクティブコントラスト－「する」、デジタルNR－「オート」のときに有効です。（⇒**85**ページ）

サーバー
コンピューター･ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。

インターネットの世界では、Webページのデータを保存しているWWWサーバー、指定したURLがどこにあるかを探すDNSサーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よくWebページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

スプリッター
ADSL回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

地上デジタル放送
2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

ハブ
LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

光回線
ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。

ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

ブックマーク
ページのURLを記憶する機能です。

ブックマークに登録することで、URLを入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。

「お気に入り」と呼ばれることもあります。

ブラウザ
インターネットのページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

ブロードバンド回線
一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。

光回線、CATV回線、ADSL回線などがあります。

プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

文字コード
コンピューターの内部は、すべて0と1の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も0と1の組み合わせになります。この0と1の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。

世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、インターネットのページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

リンク
複数のものをつなぐことで、シャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプをつなぐ「ファミリンク」や、インターネット上で他のWebページをつなぐリンク機能などがあります。

索引

・本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、⇒ **26** ～ **28** ページをご覧ください。
・用語については、⇒ **296** ～ **299** ページをご覧ください。

英数字・記号

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

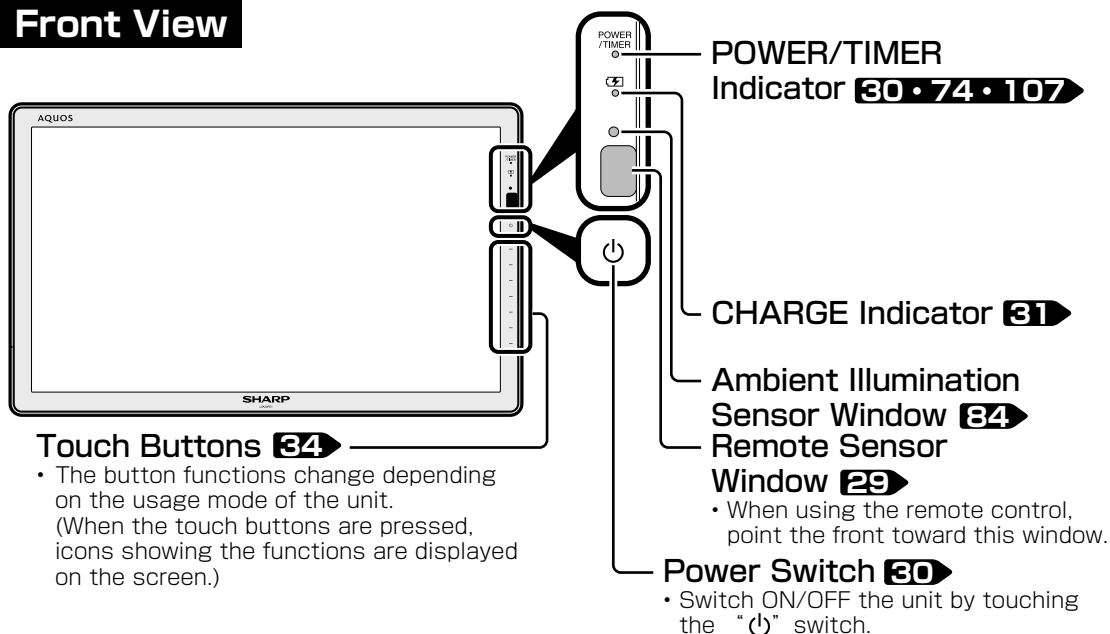
ま行

や行

ら行

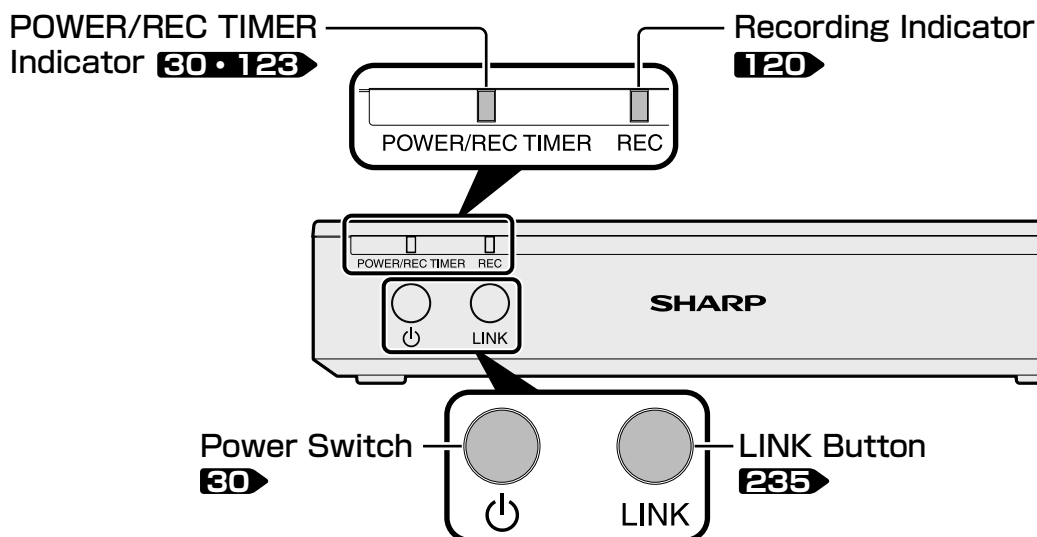
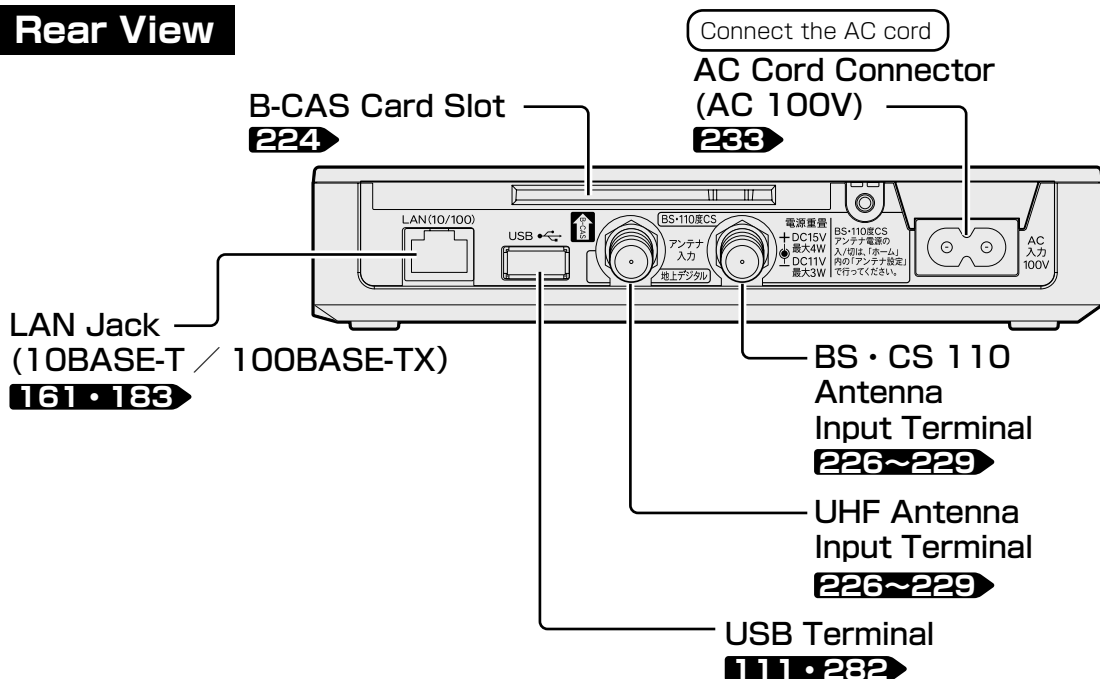
わ行

English Guide
Part Names

- The numbers shown in the ▶ symbols are the page numbers where part functions and/or use are explained in Japanese.

Tuner Unit

Front View

Rear View

Continued on the next page

Remote Control Unit

Volume Up(+)/ Down(-) 48 • 188
- Press to adjust the volume.

My Circle 38~41
- Press to display "My Circle".

Display the Tool Menu 42 • 47

Cursor (up, down, left, right)/ **Jog Dial Section**
- See the below.

Finish
- Press to finish a menu operation, etc.

Number Key Button 101
- Press to display the number key panel when inputing number.

Color Buttons
- Use to operate EPGs and data program screens.

Active/Standby 30 • 234
- Press to turn on the TV set in active or standby mode.

Channel Up(∧)/ Down(∨) 48 • 188
- Press to select channels in ascending or descending order.

※CATV channels are factory set to be skipped.

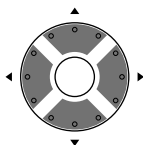
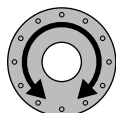
Enter/Confirm
- Press to confirm a selected setting or menu item.

Display the "Home" Menu 42~43
- Press to start some useful TV functions.

Return
- Press to go back to the previous screen.

Linked Data Broadcast 52 • 189
- Press to show the data broadcast linked with the current digital TV program.

EPG 59 • 60
- Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

Cursor and Jog Dial Section

Cursor (up, down, left, right)
- Use to select a menu item, column, etc.

Jog Dial
- Turn to use.
- Can be used for "My Circle", program selection, etc. 38 • 49
- Can be used in place of the cursor in some cases.

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

1 Press [ホーム] and select with [◀▶]

Select"設定" (Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

2 Select with [▲▼] Select with [◀▶] Press [決定]

Select"(視聴準備)" (View Setting).
「(視聴準備)」を選ぶ

3 Select with

Press

Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

チャンネル 設定 ホーム
××× ×××
視聴準備
Language(言語) [日本語]

4 Select with

Press

Select "English".
「English」を選ぶ

Enter.
決定する

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

5 Press [ホーム]

Finish this operation.
終了する

◇おしらせ◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「(View Setting)」－「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

MY家電登録のご案内

詳しくはホームページで →

http://iclub.sharp.co.jp/m/

SHARP i CLUBは、お客様がご愛用のシャープ製品について、便利な使い方や、製品のサポート・サービス、キャンペーンなど、一人ひとりに合ったサービスをご利用いただける会員様向けサイトです。

ぜひ、ご登録ください。

■ 廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

■ よくあるご質問などはパソコンから検索できます

▶▶▶ パソコン

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検索

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間　●月曜～土曜：**9:00～20:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**（年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2011.3）

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-F088WJZZ ⚠
11P03-JA-KK